

千葉市新庁舎整備基本設計

# 基本設計図書

平成29年10月

久米設計・隈研吾建築都市設計共同企業体

# 目次

## 0. 計画条件

外観パース(透視図).....	03
(1) 基本方針.....	06
(2) 基本設計コンセプト.....	07
(3) 敷地現況図.....	08
(4) 敷地写真.....	09
(5) 法的規制等の確認.....	11

## 1. 建築計画

(1) 計画概要.....	15
(2) 配置計画.....	16
(3) 動線計画.....	17
(4) 施設のフロア構成.....	18
(5) 平面計画(各階平面).....	19
(6) 市政の情報発信・情報提供が可能な市民に開かれたシティホール.....	21
(7) 執務室計画.....	23
(8) 外装計画.....	26
(9) 内装計画.....	27
(10) 業務継続計画・環境計画.....	29
(11) 防災計画.....	30
(12) ユニバーサル計画.....	32
(13) セキュリティ計画.....	33
(14) サイン計画.....	34
(15) モノレール連絡通路計画.....	35
(16) 外構計画.....	36
(17) 雨水排水計画.....	37
(18) 緑化計画.....	38
(19) 維持管理計画.....	40

## 2. 構造計画

(1) 基本方針.....	42
(2) 耐震安全性の目標と耐震構造システム.....	42
(3) 建設地周辺の地震環境.....	43
(4) 地盤概要と基礎計画概要.....	44
(5) 設計用入力地震動.....	45
(6) 耐震性能目標と設計荷重.....	46
(7) 架構計画概要.....	47
(8) 免震構造計画概要.....	48

## 3. 電気設備計画

(1) 基本方針.....	51
(2) 適用基準.....	51
(3) 電力設備計画.....	51
(4) 通信設備計画.....	57
(5) 防災・防犯設備計画.....	59

(6) インフラ盛替え・仮設計画.....	62
(8) 諸元表.....	63

## 4. 機械設備計画

(1) 基本方針.....	69
(2) 適用基準.....	69
(3) 空調換気設備計画.....	69
(4) 給排水衛生設備計画.....	91
(5) 昇降機設備計画.....	94
(6) インフラ盛替え・仮設計画.....	95
(8) 諸元表.....	97

## 6. 仮設計画概要

(1) 工事ステップ計画概要.....	107
(2) 工事工程表.....	109
(4) 本庁舎改修計画概要.....	112

## 7. 基本設計図

(1) 敷地概要・計画概要・案内図.....	A-01
(2) 面積表・求積図.....	A-02
(3) 仕上表.....	A-04
(4) 配置図.....	A-10
(5) ピット図、各階平面図.....	A-11
(6) 立面図.....	A-19
(7) 断面図.....	A-20
(8) 矩計図(主要部詳細図).....	A-23
(9) 外構図.....	A-24
(10) 緑化計画図.....	A-25
(11) 防火区画図.....	A-26
(13) サイン図.....	A-33
(14) 伏図・軸組図.....	A-45
(15) 部材断面リスト.....	A-46





外観（モノレール側からみる）



外観（北側からみる）



外観（臨港プロムナード、まちかど広場をみる）



内観（市民ヴォイドを2階からみる）



内観（市民ヴォイドを1階からみる）

## ■ 基本理念 ■

**1** 人口構成や社会ニーズなど将来の変化に柔軟に対応できるような新庁舎整備を進めていきます。

**2** 政令指定都市における本庁舎として、通常業務の遂行性に優れた新庁舎整備を進めていきます。

**3** 非常時においても状況の変化に柔軟に対応できる、業務継続性を備えた新庁舎整備を進めていきます。

### 将来の変化への柔軟性の確保

**将来の人口構成や社会ニーズの変化に対応できる庁舎**  
将来の変化に伴い、行政組織の変更や業務形態の変化に柔軟に対応できる庁舎を目指します。

**長期間にわたり効率的に使い続けることができる庁舎**  
様々な変化に対応しつつ、長期間にわたり効率的に使い続けられるよう、十分な保全性と経済性を備えた庁舎を目指します。

### 通常業務の遂行性の確保

**市民や事業者にとって使いやすく、利便性や機能性に優れ、環境にも配慮した庁舎**  
本庁舎の業務がワンストップで対応できるなど市民や事業者にとって使いやすく、業務遂行の利便性・機能性に優れ、高い環境性能を備えた庁舎を目指します。

**優れたセキュリティを持ち、安全に業務遂行できる庁舎**  
様々な情報に対する防犯性を確保するとともに、庁舎利用者の安全性を確保するなど、安心して利用できる庁舎を目指します。

### 非常時の業務継続性の確保

**地震をはじめ、災害に強い構造を備えた庁舎**  
本庁舎は市民の安心・安全を支えるための総合防災拠点であるため、耐震性に優れ、災害に強い構造・設備を備えた庁舎を目指します。

**非常時の業務継続機能を備えた庁舎**  
災害発生等の非常時においても、迅速に業務機能を回復し、災害対応等に従事できるよう、業務継続機能を備えた庁舎を目指します。

## ■ 本庁舎のあるべき姿 ■

## (2) 基本設計コンセプト

### コンセプト1

#### まち・人・緑をつなぐ シティホール

##### 1-1 本庁舎周辺エリアのまちづくりへの寄与 ～ 「まち」と「みなと」をつなぐ ～

- ・大きくリニューアルされ、新たなにぎわいの核となるJR千葉駅周辺エリアと、千葉ポートタワーや旅客船桟橋などが立地する臨港エリアの中間に位置し、「まち」と「みなと」をつなぐ結節点となる市庁舎を目指します。
- ・臨港プロムナードやみなと公園・モノレール駅などの都市施設と一体となる沿道型の建物配置とするとともに、周辺エリアのまちづくりに寄与するよう機能配置を行います。

##### 1-2 市民に開かれたシティホール ～ 人が集う ～

- ・庁舎の表玄関となる低層棟に、明るく開放的なロビー空間を整備するとともに、市議会をはじめ、市民センター・イベントスペースなど市民利用の多い機能を整備し、市民に開かれたシティホールを目指します。
- ・市民生活を支える企業・団体等が集積する立地特性を活かし、市政運営の拠点・総合防災拠点として、円滑な市政の情報発信・情報提供ができるよう機能配置を行います。

##### 1-3 立地環境を活かした緑のまち並み形成 ～ 緑で憩う ～

- ・臨港プロムナード沿いの街路樹やみなと公園に面した緑のつながる立地環境を活かし、壁面緑化・さくら広場など、市民の憩いの場となる緑化空間を整備することで、周辺の緑と調和したまち並みを形成します。

### コンセプト2

#### 政令指定都市の拠点にふさわしい機能を備えた庁舎

##### 2-1 時代の変化に対応する 柔軟性と効率性を備えた庁舎

- ・フレキシブルな執務空間を積層する高層棟と、市民サービス・議会エリアを集約する低層棟の、明快な分節による機能的なフロア構成とします。
- ・ユニバーサルレイアウトを採用し、組織改編に効率的に対応できる柔軟性のある執務空間とします。

##### 2-2 政令指定都市の拠点にふさわしい 利便性と機能性を備えた庁舎

- ・窓口と執務空間の明快な区分、関連部署の近接配置、議会エリアの低層棟配置などにより、来庁者のワンストップ性を発揮し、市民の利便性と職員の機能性を備えた庁舎とします。
- ・セキュリティに配慮した動線計画や機能配置により、低層棟1・2階のイベントスペース・食堂・カフェなど、閉庁時の市民利用に配慮した空間構成とします。

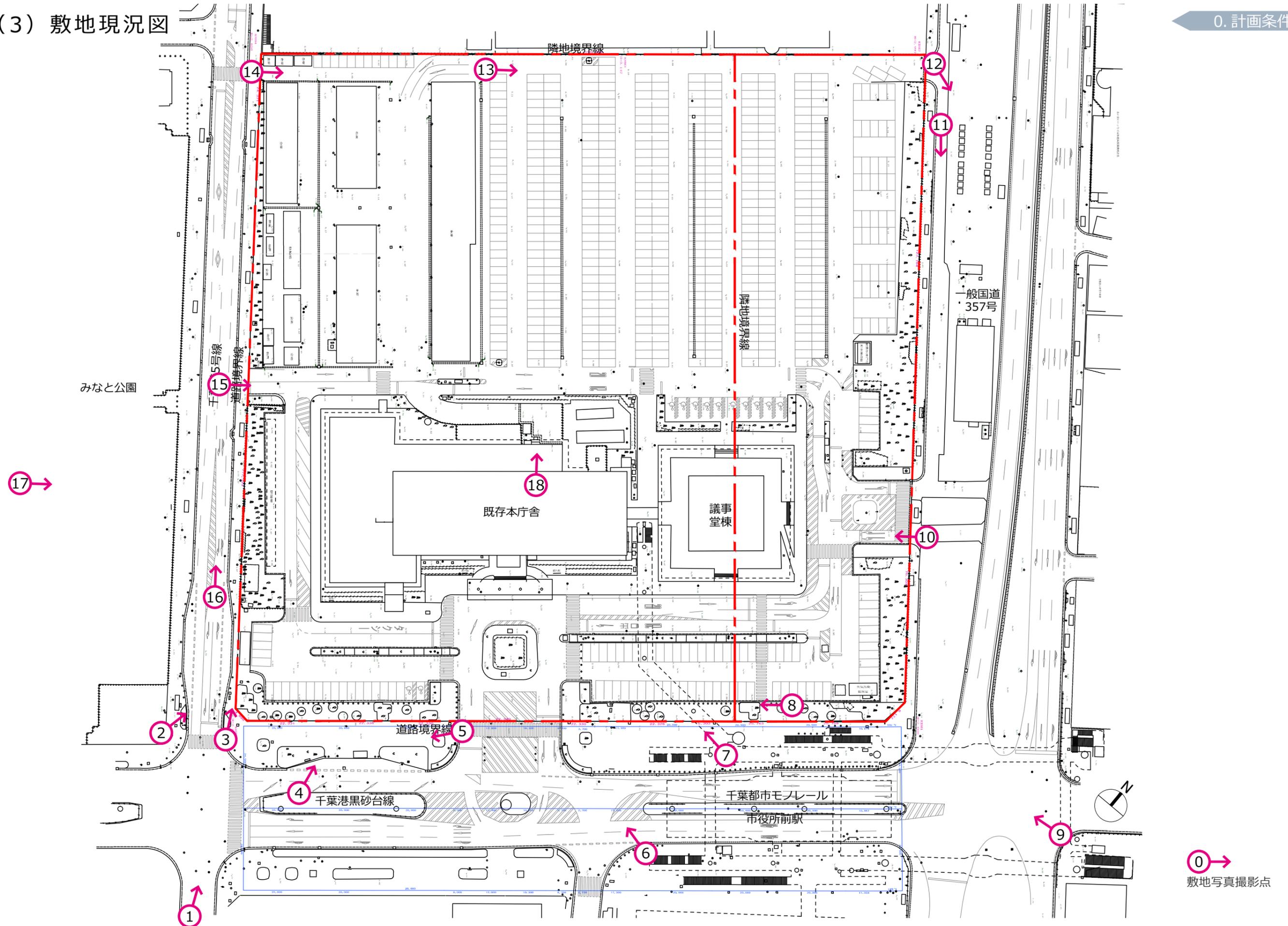
##### 2-3 非常時の業務継続性を備えた庁舎

- ・総合防災拠点として、免震構造の採用やインフラの多重化・災害発生時のバックアップ機能を備えるなど、非常時の業務継続性を備えた庁舎とします。
- ・周辺エリアに立地する企業・団体等との連携など、通常時のみならず、非常時の運用へのシームレスな移行に配慮した空間構成とします。

##### 2-4 省エネルギーと環境に配慮した庁舎

- ・自然エネルギーを活用するなど、省エネルギー化・環境負荷の低減を図るとともに、更新や維持管理のし易さに配慮した庁舎とします。

(3) 敷地現況図



敷地写真撮影点

# (4) 敷地写真

## □現況写真 1



①敷地南側からの既存庁舎の遠景



②南西交差点



③西側道路の沿いバス乗り場



④南側モノレールからの既存庁舎をみる



⑤南側道路境界と歩道



⑥南側道路の対岸側歩道から既存庁舎をみる



⑦モノレール駅からの連絡ブリッジ



⑧南側道路から連絡ブリッジをみる



⑨南東交差点とモノレール駅

□現況写真 2



⑩東側道路からの既存議事堂棟をみる



⑪東側道路歩道



⑫既存駐車場から東側道路への出入口



⑬北側隣地境界



⑭敷地北西角の出入口



⑮西側道路から既存駐車場への出入口



⑯西側道路から北側をみる



⑰みなと公園から既存庁舎をみる



⑱既存庁舎から北側駐車場をみる

□敷地条件

敷地概要	建築場所	: 千葉県千葉市中央区千葉港1番1号(住居表示)
	敷地面積	: 約29,000㎡ (分割前:39,680.95㎡ 測量図による)
	周辺道路	: 千葉港黒砂台線 [建築基準法42条1項] 道路幅員:51.58m(道路台帳による) : 千葉港5号線 [建築基準法42条1項] 道路幅員:20.50m(道路台帳による)
	既存建物	: 本庁舎 地下1階/地上8階/棟屋3階 鉄骨造(一部鉄骨鉄筋コンクリート造) 17,522.6㎡ (千葉市役所) : 議事堂棟 地下0/地上3階(一部4階 地下室) 鉄骨鉄筋コンクリート造 3,335.8㎡ : モノレール連絡通路、車庫・倉庫等

法規制	地域地区	: 都市計画区域内 市街化区域
	用途地域	: 商業地域
	高度地区	: 指定なし
	防火指定	: 準防火地域
	日影規制	: 規制なし (敷地周辺:規制なし)
	地区計画	: 指定なし
	その他地区	: 駐車場整備地区(特定用途)
法定建ぺい率	: 90%(80%+10%[角地緩和])	
容積率	: 400%	
斜線制限	: 道路斜線 1:1.5 適用距離 20m : 隣地斜線 31m+1:2.5	

現況インフラ	電力	: 電圧6.6Kv : 受電方式 2回線(地中引込)
	電話	: 地中引込 光ケーブル引込
	TV共聴設備	: 電波伝搬障害防止区域 TV電波障害防除設備 不要 : 地域CATV 有り
	上水道	: 引込有り 本管管径 300φ
	井戸・工業用水	: 掘削可(管径50φ 深度100mまで)
	下水道	: 公共下水道(雨水分流) 接続有り 管径500φ 処理規制なし(浄化槽不要)
都市ガス	: 引込有り 13A	

□計画条件

計画対象人数	職員数	: 2288人[平成28年度 職員数(特別職・局長級含む)]
	職員男女比	: 現況 男:女=77:23 (将来想定 男:女=50:50)
	特別職員数	: 5人(市長、副市長[2名]、病院事業管理者、代表監査委員)[平成28年度]
	災害対策職員数	: 職員数×25%+50人[外部応援]=622人
	議員数	: 50名
傍聴席数	: 92席+記者席20席	

必要駐車台数等	公用車用駐車場	: 180台(内 完全密封車庫10台 屋根付き駐車場 30台)
	来庁者用駐車場	: 300台
	駐輪場	: 269台
	バイク駐輪場	: 82台(10台+72台) *要望台数

□自然条件等 (気象庁データによる)

過去の気候等	気温・湿度	: 平均気温 16.5℃ 年平均相対湿度 65.4% : 日最高気温平年値 37.0℃ 日最低気温平年値 -1.2℃
	日照時間	: 日照時間平年値 2035.8時間
	風速	: 最大風速 20.9m/s 年最多風向 南南西
	降水量	: 平均降水量 1555.2mm/年 最大1時間降水量 53.7mm/h : 浸水想定図(洪水ハザードマップ) 有り 想定浸水範囲外
	積雪	: 積雪の最深記録 0.33m
	地質状況	: 地質調査資料 有り : 常水位 GL-2.0m程度 : 埋立地経過年数 47年以上

各種調査状況	土壌汚染	: 土壌汚染調査 未調査
	アスベスト	: 本庁舎:1次スクリーニング調査済み : 議事堂棟:1次スクリーニング調査済み : 車庫・倉庫:1次スクリーニング調査済み : 中央コミュニティーセンター:未調査
	P C B	: 調査資料 有り
	フロン	: 規制対象フロン 調査済み

	法律、条例	該当・非該当	協議先	提出先 (届出・申請の期日)	主な設計反映事項・確認事項
1	確認申請 (計画通知) (千葉県建築基準法施行条例)	●該当	千葉市都市局建築部 建築審査課 043-245-5839	同左 (工事着工までに確認済証 の受領が必要)	
2	構造評定	●該当	民間審査機関 国土省	同左 (計画通知までに大臣認定の 取得が必要)	
3	消防同意 (消防法) 千葉市火災予防条例	●該当	千葉市消防局 予防指導課 043-202-1668	同左 (計画通知と同時に 必要書類の提出)	消防法上用途：複合用途 16項の(イ)、全館スプリンクラー設置が必要。 ヘリポートの設置：計画建物は震災時等に拠点となる防災関係公共機関に該当するので緊急離着陸場を設置。(退避場所の設置有無及び広さについては要協議)
4	その他消防関係	○非該当	千葉市消防局		防火水槽、消防活動用空地の設置(警防課)：都計法29条の許可不要、千葉市宅地開発指導要綱に非該当なので、設置義務はない。
5	開発許可 (都市計画法第29条)	○非該当	千葉市都市局 都市部宅地課 043-245-5320		埋立地により、建物の敷地として計画された土地のため、開発許可は不要。
6	千葉市中高層建築物の建築に係る 紛争の予防と調整に関する条例	●該当	千葉市都市局建築部 建築指導課建築相談室 043-245-5856	同左 (計画通知31日以上前 に標識設置)	
7	バリアフリー法 (高齢者、障害者等の移動等の 円滑化の促進に関する法律)	●該当 特別特定建築物で床面積が2,000㎡以上の新築→ 建築物移動等円滑化基準)	千葉市都市局 建築部建築指導課 043-245-5856	確認申請機関 (計画通知にて チェックリスト審査)	特別特定建築物に該当(保健所、税務署その他不特定かつ多数の者が利用する官公署) 身障者用駐車場：規模が200台を超える場合にあっては当該駐車台数に1/100を乗じて得た数に2を加えた数以上を設置すること。 指導課としては誘導的基準までは求めない。法・条例の厳しい基準を採用する。
8	千葉県福祉のまちづくり条例	●該当 特定施設：官公庁舎等	千葉市都市局 建築部建築指導課 043-245-5856	同左 (着工前)	市職員が利用するエリアについては不特定多数が利用するエリアに該当しない為、「利用者の用に供さないエリア」として適用外として良い。
9	千葉市都市景観条例 (景観法)	●該当 高さが20m、または延べ面積が5,000㎡超え	千葉市都市局 都市部都市計画課 都市景観デザイン室 043-245-5307	同左 (着工30日前) 計画通知との関係無し	うみの景観ゾーン、千葉都心景観ゾーン配慮指針(千葉市景観計画参照)
10	千葉市屋外広告物条例 (屋外広告物法)	○非該当	千葉市都市局 都市部都市計画課 都市景観デザイン室 043-245-5307		
11	緑化の推進及び樹木等の保全に関する条例 (千葉市公共施設等緑化推進要綱)	●該当 敷地面積 500㎡以上の施設	千葉市都市局 公園緑地部緑政課 043-245-5774	同左	(緑化率20%以上(地上部で10%以上)、接道部70%以上(幅0.6m以上)) 植栽密度10㎡当り：高木1本、中木2本、低木15本 換算率 高木：中木：低木：生垣=1：5：15：3m
12	千葉市建築物の環境配慮に関する要綱 (千葉市建築物環境配慮制度)	●該当 2,000平方メートル以上の 建築物を新築等	千葉市都市局建築部 建築指導課 企画管理班 043-245-5694	同左 (着工21日前)	建築主はCASBEEにより、当該建築物の環境性能を評価し、当該評価結果を着工前に市長へ届出。 建築物の環境性能の評価に際しては、CASBEEのうち、CASBEE-建築(新築)により行う。
13	千葉市低炭素建築物新築等計画の 認定等実施要綱 (都市の低炭素化の促進に関する法律)	○非該当	千葉市都市局建築部 建築指導課 認定班 043-245-5856	同左	
14	建築物エネルギー消費性能適合性判定 (エネルギーの使用の合理化等に関する法律)	●該当 床面積の合計が2,000㎡以上の特定建築物の新築	千葉市都市局建築部 建築審査課 構造設備班 043-245-5842	同左 (計画通知前に 適合通知書受理)	
15	千葉市雨水流出抑制指導 (下水道法第24条)	●該当 敷地面積が500㎡以上 の建築行為	千葉市建設局 下水道管理部 下水道維持課接続指導係 043-245-5431	同左	雨水流出抑制施設(浸透施設または貯留施設)を設置する。 流出係数C1=0.4、係数t=5(排水施設最長延長：0)
16	排水設備新設等確認申請	●該当 排水設備の新設及び改造を行う場合	千葉市建設局 下水道管理部 下水道営業課 043-245-5411	同左	排水設備新設等確認申請書の提出が必要
17	千葉市建築物における駐車施設の 附置等に関する条例	●該当 商業地域における特定用途(店舗・事務所等)	千葉市都市局 都市部都市計画課 043-245-5305	同左 計画通知2週間前 までに届出	(延床面積-1,500)÷200=必要台数 49,000㎡-1,500㎡÷200=237.5台 →238台以上必要。荷捌台数に関しては指導基準はなし。 駐車マス 幅員2.5m以上、奥行き6.0m以上。 車路の幅員5.5m以上、ただし一方通行においては幅員3.5m以上

	法律、条例	該当・非該当	協議先	提出先 (届出・申請の期日)	主な設計反映事項・確認事項
18	路外駐車場の届出 (駐車場法12条)	●該当 駐車場面積が500㎡以上で不特定多数から駐車料金を徴収する場合	千葉市都市局 都市部都市計画課 043-245-5305	同左 供用前まで	
19	千葉市自転車等の放置防止に関する条例 (自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律)	●該当 飲食店の面積が400㎡を超える場合	千葉市建設局 土木部自転車対策課 043-245-5149	同左 計画通知前までに 確認通知書受理	飲食店(ファミリーレストラン、食堂、喫茶店、その他これらに類する施設(厨房含む))に該当し、400㎡を超えた場合、店舗面積20㎡毎に1台の自転車駐車場の設置義務 設置義務台数 レストラン・カフェ面積:683㎡/20=34.15台⇒35台
20	千葉市環境影響評価条例 (環境影響評価制度)	○非該当 (対象事業外)	千葉市環境局 環境保全部環境保全課 環境影響評価班 043-245-5141		
21	千葉市土壌汚染対策指導要綱 (土壌汚染対策法)	●該当 3,000㎡以上の土地の形質の変更を行う際に届出が必要	千葉市環境局 環境保全部環境規制課 水質・土壌班 043-245-5194	同左	3,000㎡以上の土地の形質の変更を行う際に届出が必要。 変更の届出の際に、土壌汚染のおそれがあると都道府県知事が認めるときには調査が必要となるため、着工の30日以上前に要綱に基づく土地の履歴調査の結果を市に報告する。当該敷地は市の要措置区域及び形質変更時要届出区域の指定を受けていないため、調査には至らない。
22	千葉市環境保全条例(井水利用) (ビル用法)	●該当 商業地域における特定用途(店舗・事務所等)	千葉市環境局 環境保全部環境規制課 水質・土壌班 043-245-5194	同左	一定規模以上の井戸※については、井戸を設ける場合は650m掘削する必要がある。法律等(ビル用法、工業用水法、千葉市環境保全条例)に基づく許可が必要 ※揚水機の吐出口の断面積が6cm <sup>2</sup> (口径27.6mm)を超えるもの。 一定規模以下の井戸については、掘削深度に規制は無いが、掘削前に確認は必要となる。事業用に井戸を設置する場合は、設置前に揚水施設事前立会願いを提出する必要がある。
23	PCB特別措置法	●該当 PCB廃棄物の保管場所の変更(移動)の際に届出	千葉市環境局 資源循環部 産業廃棄物指導課 043-245-5682	同左 保管場所の変更を行った日から10日以内	H39/3/31までに、PCB廃棄物を自らの責任において確実に適正に処理する。 保管・処理状況等に関して、毎年度、市長へ届け出ることが義務付けられている。 保管場所の変更を行った日から10日以内に、市長に届出が必要。
24	千葉市廃棄物の適正処理及び再利用等に関する条例 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	●該当 延床面積の合計が3,000㎡以上の建築物	千葉市環境局 資源循環部収集業務課 043-245-5530	同左	事業系一般廃棄物保管場所の設置 : 22㎡ 再利用対象物の保管場所設置 : 22㎡ 産業廃棄物保管庫 : 10.3㎡ その他 : 機密文書保管庫 3.1㎡、 厨房用 2.7㎡
25	千葉市特定建築物維持管理指導要綱(ビル管法) (建築物における衛生的環境の確保に関する法律)	●該当 特定用途で延べ面積が3,000㎡以上	千葉市保健福祉局 健康部保健所 環境衛生課 043-238-9939	同左 計画通知前までに事前協議書の提出が必要(要項P22)	面積・用途が特定建築物に該当するビルを新しく建てた場合、1か月以内に特定建築物届による届出が必要
26	千葉市食品衛生法に基づく公衆衛生上講ずべき措置の基準に関する条例 (食品衛生法)	●該当 食品を扱う営業を行う場合	千葉市保健福祉局 健康部保健所 食品安全課 043-238-9934	同左	食品等事業者が実施すべき管理運営基準に関する指針(ガイドライン)による 食堂・カフェの厨房及び客席に衛生上の区画(壁・サッシ)が必要 (フードコート形式は例外的に客席区画不要。カフェ客席部の区画については食品等事業者の協議による。)
27	文化財保護法第93条 (埋蔵文化財)	○非該当	千葉市教育委員会 事務局生涯学習部 生涯学習振興課 043-245-5954		
28	電波法102条の3	●該当 敷地の一部が伝搬障害防止区域内に当り、地表からの高さが31mを超える	関東総合通信局、 社団法人電波産業会	同左	伝搬障害防止区域内において次に掲げる建築物等を建築しようとする建築主は、工事着工前にその敷地の位置、高さ、高層部分(地表からの高さが31メートルを超える部分)の形状、構造及び主要材料などを「高層建築物等予定工事届」により届け出る必要あり 基本設計段階においては「伝搬障害可能性判定依頼書」の提出により、新設庁舎建物による通信障害の可能性は無いとの通知を受領済み。但し、タワークレーン等による施工に際して無線通信の障害となる恐れがある為、仮設計画を行う段階でNHK及びNTTとの調整が必要。
29	航空法第51条、第51条の2 (航空障害灯)	○非該当 高さが60mを超える場合	東京航空局保安部 航空灯火・電気技術課		高さが60mを超える場合に航空障害灯の設置が義務付け
30	鉄道近接工事協議	○非該当	千葉都市モノレール株式会社 技術部施設課 043-287-8212		モノレール高架下部の道路上で工事を行う場合に協議が必要 連絡デッキ改修については市発注工事であれば協議は不要
31	大規模小売店舗立地法 第5条第1項又は第6条第2項 (大規模小売店舗立地法の手続き)	○非該当	千葉市経済農政局 経済部産業支援課		
32	建設工事にかかる資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法の届出)	●該当	千葉市都市局建築部 建築審査課 建築リサイクル班 043-245-5803	同左 工事着手7日前まで	建築物の解体80㎡以上、建築物の新築・増築500㎡以上となる為、届出必要
33	建設発生土管理基準	●該当 5,000m <sup>3</sup> 以上の建設発生土を搬出	千葉市建設局 土木部技術管理課 043-245-5367	同左	ポーリング調査等、事前チェックが必要
34	道路占有(水道・ガス・排水等、歩道橋、地下道) (道路法32条)	●該当	千葉市建設局 土木部土木管理課 043-245-5389	同左	占有時に必要な諸届出が必要

# 1 . 建 築 計 画

# (1) 計画概要

## 敷地概要

建設地 千葉県千葉市中央区千葉港1番1号  
 敷地面積 約 29,000㎡ (現本庁舎敷地 : 39,680.95㎡)

法定建ぺい率 90% (80% + 10%角地緩和)  
 法定容積率 400%

周辺道路現況幅員 千葉港黒砂台線 (南側) : 51.58m 千葉港5号線 (西側) : 20.50m

## 法的規制

区域指定 都市計画区域  
 用途地域 商業地域  
 高度地区 指定無し  
 日影規制 指定無し  
 防火指定 準防火地域

## 建物概要

主要用途	庁舎		
構造種別	鉄骨造 (基礎免震構造)	付属施設	合計(付属施設含む)
建築面積	6776.44㎡	建築面積	8681.05㎡
延床面積	49399.12㎡	延床面積	51285.03㎡
容積対象床面積	47488.84㎡	容積対象床面積	48158.29㎡
階数	地上 11階		容積率
高さ	約 53m		166.06%

## 付属施設概要

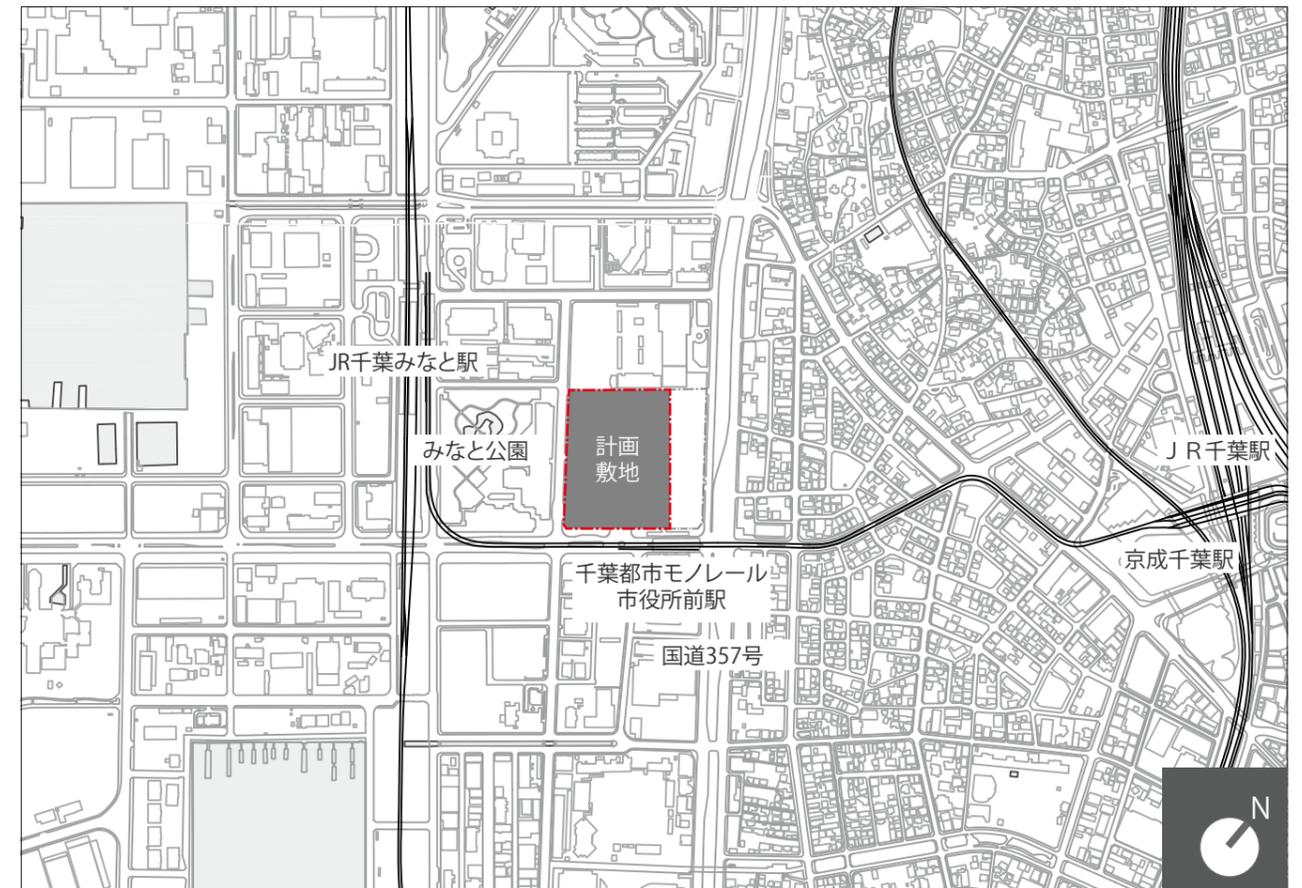
主要用途	モノレール 連絡通路	屋根付 身障者駐車場	倉庫・ 密閉型車庫	屋根付 公用車車庫	屋根付 駐輪場1	屋根付 駐車場1	屋根付 駐輪場2	屋根付 駐車場2
構造種別	鉄骨造	鉄骨造	鉄骨造	鉄骨造	鉄骨造	鉄骨造	鉄骨造	鉄骨造
建築面積	331.15㎡	259.00㎡	567.00㎡	390.00㎡	50.00㎡	20.00㎡	137.46㎡	150.00㎡
延床面積	312.45㎡	259.00㎡	567.00㎡	390.00㎡	50.00㎡	20.00㎡	137.46㎡	150.00㎡
容積対象床面積	312.45㎡	0㎡	357.00㎡	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡
階数	1階	1階	1階	1階	1階	1階	1階	1階
					自転車50台	バイク10台	自転車230台	バイク72台

## 駐車場概要

駐車台数 482台 (来庁者用駐車場 302台, 公用車用駐車場 180台)  
 駐輪台数 362台 (自転車駐輪場 50台 + 230台, バイク駐車場 10台 + 72台)



敷地南側より

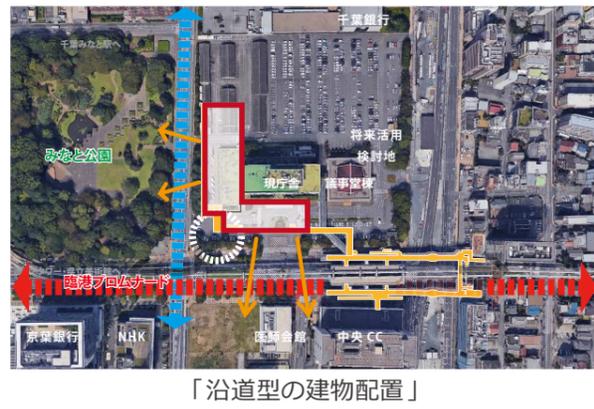
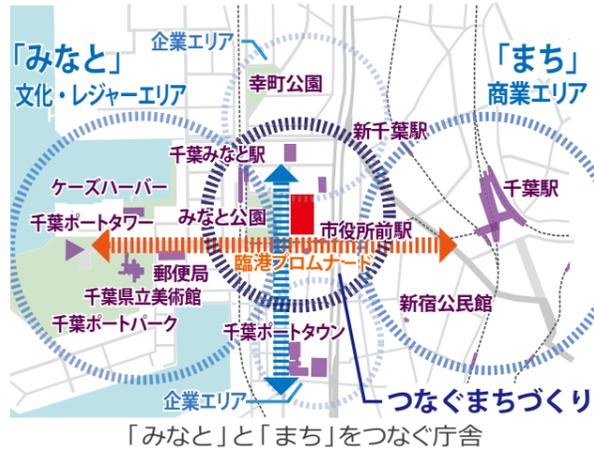


scale 1:10000 案内図

(2) 配置計画

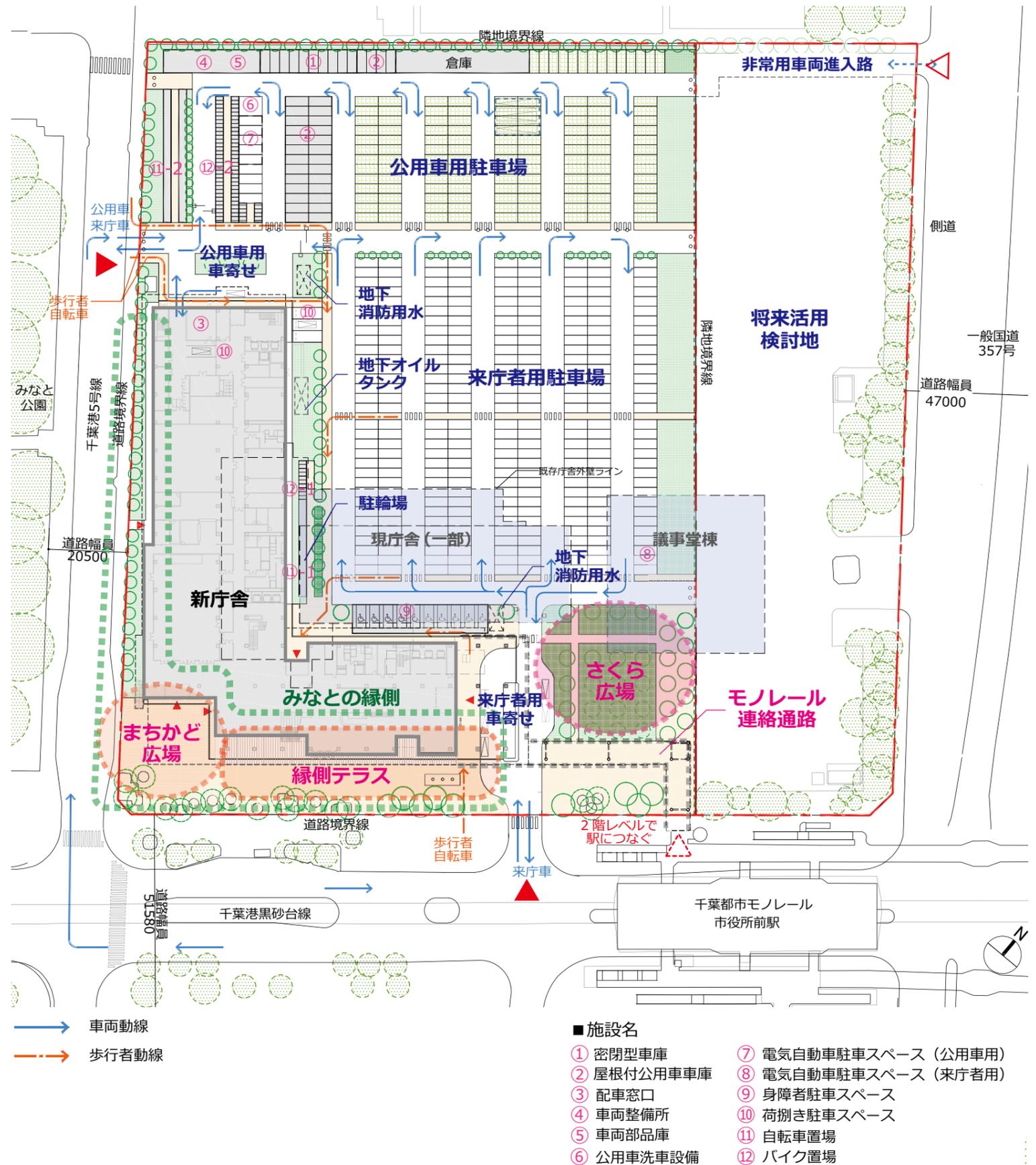
□まちづくりに寄与する  
「沿道型の建物配置」

- ・新庁舎の建物配置は、来庁者の利便性を高めるため、臨港プロムナードとみなと公園に面する沿道型とし、モノレール駅との連絡や周辺公共施設との連携など利便性を高めます。また、その配置特性を生かし、低層棟に市議会や市民センター、食堂・カフェなど市民利用が多い機能を配置することで、千葉駅周辺と千葉みなと地区を結び結節点として、周辺エリアのまちづくりに寄与する計画とします。
- ・建物へのアプローチは、2階レベルでモノレール連絡通路と接続するなど、多様な来庁手段に応じ、適切な箇所に出入口を設けます。また、2階連絡通路とこれに接続する建物周囲のデッキは、千葉駅方面及び千葉みなと方面をつなぐ歩行インフラとして、開庁時のみならず閉庁時にも開放し、エリアの回遊性を高めます。
- ・建物に近接する箇所に、駐車場及び自転車駐車場を設置します。



□シティホールのフロントとしての「みなとの縁側」

- ・市民が集う公共施設のフロントゾーンとして、計画敷地の臨港プロムナード及びみなと公園に面した空間を、「みなとの縁側」と位置付けます。
- ・「みなとの縁側」には、海辺の歴史を継承し、「まち」と「みなと」をつなぐ開放的な空間として、「まちかど広場」と「縁側テラス」を設けます。2つの空間は、食堂やカフェ、イベントスペース等と隣接し、イベント開催時には観覧スペースや溜りの場として機能するなど、建物内の活動と一体的に活用します。
- ・将来活用検討地との間に、「さくら広場」を設置し、将来的な土地利用に関わらず、「みなとの縁側」とつながる開放的な公共空間として構成します。
- ・「縁側テラス」の壁面緑化や「さくら広場」は、市民が憩うことができる緑化空間として、臨港プロムナード沿いの街路樹やみなと公園の緑と調和したまち並みを形成します。



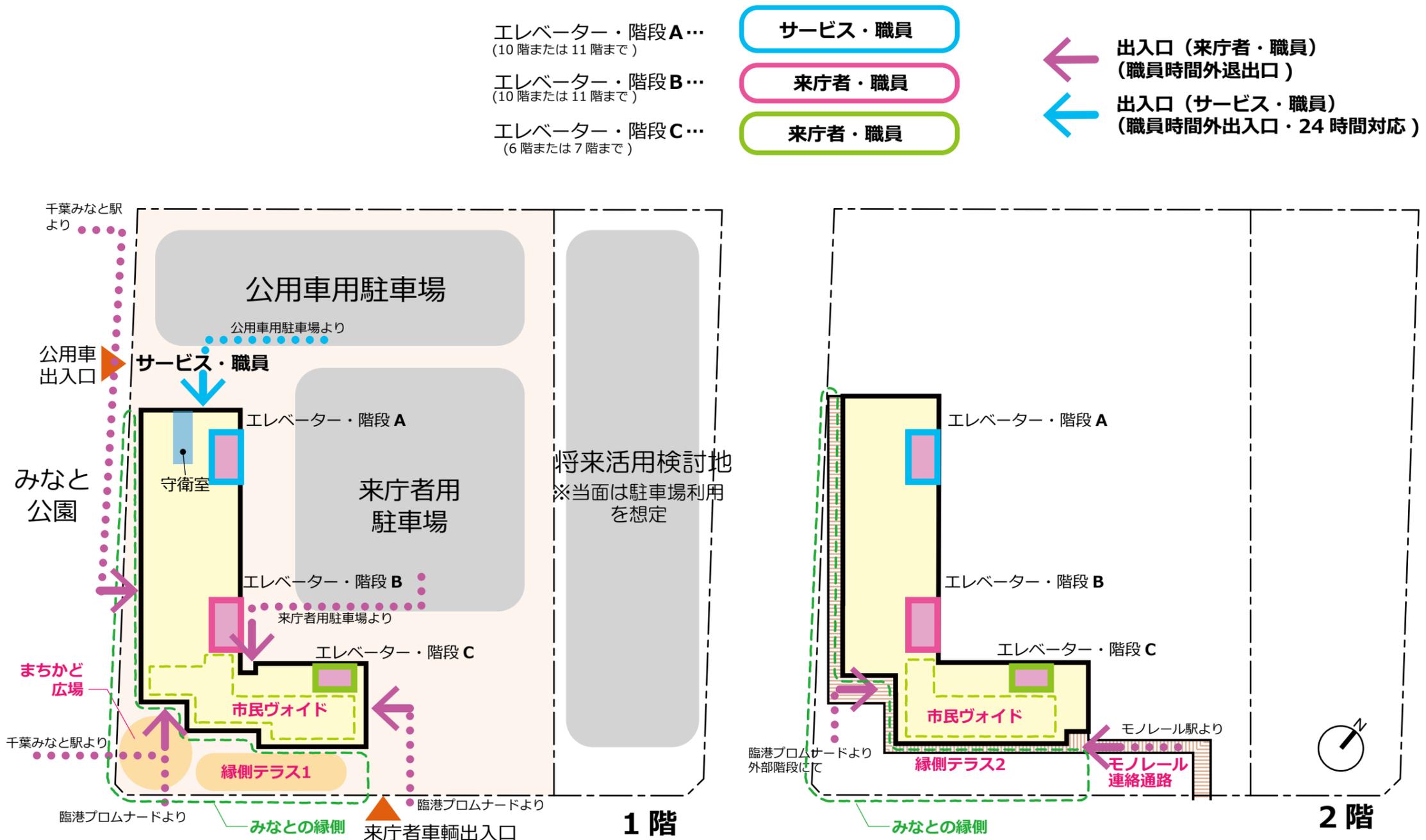
### (3) 動線計画

#### □アクセスやすく、まちづくりへ寄与する外部動線計画

- ・来庁者用駐車場やモノレール駅、千葉みなと駅、臨港プロムナードから、それぞれアクセスしやすいように、出入口を設置します。
- ・各出入口までの1・2階の外部動線を階段・外部デッキを結び、人が集まる「まちかど広場」や「縁側テラス」と連携させます。
- ・公用車用駐車場、荷捌き駐車場に近接した位置に、サービス・職員用の出入口を設けます。

#### □わかりやすく、安全性の高い庁内動線計画

- ・来庁者が利用するエレベーターは、1・2階では市民ヴォイドに面して設置し、各出入口から視認しやすい位置に設置します。
- ・各エレベーター・階段は建物の端部に配置し、2方向に避難が可能な計画とします。
- ・エレベーター・階段Aは通常時は職員用とし、セキュリティに配慮した計画とします。



## (4) 施設のフロア構成

### □来庁者の利用しやすいフロア構成

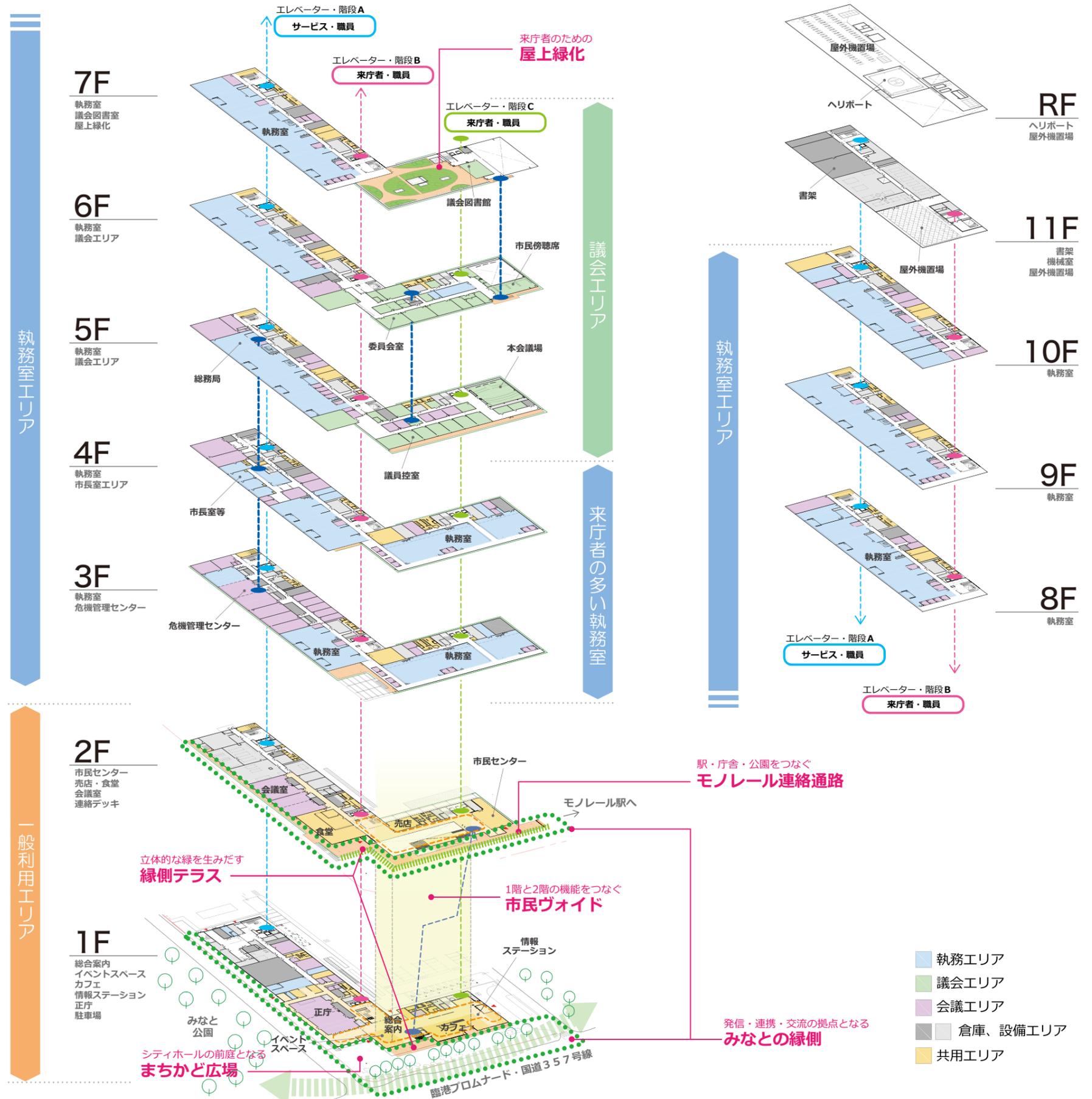
- ・来庁者の多い執務室、市民センター、議会エリアを、モノレール駅・来庁者用駐車場からアクセスしやすい臨港プロムナード側の低層棟に配置し、政令指定都市の本庁機能をみなと公園側の高層棟に配置します。
- ・低層棟では、1・2階での多方向からのアクセスを受け止め、庁舎の玄関となる2層吹抜けの「市民ヴォイド」に、イベントスペース、情報ステーション、カフェ、食堂を近接配置させることで、市政情報の発信、交流を促すフロア構成とします。
- ・本会議場は「市民に開かれた議会」を身近に感じられるように、国道357号線、千葉都市モノレール、臨港プロムナードなどから視認しやすい、低層棟の上部に配置します。
- ・執務室の窓口に近い位置に、縦動線となるエレベーター、階段を配置します。
- ・議会エリアの6階に本会議場傍聴席など市民利用部分を集約し、市民が利用しやすく、議会運営のしやすいフロア構成とします。
- ・低層棟の屋上緑化部分を市民利用可能とするとともに、6階の議会フロアにおける市民利用部分と屋外階段を結ぶことで、市民が立ち寄りやすい計画とします。

### □通常業務の遂行性に優れたフロア構成

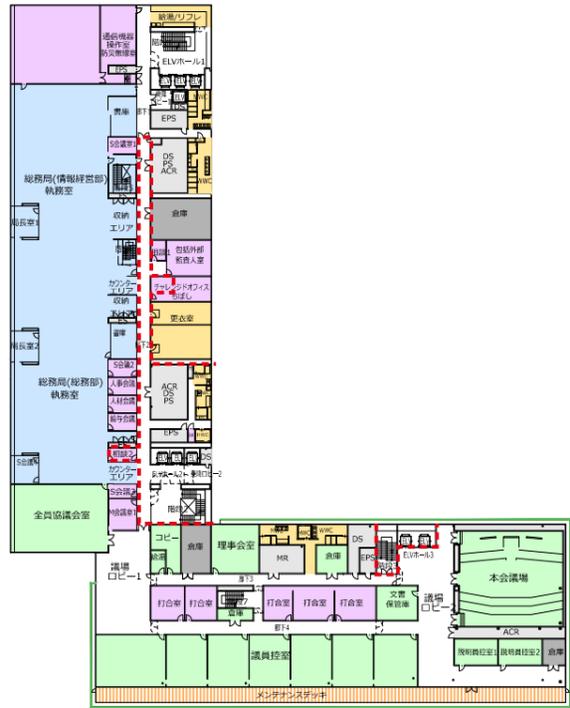
- ・原則として、1フロアに局単位で執務室を確保することで、効率的な業務が行えるフロア構成とします。
- ・来庁者の経路や、部門間の業務上の連携等の、近接関係が強い部署を近くに配置し、来庁者・職員共に利用しやすいフロア構成とします。
- ・セキュリティレベルに応じた諸室配置とすることで、安全性の高いフロア構成とします。
- ・高層棟の執務室フロアの中央部分には内部階段を設け、上下階の連携のしやすいフロア構成とします。

### □非常時に業務継続性の高いフロア構成

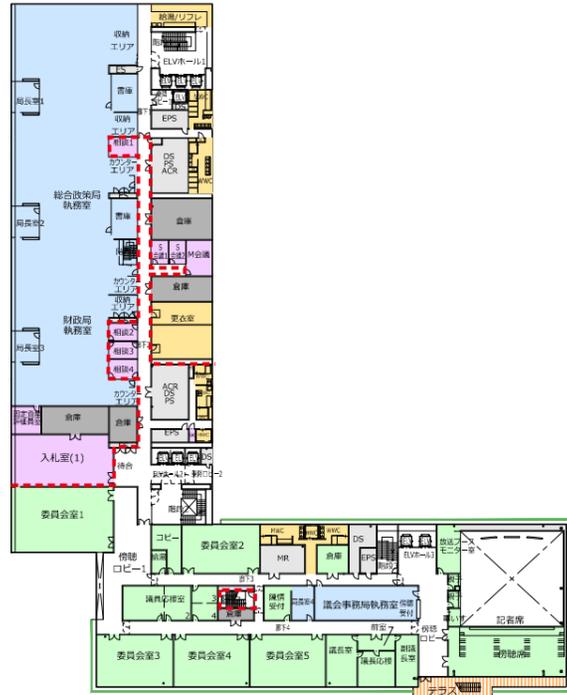
- ・非常時に災害対策の中心を担う危機管理センターを、浸水深以上のフロアであり、かつ地上階からアクセスしやすい3階に設置します。
- ・3～5階に配置される危機管理センター、市長室関連諸室、総務局には強い連携が求められることから、3層を直接結ぶ階段を配置し、迅速な連携が可能なフロア構成とします。



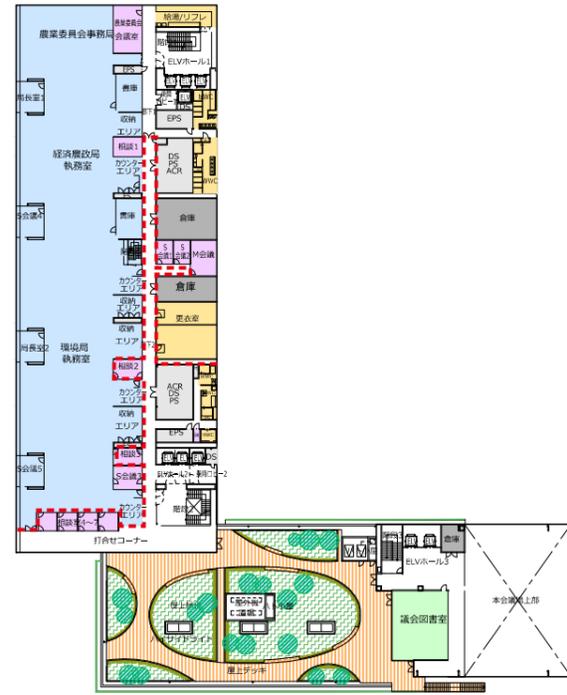
(5) 平面計画 (各階平面)



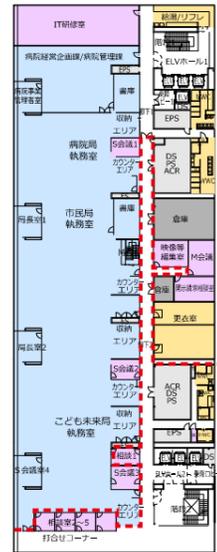
5階平面図



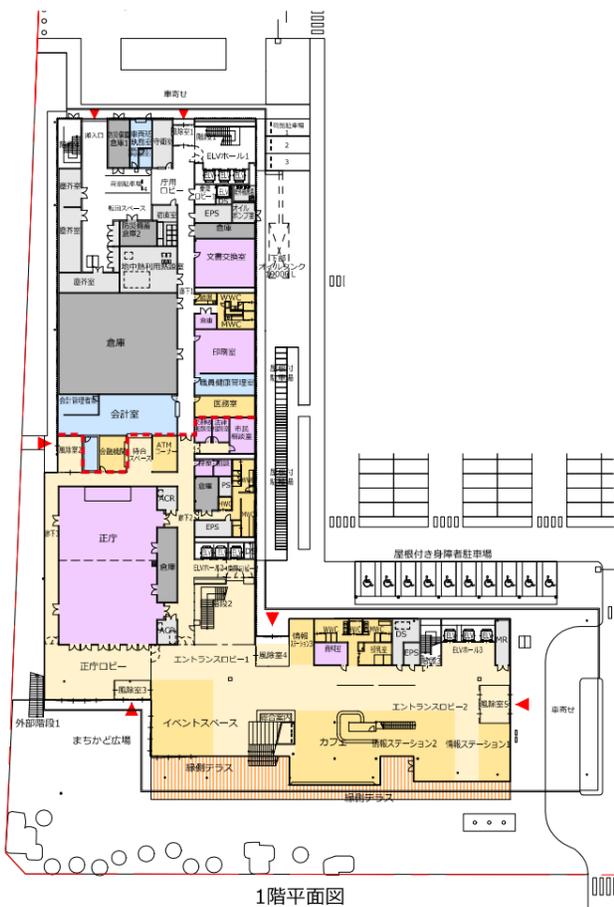
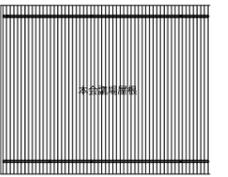
6階平面図



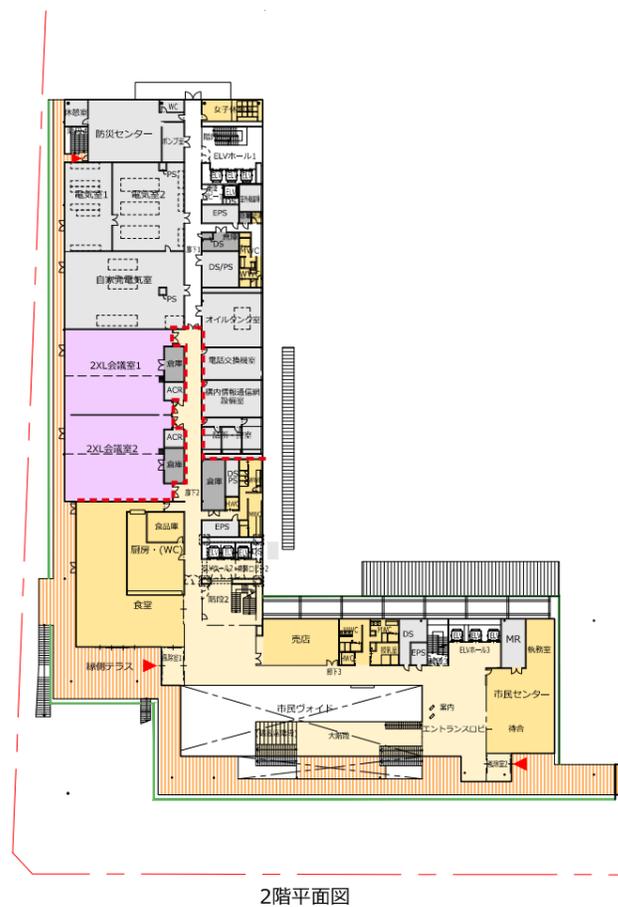
7階平面図



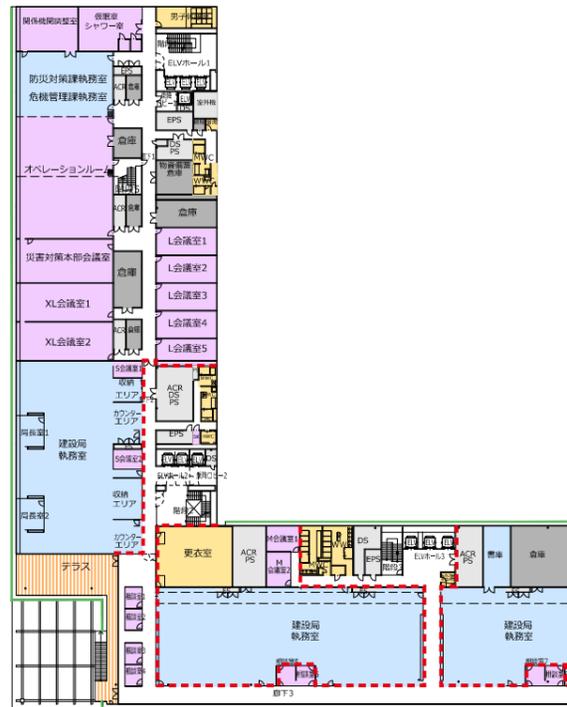
8階平面図



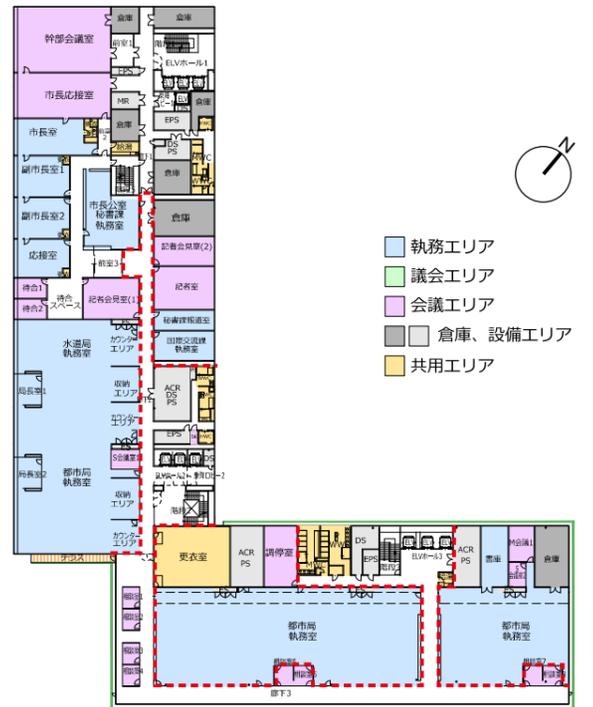
1階平面図



2階平面図



3階平面図



4階平面図

-----セキュリティライン

- 執務エリア
- 議会エリア
- 会議エリア
- 倉庫、設備エリア
- 共用エリア

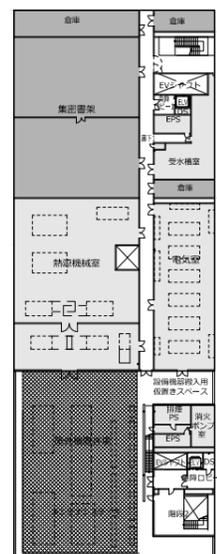




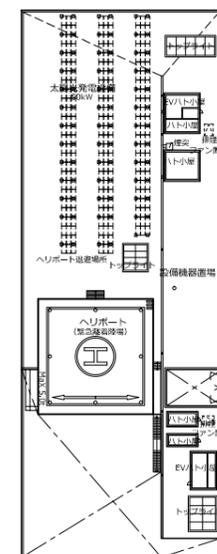
9階平面図



10階平面図



11階平面図



R階平面図

----- セキュリティライン

- 執務エリア
- 議会エリア
- 会議エリア
- 倉庫、設備エリア
- 共用エリア



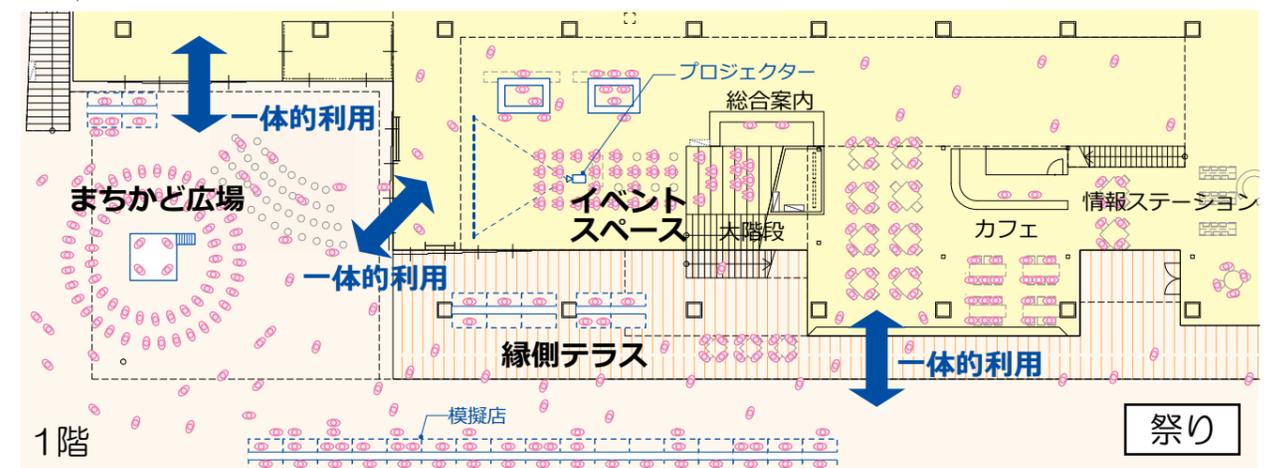
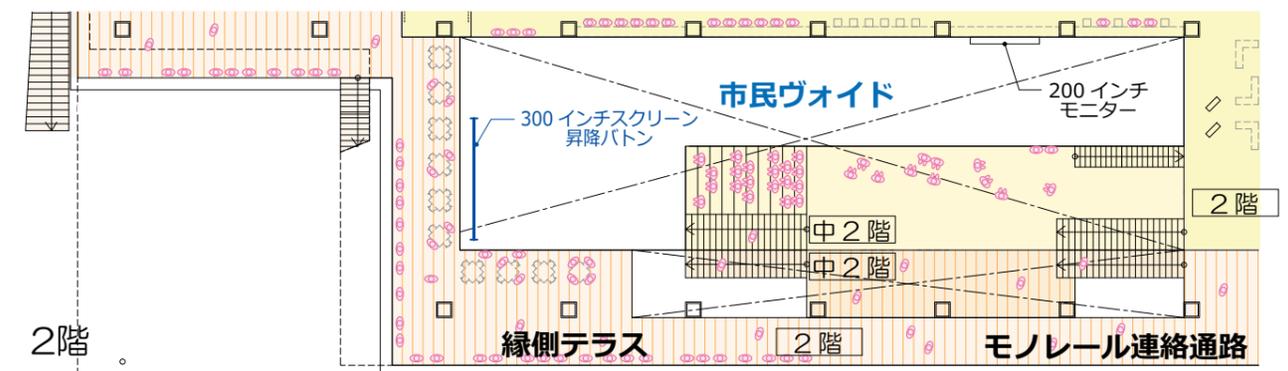
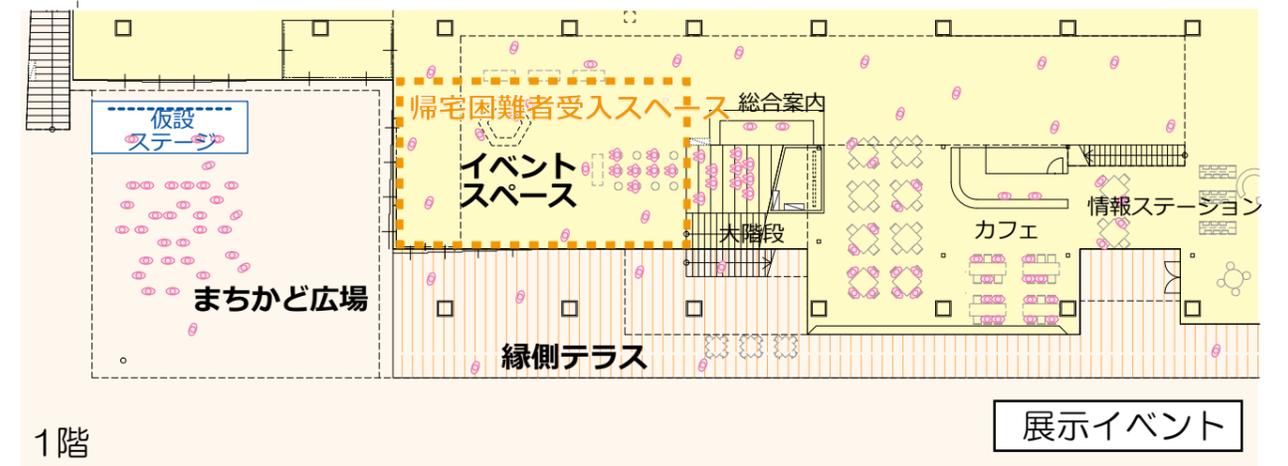
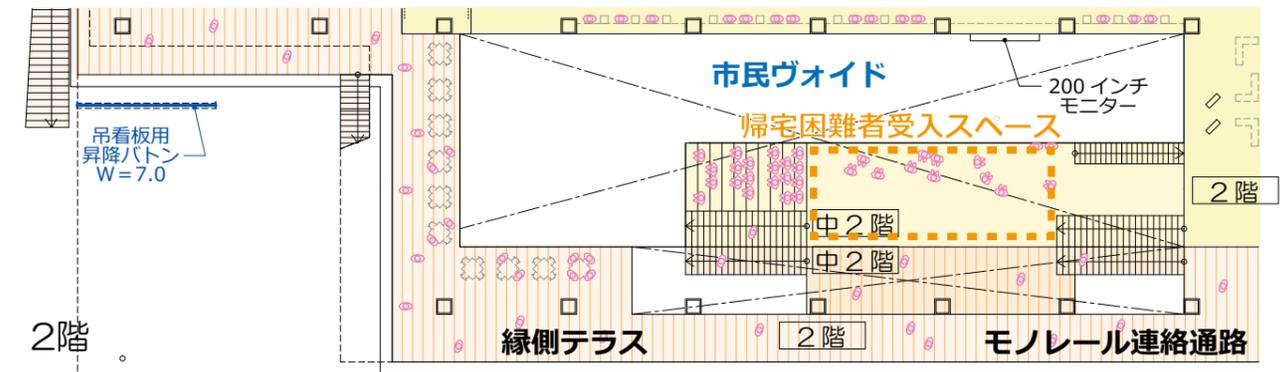
# (6) 市政の情報発信・情報提供が可能な市民に開かれたシティホール

## □市政情報の発信・提供や連携のコアとなる「市民ヴォイド」

- ・市民に開かれたシティホールの表玄関として、低層棟1・2階に、明るく開放的なロビーと大階段で構成される、吹抜け空間「市民ヴォイド」を整備します。
- ・市民ヴォイドには、情報ステーションやイベントスペース、カフェなどの機能を設置し、市政情報の発信・提供が可能な計画とします。また、視認性の高い全面ガラス張りの壁を採用するとともに、建物内外に設置する大階段は、1・2階の機能や「まちかど広場」及び「縁側テラス」との有機的な連携・交流を可能とします。
- ・市民ヴォイドは、市民に開かれた空間として、明確なセキュリティ設定などにより、閉庁時にも利用可能な空間とします。
- ・壁や天井には、木材を使用するなど、来庁者に憩いと安らぎを与える内装計画とします。

## □通常時から非常時へのシームレスな空間利用

- ・ロビーや情報ステーション、イベントスペース、食堂などの空間は、非常時には復旧活動や災害情報の発信、一時避難者の受け入れなどを行う場として、通常時のみならず非常時の利用にスムーズに移行できるよう、様々な運用が可能な空間とします。特に、本庁舎敷地周辺には、市民生活を支える企業や団体などが多く集積することから、通常時からこうした企業・団体等との連携に配慮した計画とします。





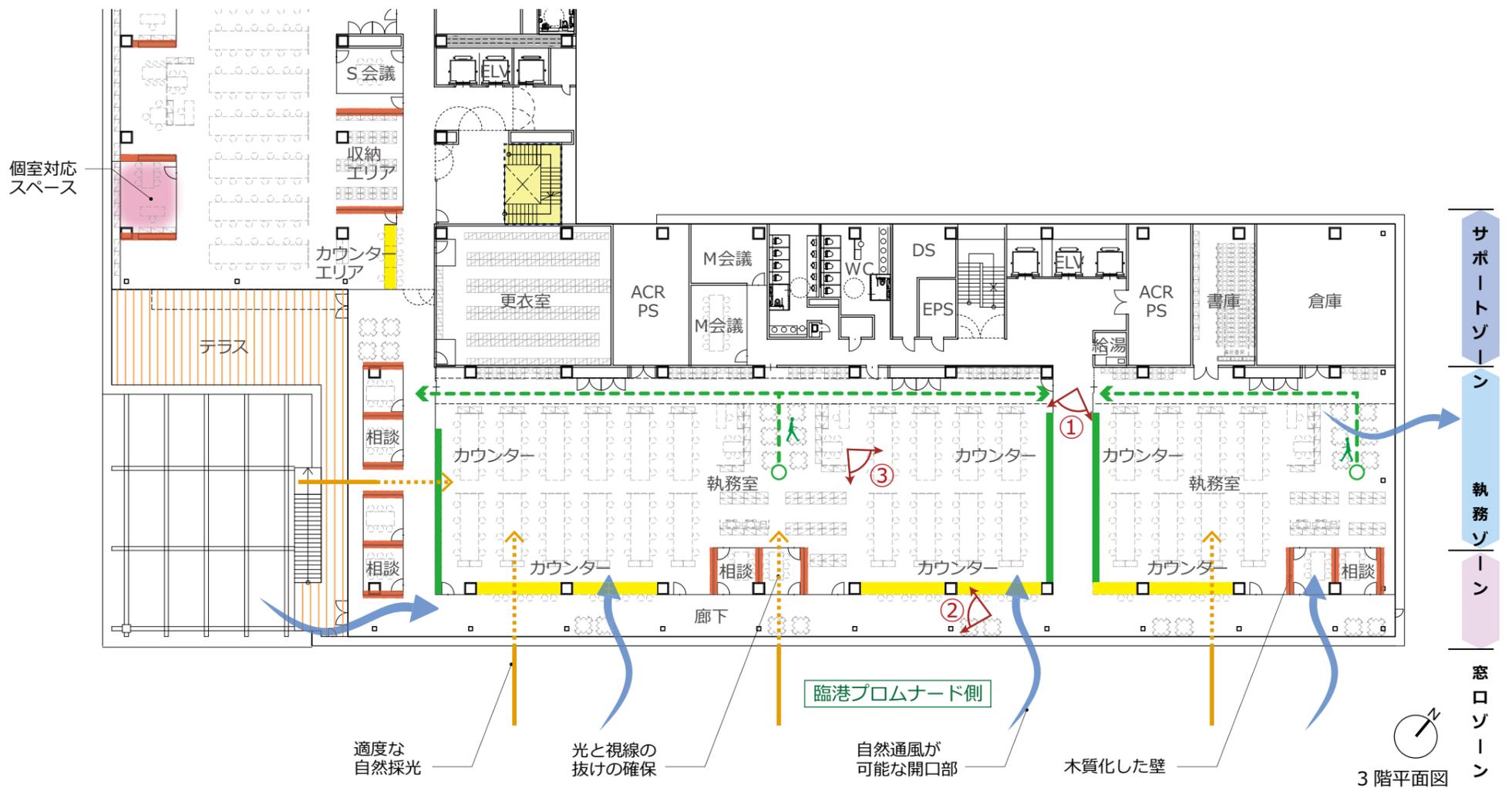
(7) 執務室計画

□臨港プロムナードに開かれた低層棟の執務空間

- ・来庁者の利用の多い部署が配置されている、3・4階の執務室は、窓口ゾーン、執務ゾーン、サポートゾーンの3ゾーン構成とします。
- ・臨港プロムナード側の窓際に、カウンターや相談室を配置した窓口ゾーンとすることで、明るく・視認性が高く、わかりやすい執務室とします。

【凡例】

- 階段室 (最上部に換気窓・トップライト設置)
- 局長等個室対応エリア (個別空調対応)
- ローカウンター
- 木質化した壁面
- 自然採光
- パースアングル
- ハイカウンター
- 自然通風
- 職員動線



①中央の来庁者動線



②明るく開かれた窓口カウンター



③来客が一目でわかる窓口カウンター



# (7) 執務室計画

## フレキシビリティが高く、分かりやすい執務エリア

### □可変性と利便性を高める高層棟の3ゾーン構成

- ・執務ゾーン :ユニバーサルレイアウトを基本とした執務室、打合せスペース等を設けたフレキシブルな無柱空間
- ・マルチゾーン :カウンターエリア、会議室、相談室等を設け、廊下に対して多様な用途が連続して配置された空間とし、運用に合わせて間仕切壁等の増設や移動が可能
- ・サポートゾーン :主に階段・エレベータの縦動線、WC、更衣室、機械室等を設けた運営を支えるバックヤード

### □個室対応がしやすく、快適性の高い執務空間

- ・執務ゾーンには、ユニット化した個室を作りやすい個室対応スペースを設けます。個室対応スペースには空調機を設け、個別空調が可能な計画とします。

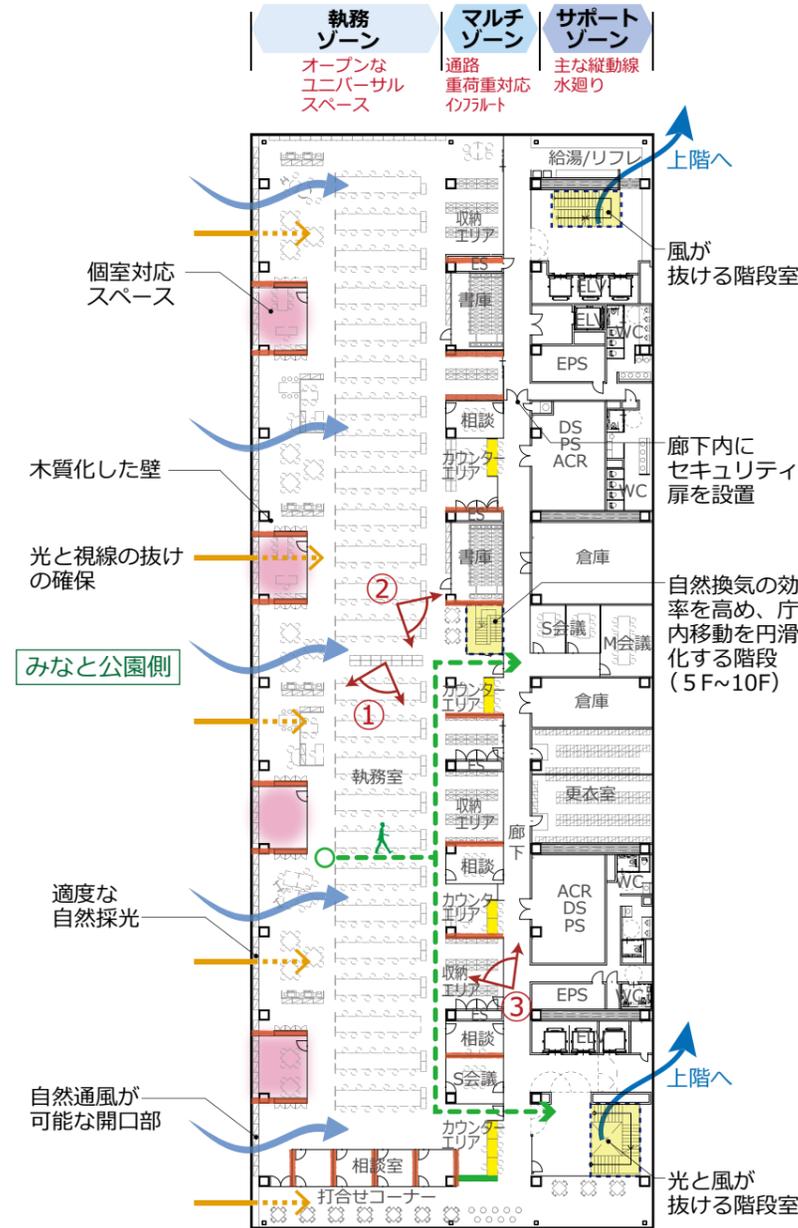
## パッシブで環境にやさしい庁舎

### □効率的な自然通風

- ・基準階平面上に階段をバランスよく3カ所配置し、階段室の最上部に自然換気窓を設け、階段室をエコヴォイドとし、温度差換気による自然通風を促進します。  
(中央に設けた階段室で庁内移動の円滑化を図ります。)
- ・執務ゾーンの開口部は片引き窓を基本とし、職員が容易に換気が可能な計画とします。また通風ダクトを設け、ナイトパージ(夜間換気)を可能とします。

### □日射を遮蔽し、明るさを取り入れる窓形状

- ・みなと公園側の開口部は外壁面から奥まった形状とすることで、夏場の日射を遮蔽しながら明るい天空光を取込みます。
- ・窓の外側に日射遮蔽フィンを設け、西日による熱負荷を軽減します。



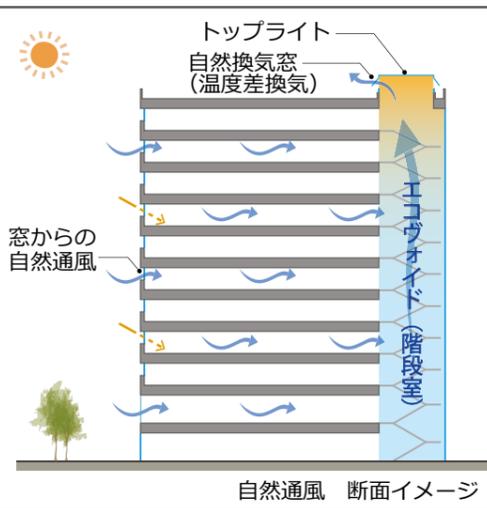
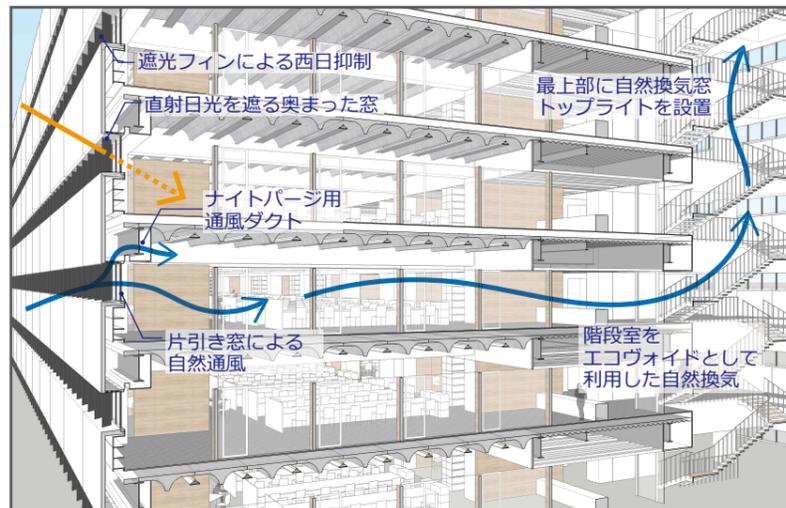
①執務室ゾーンにバランスよく配置する個室対応スペース



②ガラスパーティションにより開放性を高めたマルチゾーン



③壁面を木質化した廊下



- 【凡例】
- 階段室 (最上部に換気窓・トップライト設置)
  - 局長等個室対応エリア (個別空調対応)
  - ローカウンター
  - 木質化した壁面
  - 自然採光
  - パースアングル
  - ハイカウンター
  - 自然通風
  - 職員動線

執務ゾーン

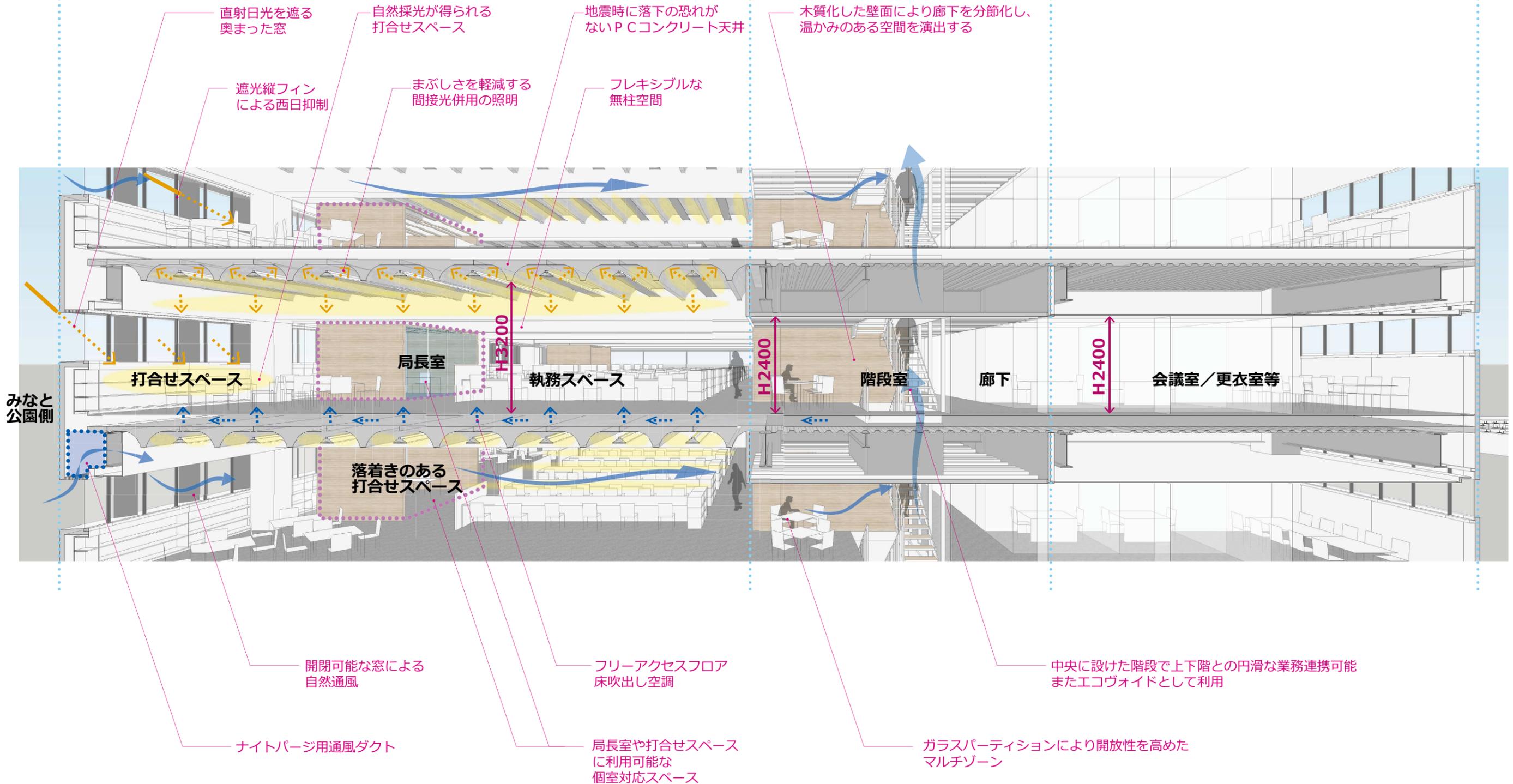
ユニバーサルレイアウトを基本とした執務室、打合せスペース等に加え、局長室等の個室対応エリアを設けたフレキシブルな無柱空間

マルチゾーン

窓口、会議室、相談室等を設け、廊下に対して多様な用途が連続して配置された空間とし、運用に合わせて間仕切壁等の増設や移動が可能

サポートゾーン

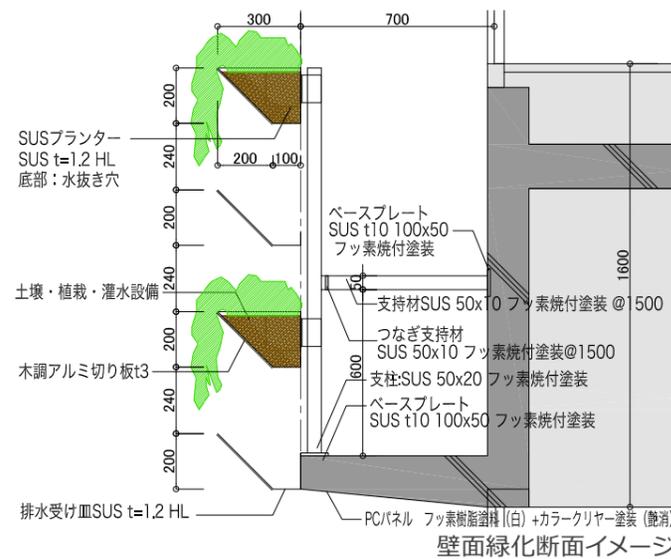
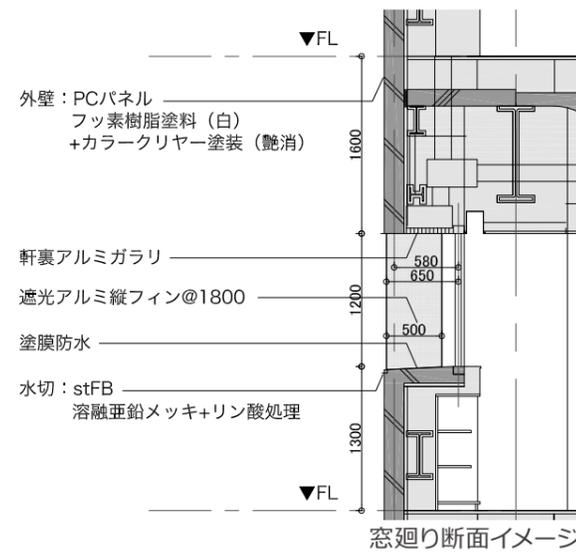
主に階段・エレベーターの縦動線、WC、更衣室、機械室等を設けた運営を支えるバックヤード



# (8) 外装計画

## □外装計画

- ・高層棟は、製作がしやすく施工効率が良いPCパネル外壁と、日射遮蔽に有効なフィン付の奥深い窓により、シンプルで機能的な外観とします。
- ・来庁者の多い低層棟は、内部・外部とも見通しの良い外観とします。
- ・低層棟の最上部には、市民に開かれた庁舎の象徴となる本会議場・屋上庭園を設けます。
- ・街路沿いに緑が連続する立地環境を意識し、建物側に壁面緑化を行うことで、周辺部からも緑が楽しめる外観とします。
- ・来庁者用駐車場側は、出入口や縦動線が外部から見える外観とし、来庁者に目的地が分かりやすくします。
- ・1、2階と低層棟の外壁や軒天井は木質、木調の仕上げ材を採用し、温かみのある外観とします。



①みなと公園側



②臨港プロムナード側



③駐車場側

## (9) 内装計画

### □ぬくもりがあり、維持管理しやすい内装

- ・内装材は耐久性・更新性があり、維持管理しやすい材料を選定します。
- ・天井は地震時の落下予防のため、極力設置しない計画とします。
- ・将来のレイアウト変更の予想される部分には、可動間仕切り等を使用します。
- ・使用材料はシックハウス対策に配慮した材料を選定します。
- ・執務室と廊下間の間仕切りは、セキュリティーを保ちながら、視認性・開放性を確保できる、ガラスパーティションを採用します。
- ・1、2階は、天井・壁への天然木の採用により、自然素材のぬくもりに包まれた親しみやすく、居心地の良い空間とします。また、市民ヴォイドと連続する屋外のデッキ部分の天井にも同じデザインの天然木を採用し、一体感のあるデザインとします。
- ・本会議場は、重要な議案審議及び採決を行うにふさわしい格式を備えた、明るく落ち着いた空間とします。

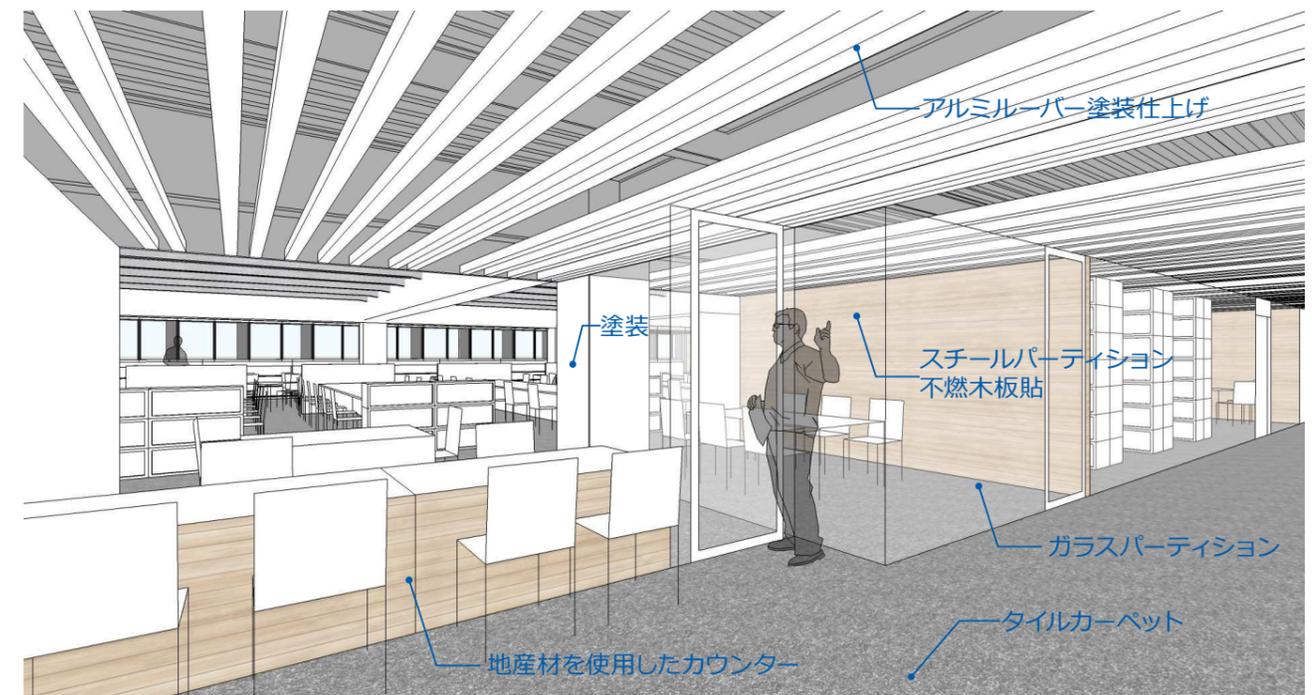
### □1・2階（市民ヴォイド）



### □執務ゾーン

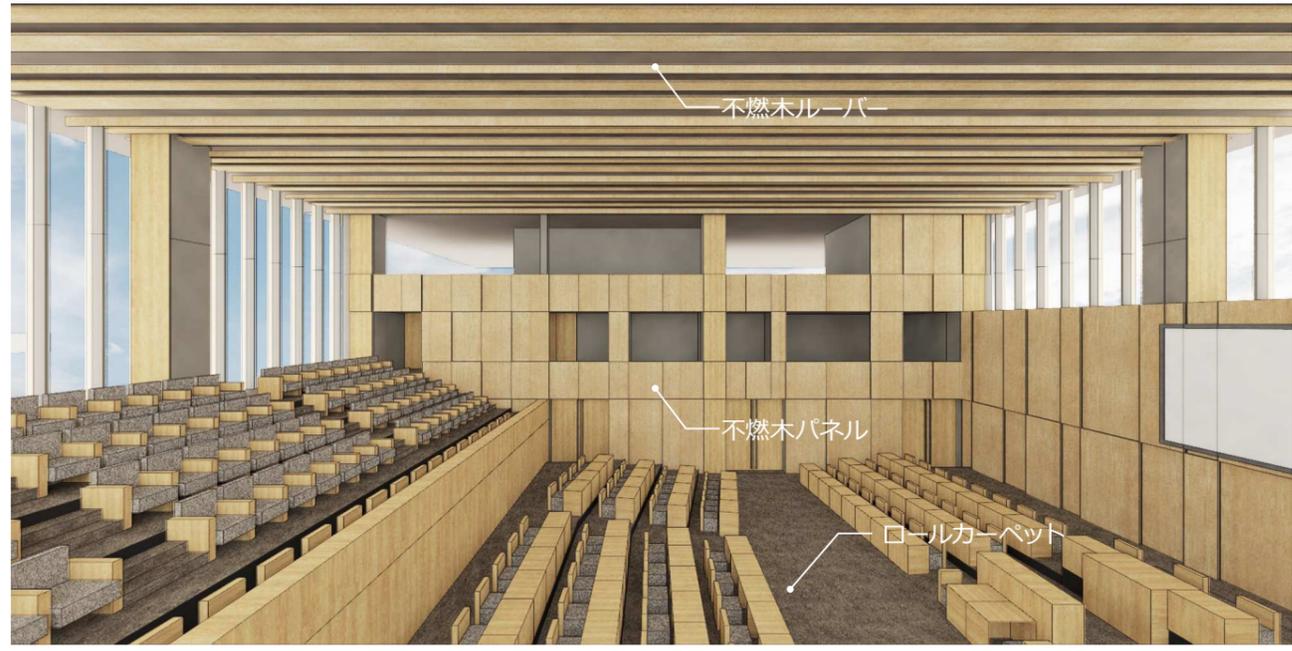


### □マルチゾーン



(9) 内装計画

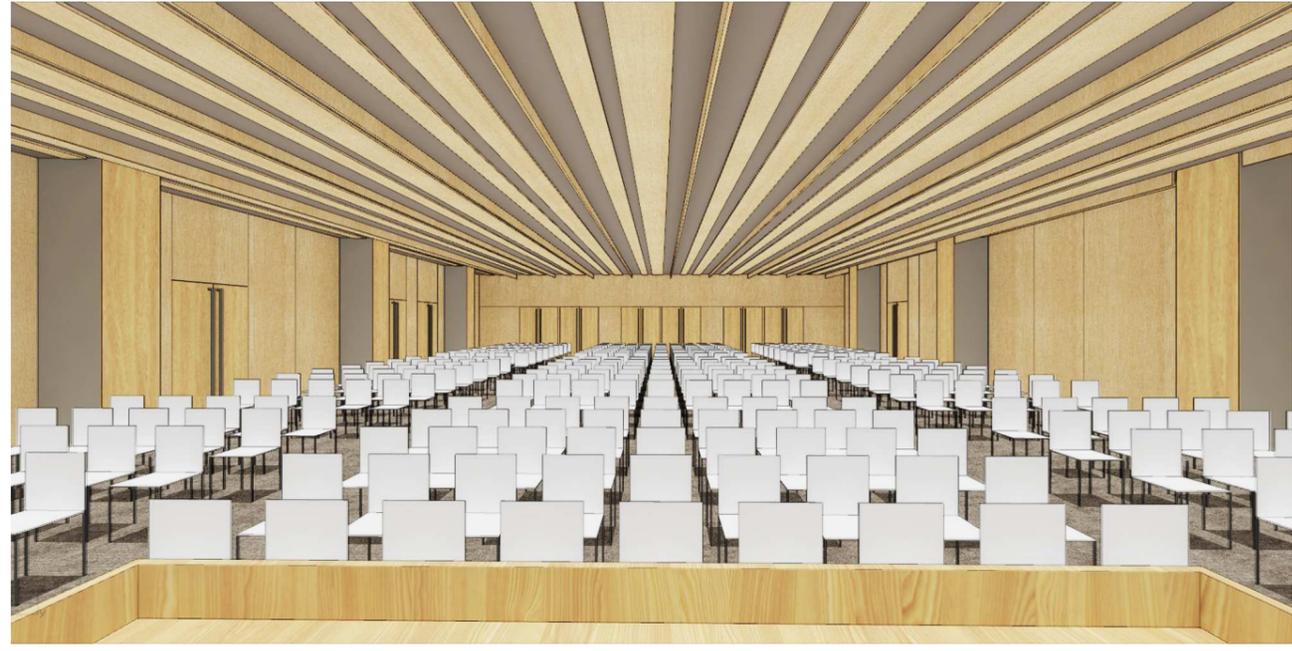
□本会議場



□市長室



□正庁



□議長室

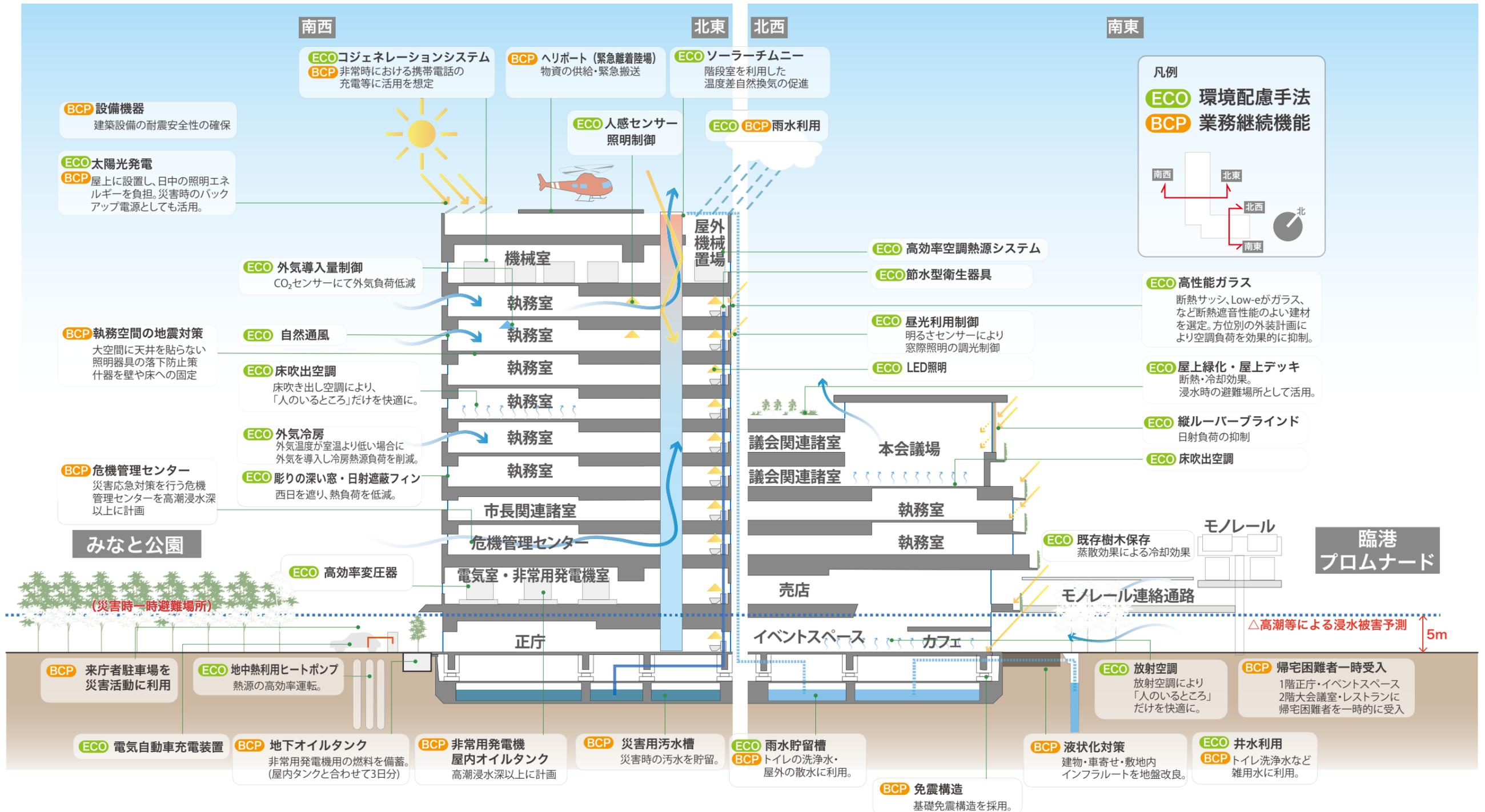


□非常時の業務継続性に配慮した庁舎

- ・基礎免震構造の採用により家具等の転倒を防止し、執務室の無天井化・床吹き出し空調の採用により落下物による2次災害を防止し、災害直後から業務継続が可能な計画とします。
- ・水害等のリスク低減のため、主要設備機械室は2階以上に配置し、建物の機能維持が継続できる計画とします。
- ・非常用発電設備、雨水貯留槽・井水利用、災害用汚水槽により、電気・ガス、上下水道が途絶した場合も、災害対応等の業務維持が可能な庁舎とします。

□省エネルギーと環境に配慮した庁舎

- ・千葉市建築物環境配慮制度の方針に基づき、持続可能な社会の構築及び地球環境の保全に寄与する計画とします。
- ・環境配慮手法の選択については、ライフサイクルコストでの対費用効果を考慮し採用します。
- ・地中熱、風、太陽光などの自然エネルギーを活用した環境負荷の低減や、LED照明・高効率設備の採用により省エネルギー化を行います。
- ・免震構造の採用、耐久性の高い建材・機器の採用や更新性・維持管理の配慮した計画により、建物の長寿命化しライフサイクルコストの低減を図ります。

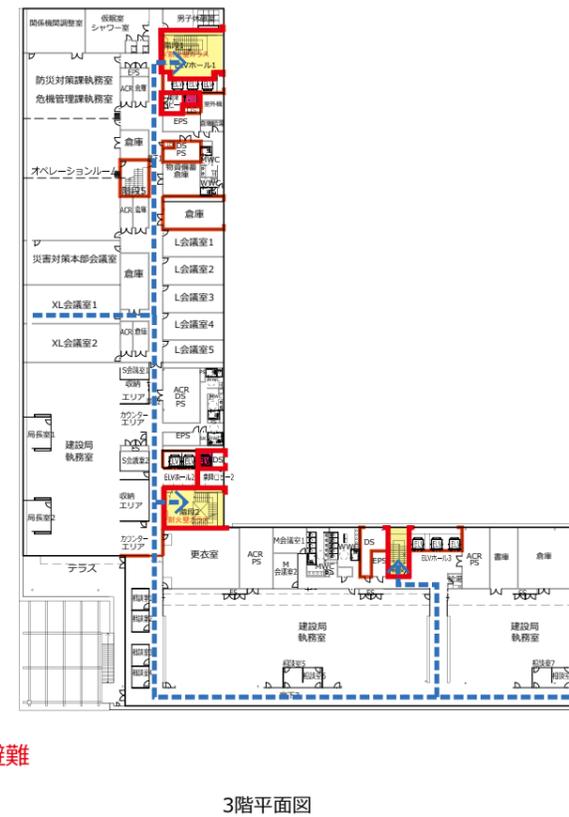
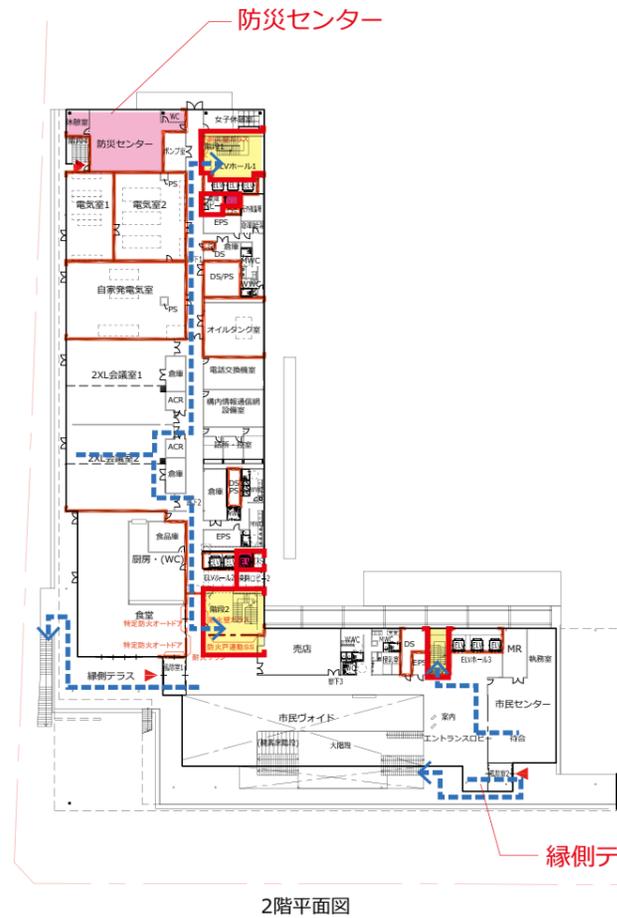
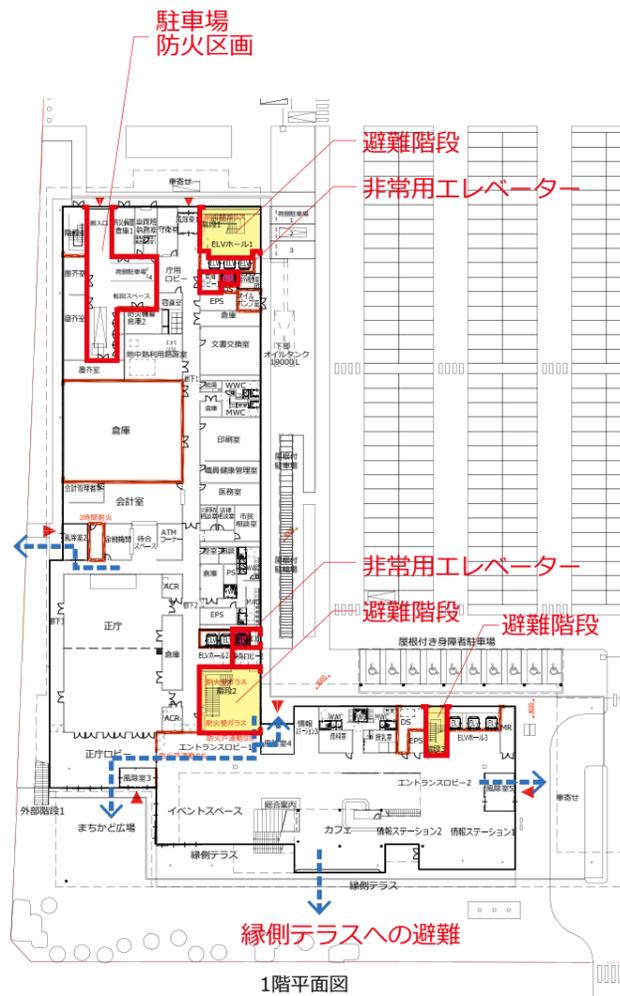


□避難計画

- ・非常時の館内避難は、通常利用している階段を避難動線にすることで、わかり易く安全な計画とします。
- ・各階避難の動線は、二方向に避難できる動線計画とします。
- ・来庁者の多い1,2階では縁側テラスに直接避難できる計画とします。
- ・視覚障害者、聴覚障害者にも配慮した避難計画とします。

□消火計画

- ・建物内にはスプリンクラー設備を設置し、初期消火が可能な計画とします。
- ・建物内に非常用エレベーターを2基設置し、高層棟での消火活動及び救出活動が円滑に行える計画とします。
- ・屋上にはヘリコプターの緊急離着陸場を設置し、ヘリコプターによる安全な消防活動が可能な計画とします。
- ・消火活動に中心的な役割を果たす防災センターは、外部からアクセスしやすく水害等のリスクの少ない2階に設置します。



---> 避難経路  
 □□ 防火区画

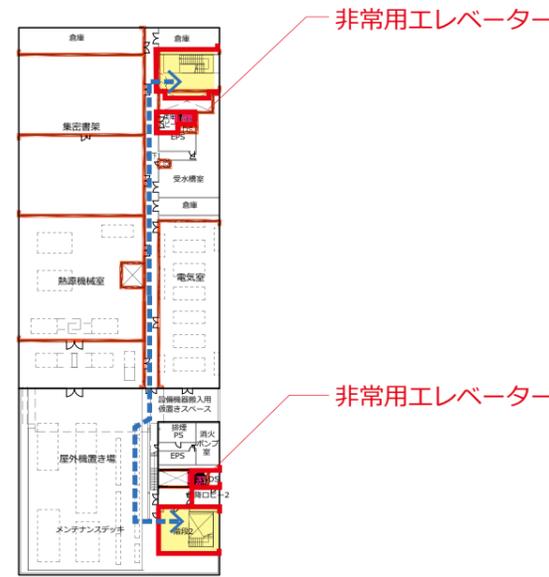




9階平面図



10階平面図



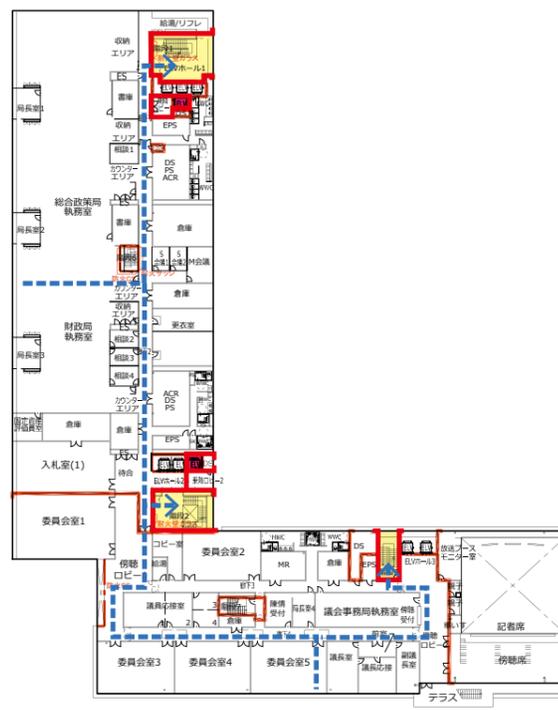
11階平面図



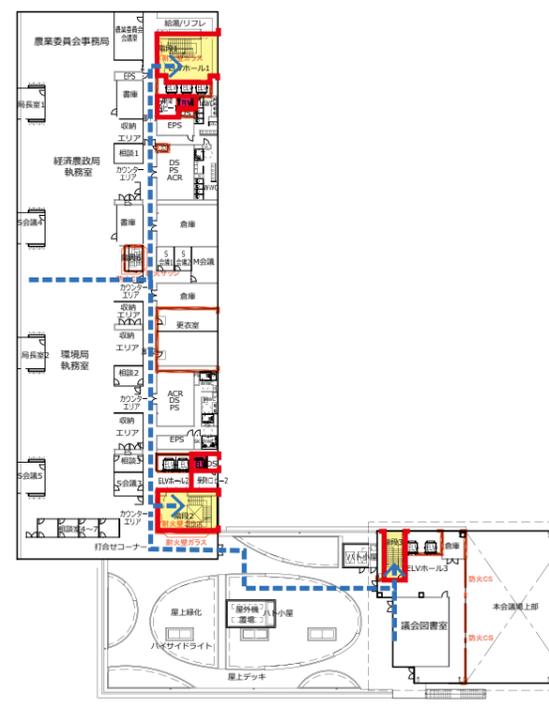
R階平面図



5階平面図



6階平面図



7階平面図



8階平面図

---> 避難経路  
□ 防火区画



## (12) ユニバーサル計画

### □だれでも安全で利用しやすい庁舎

- ・利用者の年齢、障がいの有無、性別、国籍にかかわらず、安全に利用できるユニバーサルデザインの庁舎とします。  
「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」の誘導的基準、及び「千葉県福祉のまちづくり条例」に準拠し整備すると共に、LGBTへの配慮のある計画とします。

### □通路・階段・出入口

- ・敷地内の通路は幅1.8m以上確保します。
- ・廊下は段差が無く、幅1.8m以上、または幅1.4m以上で50mおきに車いす転回スペースを確保します。
- ・出入口は幅90cm以上とし、建物出入口のうち一つは120cm以上の自動扉とします。
- ・階段、傾斜路には両側に手すりを設置し、上端に注意喚起ブロックを設置します。
- ・階段は幅1.4m以上、けあげ16cm以下、踏面30cm以上とします。
- ・傾斜路は幅1.5m以上、勾配は屋内は1/12以下、屋外は1/15以下とします。

### □視覚障害者、聴覚障害者の方への配慮

- ・災害時に異常を知らせるため、トイレにフラッシュライトを設置し、点滅型誘導灯により避難経路を案内します。
- ・道から総合案内までの主な経路には誘導ブロックおよび音声誘導装置を設置します。
- ・2階案内にインターフォンと触知板を設置します。

### □トイレ

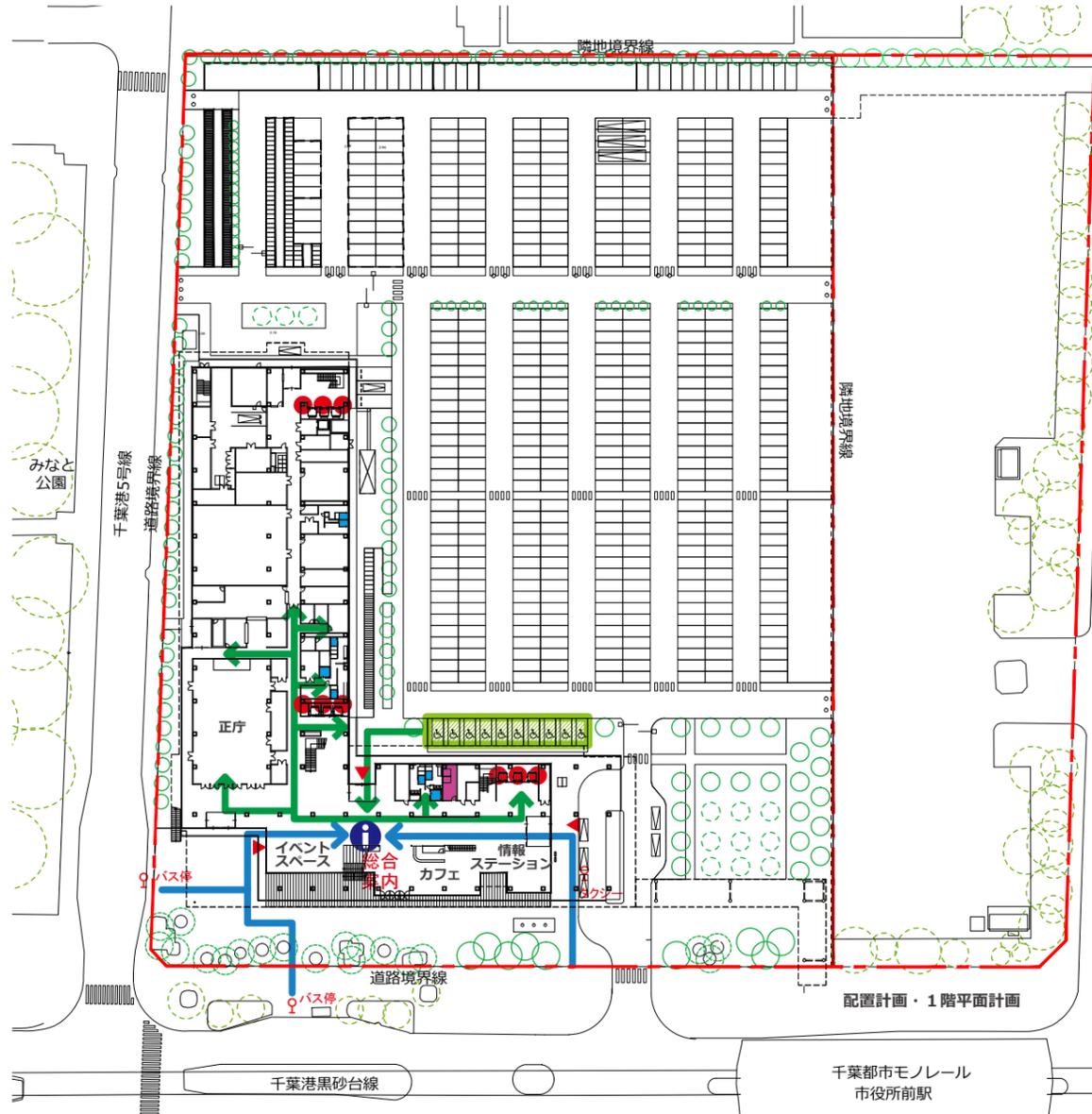
- ・各階に多目的トイレを設置し(各階2%以上)、オストメイト(各階1つ以上)、幼児用ベット、簡易ベット、非常用呼出、着替え台を適宜備付けます。出入口幅は80cm以上とします。
- ・各トイレにベビーチェア、手すり、受口の高さに配慮した小便器や手洗いを設置します。
- ・LGBTの利用者に配慮し、男女トイレ内に車いす対応の大型ブースを設置し、LGBTの利用者が多目的トイレを気兼ねなく利用できる計画とします。
- ・現状の利用男女比、及び将来的に職員の男女比率が同率になった場合も、衛生器具が不足なく利用できる計画とします。

### □車椅子使用者への配慮

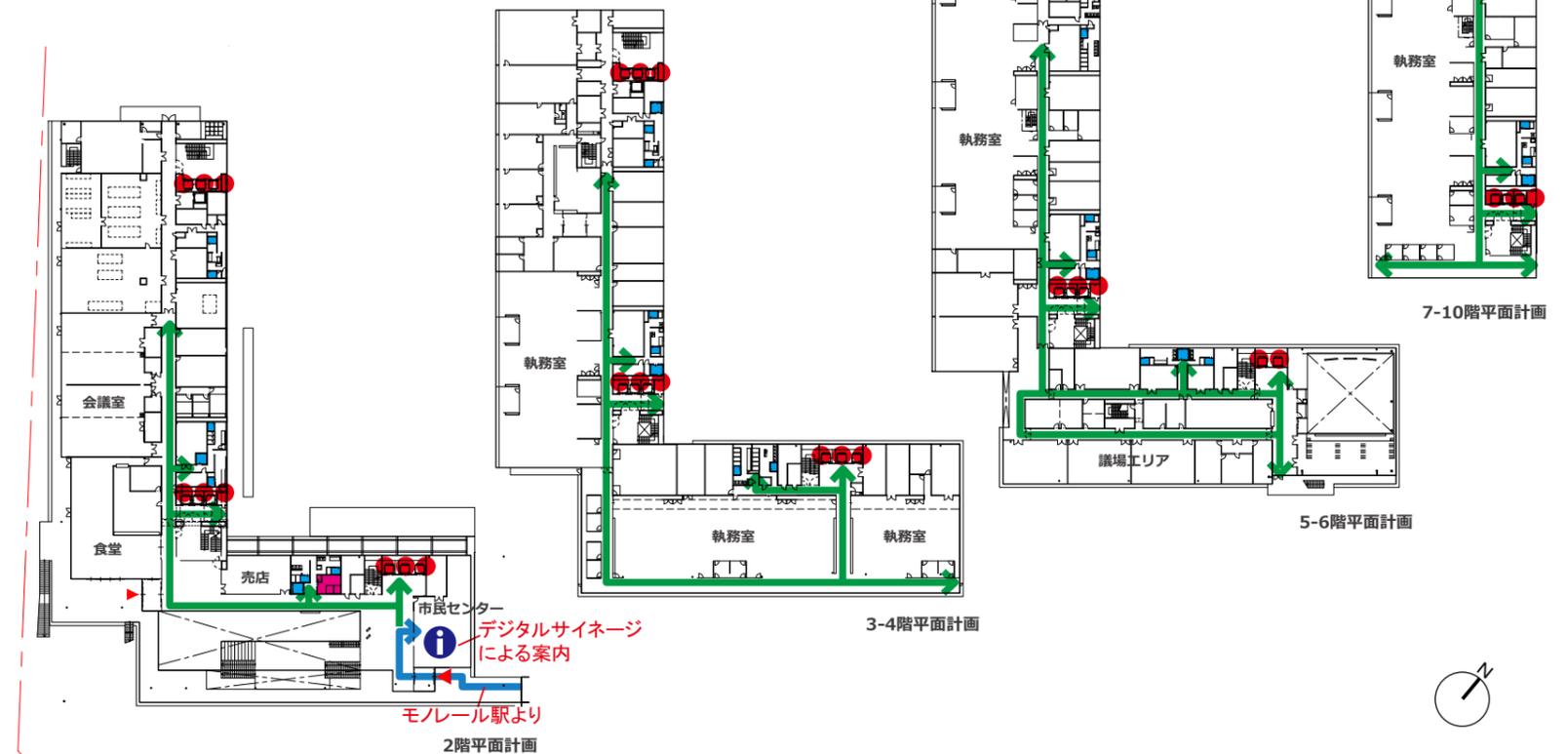
- ・来庁者の出入口の直近に、身障者駐車場を設置し(全体台数の2%以上)、雨掛かりなく利用できるように庇等を設けます。
- ・エレベータはかご内法W1.4m×D1.35m、出入口幅80cm以上、ホールは150cm四方(内1つはW1.6×D1.35m、出入口幅90cm以上、ホールは180cm四方)とします。
- ・本会議場には車いすで利用できる傍聴スペースを設けます。
- ・窓口カウンター、公衆電話等はローカウンターを併設します。

### □お子さま連れの方への配慮

- ・授乳室を1、2階に設置します。
- ・本会議場にはお子さま連れの方が気兼ねなく傍聴できるスペースを設けます。



- 【凡例】
- 移動円滑化経路
  - 視覚障害者移動円滑化経路
  - エレベーター (利用者の用に供する)
  - 多目的トイレ
  - 授乳室
  - 身障者駐車場





# (14) サイン計画

## わかりやすさと情報発信機能、更新性を併せ持つサイン計画

### □誰にでもわかりやすい、ユニバーサルデザイン

- ・庁舎全体のサインの形状、記号、書体、色彩などのデザインを統一し、来庁者が認知しやすく目的の場所に誘導されやすいデザインとします。
- ・周辺案内、敷地内案内、建物案内、各課案内へと、案内内容を面から点へ階層的に構成し、来庁者を円滑に誘導するサインシステムとします。
- ・サインに表記される言語は、日本語以外に3カ国語（英語、中国語、韓国語）の多言語化への対応と共に、直感的にわかりやすいピクトグラム（絵文字）の併用により国際化に対応した表示を行います。
- ・色覚障害者等に配慮し、色による区分と文字・数字、点字を併用し認知しやすいデザインとします。
- ・総合案内を1階の来庁者入口から視認できる位置に設け、サイン（ハード）と有人の案内（ソフト）の組合せにより、わかりやすい庁舎案内を行えるようにします。
- ・執務室内には温度・湿度・降雨を感知するセンサーと連動し、自然換気が有効な期間を明示するサイン（表示灯）を設置し、窓を開け自然通風の活用を促します。
- ・2階には、大型モニターによる案内を設置します。

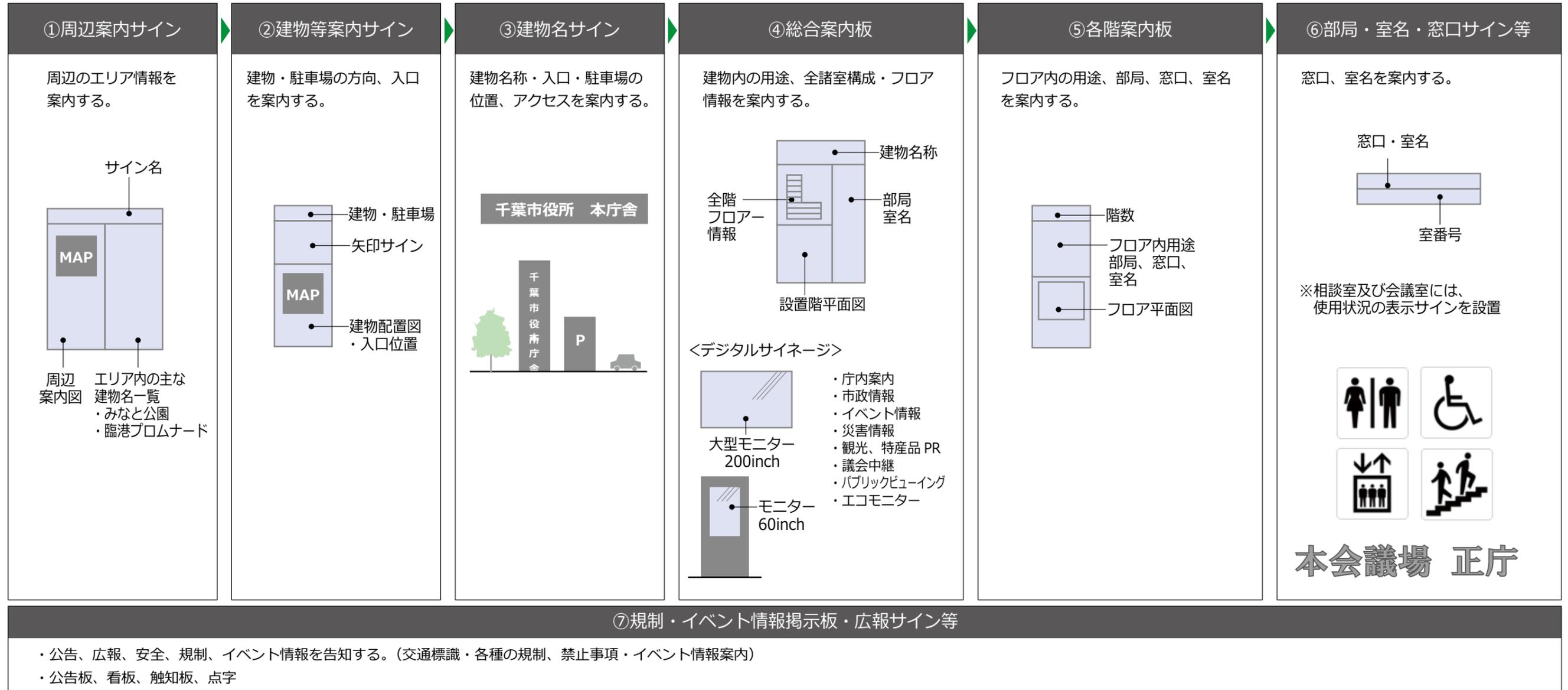
### □千葉市の魅力を情報発信できるデジタルサイネージ（電子掲示板）の活用等

- ・デジタルサイネージ（電子掲示板）を活用し、庁舎案内、市政情報、イベント情報、観光・特産品のPRなどの情報発信機能を高めます。
- ・タッチパネル式のデジタルサイネージの採用により、情報の検索、詳細情報の取得ができる機器を設置します。
- ・災害時には災害情報の提供を行えるシステムとし、安心・安全を得られる計画とします。
- ・新庁舎の設置されている環境配慮技術（省エネ技術）による効果をタイムリーに表示するエコモニターを設置し環境配慮への啓蒙と建物の維持管理費の低減実績をビジュアルに表現する計画とします。
- ・周辺案内には、みなと公園、臨港プロムナードの情報も表示し、周辺の街づくりの活性化を促します。

### □更新しやすいサインシステム

- ・組織変更に伴い、室名等の差替え、貼替等がしやすい、更新可能に規格・システム化されたサインを採用します。
- ・ポスターや広告物をデジタルサイネージで表示し、掲示スペースの低減、美観の維持に配慮します。

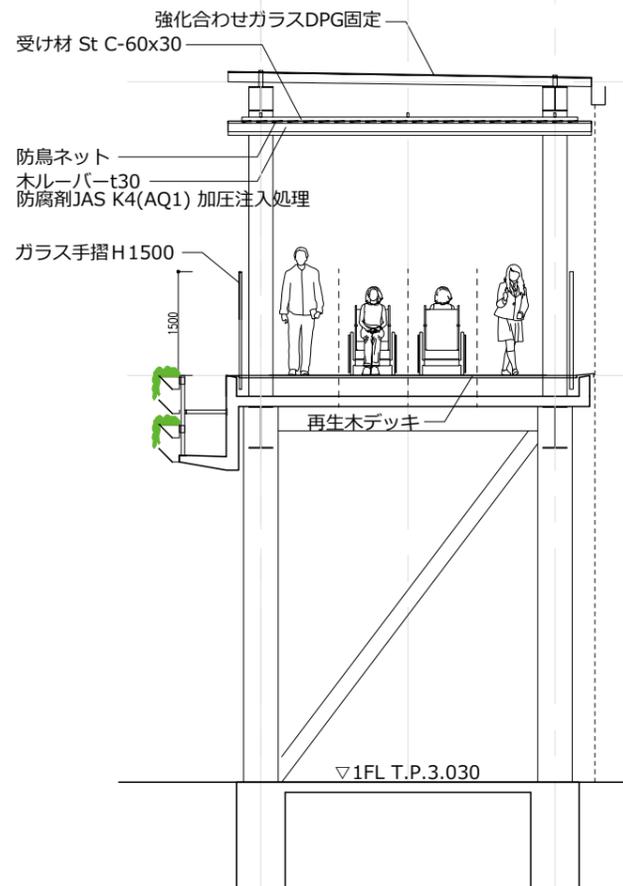
### 段階的誘導サインシステム



# (15) モノレール連絡通路計画

## □ 駅・庁舎・まちをつなぐ「モノレール連絡通路」

- ・モノレール駅と庁舎をつなぐモノレール連絡通路を街路沿いに延長し、庁舎の各機能への便利なアクセスを可能にします。
- ・千葉みなと駅方面と千葉駅方面をつなぐ歩行インフラとして機能させます。



# (16) 外構計画

## □ 駐車場計画

- ・ 駐車台数は「千葉県建築物における駐車施設の付置等に関する条例」に基づき確保し、身障者駐車場、荷捌き駐車場も設置します。
- ・ 駐車場の入口には案内サインや駐車場ゲートを設置し、入出庫管理と、公用車と来庁者用の車の動線分離を行います。
- ・ 来庁者用車寄せには、タクシーの寄付きや待機が可能なスペースを設けます。
- ・ 身障者駐車場、来庁者用駐輪場、バイク置場は、屋根付きとし、新庁舎の出入口と近接した位置に設置します。
- ・ 来庁者用駐車場は300台以上を確保し、非常時の災害対策のスペースとしても活用できるよう、車止めを設置しない計画とします。また車路は一方通行を主とし、安全な動線計画とします。議会等開催中は、来庁者用駐車場内にスペースを区画し、議員用駐車場を確保します。
- ・ 公用車用駐車場は180台以上確保し、完全密封型車庫(内10台)、屋根付公用車車庫(内30台)を確保します。車室部分は植生ブロックによる緑化を行います。また、臨時に大型バスが駐車できる計画とし、屋外倉庫、車両整備所、車両部品庫、公用車洗車場、駐輪場、バイク置場を設置します。
- ・ 充電設備を備えた電気自動車駐車スペースは、来庁者用駐車場、公用車用駐車場それぞれに設けます(内各5台)。
- ・ 将来活用検討地は建物解体部分のアスファルト舗装、駐車場のライン引きを行います。

## □ 外構計画

- ・ 車寄せまでの車路部分及び地下埋設インフラ部分は、地盤改良等により液状化対策を行います。
- ・ 車寄せは来庁者用と業務・サービス用の2か所を設けます。
- ・ 外構の歩道・広場部分の仕上げは平板ブロック仕上げ、車路・来庁者用駐車場の車室部分はアスファルト舗装とし、車路部分は消防自動車等の量車両の通行が可能な仕様とします。
- ・ 建物と地面の取り合い部分は、免震EXP.J等を設置し、地震時の変位に対して、衝突・落下等が無い安全な計画とします。
- ・ 公道からの車の進入路部分は、切り下げ改修を行います。
- ・ 非常時に、新庁舎敷地から一般国道357号へ車両が出入りできるように、非常用車両進入路を設けます。

### ■ 駐車台数

車	台数	計
駐車スペースのみ	135	180台 VI 180台 (必要台数)
電気自動車	⑦ 5	
密閉型車庫	① 10	
屋根付公用車車庫	② 30	302台 VI 300台 (必要台数)
小計	180台	
普通車(内55台議員用)	283	302台 VI 300台 (必要台数)
電気自動車	⑧ 5	
身障者駐車	⑨ 10	
荷捌き駐車	⑩ 4	482台 VI 480台 (必要台数)
小計	302台	
合計	482台	

### ■ 駐輪台数(自転車・バイク)

	1	2	小計	合計
⑪ 自転車置場	50台(平置き)	230台(ラック)	280台	362台
⑫ バイク置場	10台	72台	82台	

### ■ 施設名

- ① 密閉型車庫
- ② 屋根付公用車車庫
- ③ 配車窓口
- ④ 車両整備所
- ⑤ 車両部品庫
- ⑥ 公用車洗車設備
- ⑦ 電気自動車駐車スペース(公用車用)
- ⑧ 電気自動車駐車スペース(来庁者用)
- ⑨ 身障者駐車スペース
- ⑩ 荷捌き駐車スペース
- ⑪ 自転車置場
- ⑫ バイク置場

### 凡例

- アスファルト舗装
- 平板ブロック舗装
- 植生ブロック
- 地盤改良範囲
- 地上緑化



# (17) 雨水排水計画

## □水害に配慮した床レベル設定

- ・当敷地は「都川水系浸水想定図」及び「村田川浸水想定図」では、洪水・浸水の想定外の地域に該当するが、ゲリラ豪雨等の突発的な水害に配慮して、周辺地盤より1階の床を高く設定します。

## □雨水流出抑制計画

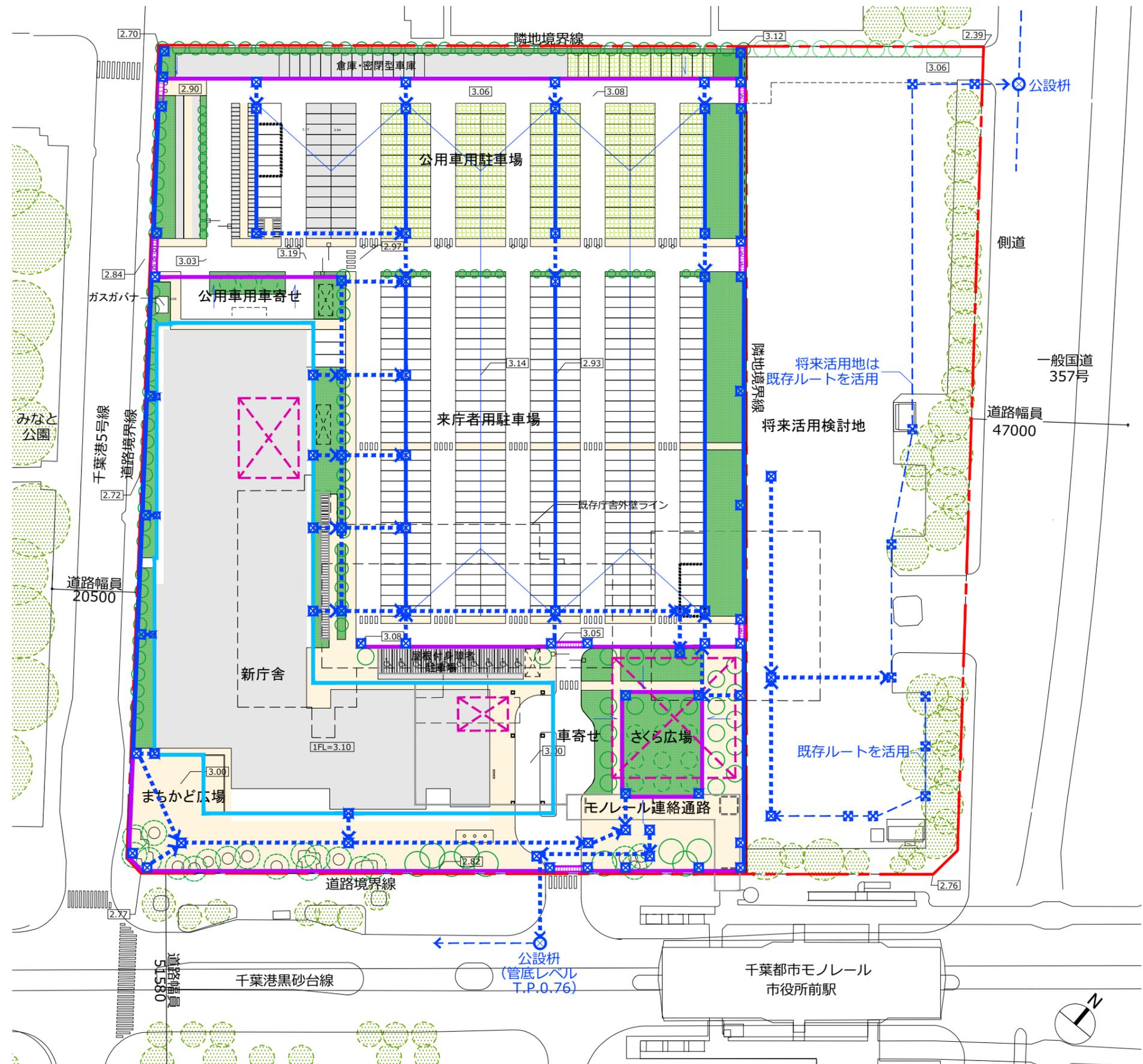
- ・「雨水流出抑制指導要綱」に基づき、貯留施設を設置します。
- ・建物上の雨水は建物地下ピット内の雨水貯留槽へ、また外構の雨水は外構地下に設けた雨水貯留槽へ貯留し、流出抑制後に公設枡に排水します。

### 雨水流出抑制容量

敷地面積(A)	29,000㎡	屋根面積1	6776㎡×0.90=6098㎡
排出区別流出係数(C1)	0.4	屋根面積2	1905㎡×0.90=1714㎡
平均流出係数(C2)	0.77	舗装面積	15776㎡×0.85=13409㎡
降雨強度(I)	111.11	緑地面積	4543㎡×0.90=909㎡
		合計	22130㎡
		C2=22130÷29000=0.77	
雨水流出抑制容量 = 1/360×(C2-C1)×I×A×3600			
= 1/360×(0.77-0.4)×111.11×2.9×3600			
= 1192.21			
≒ 1193㎡			
計画			
雨水貯留槽(外構)	852㎡	(附属棟含む外構の雨水を貯留) ※プラスチック製雨水貯留槽	
雨水貯留槽(ピット)	341㎡	(新庁舎屋上の雨水を貯留)	

### 凡例

	集水枡 500角グレーチング (  は既存)
	雨水管 (  は既存)
	可変側溝 W300 どぶ付グレーチング
	横断側溝
	スリット側溝
	RC側溝(建物一体)
	雨水貯留槽
	地盤レベル (T.P.+0.00)



# (18) 緑化計画

## □既存の樹木や周辺の緑を活かし、緑で街をつなぐ

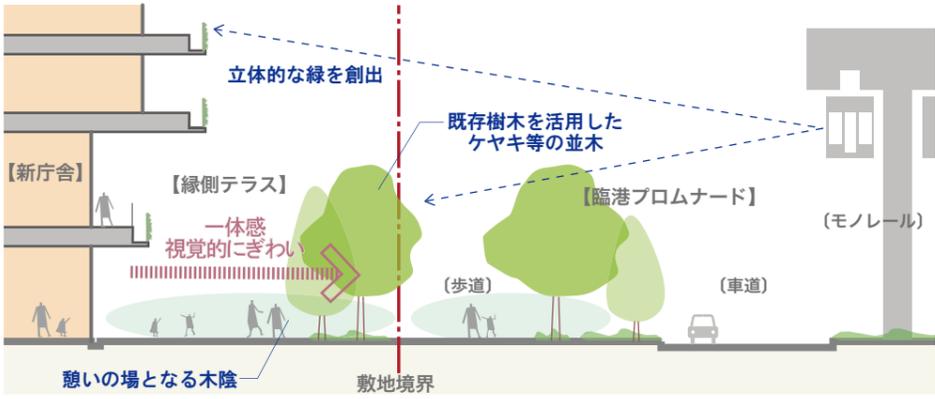
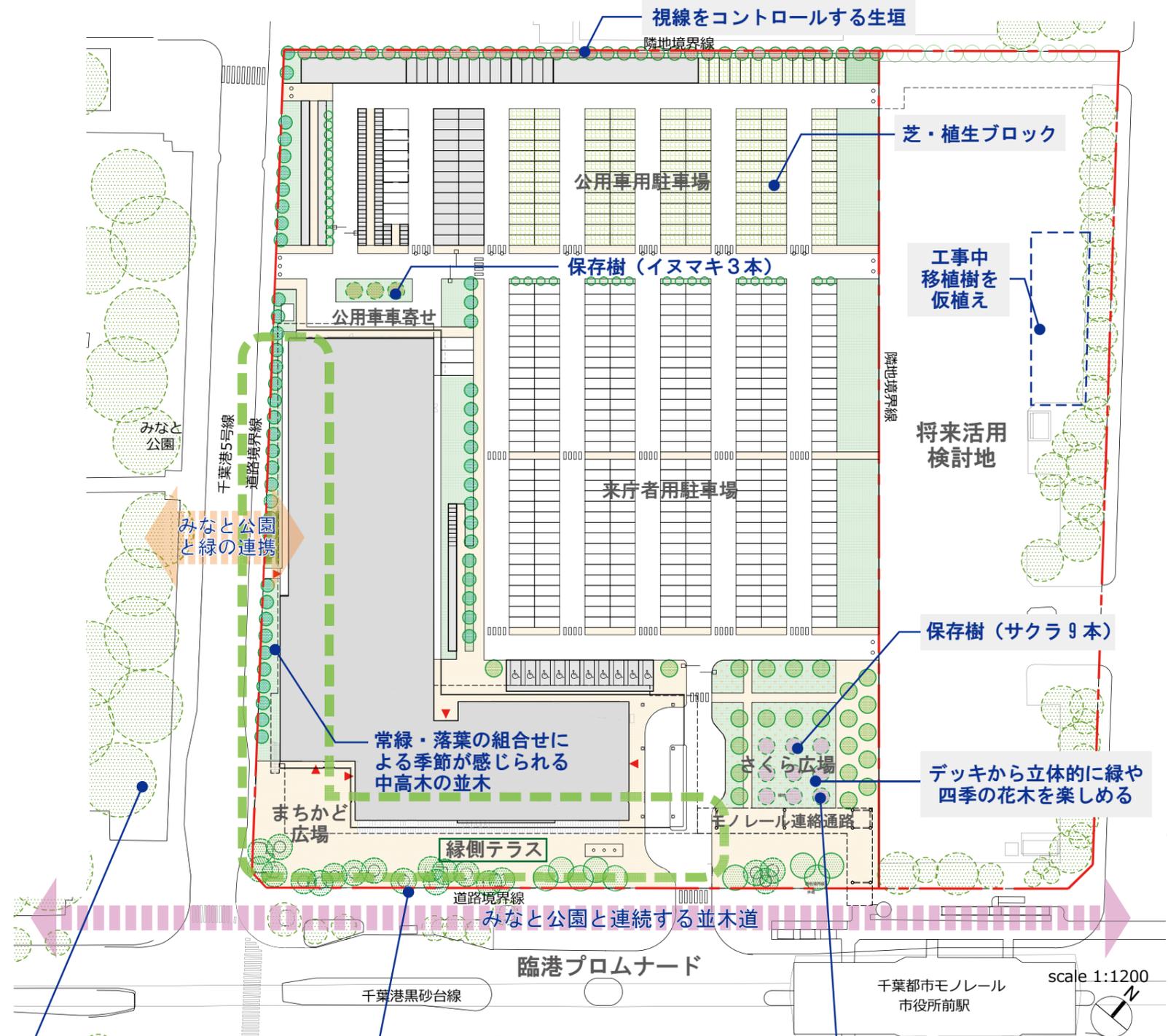
- ・臨港プロムナードに面して、ケヤキ(市の木)等の既存樹木と一体となる並木道を設けます。臨港プロムナード沿いに連続する緑により街をつなぎます。
- ・みなと公園側には、公園の緑と一体的に感じられる並木を設けます。みなと公園の豊かな緑に対して、常緑・落葉樹の組合せた植栽により季節が感じられる並木とします。

## □市民の憩いの場となる、緑の創出

- ・カフェや食堂に隣接する「縁側テラス」や建物壁面にも緑化を取り入れ、質の高い都市空間=「みなとの縁側」を創出します。
- ・連絡デッキ沿いに、市民の憩いの緑地となる「さくら広場」を設けます。四季の花木や中低木と高木を織り交ぜて植栽し、連絡デッキ(2階レベル)からも立体的に緑が楽しめる緑化とします。
- ・まちかど広場、縁側テラスには高木の常緑樹により、市民の憩いの場となる木陰をつくります。
- ・さくら広場、公用車用車寄せ付近には、現庁舎でシンボルツリーとなっているさくらとイヌマキを保存樹木として移植し、現庁舎の敷地の記憶を継承する緑化とします。

### ■樹種(地上緑化)

記号	樹種	区分	開花時期	記号	樹種	区分	開花時期
●	ケヤキ、ヤマモモ(既存樹利用)	高木 落葉	(H6.3~11.5m)	●	コブシ	高木 落葉	9月
●	ケヤキ	高木 落葉		●	オリーブ	中木 常緑	5~6月
●	サクラ(保存樹・移植)	高木 落葉	(H8.0m)	●	イチヨウ	高木 落葉	
●	イヌマキ(保存樹・移植)	高木 常緑	(H4.2~6.0m)	●	タブノキ	高木 常緑	
●	ハナミズキ	高木 落葉	4~5月	●	クスノキ	高木 常緑	
●	サルスベリ	高木 落葉	5~9月	■	ササキツツジ、アベリア等	低木 常緑	
●	オリーブ	中木 常緑	5~6月	■	芝	植生ブロック 常緑	
●	ゲッケイジュ	中木 常緑	4~5月	■	アジサイ	低木 落葉	6月
●	サザンカ	中木 常緑	9~12月	■	ユキヤナギ	低木 落葉	3~4月
●	ヘビカナメモチ	生垣 常緑		■	オオデマリ	低木 落葉	4~5月
				■	フィリヤブラン	低木 常緑	7~8月



縁側テラスのイメージ



豊かな緑が感じられる  
みなと公園の常緑樹



既存樹木を活用した  
ケヤキなどの並木



市民の憩いの場となる  
さくら広場



# (18) 緑化計画

## □展望と緑が楽しめる「屋上庭園」

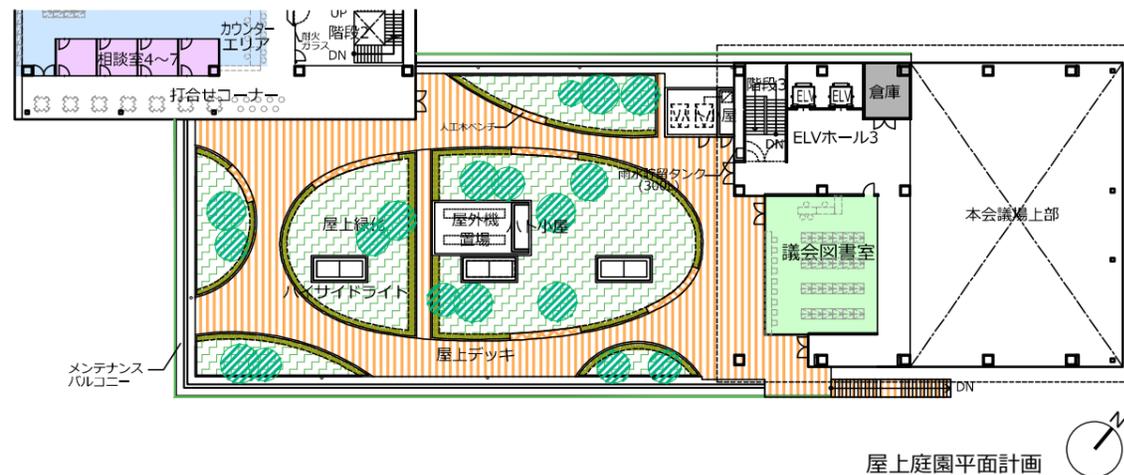
- ・低層棟の屋上に「屋上庭園」を設け、開庁時に来庁者へ開放し、眺望と緑化を楽しめる憩いのスペースを提供します。
- ・屋上庭園の設置により、千葉市の緑化への取組が肌で感じられる庁舎とします。
- ・屋上庭園と本議会議場の傍聴席フロアを階段で結び、屋上庭園に訪れた来庁者が、本会議場に立ち寄りやすい計画とします。
- ・議会図書室は、屋上庭園に開かれた明るい施設とし、市民利用も視野に入れた計画とします。

## □地域性や安全性に配慮した緑化計画

- ・「緑化の推進及び樹木等の保全に関する条例」を順守した緑化計画とします。
- ・樹木は臨海地域に適した樹種を選定します。
- ・歩行者、運転者から見通しに配慮した、安全安心な配置計画とします。
- ・北西側の敷地境界面は常緑樹の生垣により視線をコントロールします。
- ・公用車用駐車場の車室部分は植生ブロックにより、芝張りとします。

### ■樹種(屋上緑化)

記号	樹種	区分	開花時期	数量	記号	樹種	区分	開花時期	数量
●	シマトネリコ	高木 常緑	6~7月	20本	■	ヒドラツツジ	低木 常緑	4~5月	385㎡
	ハナミズキ	高木 落葉	4~5月			ユキヤナギ	低木 落葉	3~4月	
	オリーブ	中木 常緑	5~6月			オオデマリ	低木 落葉	4~5月	
	サザンカ	中木 常緑	9~12月			アベリア	低木 常緑	4~10月	
					■	フィリヤブラン	地被 常緑		70㎡





## 2 . 構 造 計 画

# (1) 基本方針 (2) 耐震安全性の目標と耐震構造システム

## (1) 基本方針

本建物は、市庁舎として求められる機能性、快適性、安全性を満足する空間の実現及び経済性、耐久性、施工性を十分に考慮して設計します。

特に安全性に関しては、大地震等の災害時にも建物の損傷を軽微に留めることにより市庁舎の機能を維持し、業務が継続できる高い耐震性能を有する施設造りを目標とします。

## (2) 耐震安全性の目標と耐震構造システム

### 1) 耐震安全性の目標

地震時における耐震安全性は、「官庁施設の総合耐震計画基準」を参考に I 類に相当する耐震性を確保します。

官庁施設の総合耐震計画基準における耐震安全性の分類と目標(構造体)

対象施設	分類	耐震安全性の目標
特に構造体の耐震性能の向上を図るべき施設	I 類	大地震後、構造体の補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られている。
構造体の地震性能の向上を図るべき施設	II 類	大地震後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全性確保に加えて機能確保が図られている。
建築基準法に基づく耐震性能を確保する施設	III 類	大地震により構造体の部分的な損傷は生じるが、建築物全体の耐力の低下は著しくないことを目標とし、人命の安全性確保が図られている。

参考に建物の JSCA 性能メニューの耐震性能グレードと地震時における建物状態の概念図を右に示します。ここで I 類の建物は特級（免震）に相当します。

非構造部材の耐震安全性は A 類を確保します。

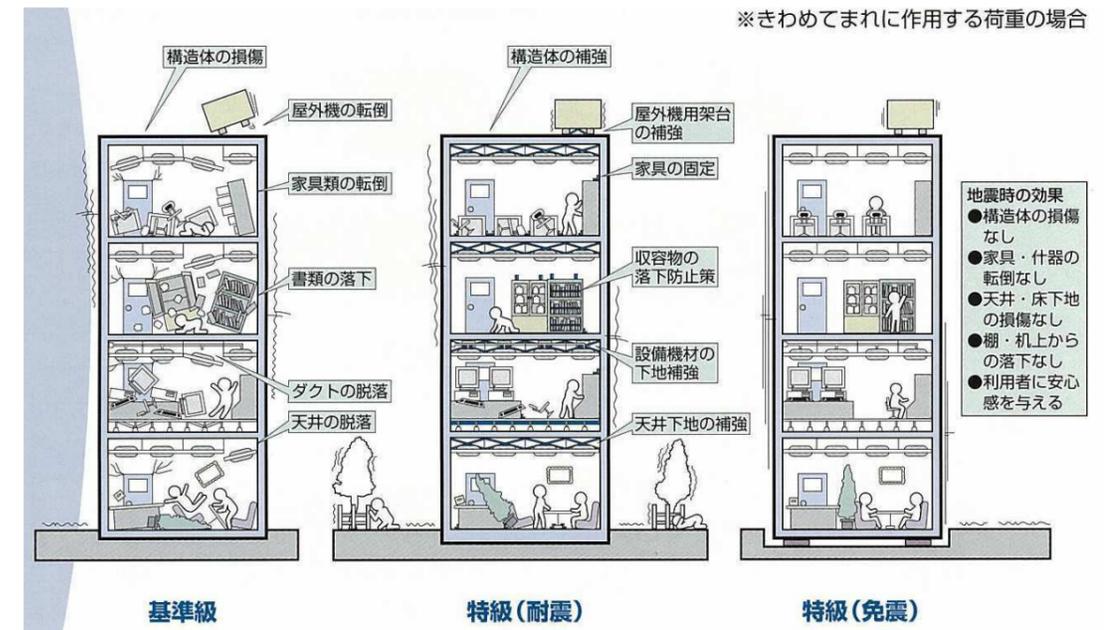
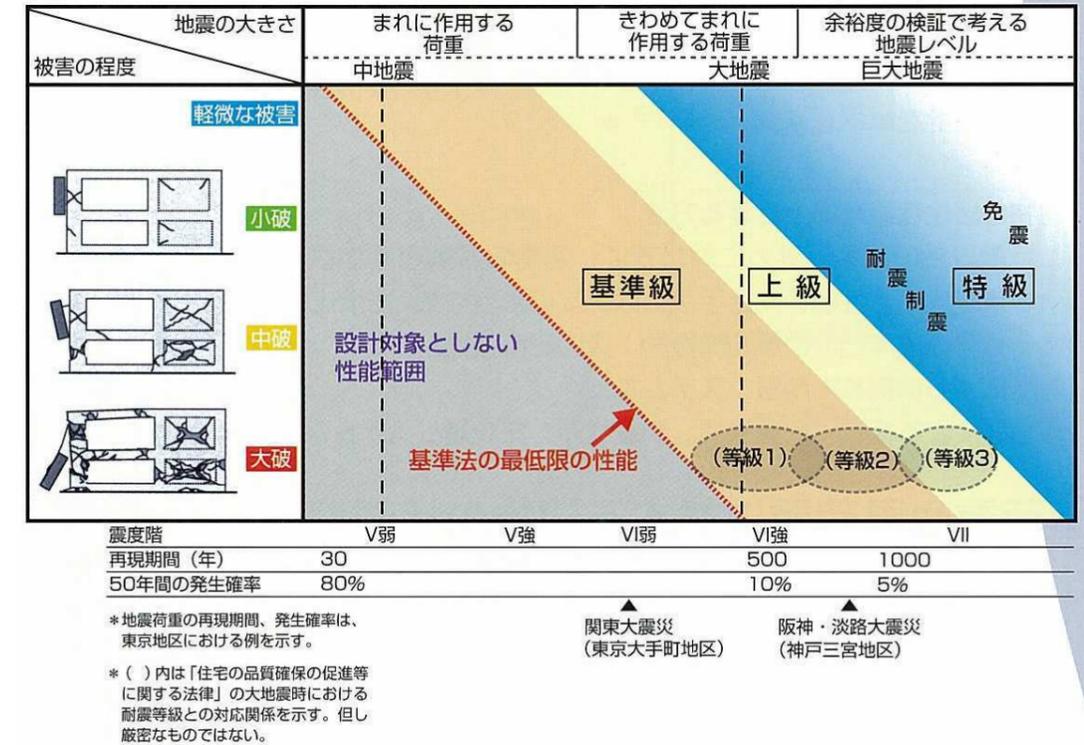
官庁施設の総合耐震計画基準における耐震安全性の分類と目標（非構造部材）

	分類	耐震安全性の目標
建築非構造部材	A 類	大地震動後、災害応急対策活動や被災者受け入れの円滑な実施、又は危険物の管理の上で、支障となる建築非構造部材の損傷、移動等が発生しないことを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られている。
	B 類	大地震動により建築非構造部材の損傷、異動などが発生する場合でも、人命の安全確保と二次災害の防止が図られている

### 2) 耐震構造システム

大地震時の、激しい揺れによる不安感を軽減できる「免震構造」を採用して、大地震後にも庁舎機能を維持できる構造とします。

免震層の位置は全館を免震とすることのできる「基礎免震構造」とします。



建物グレードと地震時の状態  
〔JSCA 性能メニュー〕(社団法人 日本建築構造技術者協会) より

### (3) 建設地周辺の地震環境

平成 26・27 年度千葉県地震被害想定調査報告書によると、下図（想定地震とマグニチュード）に示す①千葉県北西部直下地震(M7.3)、②大正型関東地震 (M7.9)の2つの地震が、影響の大きい地震として波形計算による調査がおこなわれています。

これらの地震はそれぞれ以下のような目的で検討されています。

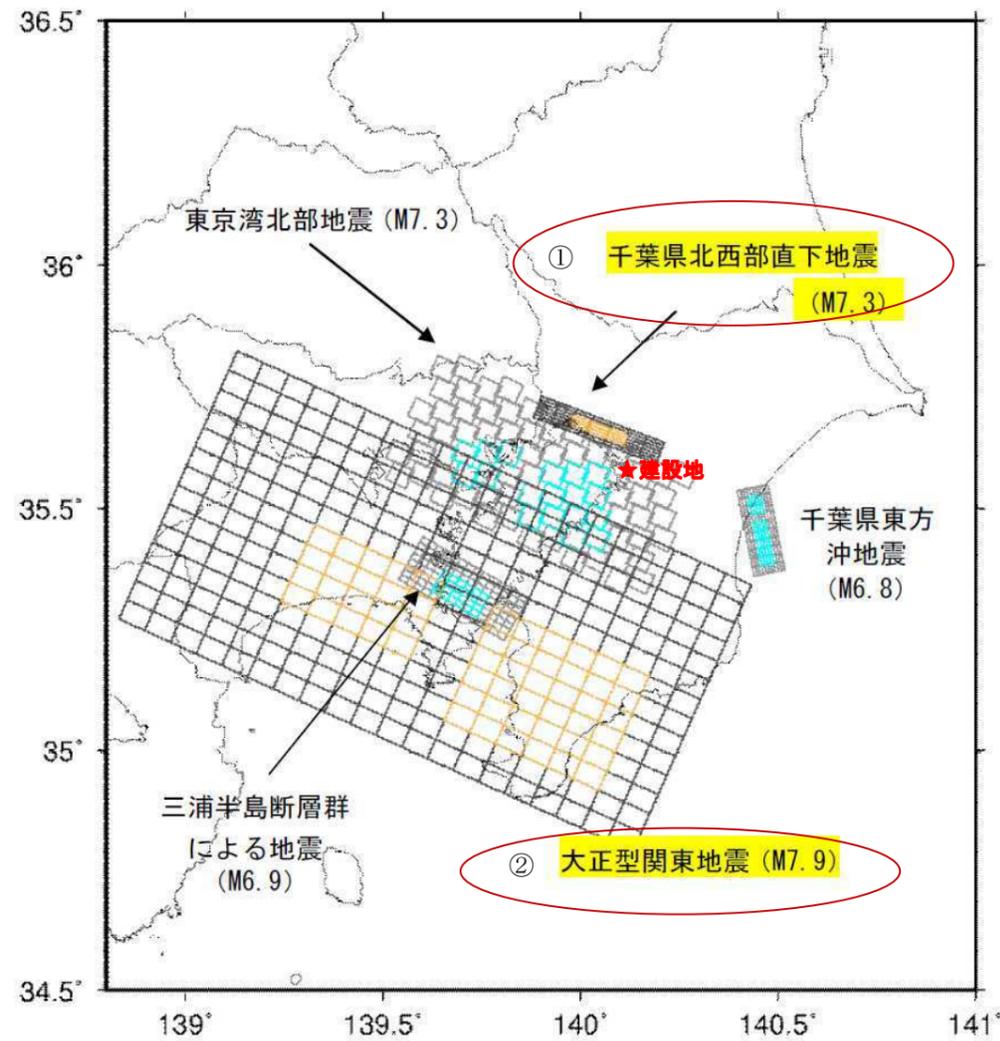
① 千葉県北西部直下地震：南関東地域で発生する可能性の高い M7 クラスの地震のうち人口が集中し被害が大きくなると想定され、防災・減災対策を主眼に置く県北西部の地震

② 大正型関東地震：当面発生する可能性は低い、長期的視点に立った対策の対象とする地震  
これは、2013 年の内閣府の調査を受けたものとなっています。

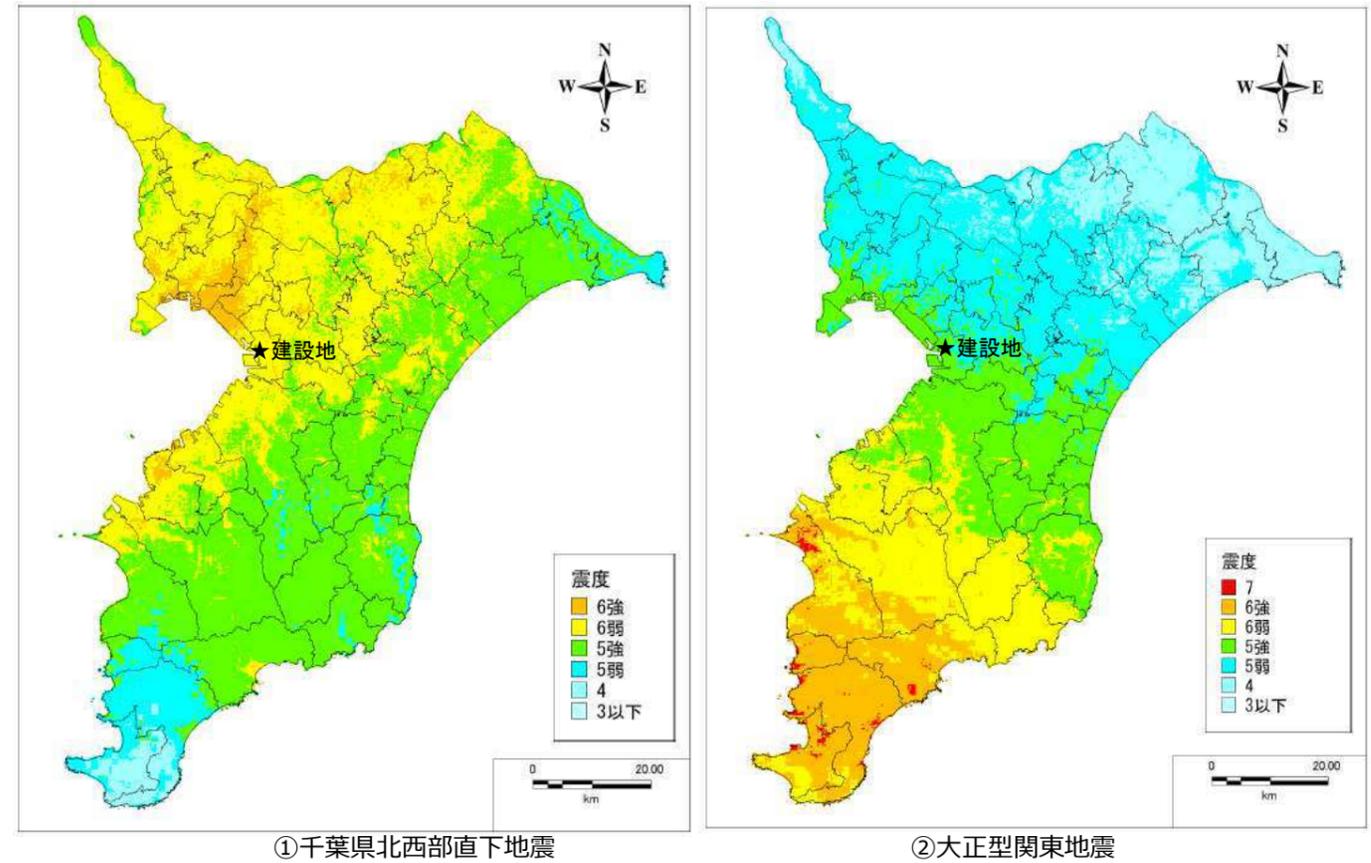
これらの地震による、建設予定地での想定震度はそれぞれ①震度 6 弱、②震度 5 強程度が予測されており、

①千葉県北西部直下地震が本計画の敷地に大きな影響を与えるものと考えられます。

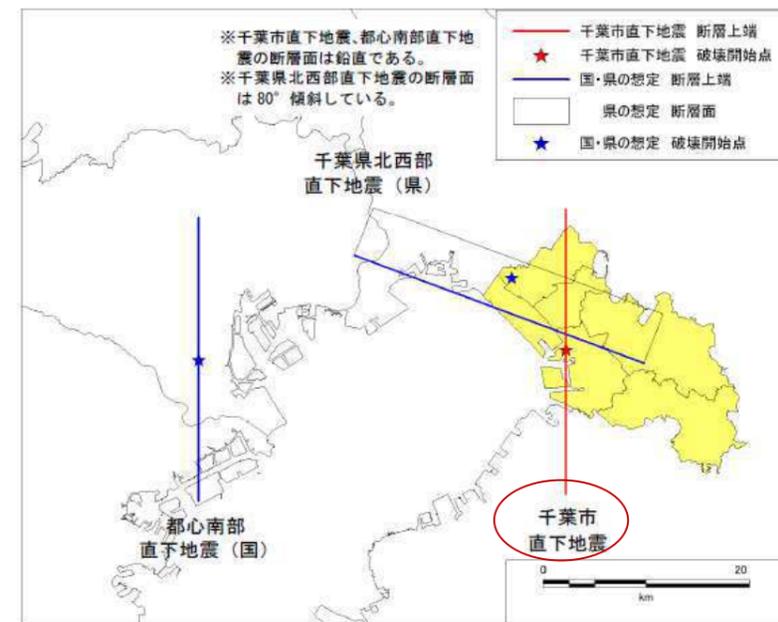
右図に報告書に示される震度分布の図を示します。



想定地震とマグニチュード



一方、千葉市地震被害調査報告書 (H29.3)においては下図に示すような千葉市直下地震を検討しています。この地震についても直下型の地震として震度 6 強程度の震度が予想されていますが、防災計画用に検討されたもので設計用に供される詳細データは想定されていないことから、本建物では同様に大きな震度が予測される県で想定された①千葉県北西部直下地震をサイト波として検討するものとします。



# (4) 地盤概要と基礎計画概要

## 1) 敷地地盤の概要

敷地地盤は TP-1m 程度まで盛土 (Bs) があり、その下部の TP-19m 付近まで N 値の小さい沖積の砂質土層 (As1,As2)と粘性土層(Ac1,Ac2)が交互に現れています。TP-19m 程度以深から洪積の砂層(Ds1,Ds2)が現れ、この層はN値が高く建物を支持する十分な強度を持った地層となっています。

敷地の水位は TP+1m 程度と高く沖積の砂層 (As1、As2) および表層の表土と盛土 (Bs,Ts)は液状化が懸念される層となっています。下図に建物の基礎および杭と地盤の関係を示した模式図を示します。

## 2) 液状化対策

建築基礎構造設計指針に基づいて地盤の液状化判定を行った結果、浅い部分にある盛土 (Bs)と砂質土層(As1)は大地震時にほぼ全体に液状化の恐れがある結果となっています。また、TP-14~17m 付近の As2 層も液状化の恐れがあるもののその範囲は部分的となります。

本計画では、H27.3 月の基本計画と同様に、液状化対策工法は静的締固め砂杭工法とし大地震時に液状化の程度が軽微となることを目標とします。

表層の Bs 層と As1 層を改良すれば、As2 層の部分的な液状化の影響はわずかであるため、TP-9m 程度までの液状化層を改良することとします。

改良深さとピッチは建物の範囲により深さ 10.5m(ピッチ 1.6m)と 12.5m(ピッチ 2.0m) とります。下図に本計画の改良範囲を示します。

## 3) 基礎形式

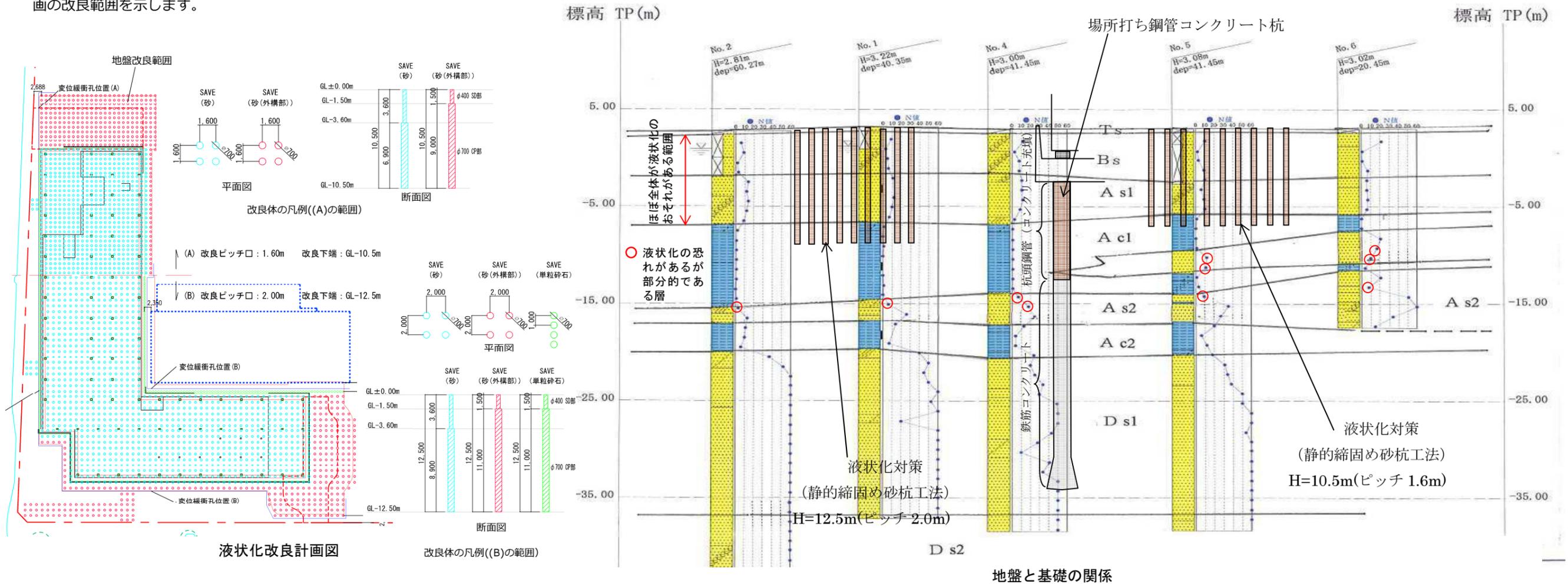
建物の基礎は TP-19m(GL-22m)程度以深の洪積の砂層 (Ds1) を支持層とする杭基礎とし、杭先端位置は安定して 50 以上の N 値が見れる TP-34m(GL-37m)程度とします。

## 4) 杭種

本建物は大地震時にも機能維持が要求される免震構造の建物であるため、杭が抵抗する地震力も大きくなります。また、建物規模も大きく 15000kN 程度の荷重を支持する必要があるため、杭種は以下が想定されます。

- a) 場所打ちコンクリート杭 (アースドリル拡底工法)
- b) 場所打ち鋼管コンクリート杭 (アースドリル拡底工法、杭頭鋼管巻き)
- c) 鋼管杭 (先端翼付き回転貫入鋼管杭工法)

これらの比較検討により、本計画では b) 場所打ち鋼管コンクリート杭とします。



## (5) 設計用入力地震動

本建物は免震構造の建物であり、建築基準法施行令 1461 号に基づき、「時刻歴応答解析法」により構造計算を行い、大臣認定を取得する設計ルートとします。

設計に用いる入力地震動は、告示波 3 波、観測波 3 波、長周期地震 1 波および前述の千葉県北西部直下地震とします。

### 1) 告示波

平 12 建告第 1461 号のスペクトルに適合する模擬地震波で、位相特性には、

a) 遠距離型地震動 (kokuji-H) : Hachinohe 1968 EW の位相

b) 近距離型地震動 (kokuji-K) : JMA Kobe 1955 NS の位相

c) 一般的な地震動 (kokuji-R) : 一様乱数で決めた位相

を採用します。また、地盤調査結果に基づき、 $V_s = 400\text{cm/s}$  程度となる工学的基盤より上の表層地盤による増幅を考慮します。

### 2) 観測波

過去に観測された地震動から代表的な地震波で、

a) El Centro 1940 NS

b) Taft 1952 EW

c) Hachinohe 1968 NS

を採用します。

最大速度  $25\text{cm/sec}$  で基準化したものを「稀に発生する地震動」とし、 $50\text{cm/sec}$  で基準化したものを「極めて稀に発生する地震動」とします。これらは、性能評価の審査で検討することが決められています。

### 3) 長周期地震動

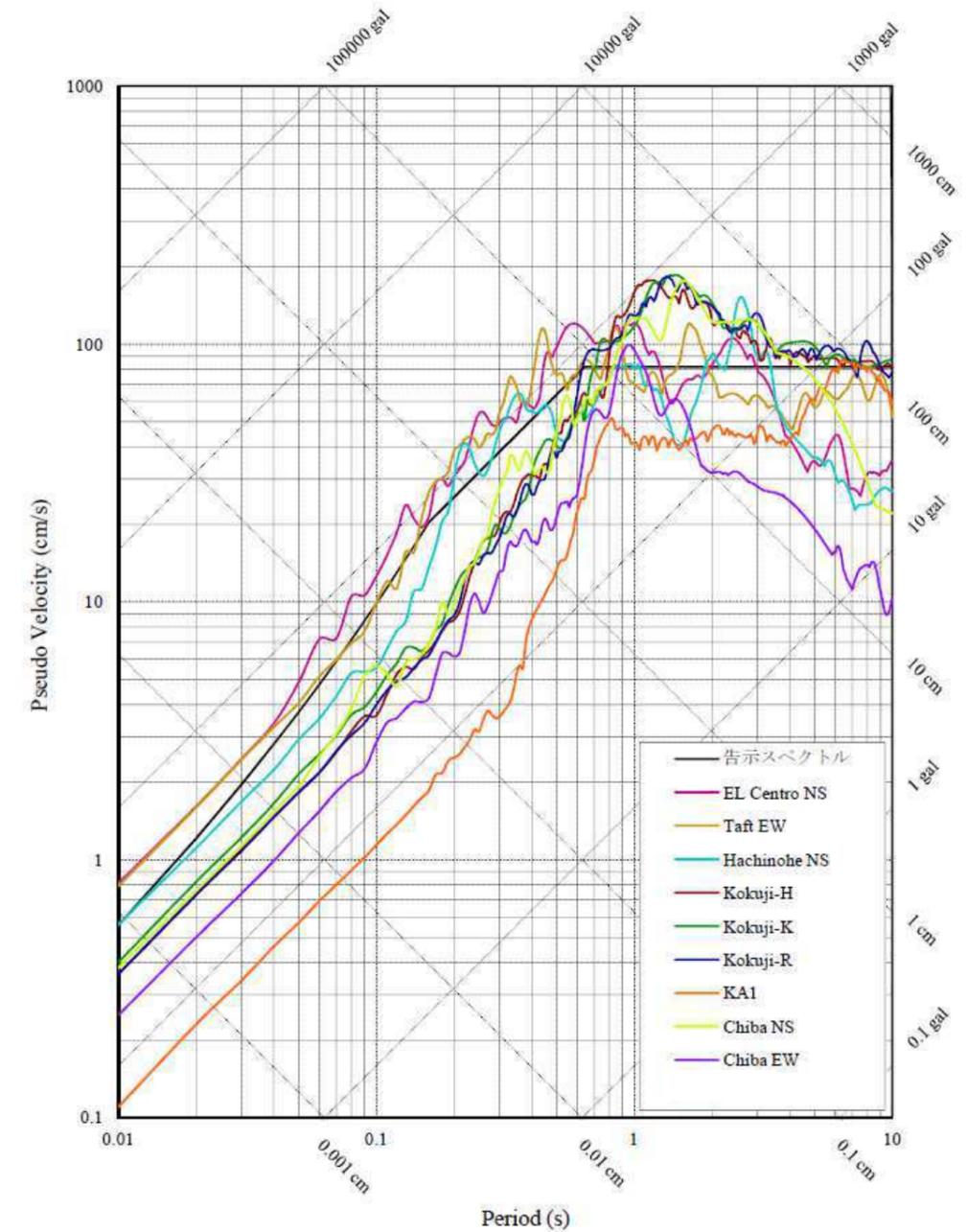
H28.6 に国土交通省より提示された「超高層建築物等における南海トラフ沿いの巨大地震による長周期地震対策について（技術的助言）」において検討を該当地域に建設される免震建物に義務づけられた模擬地震波 KA1 を長周期地震動として検討します。右図に該当地域の図を示します。 $V_s = 400\text{cm/s}$  程度となる工学的基盤より上の表層地盤による増幅を考慮します。



### 4) サイト波

「平成 26・27 年度千葉県地震被害想定調査報告書」で建設敷地に影響の大きい地震として調査された地震で千葉県より提供された波形データを用います。 $V_s = 400\text{cm/s}$  程度となる工学的基盤より上の表層地盤による増幅を考慮します。

右図に表層地盤の増幅を考慮した地震波のスペクトルを示します。



疑似速度応答スペクトル (h=0.05)

## (6) 耐震性能目標と設計荷重

### 1) 耐震性能目標

耐震設計目標は、想定する地震動の大きさをその発生頻度に応じて二段階に分け設定し、下表に示す目標値を満足することを確認します。

耐震設計目標

地震動のレベル	性能目標		
	上部構造	免震部材	基礎構造
稀に発生する地震動 (レベル1)	部材：短期許容応力度以内 (上下動を考慮した場合は弾性限界耐力以内) 層間変形角：1/200 以下	安定変形曲線以内 (せん断歪 $\leq$ 133%) 支承材に引抜力が生じない	部材：短期許容応力度以内 支持力：短期許容支持力以内
極めて稀に発生する地震動 (レベル2)		性能保証変形曲線以内 (せん断歪 $\leq$ 266%) 支承材の引抜力は1N/mm <sup>2</sup> 以内	

### 2) 地震荷重

平成12年建設省告示第1461号による「稀に発生する地震動」と「極めて稀に発生する地震動」を用いて建物の時刻歴応答解析を行い、その結果に基づき設計用地震荷重を設定します。時刻歴応答解析に用いる地震動は「(5)設計用入力地震動」に示す地震動とします。

### 3) 風荷重

風荷重は、平成12建設省告示1461号第三号および建築基準法施行令第87条に定められた方法で設定します。

- ・基準風速 : Vo=36m/s (千葉県千葉市)
- ・地表面粗度区分 : III

### 4) 積雪荷重

積雪荷重は、平成12建設省告示1461号第二号および建築基準法施行令第86条に定められた方法で設定します。

- ・垂直積雪量 : 30cm
- ・積雪の単位荷重 : 20N/(cm・m<sup>2</sup>)

### 5) 床荷重

床荷重(積載荷重)は、「建築基準法施行令第85条」および「国交省 建築構造設計基準(H25)」(以下国交省基準と称す)に基づいて設定します。代表的なものを以下に示します。

単位[N/m<sup>2</sup>]

室名	床小梁	架構用	地震用	備考
屋根(常時人が使用する)	1800	1300	600	令85条の住宅の居室、国交省基準
議場、傍聴席、正庁	2900	2600	1600	令85条の固定席の公会堂
委員会室、議長室等	2900	1800	800	令85条の事務室
執務室ゾーン、会議室、廊下など	2900	1800	800	令85条の事務室
売店、市民センター、市政情報室	2900	2400	1300	令85条の店舗の売場
食堂、カフェ	4900	2400	1300	国交省基準の機械室
マルチゾーン(書庫)、集密書架	11800	10300	7400	国交省基準の移動書架
マルチゾーン(書庫以外)	4900	1800	800	令85条の事務室の床小梁を割増
倉庫	7800	6900	4900	国交省基準の倉庫
車庫	5400	3900	2000	令85条の車庫
正庁ロビー、エントランス	3500	3200	2100	令85条の固定席でない公会堂
主機械室、屋外機置場	6000	4500	3000	※1
空調機械室など	4900	2400	1300	国交省基準の機械室※1

※1：実施設計において、機器の仮定荷重を反映し、実状に応じた荷重を設定します。

# (7) 架構計画概要

## 1) 架構概要

- 構造：免震構造 (1階床下に免震層を配置した基礎免震)
- 規模：地上11階
- 構造種別：柱部材：鉄骨造  
 梁部材：鉄骨造(1Fの梁(免震層の直上の梁)のみSRC造)  
 床版：鉄筋コンクリート造(普通スラブ、合成スラブ)  
 プレストレストコンクリート床版(執務室無天井部分)  
 基礎・土圧壁：鉄筋コンクリート造(RC造)
- 構造形式：ブレース付きラーメン構造
- 基礎形式：杭基礎 場所打ちコンクリート杭(頭部鋼管巻き)、液状化対策の地盤改良併用

## 2) 使用材料

主な使用材料を示します。

- コンクリート：Fc21(地上部)、Fc36(1Fの梁、床など)、Fc36(基礎部)  
 Fc50(プレストレストコンクリート床版部分)
- 鉄筋：SD295A (D10~16)、SD345 (D19~25)、SD390 (D29以上)
- 鉄骨：柱(BCP325,SN490,TMCP385,TMCP325)、大梁(SN490,TMCP385)、小梁など(SN400)
- 免震部材：支承部材 (積層ゴム支承、弾性すべり支承、直動転がり支承)  
 ダンパー (鋼材ダンパー、オイルダンパー) [全て大臣認定品]

## 3) 架構計画の概要

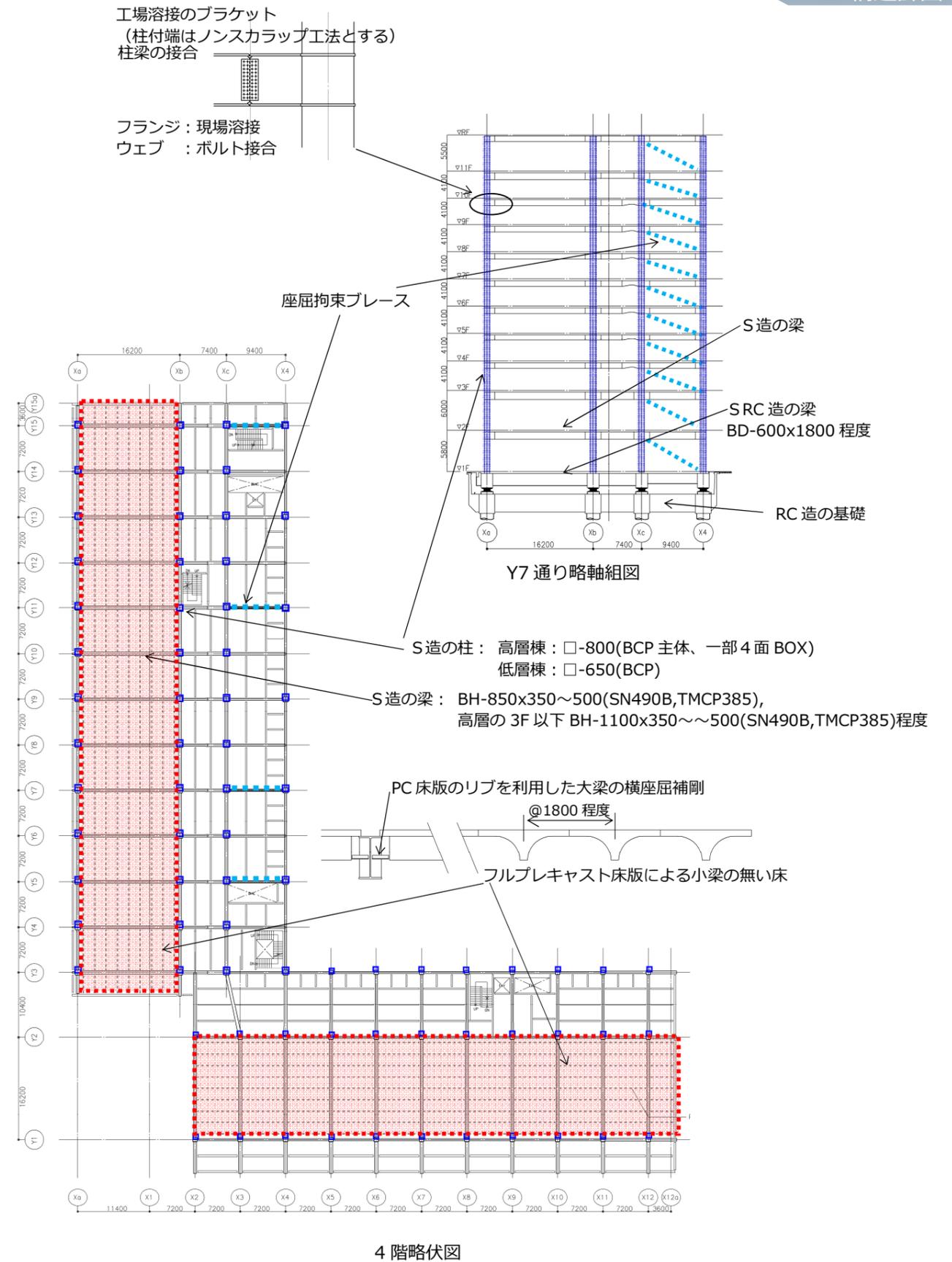
### a) 主体構造

建物のスパン計画は7.2mx16.2mグリッドを基調にし、高さも55m程度と比較的大きな高さ・スパン構成となっています。以下に上部構造の架構の概要を示します。

- 高さ45mを超える比較的高層の建物であり、スパンも16.2mと大きいため地上階は鉄骨造(S造)とします。
- 高層部のロングスパン方向(X方向)は耐震要素として座屈拘束ブレースを配置し高層の大きな地震力を効率よく負担させ、耐震性を高めるとともに経済性にも配慮した架構計画とします。
- 柱梁の接合はブラケット形式とします。
- 大きな平面の執務室は無天井化による小梁のない計画を行うため、フルプレキャストのリブ付きプレストレストコンクリート床版(ST版またはDT版、PC床版と呼ぶ)を用いて小梁の無い床とします。(11F床は在来工法)
- 小梁のないPC床版部分の大梁の横補剛は、PC床版のリブを利用することとし、大梁と床版のリブの間に鉄骨の束材を入れ、梁の横座屈を補剛することとします。
- まちかど広場の屋根を受ける柱は柱頭と柱脚にピン接合の金物(ユニバーサルジョイントなど)を設置して免震建物の変形に追従する構造とします。

### b) 下部構造

免震層下部の構造体は、鉄筋コンクリート造(RC造)により基礎梁、基礎、ピットおよび土圧壁として計画します。鉄筋コンクリート造とすることで、基礎構造と免震構造を堅牢な構造体で連結します。右図に構造計画を説明する図を示します。



# (8) 免震構造計画概要

## 1) 免震構造システム

免震構造は、建物と地盤（基礎または下部構造）の間に免震部材（免震層）を設置する架構形式で、安全に建物を支持するとともに、地震時には水平方向に柔らかい免震部材が変形することで地震エネルギーの大部分を吸収し、建物に伝わる地震エネルギーを大幅に低減する構造システムです。

免震部材に要求される機能を以下に示します。また、代表的な免震部材の種類を右表に示します。

- ① 地震の揺れが建物に伝わらないように縁を切る「絶縁機能」
- ② 地震の揺れを受けても常に安定して建物重量を支える「支持機能」
- ③ 地震の揺れ幅を少なくする「減衰機能」
- ④ 地震後に、建物が元の位置に戻るための「復元機能」

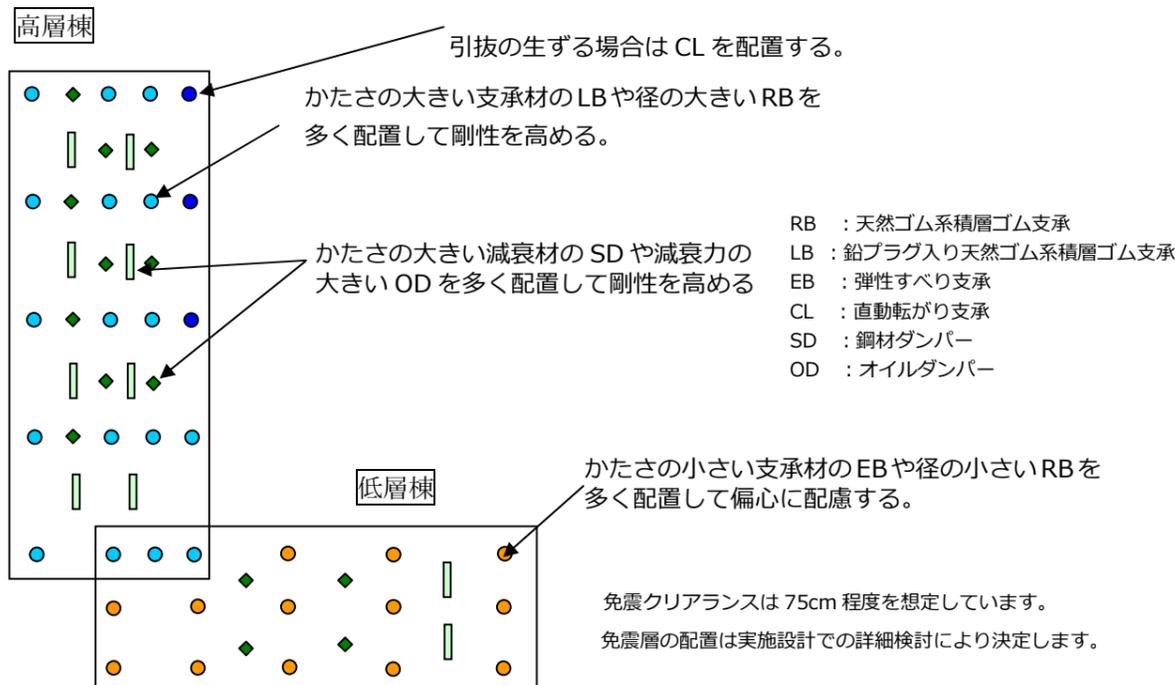
免震部材を上記の機能で分けると、①、②、④の機能を満たす「アイソレータ（支承）」（種類によっては③の機能を併せ持つ）と、③の機能を満たす「ダンパー（減衰材）」の2種類となり、これらを最適に組み合わせることで大きな免震効果が得られます。

## 2) 免震構造計画方針

本計画では、1階床下に免震層を設ける基礎免震構造とします。免震部材の配置計画の方針を以下に示します。

- ① 柱の直下には積層ゴムアイソレータまたは弾性すべり支承を配置します。ただし、引張力が生ずる場合は直動転がり支承を配置し引張力に抵抗することとします。
- ② 免震層の変形が小さいときから地震のエネルギーを吸収し、免震層のねじれ剛性を高める目的で、鉛を組み込んだ鉛入り積層ゴムアイソレータを配置します。
- ③ 変形が大きくなる大地震時に有効で経済性の高いダンパーとして、鋼製ダンパーを配置します。
- ④ 減衰効果が高く、免震層の変形が小さいときから地震エネルギーを吸収できるダンパーとして、オイルダンパーを配置します。
- ⑤ ダンパーの配置は免震層がねじれが生じないように偏りが無い配慮をします。

L型平面のねじれに配慮した免震部材配置のイメージ



種類	特徴	免震部材の形状 (注)
<b>RB</b> 天然ゴム系積層ゴム アイソレータ	<ul style="list-style-type: none"> <li>天然ゴムと鋼板の薄板を多層に重ねたもので、鉛直方向に高い剛性、水平方向に柔らかい剛性を有しており、線形性に富んでいる。</li> <li>エネルギー吸収能力はないので、他のダンパーと組み合わせることで様々な設定が可能である。</li> </ul>	
<b>LB</b> 鉛プラグ入り 積層ゴム アイソレータ	<ul style="list-style-type: none"> <li>積層ゴムの中央に設けられた円形の中空孔に鉛または錫を封入し、水平変形時にその塑性変形によりエネルギーを吸収するダンパー内蔵型の積層ゴム。</li> <li>ダンパーが一体型であるため、省スペースで施工上の利点がある。</li> </ul>	
<b>EB</b> 弾性すべり支承	<ul style="list-style-type: none"> <li>端面にテフロン（四フッ化エチレン）樹脂のすべり材がついた積層ゴムとすべり板（ステンレス板に表面処理したもの）を組合せた支承。</li> <li>すべることにより免震層の長周期化が図れる。</li> </ul>	
<b>CL</b> 直動転がり支承	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボールベアリングを用いたスライダを十字に組み合わせたもので、摩擦係数が極めて小さいため、免震層の長周期化が図れる。</li> <li>引抜き抵抗があるため、引抜きが生ずる箇所にも使用できる。</li> </ul>	
<b>SD</b> 鋼製ダンパー	<ul style="list-style-type: none"> <li>鋼板をU型に加工したものを組合せたもので、必要に応じて4本～8本を1箇所を設置する。</li> <li>鋼材の塑性変形によりエネルギーを吸収する。</li> </ul>	
<b>OD</b> オイルダンパー	<ul style="list-style-type: none"> <li>オイルが密閉されたシリンダーの中をピストンが押し引きされる際に生ずる減衰力によりエネルギーを吸収する。</li> <li>吸収したエネルギーは熱として放出される。</li> </ul>	

(注) 代表的な形状例を示す。

# (8) 免震構造計画概要

## 3) 免震構造の維持管理

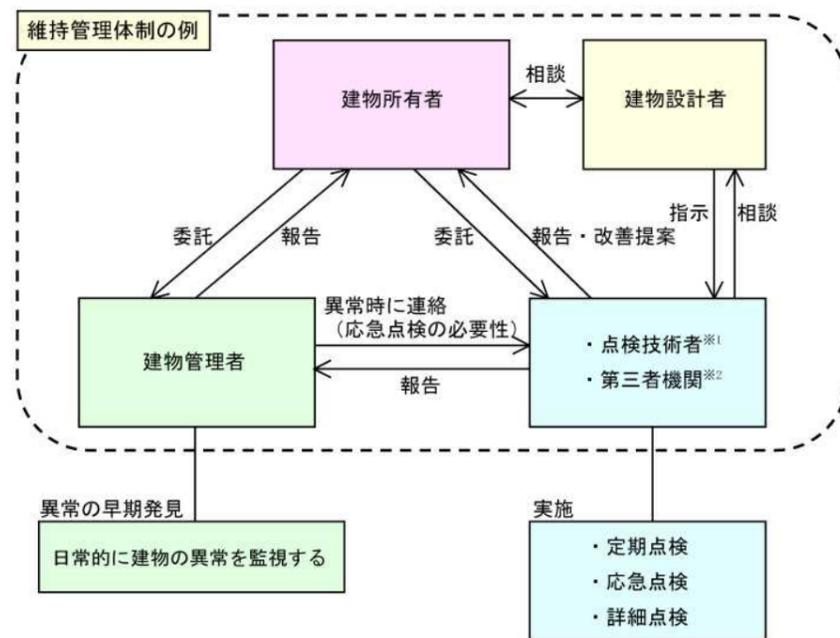
免震建物に限らず、建築物は建築基準法第8条の規定により適切に管理されなければなりません。免震建物における免震部材は建物の支持性能及び耐震性能を左右する重要な装置であり、専門技術者を要する適切な維持管理体制を設ける必要があります。

以下に免震装置の維持管理を行う上で必要な点検の種類、目的、実施時期等に関して、点検内容の概要、維持管理体制の例を示します。

この例は「(社)日本免震構造協会 免震建物の維持管理基準-2014-」に準じたものです。

- ・竣工時検査 : 今後の点検に必要な初期値を測定する目的で、建物の竣工時に施工者及び工事監督者の立会いのもとに実施します。
- ・定期点検 : 定期的に異常の有無を検出する目的で行います。毎年免震層の見回りを実施するほか、建物竣工後5年、10年、以後10年毎に計測を含めた点検を実施し記録に留めます。
- ・応急点検 : 災害に迅速に対応する目的で行います。概ね震度5弱以上の地震または台風により免震層に大きな変位を生じた場合及び火災、浸水などの災害の影響が免震層に及んだ場合に、災害を受けた直後に目視を中心とした見回りを実施します。
- ・詳細点検 : 定期点検あるいは応急点検で免震装置の異常が認められた場合に、原因の把握と対応を検討するために、計測を含めた詳細点検を実施します。

各種点検の他に、積層ゴムの経年による特性変化の程度を確かめる目的で別置試験体を設置し、必要に応じて特性試験等を行う場合もあります。また、本建物の地震時における免震装置の挙動を推定し、実施する点検項目を定める際の目安とするために、地震計や変位計などを設置し計測を行うことを検討します。



維持管理体制 (例)

免震部材の点検項目 (例)

点検の種類		定期点検		定期点検(応急点検)				
実施時期		1回/年程度		竣工後5、10年、以降10年毎(応急点検は被災時)				
位置	点検項目	調査箇所	調査方法	調査箇所	調査方法			
免震部材	積層ゴム系	積層ゴムの外観	傷	全数	目視	目視・計測		
		鋼材部の状況	腐食(発錆)			目視	目視は全数	
			取付部			目視	計測は指定箇所	
		積層ゴムの変位	鉛直変位			—	—	計測
	水平変位	—	—	—	計測			
	すべり系	すべり板	汚れ・異物付着	目視	全数	目視	目視	
			腐食(発錆)	目視			目視・計測	
		装置の変位	鉛直変位	—			—	計測
			水平変位	—			—	計測
	鋼材部の状況	腐食(発錆)	目視	目視	目視	目視		
		取付部	目視					
		防塵カバー	損傷・はずれ				目視	
損傷・はずれ		目視						
転がり系	転がり面	汚れ・異物付着	目視	全数	目視	目視		
		腐食(発錆)	目視			目視		
	装置の変位	鉛直変位	—			—	計測	
		水平変位	—			—	計測	
鋼材部の状況	腐食(発錆)	目視	目視	目視	目視			
	取付部	目視						
	防塵カバー	損傷・はずれ				目視		
	損傷・はずれ	目視						
ダンパー	弾塑性系	状況(外観)	本体	全数	目視	目視		
		腐食(発錆)	目視			目視		
	形状	取付部	目視			目視		
		主要寸法	—			—	計測	
流体系	状況(外観)	本体	目視	全数	目視	目視		
		腐食(発錆)	目視			目視		
	装置の変位	取付部	目視			目視		
		水平変位	—			—	計測	
粘性体・オイル	液漏れ	目視	目視	目視	目視			
	減衰	減衰係数				—	必要に応じて計測	
免震層・建物外周部	建物	クリアランス	外周	指定位置	目視	外周・EXP. J		
		建物位置標識	—			—	目視	
		建物位置	—			—	計測	
	免震部材	同沈下	—	免震層全体	免震層全体	目視	必要に応じて計測	
免震層の状況		クリアランス	目視				目視	
配管・配電線	可撓継手部	可燃物	全数	目視	全数	目視		
		排水状況				目視	目視	
	変位吸収部	取付状況・液汚れ	全数	目視	全数	目視		
		傷・亀裂					目視	目視
その他	試験体	余長	試験体数	—	—	目視		
		避雷針・アース				目視	目視	
		初期値				確認	—	目視
ばね係数・等価減衰係数	位置・個数	確認	試験体数	—	試験体数	目視		
	ばね係数・等価減衰係数	確認				—	必要に応じて計測	

なお、別置き試験体については、メーカー保有の別置き試験体のデータにて予測することを前提に設置を省略する場合があります。

※1 (社)日本免震構造協会が認定した資格技術者

※2 (社)日本免震構造協会など

出典 (社)日本免震構造協会「免震建物の維持管理基準」

## 3 . 電 気 設 備 計 画

# (1) 基本方針、(2) 適用基準、(3) 電力設備計画

## □基本方針

- (1) 時代の変化に対応する柔軟性と効率性を備えた庁舎
  - ・用途、エリア毎に明確に区分された電力、通信ゾーニングとし、将来の変更に柔軟に対応可能な計画とします。
- (2) 政令指定都市の拠点にふさわしい利便性と機能性を備えた庁舎
  - ・常時、災害時に市民への情報発信が可能な情報表示設備を計画します。
  - ・市民利用エリアと職員エリアを明確に区分したセキュリティエリアを計画します。
- (3) 非常時の業務継続性を備えた庁舎
  - ・新庁舎の耐震安全性分類は「甲類」とし、非常用発電機電源範囲を計画します。
  - ・電力会社からの引き込みは、異なる変電所からの本線・予備電源方式とします。
  - ・電気室、発電機室などの電気関連諸室は、高潮時の浸水を考慮し、建屋内の2階以上の階（2階、11階）に配置します。
  - ・燃料備蓄用のオイルタンクは高潮時の浸水を考慮して屋内タンクを2階に設置し、地下タンクと合わせて3日間連続運転可能な燃料（A重油）を備蓄し、電力インフラ途絶時にも業務継続が可能な計画とします。
  - ・常用発電機は電力インフラ途絶時に自立運転制御を行い、発電電力を供給可能な計画とします。
  - ・太陽光発電装置は蓄電池を有し、電力インフラ途絶時に貯蔵した電力を供給可能な計画とします。
  - ・免震装置の変位量は750mmとし、地盤側と建物側の渡り配線に余長を見込んだ計画とします。
- (4) 省エネルギーと環境に配慮した庁舎
  - ・高効率変圧器、LED照明器具など高効率機器を採用し、電力消費量の削減を図ります。
  - ・人感センサー点滅制御、照度センサー制御などの点滅・制御手法を採用し、照明エネルギーの削減を図ります。
  - ・自然エネルギー利用として屋上に太陽光パネルを設置します。

## □適用基準

- ・建築基準法、消防法、条例などの関連法規および所轄行政指導
- ・建築設備計画基準（平成27年版 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修）
- ・建築設備設計基準（平成27年版 同上）
- ・公共建築工事標準仕様書 電気設備工事編（平成28年度版 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）
- ・公共建築設備工事標準図 電気設備工事編（平成28年度版 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修）
- ・建築設備設計・施工上の運用指針（2013年版 日本建築設備・昇降機センター監修）
- ・官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説（平成19年版 建設大臣官房官庁営繕部監修）
- ・建築設備耐震設計・施工基準（2014年版 国土交通省国土技術政策総合研究所、独立行政法人 建築研究所監修）

## □共通事項

- ・配線方式：施工方法ごとに下記区分とします。

施工区分	配線方式
二重天井, 二重床, 配線ピット	ケーブルころがし配線
軽量間仕切内	PF管内配線
屋内露出 (機械室, 免震ピットなど)	金属管内配線 (E管)
屋外露出	金属管内配線 (G管: 溶融亜鉛メッキ塗装)
地中埋設	FEP管内配線
EPS内, 幹線	ケーブルラック配線

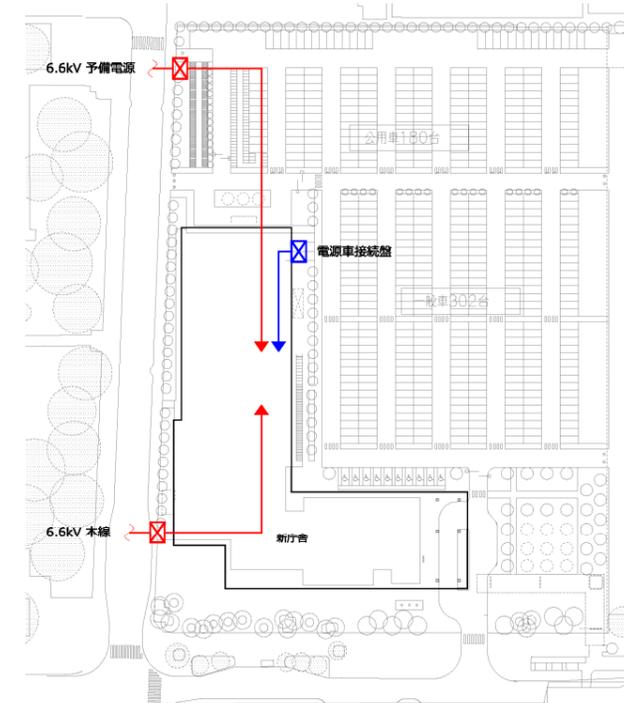
- ・配線仕様：エコマテリアル仕様（EM電線、EMケーブル）
- ・盤仕様：屋内用…鋼板製指定色塗装  
屋外用…鋼板製溶融亜鉛メッキ仕上げ（耐塩仕様）
- ・ケーブルラック仕様：屋内用…ZM（メラミン樹脂焼付仕上げ）  
屋外用…Z35（溶融亜鉛メッキ仕上げ）
- ・プルボックス仕様：屋内用…鋼板製  
屋外用…鋼板製溶融亜鉛メッキ仕上げ
- ・区画貫通処理：国土交通大臣認定工法

## □電力設備計画

- ・災害時の防災拠点となる新庁舎は、電力インフラ途絶時にも庁舎機能を維持可能な電力設備を計画します。
- ・主要電気機器は高潮時の浸水を考慮し、建屋内の2階以上の階（2階、11階）に配置します。

### 1. 電力引込設備

- ・引込電力種別は電力会社との協議により、高圧（6.6kV）弾力供給とします。
- ・電力会社からの引き込みは二箇所の異なる変電所から高圧電力を引き込み、一変電所が電力供給不可となった際にも商用電力受電が可能な計画とします。
- ・敷地南側（みなと公園側）の電力会社にて設置する高圧キャビネットから、2階高圧受電室まで高圧電力を引き込みます。
- ・高圧キャビネット内にはUGS（高圧区分閉器）を設置し、電力会社との区分を明確にします。
- ・建屋外壁面に電源車接続盤を設け、電源車からの電力を引き込みます。
- ・建屋引込部の配管は地盤沈下に対応した管路を選定します。
- ・地盤側と建屋側への渡り配線は、免震装置の変位量を見込み十分な余長を確保します。
  - ・受電方式：三相3線 6.6kV 50Hz 2回線受電（本線・予備電源）
  - ・想定最大需要電力：2,270kW



高圧電力引込経路図

### (3) 電力設備計画

#### 2. 高圧受変電設備

- ・高圧受変電設備は高潮時の浸水対策として最大浸水レベル (T.P+5.0m) 以上の2階、11階に配置します。
- ・配電経路の電圧降下を考慮し、新庁舎では2つの変電設備から電力を供給する計画とします。
- ・一方の変電設備が事故、保守、更新の際にも、他変電設備への影響を少なくするため受電分岐盤を設置し、各変電設備へ高圧送電を行う計画とします。
- ・高圧母線構成はA系 (一般系統)、B系 (非常・保安系統) を切り離せる構成とし、各々の系統ごとに保守、点検が可能な構成とします。
- ・非常用発電機の接続箇所は保守性、更新性、経済性を考慮し、受電分岐盤A系、B系に各々接続する構成とします。
- ・B系のバンク構成は長期停電時に限定した負荷へ長時間非常用発電機電源が供給可能な構成とします。
- ・変圧器、進相コンデンサ、直列リアクトルは火災発生リスク低減を考慮し乾式とします。

#### 2-1. 受電分岐盤

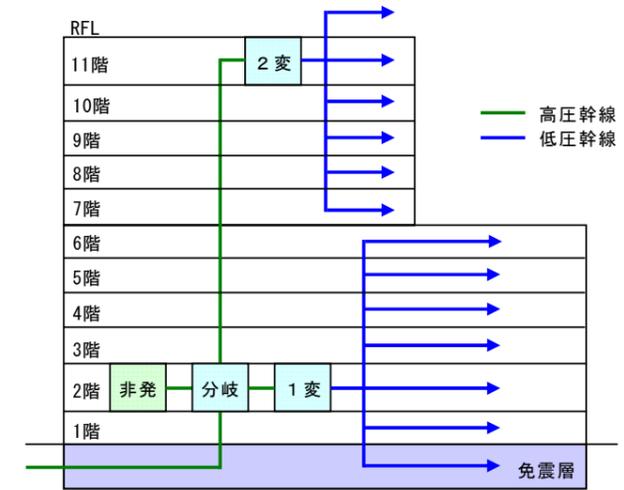
- ・設備形式：屋内閉鎖形 (前面保守形) (JIS C 4620)
- ・遮断器：高圧…VCB
- ・進相コンデンサ：窒素ガス封入式 (自動力率制御)  
設備容量…319kvar×4台
- ・直列リアクトル：モールド式 (L=6%)  
設備容量…19.1kvar×4台
- ・設置場所：高圧受電室 (2階)

#### 2-2. 第1変電設備

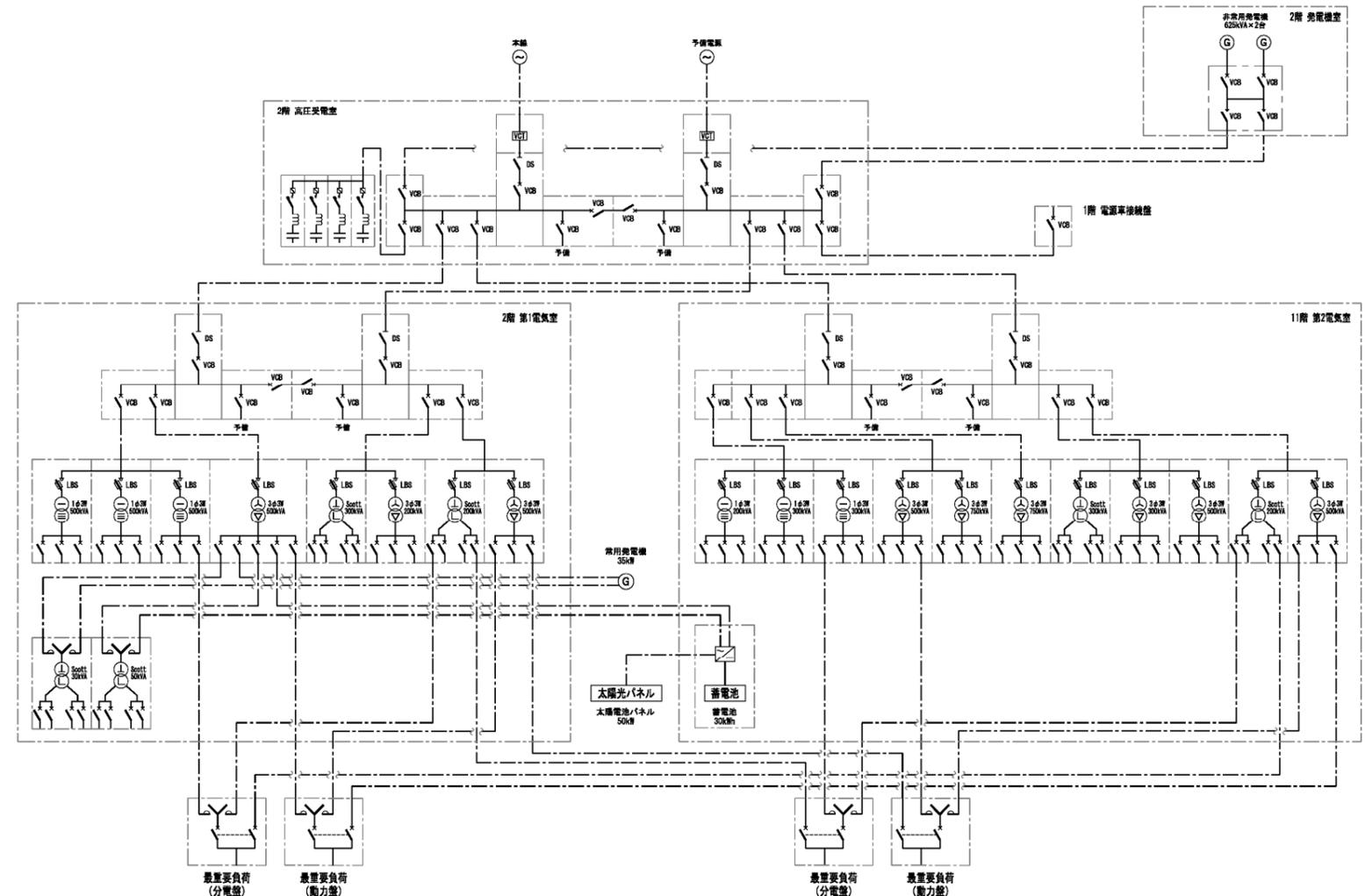
- ・設備形式：屋内閉鎖形 (前面保守形) (JIS C 4620)
- ・変圧器：モールド型 (JIS C 4306-2013)  
設備容量…3,200kVA
- ・遮断器：高圧…VCB  
低圧…MCCB、ELCB
- ・バンク構成：A系 (一般系統)…電灯バンク、動力バンク  
B系 (非常・保安系統)…非常 (最重要) バンク、保安バンク
- ・供給範囲：免震ピット～6階
- ・設置場所：第1電気室 (2階)

#### 2-2. 第2変電設備

- ・設備形式：屋内閉鎖形 (前面保守形) (JIS C 4620)
- ・変圧器：モールド型 (JIS C 4306-2013)  
設備容量…4,600kVA
- ・遮断器：高圧…VCB  
低圧…MCCB、ELCB
- ・バンク構成：A系 (一般系統)…電灯バンク、動力バンク  
B系 (非常・保安系統)…非常 (最重要) バンク、保安バンク
- ・供給範囲：7階～屋上
- ・設置場所：第2電気室 (11階)



電力供給系統図



電力供給設備単線結線図

### (3) 電力設備計画

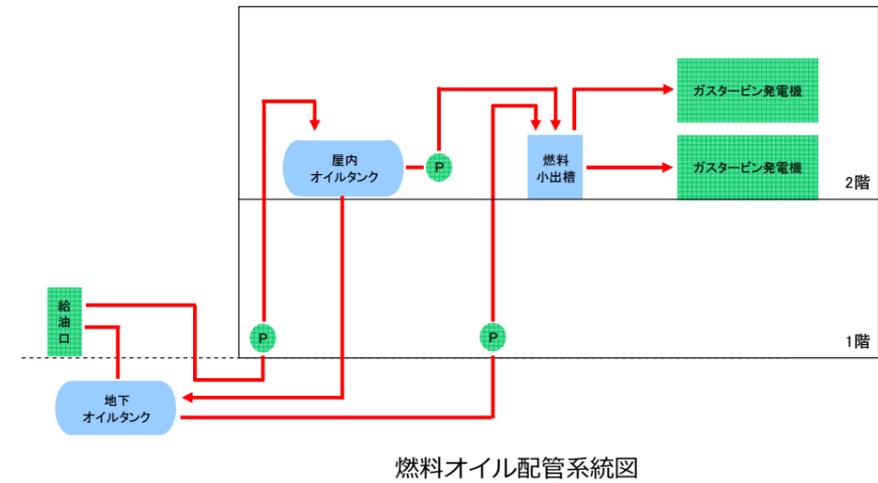
#### 3. 自家発電設備

- ・災害などによる電力インフラ途絶時でも、災害拠点となる新庁舎の業務継続を可能とするため非常用発電機を設置します。
- ・「千葉市再生可能エネルギー等導入計画」に基づき、環境配慮手法として常用発電機、太陽光発電装置を設置します。
- ・常用発電機、太陽光発電装置は、電力インフラ途絶時に自立電源として使用可能なシステムを計画します。

#### 3-1. 非常用発電機

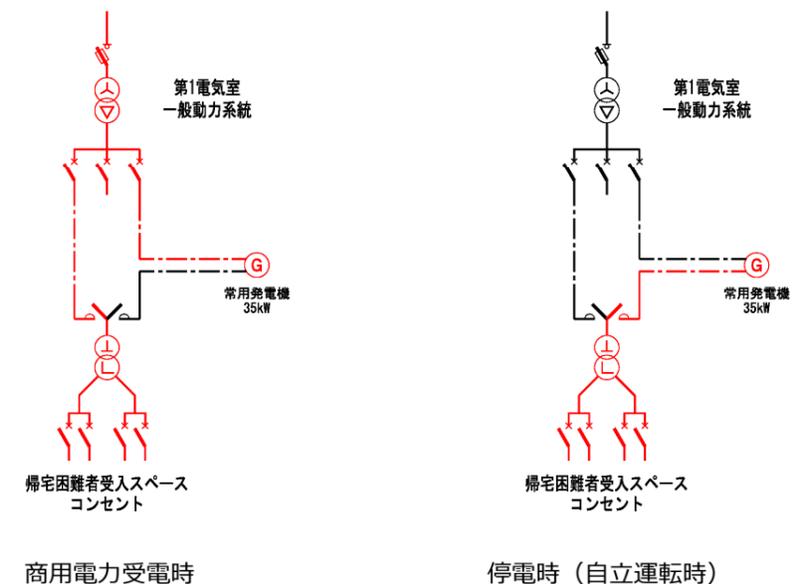
- ・非常用発電機は高潮時の浸水対策として最大浸水レベル（T.P+5.0m）以上の2階に配置します。
- ・原動機仕様は稼働時の振動、騒音を抑えられるガスタービンとします。
- ・設置台数は保守、更新時の電力インフラ途絶も考慮した複数台（2台）設置とします。
- ・使用燃料は高潮時にも長時間電力供給を可能とするため屋内にもオイルタンクを設置し、建物内に多く備蓄可能なA重油を選定します。
- ・燃料備蓄量は供給負荷へ3日間電力供給可能な燃料を備蓄します。
- ・建設地が塩害地域であるため燃焼用給気ダクトには除塩フィルターを設置します。
- ・始動用蓄電池は保守性に配慮し、長寿命 MSE 鉛蓄電池を使用します。
- ・設備仕様：屋内パッケージ型
- ・原動機：ガスタービン
- ・設備容量：三相3線 6.6kV 50Hz 625kVA×2台
- ・運転方式：2台同期運転方式（1台単機運転にて防災負荷へ供給可能な容量を選定）
- ・使用燃料：A重油
- ・騒音：低騒音型（機側1mで85dB）
- ・主燃料槽：地下オイルタンク…19,000L  
屋内オイルタンク…18,000L
- ・燃料小出槽：1,950L
- ・付帯設備：自動始動盤（長寿命 MSE 鉛蓄電池）、補機盤、同期盤、燃料送油ポンプ、燃料返油ポンプ、給油口ボックスなど
- ・燃料備蓄量：3日間（地下オイルタンク+屋内オイルタンク+燃料小出槽）
- ・供給負荷：下記分類にて計画します。

負荷分類	負荷名称	
防災負荷	消火ポンプ、排煙機、非常用 ELV、非常用コンセントなど	
最重要負荷	照明 コンセント 空調換気	危機管理センター 防災センター、守衛室 サーバー室、電気諸室
	空調機（危機管理センター、防災センターなど）	
重要負荷	照明 コンセント （一部）	執務エリア 共用部
	給排水ポンプ、雑用水ポンプ、井戸ポンプ 自動ドア、自動水栓、ELV、厨房機器（一部）	



#### 3-2. 常用発電機

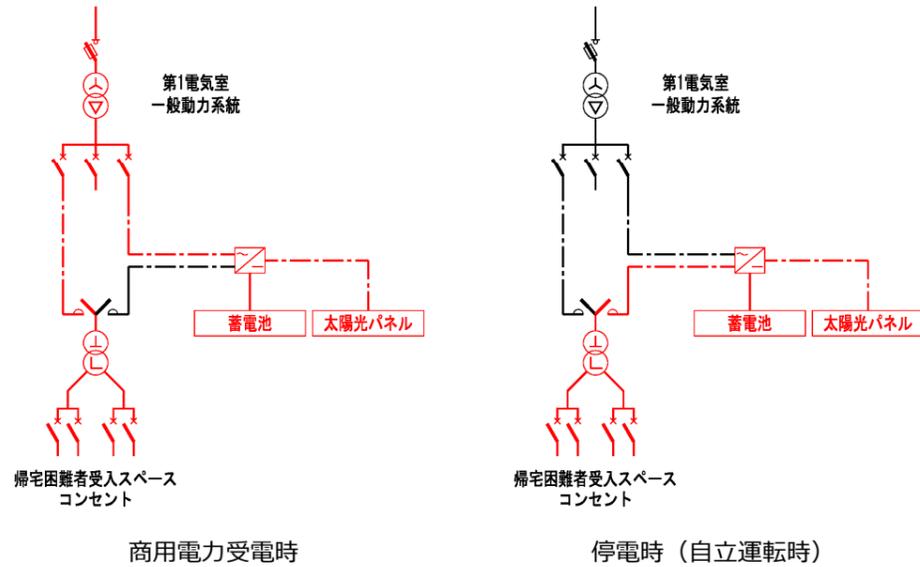
- ・環境配慮手法として商用電力の削減、排熱利用によるエネルギーの多段階活用が可能な常用発電機を設置します。
- ・災害などの電力インフラ途絶時に限定した負荷（帰宅困難者用携帯電話充電用コンセントなど）へ発電電力を供給可能なシステムを構築します。
- ・設備仕様：屋外パッケージ型（マイクロコージェネレーションシステム）
- ・原動機：ガスエンジン
- ・設備容量：三相3線 200V 50Hz 35kW
- ・使用燃料：都市ガス（13A）
- ・付帯機能：停電時自立運転制御
- ・排熱利用：空調機熱源
- ・設置場所：屋上（11階レベル屋外機置場）
- ・系統連系箇所：第1変電設備（2階）
- ・自立運転時供給負荷：帰宅困難者受入スペースコンセントの一部（1階～2階）



### (3) 電力設備計画

#### 3-3. 太陽光発電装置

- ・自然エネルギー利用により商用電力の削減が図れる太陽光発電装置を設置します。
- ・2階防災センターに設置のデータ収集装置で発電電力量を収集し、1階エントランスホールに設置の表示モニターに表示可能な計画とします。
- ・災害などの電力インフラ途絶時に限定した負荷（帰宅困難者用携帯電話充電用コンセントなど）へ発電電力を供給可能なシステムを構築します。
- ・発電電力を貯蔵する蓄電池を設置し、夜間や電力インフラ途絶時に貯蔵した電力を供給可能なシステムを構築します。
- ・太陽電池パネル
  - ・仕様：ハイブリッド（単結晶+アモルファス）
  - ・容量：50kW
  - ・設置場所：屋上
- ・パワーコンディショナー
  - ・仕様：鋼板製自立型
  - ・設置場所：第2電気室（11階）
- ・蓄電池
  - ・仕様：リチウムイオン蓄電池（屋内キュービクル式）
  - ・容量：30kWh
  - ・設置場所：第2電気室（11階）
- ・付帯機器：データ収集管理装置、表示モニター（52インチ）、日射計、温度計
- ・自立運転時供給負荷：帰宅困難者受入スペースコンセントの一部（1階～2階）

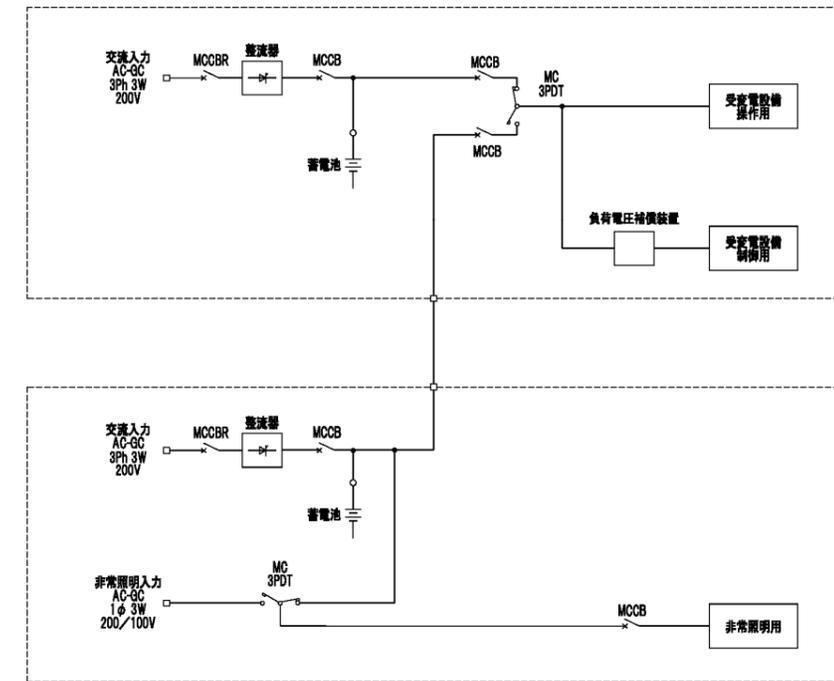


#### 4. 電力貯蔵設備

##### 4-1. 直流電源装置

- ・受変電設備の遮断器操作および制御用、非常照明用として直流電源装置を設置します。
- ・受変電設備操作・制御用と非常照明電源用を各々分割して、他方の機能を停止することなく保守、更新が可能なシステムを構築します。
- ・受変電設備操作・制御用は非常照明電源用からバックアップを構築し、保守、更新時の停電にも対応可能なシステムを構築します。
- ・使用する蓄電池は保守性に配慮し、長寿命 MSE 鉛蓄電池を使用します。

- ・設備仕様：屋内キュービクル型
- ・整流器：サイリスタ自動電圧調整式
- ・蓄電池：長寿命 MSE 鉛蓄電池
- ・停電補償時間：10分間
- ・設備容量：受電分岐盤、第1変電設備操作・制御用…50AH  
第2変電設備操作・制御用…50AH  
非常照明電源用（1階～6階）…700AH  
非常照明電源用（7階～11階）…400AH
- ・設置場所：受電分岐盤、第1変電設備操作・制御用…高圧受電室（2階）  
第2変電設備操作・制御用…第2電気室（11階）  
非常照明電源用（1階～6階）…高圧受電室（2階）  
非常照明電源用（7階～11階）…第2電気室（11階）



システム概念図

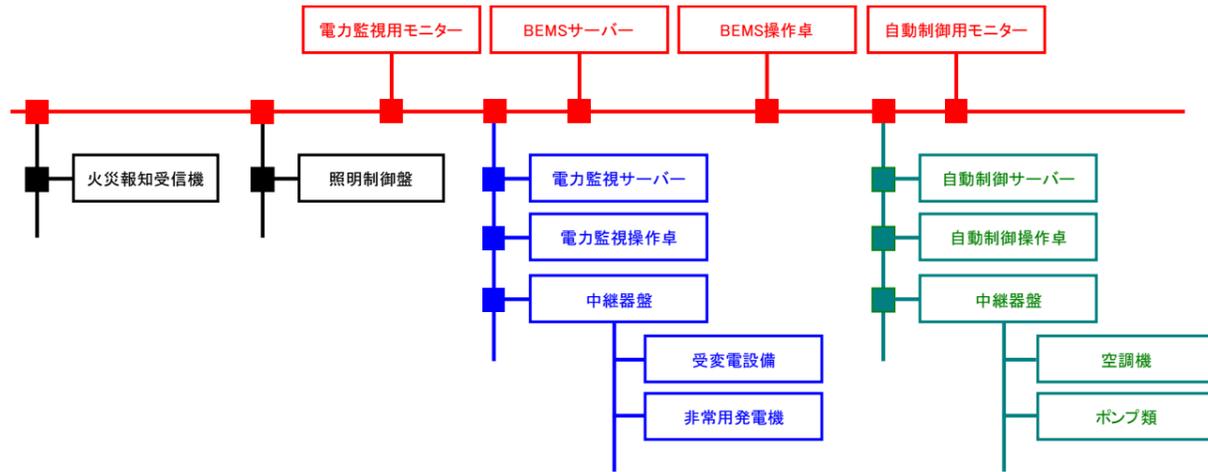
##### 4-2. 無停電電源装置

- ・停電時にサーバー機器へ無瞬断で電源供給可能な無停電電源装置を設置します。
- ・使用する蓄電池は保守性に配慮し、長寿命 MSE 鉛蓄電池を使用します。
- ・設備仕様：屋内キュービクル型
- ・制御方式：単機運転
- ・蓄電池：長寿命 MSE 鉛蓄電池
- ・設備容量：50kVA
- ・設置場所：サーバー室（5階）
- ・供給負荷：サーバー機器

### (3) 電力設備計画

#### 5. 中央監視制御設備（電力監視設備）

- 電力基幹設備の状態表示、故障表示、監視用として中央監視制御設備を設置します。
- 上位機種との相互通信には BACnet 接続が可能な仕様とし、自動制御設備（BEMS）へ必要情報を伝送可能なシステムを構築します。
- 停復電制御の方式は将来の構成、運用の変更に容易に対応可能な PLC 制御方式とします。
- 型式：Ⅲ形（操作卓形）
- 停復電制御方式：PLC 方式
- 構成機器：制御装置、操作卓、液晶モニター、簡易 UPS など
- 表示内容：受変電設備…状態・故障表示、警報、計測  
 非常用発電機…運転・状態・故障表示、警報  
 常用発電機…運転・状態・故障表示、警報、計測  
 太陽光発電装置…故障表示、警報、計測  
 直流電源装置…故障表示、警報  
 電灯分電盤、動力制御盤（最重要系統のみ）…状態表示（切替状態表示）



BACnet 構成概念図

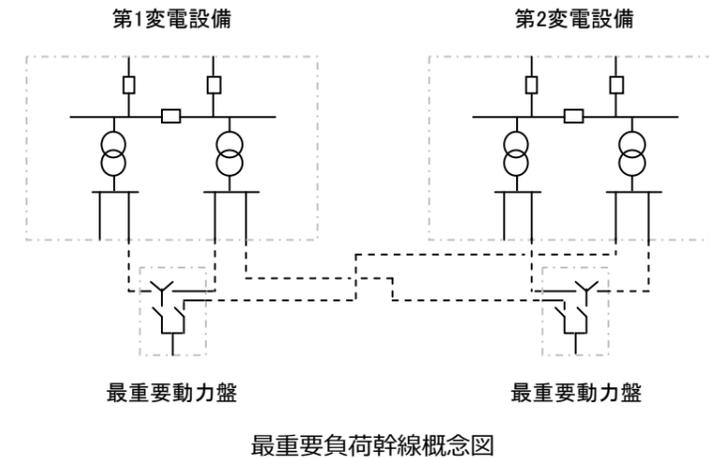
#### 6. 接地設備

- 電気使用施設として必要な電力用接地および情報通信機器用接地を関連法規、基準に準拠し設けます。
- 接地方式は統合接地方式（構造体接地）を採用し、短絡保護協調に配慮して B 種接地および通信用接地は単独接地とします。
- 落雷時の各接地極間を等電位にするため、接地端子盤には接地間用 SPD を設置します。
- 接地方式：統合接地方式、単独接地方式（B 種、通信用）
- 接地極：構造体接地極、銅板・銅棒（B 種、通信用）

#### 7. 動力設備

##### 7-1. 動力幹線

- 動力幹線は各ゾーニング、機械室、機器置場毎に単独幹線とし、将来改修時にも容易に電源供給範囲が判断できる計画とします。
- 最重要負荷幹線は一般動力バンク、非常（最重要）動力バンクからの二重化と、他変電設備非常（最重要）動力バンクからのバックアップにて三重化幹線を構築します。
- 配線方式：ケーブルラック配線、配管配線
- 配電電圧：三相 3 線 200V
- 最重要負荷：空調換気機器（危機管理センター、防災センター、守衛室、電気関連諸室）



##### 7-2. 動力分岐

- 空調換気機器、衛生ポンプ類および動力電源を要する機器への電力供給、制御を行います。
- 動力制御盤より負荷が離れている場合は、負荷に隣接した位置に手元開閉器を設け、保守時の安全性に留意します。
- 空調、衛生機器でインバーター制御が必要な機器用として、動力制御盤内にインバーターを設置します。
- イベント電源用として屋外まちかど広場、1 階イベントスペースに専用電源盤を設置します。
- 各動力制御盤には課金徴収用、エネルギー管理用の電力量計を設置します。
- 動力制御盤：各負荷毎モジュール形式
- 設置場所：各機械室、EPS、ES、屋外機置場
- 電動機保護：短絡保護…配線用遮断器、漏電遮断器  
 保護装置…熱動形過負荷欠相運転防止継電器（2E）：空調機、一般動力機器  
 過負荷欠相逆相運転防止継電器（3E）：水中ポンプ
- 電動機始動：11kW 未満…直入始動  
 11kW 以上…始動装置による始動
- イベント電源盤想定容量：まちかど広場…10kW  
 イベントスペース…10kW
- 計量メーター：厨房・食堂（2 階）、売店（2 階）、カフェ（1 階）、イベント電源用  
 …検定付デジタル式パルス発信機付電力量計  
 その他…検定無デジタル式パルス発信機付電力量計

#### 8. 電灯設備

##### 8.1. 電灯幹線

- 動力幹線は各ゾーニング、機械室、機器置場毎に単独幹線とし、将来改修時にも容易に電源供給範囲が判断できる計画とします。
- 最重要負荷幹線は一般電灯バンク、非常（最重要）電灯バンクからの二重化と、他変電設備非常（最重要）電灯バンクからのバックアップにて三重化幹線を構築します。
- 配線方式：ケーブルラック配線、配管配線
- 配電電圧：電灯幹線…単相 3 線 200-100V  
 非常照明幹線…単相 2 線（DC）100V
- 最重要負荷：危機管理センター、防災センター、守衛室、電気関連諸室

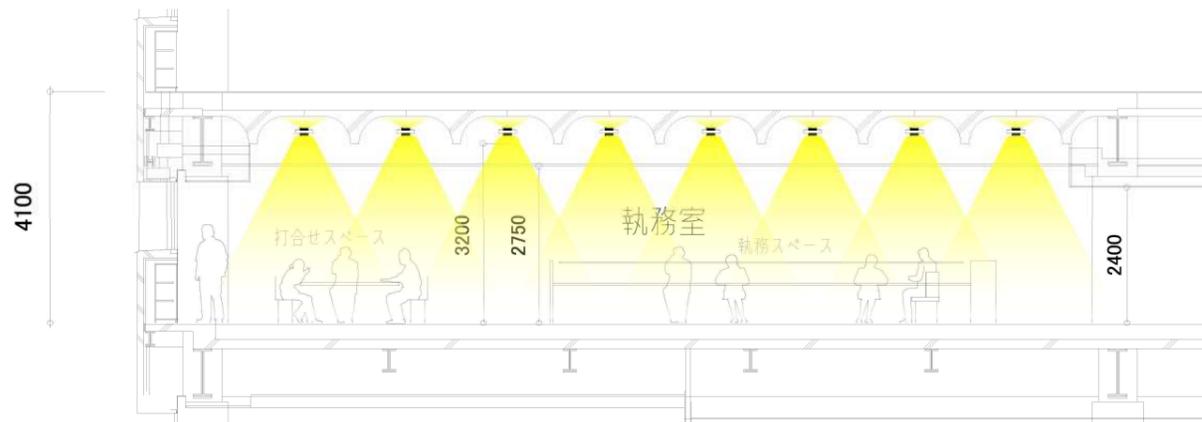
## (3) 電力設備計画

### 8-2. 電灯分岐

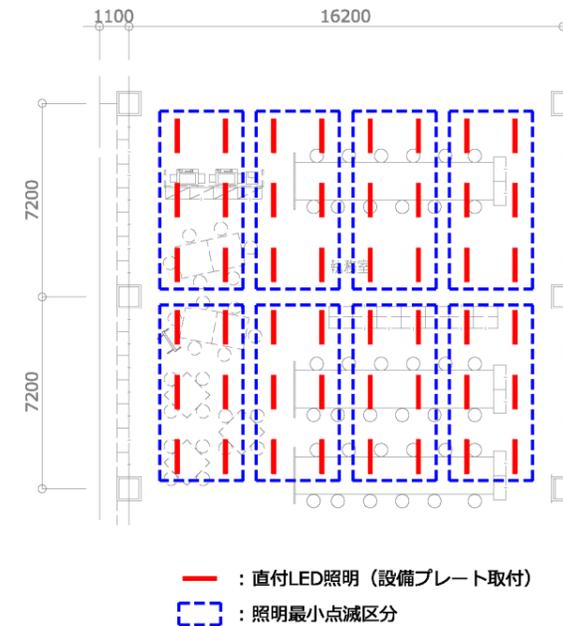
- ・照明点滅方式は現地での個別点滅制御を基本とし、スケジュール制御、遠方点滅が可能なシステムを構築します。
- ・執務室などの大空間では点滅区分の細分化を行い、こまめな点滅を可能とすることで照明消費エネルギーの削減を図ります。また、最小点滅区分（6 灯）で点滅グルーピングを可能とし、レイアウト変更時の点滅区分変更を容易に可能とします。
- ・外光を有効に取り入れることができる諸室は照度センサー制御を、トイレなどの滞在時間の短い諸室は人感センサーによる点滅制御を行い省エネルギーに配慮します。
- ・イベント電源用として屋外まちかど広場、縁側テラス、1 階イベントスペース、中 2 階大階段踊場に専用電源盤を設置します。
- ・各電灯分電盤には課金徴収用、エネルギー管理用の電力量計を設置します。
- ・電灯分電盤、OA 分電盤：実装負荷回路の 20% の予備回路を実装
- ・設置場所：各 EPS、ES
- ・照明制御：制御方式…多重伝送システム  
照明制御盤…液晶表示（地図表示）+ アナログ表示
- ・照明制御手法：執務室…照度センサー制御  
更衣室、便所…人感センサー制御  
ロビー、廊下…スケジュール制御
- ・配線器具：ワイド型（樹脂プレート）、大型連用形（金属プレート）
- ・イベント電源盤想定容量：まちかど広場…20kVA  
縁側テラス…30kVA  
イベントスペース…10kVA  
大階段踊場…10kVA
- ・計量メーター：厨房・食堂（2 階）、売店（2 階）、カフェ（1 階）、イベント電源用  
…検定付デジタル式パルス発信機付電力量計  
その他…検定無デジタル式パルス発信機付電力量計

### 8-3. 照明器具

- ・各室の照明器具光源は高効率、長寿命な LED 光源とし、設定照度は JIS 基準（JIS Z-9110:2011）により設定します。
- ・天井無しの大空間執務室は設備プレートの上部と下部に照明器具を配置し、天井（上階スラブ）と設備プレート間の明るさ感を確保する。
  - ・器具仕様：執務室（天井無）…直付 LED 照明（設備プレート上部、下部設置）  
執務室（天井有）…埋込 LED 照明  
共用部（ルーバー天井）…直付 LED 照明（レースウェイ取付）  
共用部（天井有）…LED ダウンライト+建築化照明



基準階照明配置断面図



基準階照明配置・点滅区分



基準階照明点灯イメージ

### 8-4. コンセント分岐

- ・コンセント仕様は使用機器の定格容量に合わせて計画します。
- ・執務室コンセントはハーネスジョイント+OA タップ方式とし、基準原単位は 60VA/m<sup>2</sup>として計画します。
- ・共用部には 20m~30m 毎に清掃用として基準仕様コンセントを設置します。
- ・屋外、水廻りに設置するコンセントは ELCB（漏電遮断器）回路とします。
- ・回路構成は原則としてコンセント 6 個~7 個を上限とし、回路容量は 1,600VA 以下で 1 回路とします。
  - ・基準仕様：2P15A 接地極付×2 口
  - ・ハーネスジョイント：4 分岐送り端子付（1 箇所/4 席に接地）
  - ・OA タップ：2P15A 接地極付×4 口 マグネット付（各席に設置）

### 8-5. 屋外照明設備

- ・外部動線の明るさ確保、樹木などのライトアップ用として屋外照明を設置します。
- ・照明器具の光源は高効率、長寿命な LED 光源とします。
  - ・器具仕様：LED ポール灯、LED 庭園灯、LED スポットライト

### 8-6. 電気自動車充電設備

- ・職員、来庁者の電気自動車充電用の充電設備を設置します。
  - ・急速充電仕様（2 台）
    - ・電気方式：入力…三相 3 線 200V、出力…単相 2 線（DC）400V
  - ・一般充電仕様（8 台）
  - ・機器仕様：屋外自立型
  - ・設置場所：屋外駐車場

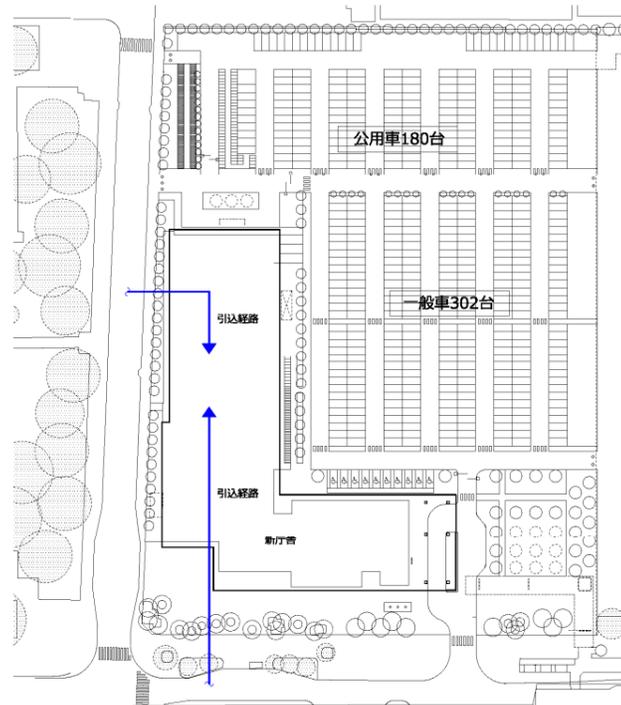
## (4) 通信設備計画

### □通信設備計画

- 通信機器主装置が設置される防災センター、主要通信機器室（電話交換室、サーバー室）は高潮時の浸水対策として最大浸水レベル（T.P+5.0m）以上の2階以上の階に配置します。
- 市民への情報配信が可能な情報表示設備、議会運営を円滑に進めるための議場システムを設置します。

#### 1. 通信引込設備

- 通信事業者からの引込経路として敷地東側（モノレール側）から免震ピットまで地中管路を敷設します。
- 将来二方向引き込みが可能なよう、敷地南側（みなと公園側）から免震ピットまで地中管路を敷設します。
- 建屋引込部の配管は地盤沈下に対応した管路を選定します。
- 免震ピットには、免震装置の変位量を見込み込んだケーブル余長を確保可能な計画とします。
- 免震ピットから2階電話交換室、5階サーバー室まではケーブルラックを敷設し引込経路を確保します。



通信二方向引込経路図

#### 2. 構内情報通信網設備

- 庁内 LAN 用サーバー機器は高潮時の浸水対策として最大浸水レベル（T.P+5.0m）以上の5階に配置します。
- サーバー機器以降の庁内 LAN 配線用経路を確保します。
- 工事区分：本工事…ケーブルラック、配管  
別途工事…サーバー機器、ネットワーク機器、端末、配線

#### 3. 構内交換設備

- 電話交換機、MDF（主配線盤）、弱電総合盤は高潮時の浸水対策として最大浸水レベル（T.P+5.0m）以上の2階に配置します。
- 執務室職員利用の電話機は固定電話機を主とし、全館 PHS 利用可能なよう PHS アンテナを設置します。
- 危機管理センター、防災センターの電話機は停電対応型多機能電話機とし災害時も利用可能とします。

#### 電話交換機

- 局線応答方式：ダイヤルイン方式
- 交換方式：デジタル方式
- 回線数：局線…140回線、内線…1,500回線
- 設置場所：電話交換室（2階）
- 付帯機器：多機能電話機…執務室など  
一般電話機…会議室など  
PHS 電話機、PHS アンテナ…全館使用可能
- 弱電総合盤：防災センター（2階）に設置
- MDF（主配線盤）：電話交換室（2階）に設置
- IDF（端子盤）：各 EPS、ES に配置

#### 4. 情報表示設備

##### 4-1. マルチサイン装置（デジタルサイネージ装置）

- 庁内案内図やイベント情報など、市民への情報発信用にマルチサイン装置を設置します。
- 災害時には管理 PC で編集した災害情報を表示可能なシステムとします。
- 各階設置のディスプレイはタッチパネル式とし市民が必要情報を選択し表示可能とします。
- 構成機器：システム主装置（1台）…防災センター（2階）に設置  
管理用 PC（1台）…総務課執務室  
200 インチ大型ディスプレイ（1台）…市民ヴォイドに設置  
60 インチタッチパネル式ディスプレイ（9台）…エントランスホール、ELV ホール



表示内容イメージ

##### 4-2. 出退表示装置

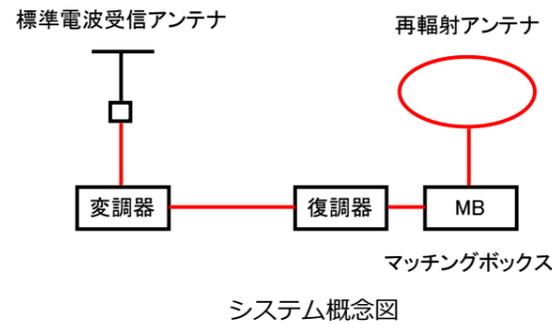
- 特別職出退、議員登庁表示用として出退表示装置を設置します。
- 伝送方式は表示内容の変更が容易なネットワーク伝送方式とします。
- 特別職出退用、議員登庁用は同一ネットワークで構成します。
- 特別職出退表示用
  - 伝送方式：ネットワーク伝送方式
  - 表示器：65 インチ液晶表示器（議員登庁用と兼用）…秘書課執務室（4階）に設置
  - 表示内容：市長、副市長（2名）、病院事業管理者、代表監査員（計：5名）
  - 操作器：タッチパネル式（1台）…総合案内（1階）に設置

(4) 通信設備計画

- ・議員登庁表示用
  - ・伝送方式：ネットワーク伝送方式
  - ・表示器：65 インチ液晶表示器…エントランスホール（1 階）、議会事務局（6 階）に設置  
秘書課（4 階）の表示器は特別職表示用と兼用
  - ・表示内容：各議員（54 名）
  - ・操作器：タッチパネル式（2 台）…議場ロビー（5 階）、議会事務局（6 階）に設置

4-3. 時刻表示装置

- ・各諸室に配置される子時計の時刻補正が可能な時刻表示装置を設置します。
- ・時刻表示システムは子時計の配置変更が容易であり、家電量販店などで購入できる子時計を使用可能な電波時計（再輻射アンテナ）システムとします。
- ・システム：長波標準電波時計システム
- ・幹線系統：テレビ共同受信幹線ケーブルで兼用
- ・機器構成：長波標準電波受信アンテナ、再輻射アンテナ、変調器、復調器、マッチングボックスなど



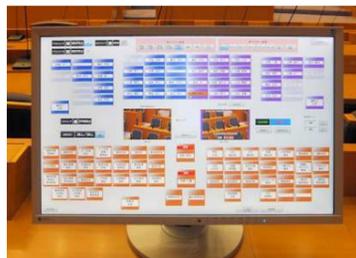
5. 映像・音響設備

5-1. 会議装置（議場システム）

- ・議場、全員協議会、各委員会の円滑に進めるための議場システムを設置します。
- ・各室のマイクユニットは多目的利用を考慮し赤外線ワイヤレスマイクとします。
- ・各室の会議状況を録画・録音可能なカメラ、マイクを設置し、会議状況を庁内テレビ、ケーブルテレビで視聴可能なシステムを構築します。
- ・各諸室に設置される主要機器は下記内容とします。



赤外線マイクユニット



操作卓モニター表示イメージ



ディスプレイ表示イメージ

機器構成表

機器名称		議場	全員協議会室	各委員会室
機器収納架	録画、録音装置	有	有	有
	外部出力	有	有	有
	設置場所	放送ブース	全員協議会室	各委員会室
操作卓	モニター	23インチ	23インチ	23インチ
	設置場所	放送ブース 議場	全員協議会室	各委員会室
マイクユニット	方式	赤外線	赤外線	赤外線
	採決ボタン	有	-	-
赤外線送受光ユニット		壁付大型	天井直付型	天井直付型
スクリーン	インチ数	200インチ	120インチ	120インチ
プロジェクター	明るさ	20,000 lm	7,000 lm	7,000 lm
	設置方法	天井吊下型	天井吊下型	天井吊下型
ディスプレイ	発言者映像、電子資料	65インチ壁掛型	65インチ移動型	65インチ移動型
	採決結果、議員数表示	65インチ壁掛型	-	-
	議長、局長席用	15インチ	55インチ ロースタンドタイプ	55インチ ロースタンドタイプ
スピーカー	メインスピーカー	壁付型ラインアレイ	天井吊下型	天井吊下型
	サブスピーカー	-	天井埋込型	天井埋込型
カメラ		可動式 固定式	可動式	可動式
集音マイク		壁付型	天井埋込型	天井埋込型
会議中表示灯		有	-	-
難聴者支援用ループアンテナ		有	-	-

5-2. 映像・音響装置（会議室映像・音響装置）

- ・災害活動拠点や会議運営を円滑に進めるための映像・音響装置を設置します。
- ・オペレーションルームは防災情報カメラ映像や J-ALERT など、災害時の外部情報を入力可能システムとします。
- ・災害対策本部会議室はオペレーションルームにて選択された映像、情報を表示可能なシステムとします。
- ・各諸室に設置される主要機器は下記内容とします。



災害対策本部イメージ



大型モニターイメージ

## (4) 通信設備計画、(5) 防災・防犯設備計画

機器構成表

機器名称		正庁 (1階)	オペレーションルーム (3階)	災害対策本部会議室 (3階)	記者会見室(1) (4階)	幹部会議室 (4階)
機器収納架		－	有	有	－	有
操作ワゴン		有	有	有	有	有
スクリーン	インチ数	200インチ	－	－	80インチ	120インチ
	明るさ	7,000 lm	－	－	5,200 lm	7,000 lm
プロジェクター	設置方法	天井吊下型	－	－	天井吊下型	天井吊下型
	メインモニター	－	55インチ×9面 マルチモニター	70インチ	－	－
ディスプレイ	サブモニター	移動型65インチ	24インチ 移動型65インチ	22インチ	－	－
	メインスピーカー	壁付型ラインアレイ	壁付型ラインアレイ	天井吊下型	天井吊下型	天井吊下型
スピーカー	サブスピーカー	天井埋込型	天井埋込型	天井埋込型	天井埋込型	天井埋込型
	ワイヤレスマイク	有	－	有	－	有
ワイヤレスアンテナ		有	－	有	有	有

## 6. 誘導支援設備

## 6-1. 音声誘導装置

- ・視覚困難者市民が容易に庁舎入口を確認できるよう音声誘導装置を設置します。
- ・2階出入口から2階無人案内所までの動線に音声誘導装置を設置します。
- ・仕様：小型送信機、受信アンテナ、人感センサー、スピーカー一体型
- ・検出方式：無線式
- ・設置場所：1階出入口（4カ所）、2階出入口、2階無人案内所

## 6-2. インターホン

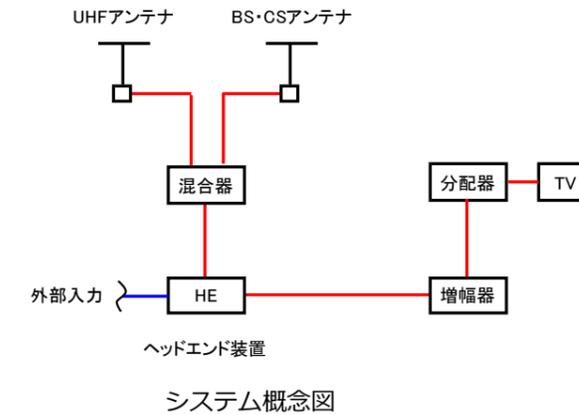
- ・閉庁時の訪問者対応としてインターホンを設置します。
- ・インターホンは訪問者を目視可能なカラーカメラ付（録画機能付）とします。
- ・親機：カラーモニター付親機…守衛室（1階）に設置
- ・子機：カラーカメラ付ドアホン…西側通用口に設置

## 6-3. トイレ呼出

- ・多目的トイレ利用者の非常呼出用としてトイレ呼出を設置します。
- ・表示器：窓表示式…防災センター（2階）に設置
- ・構成機器：非常押釦、復旧釦、表示灯…各多目的トイレに設置

## 7. テレビ共同受信設備

- ・庁舎でのテレビ視聴が可能なようテレビ共同受信設備を設置します。
- ・議会の状況を庁舎テレビで視聴可能とするため外部入力用のヘッドエンド装置を設置します。
- ・受信方式：BS・CS-IF方式
- ・アンテナ：UHF/BS/CS110°
- ・構成機器：混合器、増幅器、分配器、分岐器、ヘッドエンド装置など



## 8. 駐車場管制設備

- ・来庁舎への駐車場入庫制限、管理を目的とした駐車場管制設備を設置します。
- ・構成機器：監視制御装置（1台）、入庫ゲート（4台）、発券機（2台）、精算機（2台）、車両検知装置（2組）、出庫表示灯（2台）

## □防災・防犯設備計画

- ・建築基準法、消防法に準拠し防災設備を設置します。
- ・庁舎内のセキュリティに配慮し、市民利用エリアと職員エリアを明確に区分し、監視カメラ、入退室監視装置を設置します。

## 1. 防災設備

## 1-1. 非常照明・誘導灯

- ・建築基準法、消防法に準拠し非常照明、誘導灯を設置します。
- ・誘導灯の光源は長寿命なLED光源とし、各階避難階段入口、1階避難口の誘導灯は音声点滅機能付とします。
- ・器具仕様：非常照明…ハロゲン電球（電源別置型）  
誘導灯…LED誘導灯（電源内蔵型）

## 1-2. 非常コンセント設備

- ・消防法、消防指導に準拠し8階以上（31m以上）の階に非常コンセントを設置します。
- ・設置場所：非常用ELV附室（8階～11階）（計8台）

## (5) 防災・防犯設備計画

### 1-3. 緊急離発着場照明設備

- ・航空法に準拠し屋上離発着場に緊急離発着場照明を設置します。
- ・緊急離発着場照明を2階防災センターから遠隔にて点滅可能なシステムを構築します。
- ・構成機器：緊急離発着場照明制御盤（1台）…屋上  
遠隔操作パネル（1台）…防災センター（2階）に設置  
着陸域照射灯（6台）、境界誘導灯（6台）、境界灯（2台）、風向灯付風向指示器（1台）

### 1-4. 航空障害灯設備

- ・航空法に準拠し航空障害灯を設置します。
- ・機器構成：航空障害灯管制器（1台）…防災センター（2階）に設置  
遠隔操作パネル（1台）…防災センター（2階）に設置  
航空障害灯（低光度LED）（4台）

### 1-5. 雷保護設備

- ・建築基準法に準拠し外部雷保護設備を設置します。
- ・重要機器（サーバー機器など）の雷サージ保護を目的とした内部雷保護装置（SPD）を設置します。
- ・適用基準：JIS A 4201-2003
- ・保護レベル：II
- ・保護方式：回転球体法、メッシュ法
- ・受雷部：突針、棟上導体
- ・引下形式：構造体利用
- ・接地極：構造体接地極
- ・SPD：屋外設置の動力制御盤、電灯分電盤…クラスI（主幹遮断器二次側）  
重要機器（サーバー機器、防災センター設置機器）電源供給用電灯分電盤…クラスII（主幹遮断器二次側）

### 1-6. 拡声設備

- ・消防法に準拠し全館に非常放送設備を設置します。
- ・増幅器は非常業務兼用型とし、日常業務の放送、チャイム発信が可能なシステムとします。
- ・放送区分は職員利用エリア、市民利用エリア、議会エリアなど用途区分ごとに分割します。
- ・増幅器：非常業務兼用型（ラックマウント型）  
回線数…40局、容量…960W
- ・付帯機器：非常リモートマイク（4台）…防災センター、守衛室、危機管理センター、総務課に設置  
電源カッターリレー、スピーカー、アッテネータなど

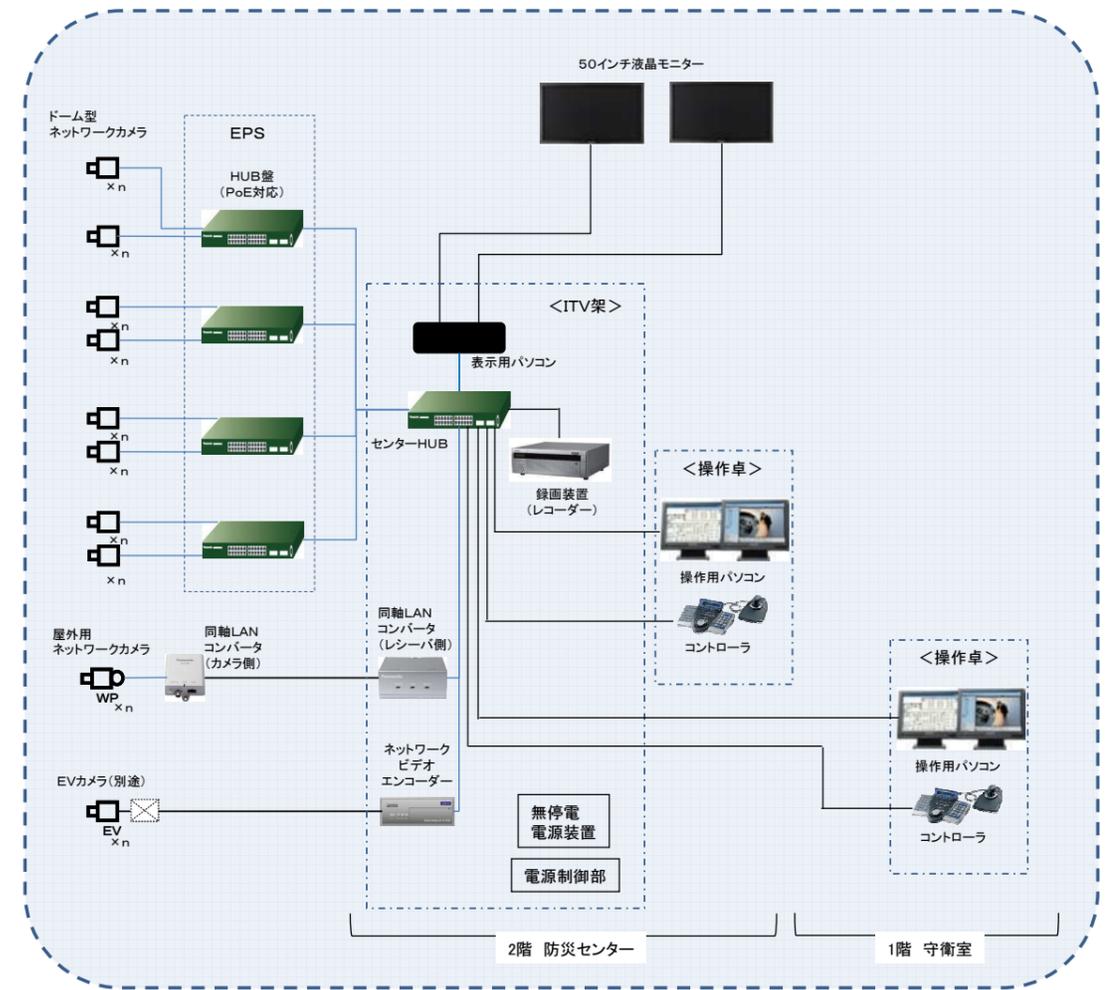
### 1-7. 火災報知設備

- ・建築基準法、消防法に準拠し自動火災報知、防排煙設備を設置します。
- ・火災の早期発見が可能なよう感知器は煙感知器を主とし設置します。
- ・BACnet接続により他設備への火災信号出力が可能なシステムを構築します。
- ・受信機：GR型複合盤…防災センター（2階）に設置
- ・副表示機：守衛室（1階）に設置
- ・総合操作盤：防災センター（2階）に設置
- ・防災卓：防災センター（2階）に設置
- ・構成機器：中継器、発信器、感知器など

### 2. 防犯設備

#### 2-1. 監視カメラ設備

- ・建屋出入口、職員エリア出入口扉付近に監視カメラを設置し、有事の状況確認、モニタリングを行います。
- ・新庁舎の防犯管理拠点は守衛室（1階）になるが、高潮時の浸水対策として最大浸水レベル（T.P+5.0m）以上の2階防災センターに主装置を配置し、守衛室には映像モニター、操作器を設置します。
- ・伝送方式は将来のカメラ増設に容易に対応可能なネットワーク伝送方式とします。
- ・録画装置は約2週間分の映像を録画可能な容量とします。
- ・伝送方式：ネットワーク伝送方式
- ・映像管理装置：防災センター（2階）に設置
- ・映像モニター、操作器：守衛室（1階）に設置
- ・構成機器：録画装置、ネットワーク装置、モニター、監視カメラ（50台）など

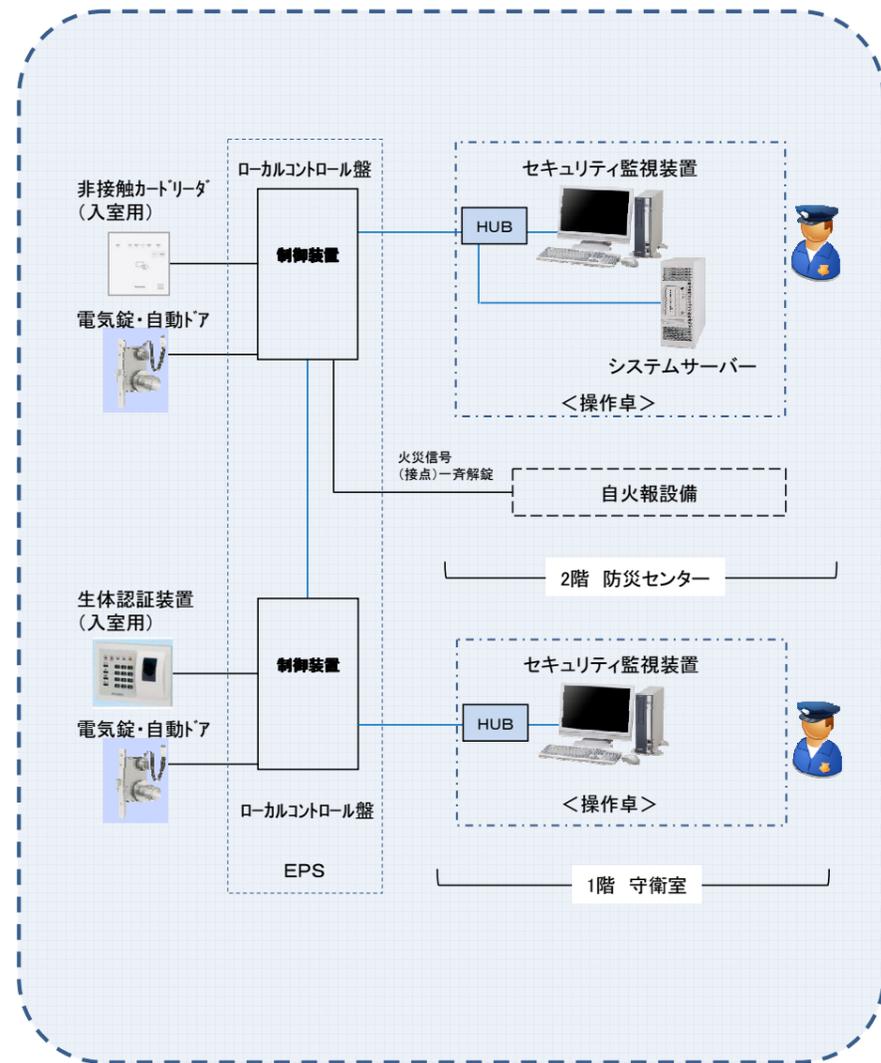


システム構成図

(5) 防災・防犯設備計画

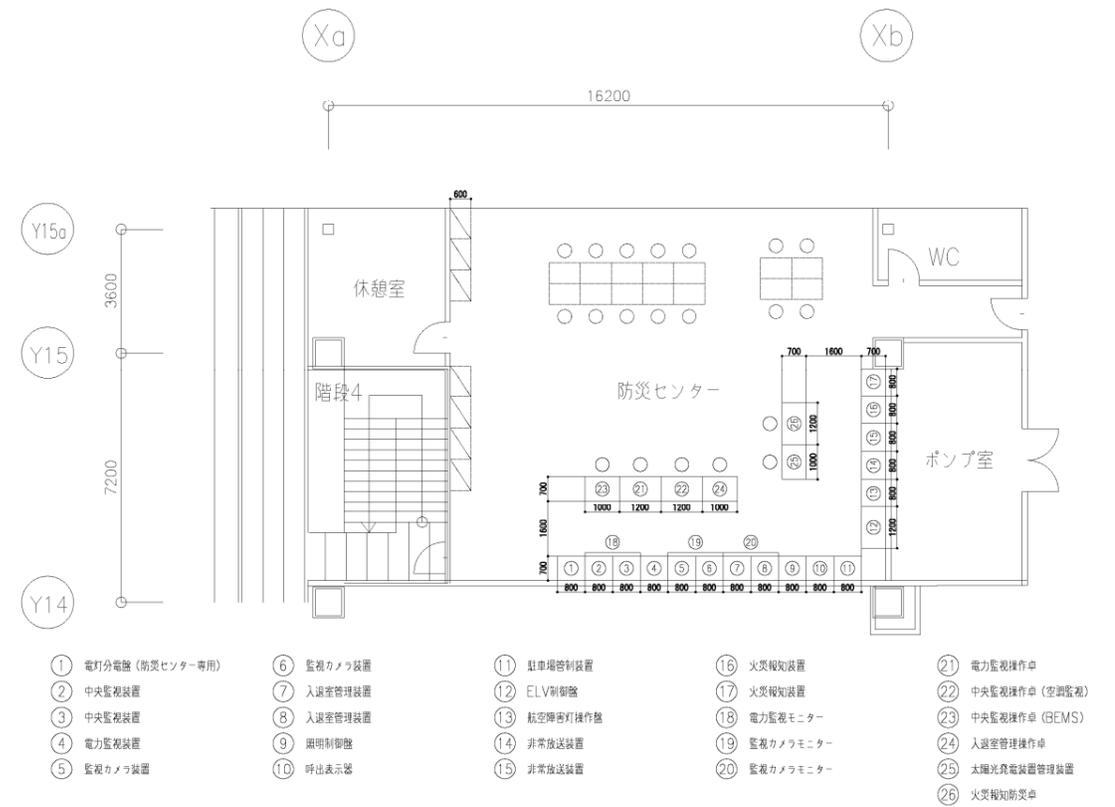
2-2. 防犯・入退室管理設備

- ・建物出入口、職員工エリア出入口扉に入退室管理装置を設け、入室制限を行います。
- ・新庁舎の防犯管理拠点は守衛室（1階）になるが、高潮時の浸水対策として最大浸水レベル（T.P+5.0m）以上の2階防災センターに主管理装置を配置し、守衛室には副管理装置を設置します。
- ・管理媒体は非接触カードリーダーを主とし、セキュリティグレードの高い重要諸室（サーバー室など）への入室管理媒体は生体認証装置とします。
- ・管理装置：防災センター（2階）に設置
- ・副管理装置：守衛室（1階）に設置
- ・構成機器：フロア制御装置、非接触カードリーダー、生体認証装置、カード登録機など



システム構成図

3. 防災センター機器配置



- |                    |           |            |             |                  |
|--------------------|-----------|------------|-------------|------------------|
| ① 電灯分電盤 (防災センター専用) | ⑥ 監視カメラ設置 | ⑪ 駐車場管理装置  | ⑮ 火災報知装置    | ⑳ 電力監視操作卓        |
| ② 中央監視装置           | ⑦ 入退室管理装置 | ⑫ ELV制御盤   | ⑯ 火災報知装置    | ㉑ 中央監視操作卓 (空調監視) |
| ③ 中央監視装置           | ⑧ 入退室管理装置 | ⑬ 航空障害灯制御盤 | ⑰ 電力監視モニター  | ㉒ 中央監視操作卓 (BEMS) |
| ④ 電力監視装置           | ⑨ 風洞制御盤   | ⑭ 非常放送装置   | ⑱ 監視カメラモニター | ㉓ 入退室管理操作卓       |
| ⑤ 監視カメラ装置          | ⑩ 呼出表示器   | ⑰ 非常放送装置   | ⑲ 監視カメラモニター | ㉔ 太陽光発電装置管理装置    |
|                    |           |            | ⑳ 監視カメラモニター | ㉕ 太陽光発電装置管理装置    |
|                    |           |            |             | ㉖ 火災報知防災卓        |

防災センター機器配置



機器配置イメージ

## (6) インフラ盛替え・仮設計画

### □インフラ盛替え・仮設計画

- ・新庁舎建設範囲が既存電力インフラルートに計画される為、高圧電力引込ケーブルの仮設、盛替えを行います。
- ・仮設高圧ケーブルは本線、予備電源の2回線盛替えを行います。
- ・先行工事時に高圧キャビネットの設置、仮設高圧ケーブルを敷設します。
- ・先行工事時に設置の高圧キャビネットは、既存庁舎への仮設用、新庁舎への本設用兼用とします。
- ・新庁舎竣工前に本線を切替、新庁舎竣工後に予備電源を切り替えます。



# (8) 諸元表

凡例 時計 子時計：A…本工事，B…別途工事  
 拡声スピーカー：A…アッテネータ別置，B…アッテネータ内蔵

階数	室名	停電、災害時 運用	停電時バックアップ電源				照明					コンセント			LAN	電話					時計	拡声	テレビ	備考		
			照明	コンセント	装置機器	空調	器具形式	設定照度 [Lux]	照明制御			OA	壁付	床付	配管対応	電話機		アウトレット			子時計	スピーカー	テレビ 端子			
									現地	遮隔	備考					一般	多機能	OA	壁付	床付						
3階	事務室（建設局）	○	○	30%	○	30%	-	×	直付形（設備プレート取付）	750 lx	○		照度センサー制御	○	○			○	○	○			B	A		
	局長室	○	○	30%	○	30%	-	×	直付形（レースウェイ取付）	750 lx	○		照度センサー制御	○	○				○	○			B	A	○	
	S会議室2	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	500 lx	○			○	○			○	○			B	A	○		
	相談室	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	500 lx	○			○	○			○	○			B	A			
	カウンターエリア	○	○	30%	○	30%	-	×	直付形（レースウェイ取付） ダウンライト	300 lx	○			○				○	○			B	B			
	収納エリア	○	○	30%	○	30%	-	×	直付形（レースウェイ取付）	200 lx	○				○								B			
	書庫	○	○	30%	○	30%	-	×	埋込形	200 lx	○				○								B			
	S会議室1	○	○	30%	○	30%	-	×	埋込形	500 lx	○				○			○		○			A	○		
	M会議室1	○	○	30%	○	30%	-	×	埋込形	500 lx	○				○			○		○			A	○		
	待合スペース、廊下	○	○	30%	×	-	-	-	直付形（レースウェイ取付）	200 lx		○	スケジュール制御		○								B			
	災害対策本部会議室	○	○	100%	○	100%	○	○	直付（設備プレート取付）	750 lx	○		照度センサー制御	○	○				○	○			A	A	○	
	オペレーションルーム	○	○	100%	○	100%	○	○	直付（設備プレート取付）	750 lx	○		照度センサー制御	○	○				○	○			A	A	○	
	防災対策課事務室	○	○	100%	○	100%	-	○	直付（設備プレート取付）	750 lx	○		照度センサー制御	○	○			○	○	○			B	A	○	
	関係機関調整室	○	○	100%	○	100%	-	○	埋込形	750 lx	○		照度センサー制御	○	○			○	○	○			B	A	○	
	仮眠室	○	○	30%	○	一部	-	×	ダウンライト	300 lx	○				○								B	A		
	物資備蓄	○	○	30%	○	一部	-	-	直付形	100 lx	○				○								B			
XL会議室	○	○	30%	○	30%	-	×	埋込スクエア形（乳白パネル付）	500 lx	○				○	○				○			B	A			
L会議室	○	○	30%	○	30%	-	×	埋込スクエア形（乳白パネル付）	500 lx	○				○	○				○			B	A			
4階	事務室（都市局）	○	○	30%	○	30%	-	×	直付形（設備プレート取付）	750 lx	○		照度センサー制御	○	○			○	○	○			B	A		
	局長室	○	○	30%	○	30%	-	×	直付形（レースウェイ取付）	750 lx	○		照度センサー制御	○	○				○	○			B	A	○	
	S会議室2	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	500 lx	○			○	○			○	○			B	A	○		
	相談室	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	500 lx	○			○	○			○	○			B	A			
	カウンターエリア	○	○	30%	○	30%	-	×	直付形（レースウェイ取付） ダウンライト	300 lx	○			○				○	○			B	B			
	収納エリア	○	○	30%	○	30%	-	×	直付形（レースウェイ取付）	200 lx	○				○								B			
	調停室	○	○	30%	○	30%	-	×	埋込形	500 lx	○				○					○			A			
	書庫	○	○	30%	○	30%	-	×	埋込形	200 lx	○				○								B			
	S会議室1	○	○	30%	○	30%	-	×	埋込形	500 lx	○				○			○		○			A	○		
	M会議室1	○	○	30%	○	30%	-	×	埋込形	500 lx	○				○			○		○			A	○		
	待合スペース、廊下	○	○	30%	×	-	-	-	直付形（レースウェイ取付）	200 lx		○	スケジュール制御		○								B			
	秘書課事務室	○	○	30%	○	30%	-	×	埋込形	750 lx	○				○	○		○	○				B	A		
	市長室	○	○	30%	○	30%	-	×	埋込スクエア形（乳白パネル付）	500 lx	○				○	○				○			B	A	○	
	副市長室	○	○	30%	○	30%	-	×	埋込スクエア形（乳白パネル付）	500 lx	○				○	○				○			B	A	○	
	市長応接室	○	○	30%	○	30%	-	×	埋込スクエア形（乳白パネル付）	500 lx	○				○	○				○			B	A	○	
	幹部会議室	○	○	30%	○	30%	-	×	埋込スクエア形（乳白パネル付）	500 lx	○				○	○				○			B	A	○	
	待合室	○	○	30%	○	30%	-	×	埋込形	200 lx	○				○								B	A		
	待合スペース	○	○	30%	○	30%	-	×	ダウンライト	200 lx		○	秘書課事務室で点滅制御		○								B	B		
	前室1～2	○	○	30%	○	30%	-	×	ダウンライト	100 lx		○	秘書課事務室で点滅制御		○								B			
	前室3	○	○	30%	○	30%	-	×	ダウンライト	100 lx	○				○								B			
	更衣室（市長、副市長室）	○	○	30%	○	30%	-	×	ダウンライト	200 lx			人感センサー制御		○								B			
	秘書課報道室	○	○	30%	○	一部	-	×	埋込形	500 lx	○				○	○				○			B	A	○	
記者会見室①	○	○	30%	○	30%	-	×	埋込形	500 lx	○				○	○				○			B	A	○		
記者会見室②	○	○	30%	○	一部	-	×	埋込形	500 lx	○				○	○				○			B	A	○		
記者室	○	○	30%	○	一部	-	×	埋込形	500 lx	○				○	○				○			B	A	○		
国際交流課事務室	○	○	30%	○	30%	-	×	埋込形	750 lx	○		照度センサー	○	○			○	○	○			B	A			

# (8) 諸元表

凡例 時計 子時計：A…本工事，B…別途工事  
 拡声スピーカー：A…アッテネータ別置，B…アッテネータ内蔵

階数	室名	停電、災害時 運用	停電時バックアップ電源				照明					コンセント			LAN	電話			時計	拡声	テレビ	備考				
			照明	コンセント	装置機器	空調	器具形式	設定照度 [Lux]	照明制御			OA	壁付	床付	配管対応	電話機		アウトレット		子時計	スピーカー		テレビ 端子			
									現地	遠隔	備考					一般	多機能	OA	壁付					床付		
5階	本会議場	○	○	30%	○	30%	-	×	高天井用ダウンライト	500 lx	○		調光仕様		○	○	○					A	A	○		
	説明員控室	○	○	30%	○	一部	-	×	埋込形	500 lx	○				○		○					B	A	○		
	全員協議会室	○	○	30%	○	一部	-	×	埋込スクエア形（乳白パネル付）	500 lx	○				○	○	○					A	A	○		
	理事会室	○	○	30%	○	一部	-	×	埋込スクエア形（乳白パネル付）	500 lx	○				○		○					B	A	○		
	打合せ室	○	○	30%	○	一部	-	×	埋込形	500 lx	○				○		○					B	A	○		
	議員控室	○	○	30%	○	一部	-	×	埋込形	500 lx	○		照度センサー制御		○		○						B	A	○	
	議会図書室	×	×	-	×	-	-	-	埋込形	200 lx	○				○		○						B	B		
	文書保管庫	×	×	-	×	-	-	-	埋込形	200 lx	○				○									B		
	議場ロビー	○	○	30%	×	-	-	×	直付形（レースウェイ取付）	200 lx		○	スケジュール制御		○								A	B		
	議会エリア廊下	○	○	30%	×	-	-	×	ダウンライト	100 lx		○	スケジュール制御		○									B		
	執務室	○	○	30%	○	30%	-	×	直付形（設備プレート取付）	750 lx	○		照度センサー制御	○	○		○	○	○				B	A		
	局長室	○	○	30%	○	30%	-	×	直付形（レースウェイ取付）	750 lx	○		照度センサー制御	○	○		○	○					B	A	○	
	相談室1～2	○	○	30%	○	30%	-	×	直付形（レースウェイ取付）	500 lx	○				○	○	○	○					B	A		
	S会議室1～2	○	○	30%	○	30%	-	×	直付形（レースウェイ取付）	500 lx	○				○	○	○	○					B	A	○	
	M会議室	○	○	30%	○	30%	-	×	直付形（レースウェイ取付）	500 lx	○				○	○	○	○					B	A	○	
	カウンターエリア	○	○	30%	○	30%	-	×	直付形（レースウェイ取付） ダウンライト	300 lx	○				○		○	○					B	B		
	収納エリア	○	○	30%	○	30%	-	×	直付形（レースウェイ取付）	200 lx	○				○									B		
	書庫	○	○	30%	○	30%	-	×	直付形（レースウェイ取付）	200 lx	○				○									B		
	包括外部監査入室	○	○	30%	○	30%	-	×	埋込形	750 lx	○		照度センサー		○		○	○					B	A		
	チャレンジオフィスちばし	○	○	30%	○	30%	-	×	埋込形	750 lx	○		照度センサー		○		○	○					B	A		
相談室3	○	○	30%	○	30%	-	×	埋込形	500 lx	○				○	○	○	○					B	A			
サーバー室	○	○	100%	○	100%	○	○	直付形（レースウェイ取付）	200 lx	○				○	○		○	○				B	B			
通信機器操作室、防災無線室	○	○	100%	○	100%	○	○	直付形（レースウェイ取付）	500 lx	○				○	○		○	○				B	B			
6階	傍聴席、記者席	○	○	30%	○	30%	-	×	ダウンライト	500 lx	○		調光仕様		○								A	A		
	親子ルーム	○	○	30%	○	30%	-	×	埋込形	500 lx	○				○								B	A		
	放送ブース	○	○	30%	○	30%	○	×	埋込形	500 lx	○		調光仕様		○		○	○					B	A	○	
	議事事務局執務室	○	○	30%	○	30%	-	×	埋込形	750 lx	○				○	○	○	○					B	A		
	局長室（議事事務局）、傍聴受付	○	○	30%	○	30%	-	×	埋込形	750 lx	○				○	○	○	○					B	A	○	
	議長室	○	○	30%	○	一部	-	×	埋込スクエア形（乳白パネル付）	500 lx	○				○		○						B	A	○	
	副議長室	○	○	30%	○	一部	-	×	埋込スクエア形（乳白パネル付）	500 lx	○				○		○						B	A	○	
	議長応接室	○	○	30%	○	一部	-	×	埋込スクエア形（乳白パネル付）	500 lx	○				○		○						B	A	○	
	前室	○	○	30%	×	-	-	×	ダウンライト	100 lx			スケジュール制御		○									B		
	委員会室	○	○	30%	○	一部	-	×	埋込スクエア形（乳白パネル付）	500 lx	○		照度センサー制御		○	○	○						B	A	○	
	議員応接室	○	○	30%	○	一部	-	×	埋込スクエア形（乳白パネル付）	500 lx	○				○		○						B	A	○	
	陳情受付	○	○	30%	○	一部	-	×	埋込形	750 lx	○				○		○						B	A		
	傍聴ロビー	○	○	30%	×	-	-	×	直付形（レースウェイ取付）	200 lx		○	スケジュール制御		○								B	B		
	議会エリア廊下	○	○	30%	×	-	-	×	ダウンライト	200 lx		○	スケジュール制御		○									B		
	執務室	○	○	30%	○	30%	-	×	直付形（設備プレート取付）	750 lx	○		照度センサー制御	○	○		○	○	○					B	A	
	入札室	○	○	30%	○	30%	-	×	間接照明	350 lx	○		照度センサー制御	○	○		○	○	○					B	A	
	局長室	○	○	30%	○	30%	-	×	直付形（レースウェイ取付）	750 lx	○		照度センサー制御	○	○		○	○					B	A	○	
	相談室1～2	○	○	30%	○	30%	-	×	直付形（レースウェイ取付）	500 lx	○				○	○	○	○					B	A		
	S会議室1～2	○	○	30%	○	30%	-	×	直付形（レースウェイ取付）	500 lx	○				○	○	○	○					B	A	○	
	カウンターエリア	○	○	30%	○	30%	-	×	直付形（レースウェイ取付） ダウンライト	300 lx	○				○		○	○					B	B		
収納エリア	○	○	30%	○	30%	-	×	直付形（レースウェイ取付）	200 lx	○				○									B			
書庫	○	○	30%	○	30%	-	×	直付形（レースウェイ取付）	200 lx	○				○									B			
固定資産評価員室	○	○	30%	○	30%	-	×	埋込形	750 lx	○				○	○	○						B	A			
相談室3～4	○	○	30%	○	30%	-	×	埋込形	500 lx	○				○	○	○	○					B	A			
M会議室	○	○	30%	○	30%	-	×	埋込形	500 lx	○				○	○	○	○					B	A	○		

# (8) 諸元表

凡例 時計 子時計：A…本工事，B…別途工事  
 拡声 スピーカー：A…アッテネータ別置，B…アッテネータ内蔵

階数	室名	停電、災害時 運用	停電時バックアップ電源				照明				コンセント			LAN	電話					時計	拡声	テレビ	備考			
			照明	コンセント	装置機器	空調	器具形式	設定照度 [Lux]	照明制御			OA	壁付	床付	配管対応	電話機		アウトレット			子時計	スピーカー		テレビ 端子		
									現地	遠隔	備考					一般	多機能	OA	壁付	床付						
7階	執務室	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（設備プレート取付）	750 lx	○		照度センサー制御	○	○			○	○	○			B	A		
	局長室	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	750 lx	○		照度センサー制御	○	○				○	○			B	A	○	
	S会議室1~2	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	500 lx	○		照度センサー制御	○	○				○	○			B	A	○	
	相談室1~4	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	500 lx	○			○	○				○	○			B	A		
	相談室5	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	500 lx	○			○	○				○	○			B	A		
	S会議室3~4	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	500 lx	○			○	○				○	○			B	A	○	
	農業委員会会議室	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	500 lx	○			○	○				○	○			B	A	○	
	総合案内	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付） ダウンライト	300 lx	○			○					○	○			B	B		
	カウンターエリア	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付） ダウンライト	300 lx	○			○					○	○			B	B		
	収納エリア	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	200 lx	○				○									B		
	書庫	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	200 lx	○				○									B		
8階	相談室6~9	○	○	30%	○	一部	-	×	埋込形	500 lx	○				○			○	○		○		B	A		
	M会議室	○	○	30%	○	一部	-	×	埋込形	500 lx	○				○			○	○		○		B	A	○	
	執務室	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（設備プレート取付）	750 lx	○		照度センサー制御	○	○			○	○	○			B	A		
	IT研修室	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（設備プレート取付）	750 lx	○		照度センサー制御	○	○			○	○	○			B	A		
	局長室	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	750 lx	○		照度センサー制御	○	○				○	○			B	A	○	
	病院事業者管理室	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	750 lx	○		照度センサー制御	○	○				○	○			B	A	○	
	相談室1~4	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	500 lx	○			○	○				○	○			B	A		
	相談室5	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	500 lx	○			○	○				○	○			B	A		
	S会議室1~2	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	500 lx	○			○	○				○	○			B	A	○	
	総合案内	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付） ダウンライト	300 lx	○			○					○	○			B	B		
	カウンターエリア	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付） ダウンライト	300 lx	○			○					○	○			B	B		
収納エリア	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	200 lx	○				○									B			
書庫	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	200 lx	○				○									B			
審査委員会室（開示請求相談室）	○	○	30%	○	一部	-	×	埋込形	750 lx	○				○			○	○		○		B	A			
相談室6~7	○	○	30%	○	一部	-	×	埋込形	500 lx	○				○				○	○		○		B	A		
M会議室	○	○	30%	○	一部	-	×	埋込形	500 lx	○				○				○	○		○		B	A	○	
9階	執務室	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（設備プレート取付）	750 lx	○		照度センサー制御	○	○			○	○	○			B	A		
	局長室	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	750 lx	○		照度センサー制御	○	○				○	○			B	A	○	
	S会議室1~2	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	500 lx	○		照度センサー制御	○	○				○	○			B	A	○	
	相談室1~4	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	500 lx	○			○	○				○	○			B	A		
	相談室5	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	500 lx	○			○	○				○	○			B	A		
	S会議室3~4	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	500 lx	○			○	○				○	○			B	A	○	
	総合案内	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付） ダウンライト	300 lx	○			○					○	○			B	B		
	カウンターエリア	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付） ダウンライト	300 lx	○			○					○	○			B	B		
	収納エリア	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	200 lx	○				○									B		
	書庫	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	200 lx	○				○									B		
	相談室6~9	○	○	30%	○	一部	-	×	埋込形	500 lx	○				○				○	○		○		B	A	
M会議室	○	○	30%	○	一部	-	×	埋込形	500 lx	○				○				○	○		○		B	A	○	

# (8) 諸元表

凡例 時計 子時計：A…本工事，B…別途工事  
 拡声スピーカー：A…アッテネータ別置，B…アッテネータ内蔵

階数	室名	停電、災害時 運用	停電時バックアップ電源				照明					コンセント			LAN	電話					時計	拡声	テレビ	備考			
			照明	コンセント	装置機器	空調	器具形式	設定照度 [Lux]	照明制御			OA	壁付	床付	配管対応	電話機		アウトレット			子時計	スピーカー	テレビ 端子				
									現地	遠隔	備考					一般	多機能	OA	壁付	床付							
10階	執務室（教育委員会）	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（設備プレート取付）	750 lx	○		照度センサー制御	○	○			○	○	○			B	A			
	執務室（人事委員会）	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（設備プレート取付）	750 lx	○		照度センサー制御	○	○			○	○	○			B	A			
	執務室（選挙管理委員会）	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（設備プレート取付）	750 lx	○		照度センサー制御	○	○			○	○	○			B	A			
	執務室（監査委員会）	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（設備プレート取付）	750 lx	○		照度センサー制御	○	○			○	○	○			B	A			
	教育職員課	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（設備プレート取付）	750 lx	○		照度センサー制御	○	○			○	○	○			B	A			
	監査委員会室	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（設備プレート取付）	750 lx	○		照度センサー制御	○	○			○	○	○			B	A			
	待合	○	○	30%	×	-	-	×	間接照明	350 lx	○				○									B			
	互助会室	○	○	30%	○	一部	-	×	間接照明+デスクライト	750 lx	○		照度センサー制御	○	○			○	○	○			B	A			
	局長室	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	750 lx	○		照度センサー制御	○	○				○	○			B	A		○	
	講評室	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	750 lx	○				○	○			○	○			B	A			
	相談室	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	500 lx	○				○	○			○	○			B	A			
	教育委員会控室	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	500 lx	○				○	○			○	○			B	A		○	
	選挙管理応接室	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	500 lx	○				○	○			○	○			B	A		○	
	選挙管理会議室	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	500 lx	○				○	○			○	○			B	A		○	
	カウンターエリア	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付） ダウンライト	300 lx	○				○				○	○			B	B			
	収納エリア	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	200 lx	○					○								B			
	書庫	○	○	30%	○	一部	-	×	直付形（レースウェイ取付）	200 lx	○					○								B			
	教育委員会会議室	○	○	30%	○	一部	-	×	埋込形	500 lx	○				○	○				○			B	A		○	
入札室	○	○	30%	○	一部	-	×	埋込形	500 lx	○				○	○				○			B	A		○		
S会議室	○	○	30%	○	一部	-	×	埋込形	500 lx	○				○	○				○			B	A		○		
M会議室	○	○	30%	○	一部	-	×	埋込形	500 lx	○				○	○				○			B	A		○		
11階	集中書庫	×	×	-	×	-	-	-	直付形（レースウェイ取付）	200 lx	○				○									B			
	電気室	○	○	100%	○	100%	-	○	直付形（レースウェイ取付）	200 lx	○					○				○			B	B			
	熱源機械室	○	○	30%	○	一部	-	-	直付形（レースウェイ取付）	200 lx	○					○				○			B	B			
	消火ポンプ室	○	○	30%	○	一部	-	-	直付形（レースウェイ取付）	200 lx	○					○				○				B			
共通	ELV附室	○	○	30%	×	-	-	-	ダウンライト	200 lx		○	スケジュール制御		○								A	B			
	ELVホール1	○	○	30%	×	-	-	-	直付形（レースウェイ取付）	300 lx		○	照度センサー制御 スケジュール制御		○								A	B			
	ELVホール2	○	○	30%	×	-	-	-	直付形（レースウェイ取付）	300 lx		○	照度センサー制御 スケジュール制御		○								A	B			
	ELVホール3	○	○	30%	×	-	-	-	直付形（レースウェイ取付）	300 lx		○	スケジュール制御		○								A	B			
	廊下	○	○	30%	×	-	-	-	直付形（レースウェイ取付）	200 lx		○	スケジュール制御		○									B			
	職員廊下	○	○	30%	×	-	-	-	直付形（レースウェイ取付）	100 lx		○	スケジュール制御		○									B			
	更衣室	○	○	30%	×	-	-	×	埋込形	200 lx			人感センサー制御		○								B	B			
	給湯室	×	×	-	×	-	-	-	埋込形+棚下灯	200 lx			人感センサー制御		○									B			
	倉庫	×	×	-	×	-	-	-	直付形（レースウェイ取付）	100 lx	○				○									B			
	MWC	○	○	30%	○	一部	-	-	ダウンライト	200 lx			人感センサー制御		○												
	WWC	○	○	30%	○	一部	-	-	ダウンライト	200 lx			人感センサー制御		○												
	HMC	○	○	30%	○	一部	-	-	ダウンライト	200 lx			人感センサー制御		○												
	MR, ACR	○	○	30%	○	一部	-	-	直付形	100 lx	○				○												
	EPS	○	○	100%	○	100%	○	-	直付形	100 lx	○				○												
	PS, DS	○	○	30%	○	一部	-	-	直付形	100 lx	○				○												
	室外機置場	○	○	100%	○	100%	-	-	直付形（防滴型）	100 lx	○				○												
	階段1	○	×	-	-	-	-	-	階段通路誘導灯	100 lx			人感センサー制御												B		
	階段2	○	×	-	-	-	-	-	階段通路誘導灯	100 lx			人感センサー制御												B		
	階段3	○	×	-	-	-	-	-	階段通路誘導灯	100 lx			人感センサー制御												B		
	階段4	○	○	30%	-	-	-	-	ブラケット（防滴型）	100 lx			人感センサー制御														
	階段5	○	○	30%	-	-	-	-	ダウンライト	100 lx			人感センサー制御														
階段6	○	○	30%	-	-	-	-	ダウンライト	100 lx			人感センサー制御															
階段7	○	○	30%	-	-	-	-	ダウンライト	100 lx			人感センサー制御															
大階段	○	○	30%	-	-	-	-	高天井用ダウンライト	300 lx		○	スケジュール制御															
外部階段	×	×	-	-	-	-	-	ブラケット（防滴型）	50 lx		○	スケジュール制御															

## 4 . 機 械 設 備 計 画

# (1) 基本方針 (2) 適用基準 (3) 空調換気設備計画

## 1. 基本方針

- (1) 時代の変化に対応する柔軟性と効率性を備えた庁舎
- ・熱源の多重化により、その時々エネルギー情勢に合った熱源の最適運転を行います。
  - ・エネルギー使用状況が把握可能な BEMS、省エネ活動を啓発するエネルギー消費の見える化により、竣工後の庁舎運用の最適化を行います。
- (2) 政令指定都市の拠点にふさわしい利便性と機能性を備えた庁舎
- ・市政情報の発信・地域連携・交流の拠点となる「市民ヴォイド」に快適性の高い床放射冷暖房システムを採用します。
- (3) 非常時の業務継続性を備えた庁舎
- ・熱源の多重化により、冗長性を確保します。
  - ・主要な機械室は高潮時の浸水を考慮し、2階以上の階（2階、11階）に配置します。
  - ・災害対策者・帰宅困難者に対応する水源（上水、ペットボトル、雨水、井水）の確保および緊急用汚水貯留槽を設置します。
  - ・基礎免震構造に対応し、各種配管の建物導入部は免震クリアランス 750mm を確保できる免震継手を設置します。
  - ・機械設備の耐震安全性は甲類とします。
- (4) 省エネルギーと環境に配慮した庁舎
- ・冷涼な外気を利用した自然換気および夜間通風（ナイトパーズ）システムを採用します。
  - ・太陽熱で自然換気を促進させる、階段室を利用したソーラーチムニーを採用します。
  - ・年間を通して安定した熱源となる地中熱利用を採用します。
  - ・居住域空間のみを高効率に空調する床吹出空調を採用します。
  - ・クールビズ空調（冷房設定温度 28℃）においても快適性を保つ潜熱顕熱分離空調を採用します。
  - ・マイクロ CGS の排熱を熱源へ有効利用します。
  - ・空調ドレン水・雨水・井水を雑用水へ有効利用します。

## 2. 適用基準

- ・建築基準法、消防法、条例などの関連法令および所轄行政指導
- ・建築設備計画基準（平成 27 年度版 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修）
- ・建築設備設計基準（平成 27 年度版 同上）
- ・公共建築工事標準仕様書 機械設備工事編（平成 28 年度版 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）
- ・公共建築設備工事標準図 機械設備工事編（平成 28 年度版 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修）
- ・建築設備設計・施工上の運用指針（2013 年版 日本建築設備・昇降機センター監修）
- ・官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説（平成 19 年版 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）
- ・建築設備耐震設計・施工基準（2014 年版 国土交通省国土技術政策総合研究所、独立行政法人 建築研究所監修）
- ・千葉市再生可能エネルギー等導入計画

## 3. 空調換気設備計画

### 3-0. 共通事項

- 本計画敷地は沿岸部に位置するため、以下の屋外に設置する機器は重耐塩仕様とします。  
（重耐塩仕様がない場合は耐塩仕様）
- ・冷却塔
  - ・パッケージ形空調機室外機
  - ・屋外水槽
  - ・排煙ファン
  - ・その他屋外に設置する機器類

### 3-1. 設計条件

表 1：空調設備設計条件

		屋外条件（東京）		屋内条件	
		冷房	暖房	冷房	暖房
乾球温度	℃	34.8	2.0	26.0	22.0
相対湿度	%	52.6	28.1	50.0	40.0
絶対湿度	g/kg(DA)	18.6	1.2	11.8	5.4
比エンタルピー	kJ/kg(DA)	82.6	5.1	58.3	32.9

※運用における屋内条件は 冷房：28℃ 暖房：20℃ とします。

※屋内条件における各湿度は目標値とします。

※出典：建築設備設計基準（平成 27 年度版）

表 2：騒音規制基準（商業地域）

	昼間 8：00～19：00	朝・夕 6：00～8：00 19：00～22：00	夜間 22：00～6：00
騒音規制値	65dB以下	60dB以下	50dB以下

### 3-2. 熱源設備

#### (1) 中央熱源系統

熱源機一覧と主な熱源運転パターンを示します（図 1）。

冷水・温水を季節によって切り替える 2 管式を基本とし、夏期の除湿対応が必要な外気処理システムのみ、冷却水の排熱を再熱に利用するため、4 管式とします。また、以下の点に配慮し、省エネルギー化を図ります。

- ・熱源の構成は電気とガスのベストミックスとし、運転順位を考慮することで、その時々エネルギー情勢に合った最適運転を行います。
- ・潜熱顕熱分離空調とし、クールビズ空調での快適性を保ちつつ、夏期の冷水温度を緩和し、熱源運転効率を高めます。
- ・熱源の台数制御、大温度差送水、VWV 制御（可変流量制御）、VWT 制御（可変温度制御）により、低負荷時においても無駄のない空調を行います。
- ・冷却水の排熱を外調機の再熱に有効利用します。
- ・マイクロ CGS の排熱をジェネリンクへ投入し、有効利用します。
- ・ボアホール方式による地中熱利用を採用し、熱源運転効率を高めます。
- ・冷温水温度の往還温度は以下の数値を基本とします。  
低温冷水：7→17℃ 中温冷水：12→22℃ 再熱温水：30→20℃ 温水：40→30℃

#### (2) 個別熱源系統

以下に示す系統は、中央熱源と切り離し、個別パッケージ方式を採用します。

- ・災害時に復旧活動用の空調を行う室
- ・運用時間外（夜間、休日など）に単独で空調を行う室
- ・電算機等を設置する室（AHU100%+PAC100%、バックアップと省エネルギーに配慮）

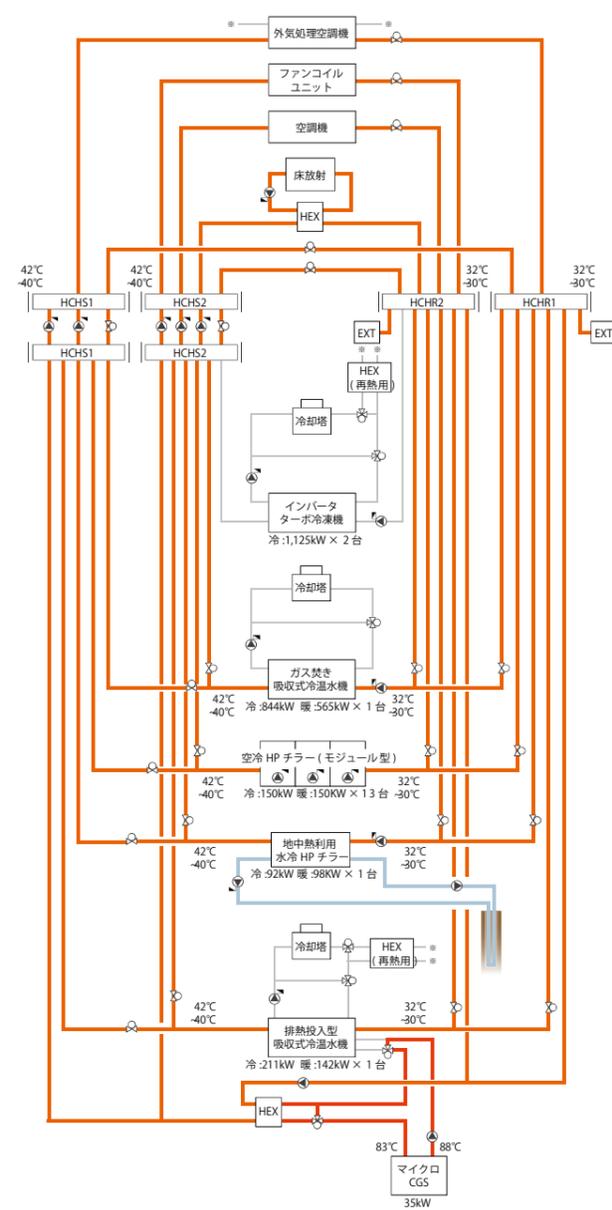
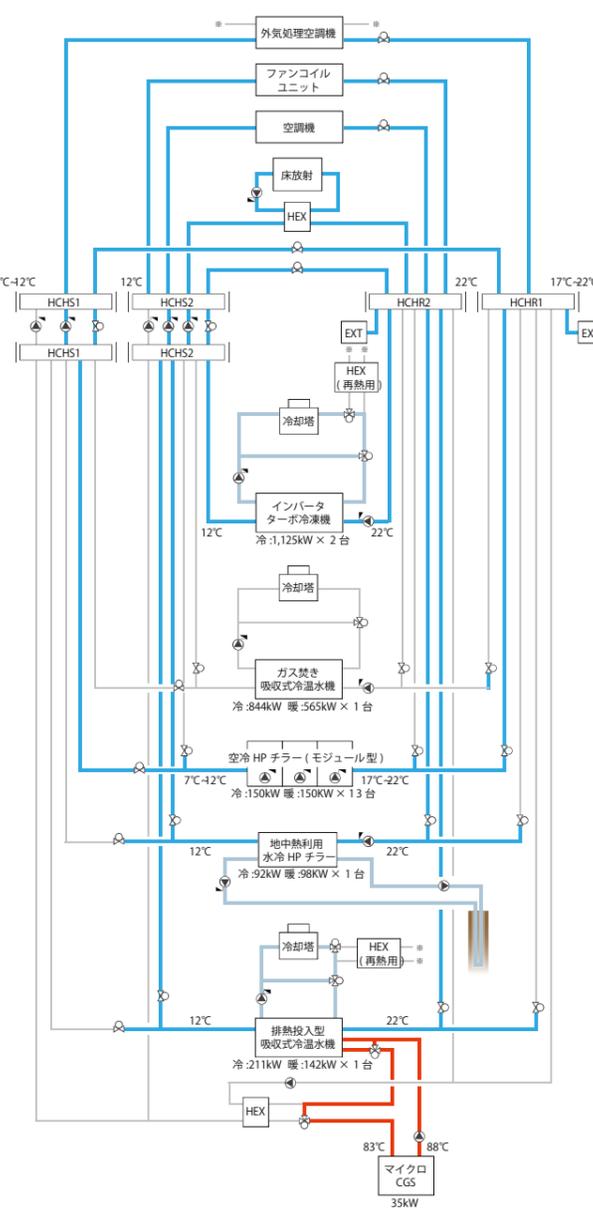
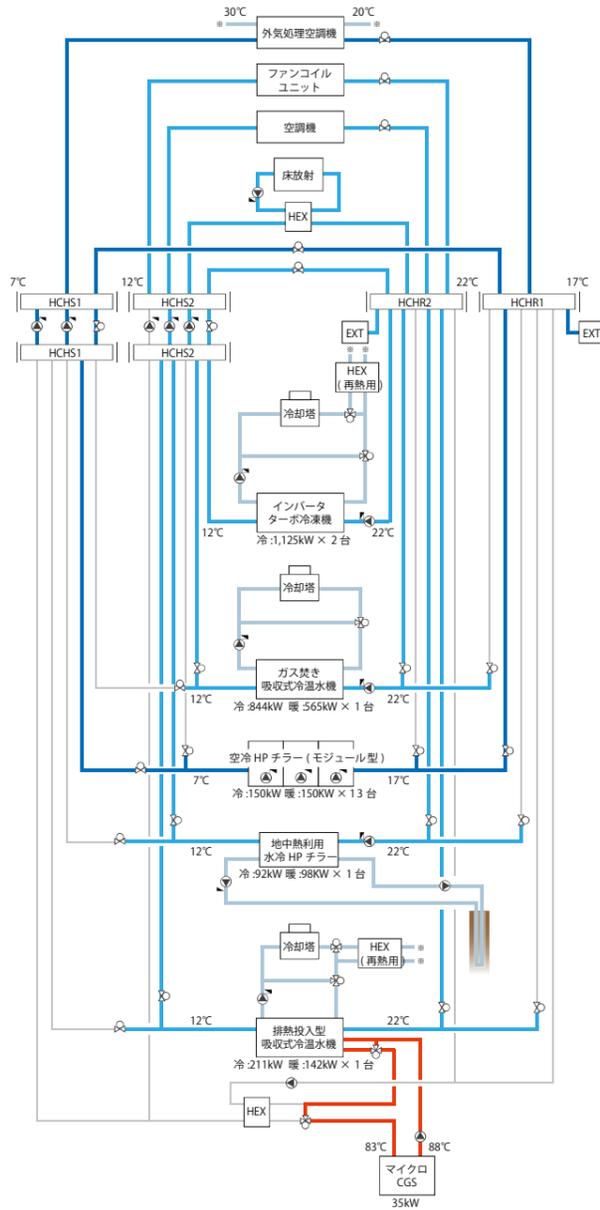
処理する負荷	※2 運転単位	※2 熱源種類	※2 1台あたり 冷房能力[kW]	1台あたり 暖房能力[kW]	台数	合計冷房 能力[kW]	合計暖房 能力[kW]	電気&ガス 比率
外気(潜熱+顕熱)	1	空冷HPチラー	150	150	13	1,950	1,950	0.80
	2	地中熱利用水冷HPチラー	92	98	1	92	98	
室内(顕熱)	3	インバータターボ冷凍機	1,125	0	2	2,250	0	0.20
	1	排熱投入型吸収式冷水機	211	142	1	211	142	
	4(ヒ-タのみ)	ガス吸収式冷水機	844	565	1	844	565	
合計					※1 5,347	※1 2,755	1	

※1 建築物総合エネルギーシミュレーションツール The BEST Program により、外壁仕様、日射等を考慮した概算空調負荷  
 ※2 各熱源機器の種類、運転単位、能力等は信頼性、経済性、環境性、維持管理性を評価指標としたシミュレーションにより決定

冷房期間 パターン①: 夏期ピーク時

冷房期間 パターン②: 冷房負荷小

暖房期間



備考:  
 外気が高温多湿であり、潜熱処理に7℃冷水が要求されるケース。  
 外調機系統は過冷却されるため、冷却水排熱を利用した再熱を行う。  
 室内の顕熱処理には7℃は不要であるため、12℃中温水を用いて、  
 熱源の高効率運転を目指す。  
 排熱投入型吸収式冷水機は廃温水単独運転を基本とする。

備考:  
 外気が冷房ピーク時ほど高温多湿ではなく、潜熱処理が7℃以上の冷水で可能  
 であるケース。コイル出口温度により、潜熱処理を行う冷水温度を決定する。  
 極力、温度の高い冷水を生成することで、熱源の高効率運転を目指す。  
 排熱投入型吸収式冷水機は廃温水単独運転を基本とする。

備考:  
 通常暖房時の運転パターンを示したケース。  
 暖房時には冷房時よりも低負荷運転が続くことが予想されるため、コイル出  
 口温度の状態により、温水温度を低くする。  
 極力、温度の低い温水を生成することで、熱源の高効率運転を目指す。

図1: 熱源運転パターン

### (3) 空調換気設備計画

#### 3-2. 空調設備

空調ダクト系統図および空調ゾーニング図を示します（図2、図3）。

各室の空調システムは室用途、使用時間、利用形態、建築空間の特性等に配慮した計画とします。

執務室の空調機は床置形とするなど、広い居室では天井吊りの設備機器を極力減らし、地震時の危険性を排除します。また、以下の点に配慮し、省エネルギー化を図ります。

- ・ 執務室には居住域を対象とした床吹出空調を採用し、省エネルギーと快適性の両立を図ります。
- ・ アンビエント域の床吹出口はMD及びファン付きとし、空調負荷に合わせて、空調風量を可変します。
- ・ タスク域には手動開閉可能なパーソナル床吹出口を設け、執務者の好みに合わせて、空調風量を可変します。
- ・ 潜熱顕熱分離空調とし、クールビズ空調での快適性を保ちつつ、省エネルギー化を図ります。
- ・ 各階の床吹き用空調機にはコイルバイパス空調機を採用し、再熱負荷を削減します。
- ・ 外気冷房が有効な時期は外気冷房を優先して行い、外気負荷が大きい時期はCO<sub>2</sub>濃度により外気導入量を絞ります。
- ・ 執務室に開閉可能な窓を設け、中間期には階段室を利用したチムニー効果および各階の水平換気により、自然換気を行います。
- ・ 天井の高いエントランスホールには居住域を空調対象とした冷温水+空気式の床放射冷暖房システムを採用し、省エネルギーかつ不快なドラフト感・底冷え感がない快適な空間とします。
- ・ 空調機のフィルターは超低圧損仕様とします（初期圧力損失 70 Pa 以下）。
- ・ 空調対象室、空調系統については諸元表を参照。

#### ○空調配管設備

##### ・配管材料

- |      |                  |       |                          |
|------|------------------|-------|--------------------------|
| 冷温水管 | : 配管用炭素鋼鋼管（白）    | 冷却水管  | : 配管用炭素鋼鋼管（白）            |
| 冷媒管  | : 冷媒用被覆銅管        | 加湿給水管 | : 硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VB） |
| ドレン管 | : 硬質塩化ビニル管、耐火二層管 |       |                          |

※免震構造部と非免震構造部を渡る配管には、免震継手を設置します

#### ○空調ダクト設備

##### ・ダクト材料

亜鉛鉄板（シャワー室等の多湿箇所は塩ビコーティングダクトとします。）

#### 3-3. 換気設備

各室の熱気、湿気、臭気、粉塵等を適正に除去し、建物利用者にとって健康で快適な環境を実現する換気設備とします。沿岸部であることを考慮し、外調機の外気取入部には除塩フィルターを設けます。また、以下の点に配慮し、省エネルギー化を図ります。

- ・ 外部の涼風を効果的に取り込む自然換気システムを採用し、空調エネルギーの削減を図ります。
- ・ 夜間に冷やされた外気を取り込み、翌朝の冷房の立ち上がりを早くするナイトパーズを行います（夏期）。また、階段室の頂部に潜熱蓄熱材（建築工事）を設置し、夜間のナイトパーズを促進します。
- ・ 免震層へ余剰排気を送り、サーキュレーションファンを設置することで湿気対策を行います。
- ・ 換気回数、換気方式については諸元表を参照。

#### 3-4. 排煙設備

建築基準法などの関連法令に準拠し、機械排煙設備を設けます。

排煙ゾーニング図を示します（図4）。

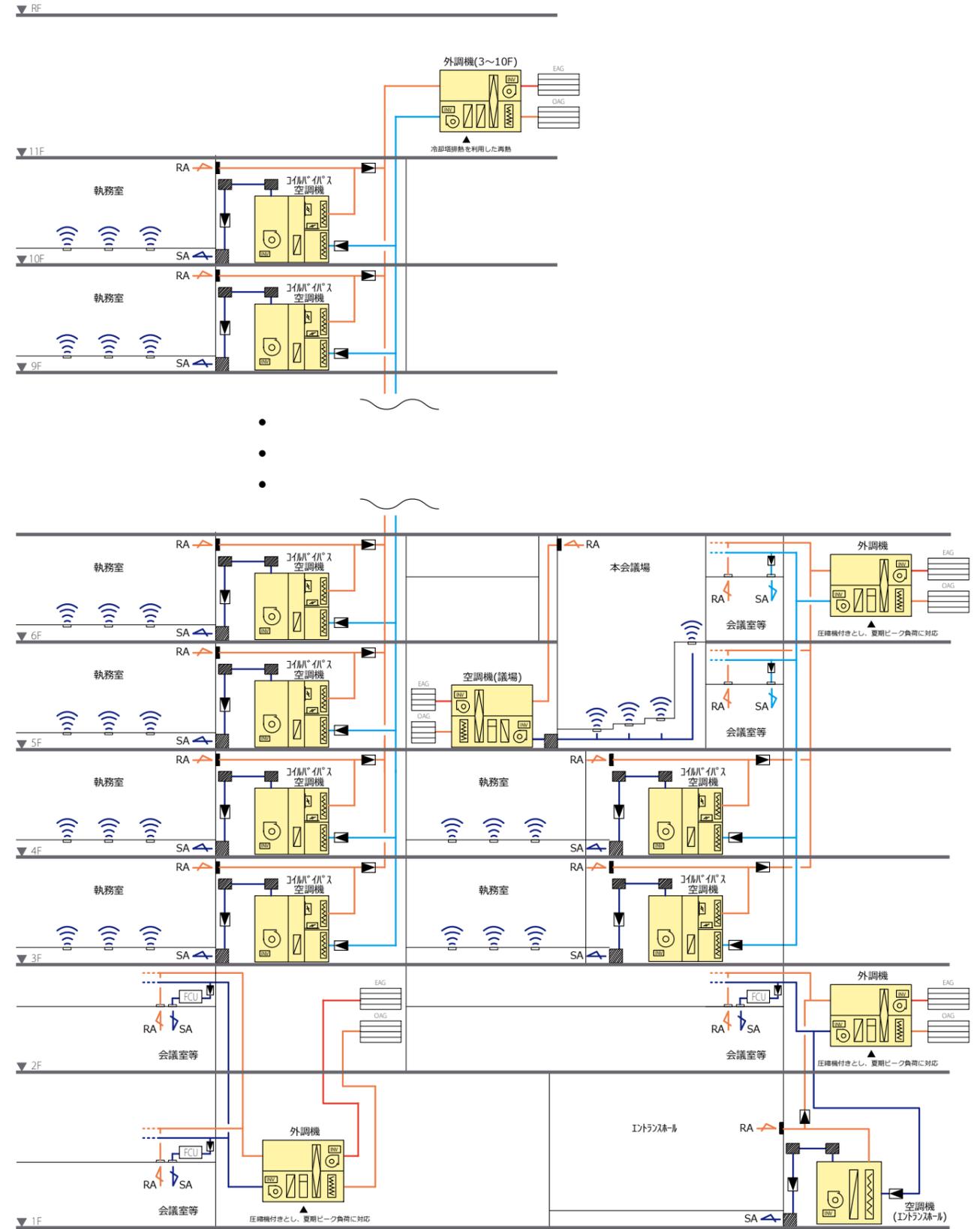
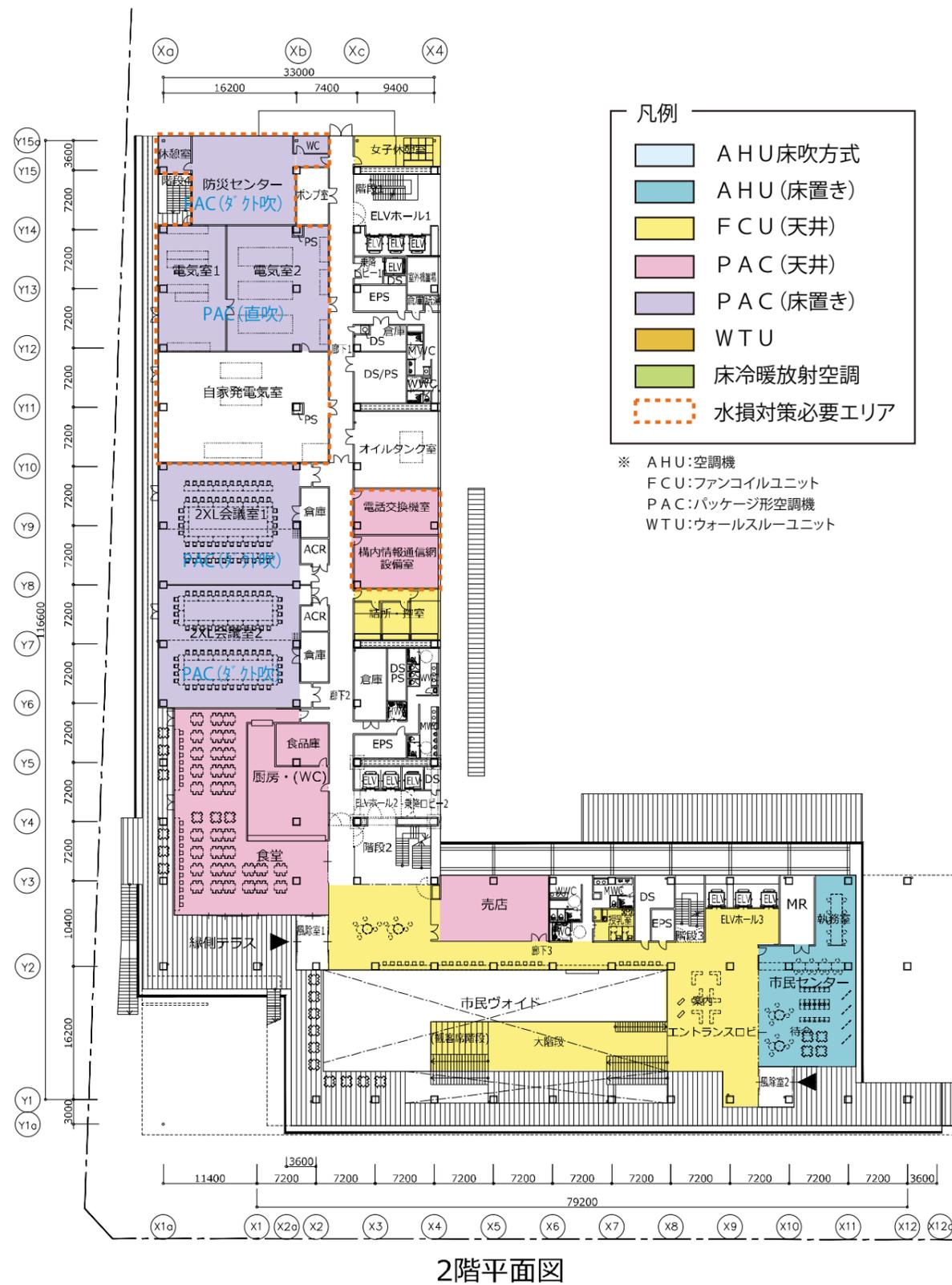


図2：空調ダクト系統図

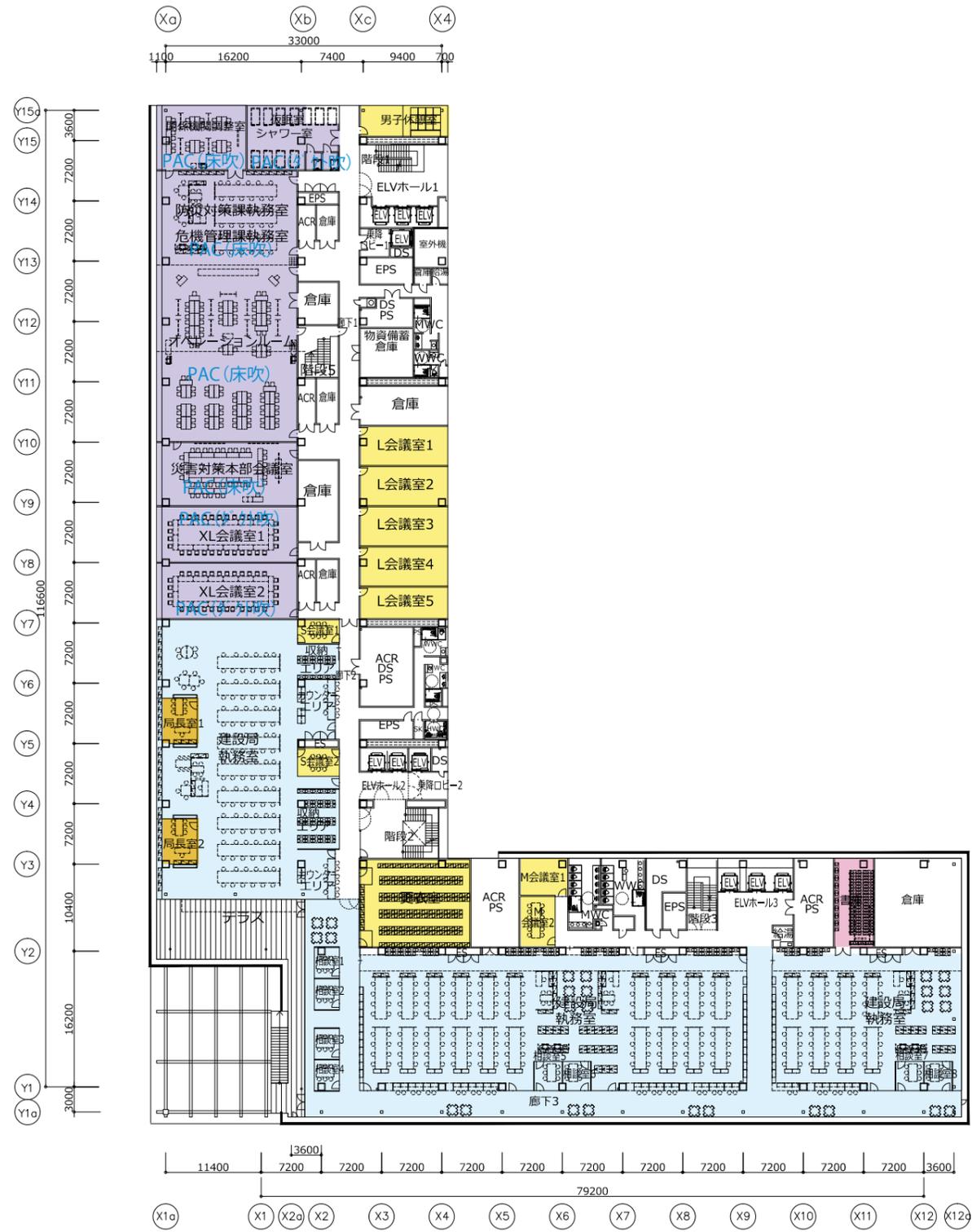


凡例

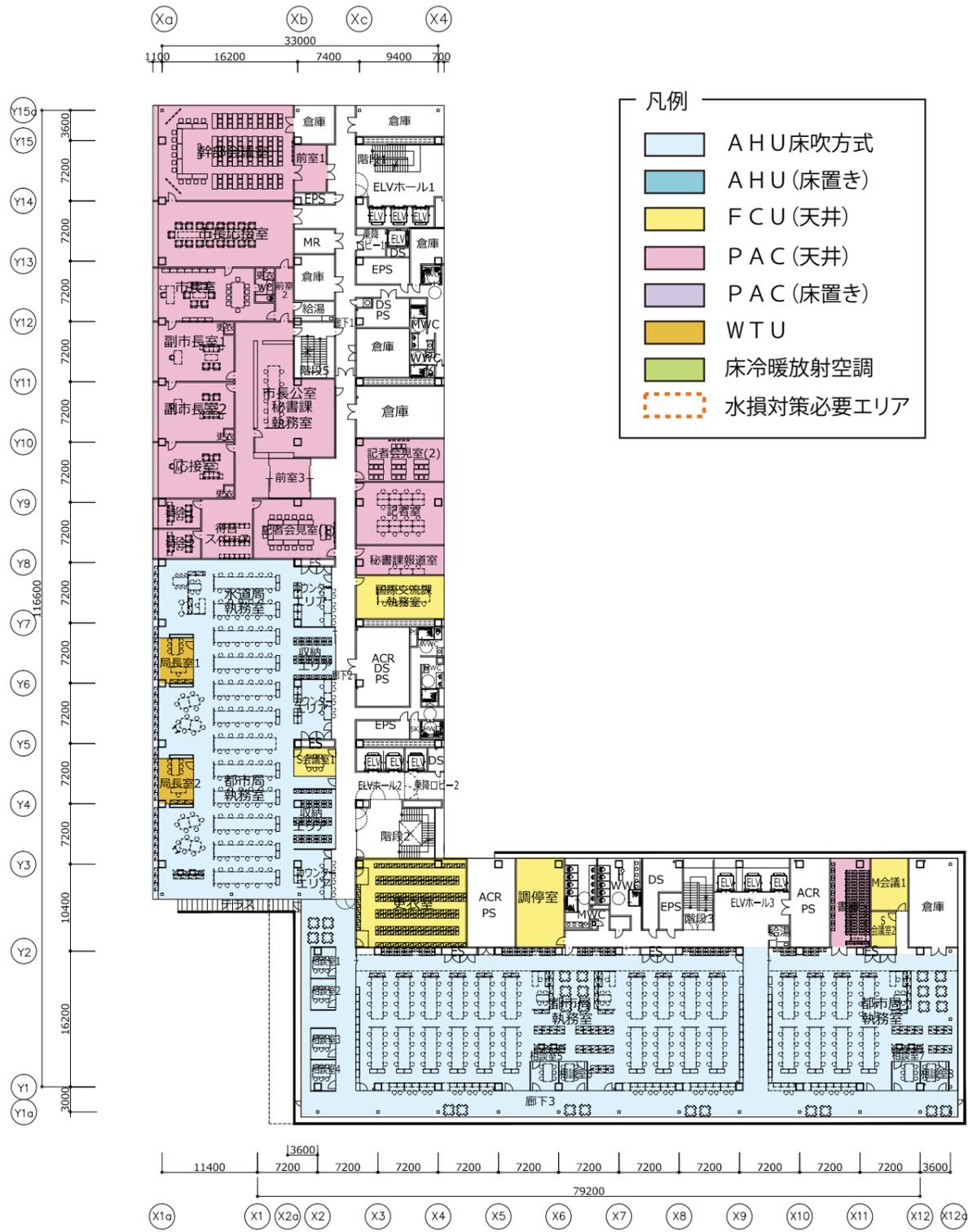
- AHU床吹方式
- AHU(床置き)
- FCU(天井)
- PAC(天井)
- PAC(床置き)
- WTU
- 床冷暖放射空調
- 水損対策必要エリア

※ AHU:空調機  
 FCU:ファンコイルユニット  
 PAC:パッケージ形空調機  
 WTU:ウォールスルーユニット

図 3-1 : 空調ゾーニング図



3階平面図

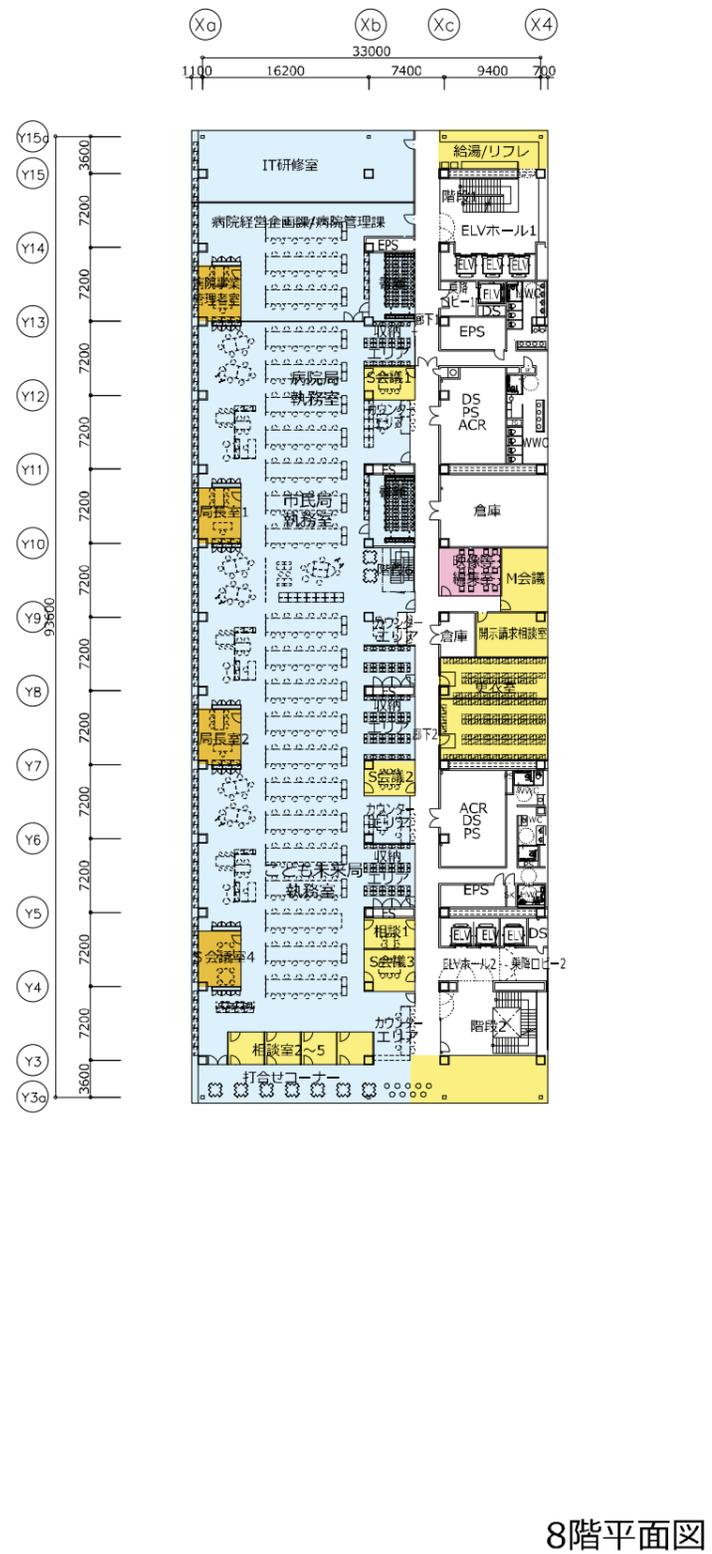
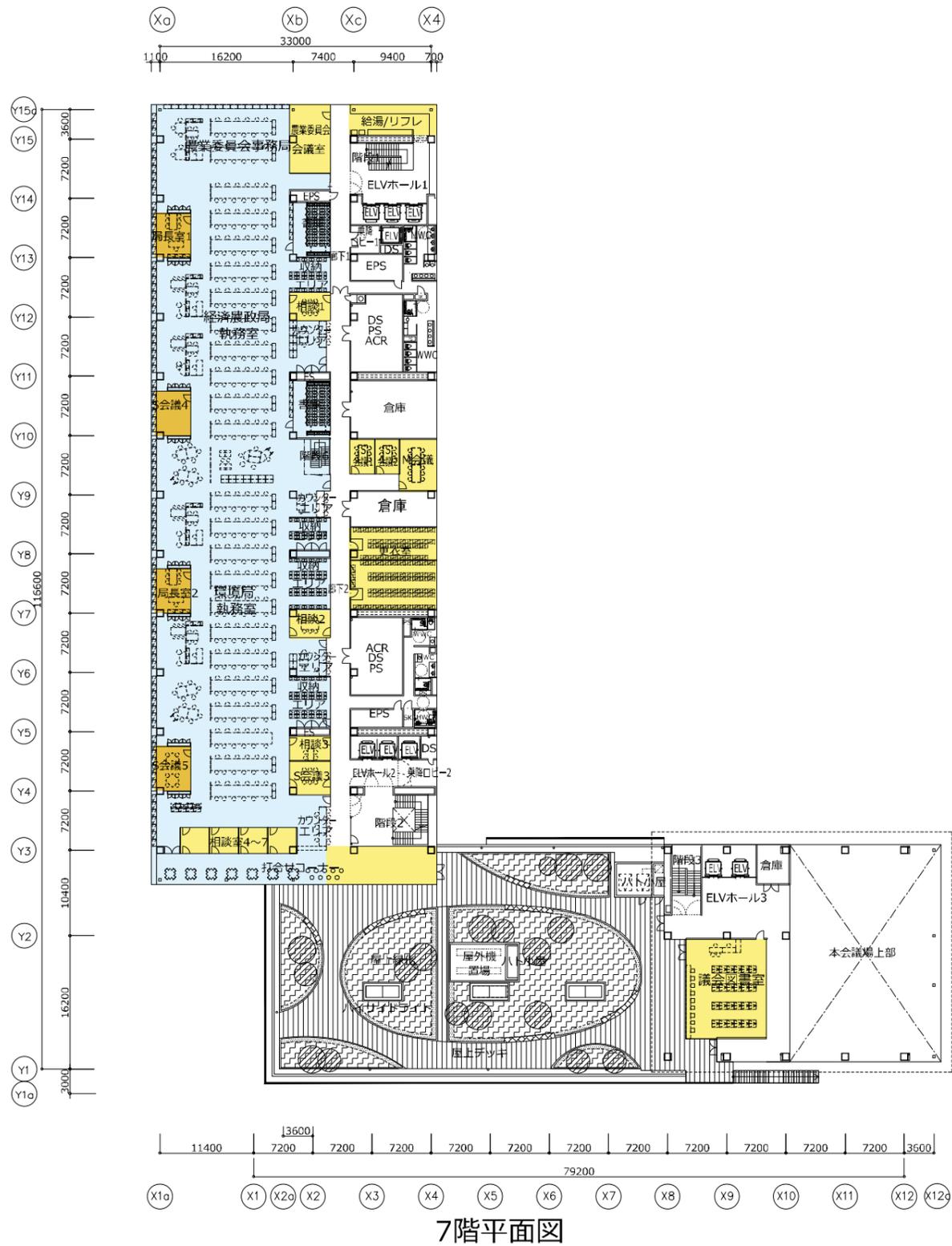


4階平面図

- 凡例
- AHU床吹方式
  - AHU (床置き)
  - FCU (天井)
  - PAC (天井)
  - PAC (床置き)
  - WTU
  - 床冷暖放射空調
  - 水損対策必要エリア

図 3-2 : 空調ゾーニング図





凡例

	AHU床吹方式
	AHU(床置き)
	FCU(天井)
	PAC(天井)
	PAC(床置き)
	WTU
	床冷暖放射空調
	水損対策必要エリア

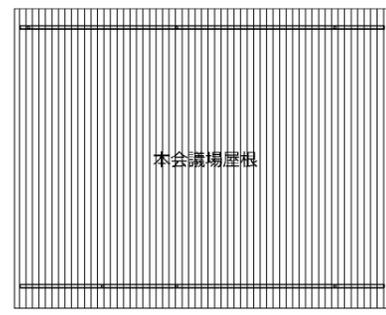
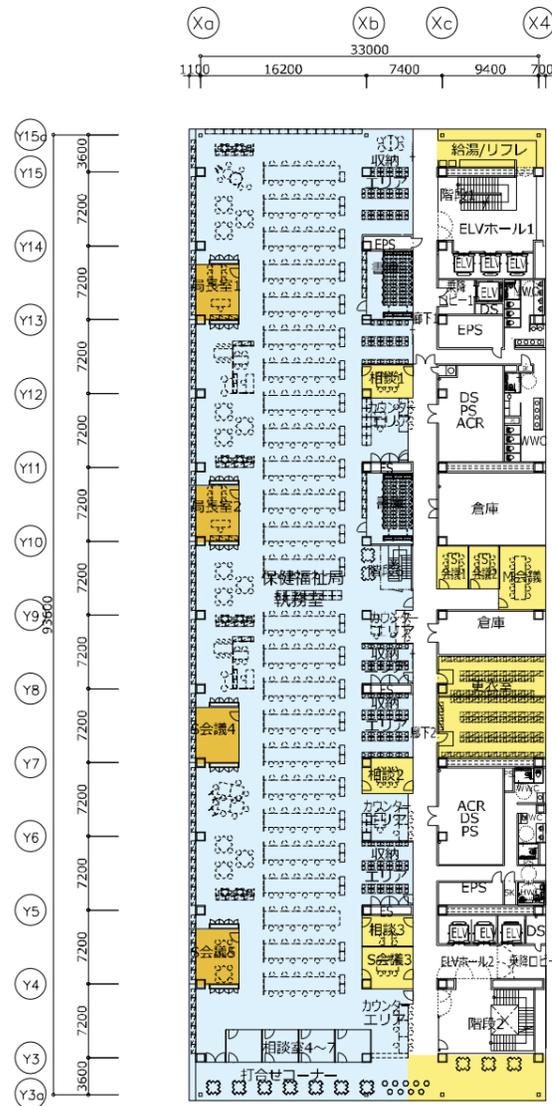
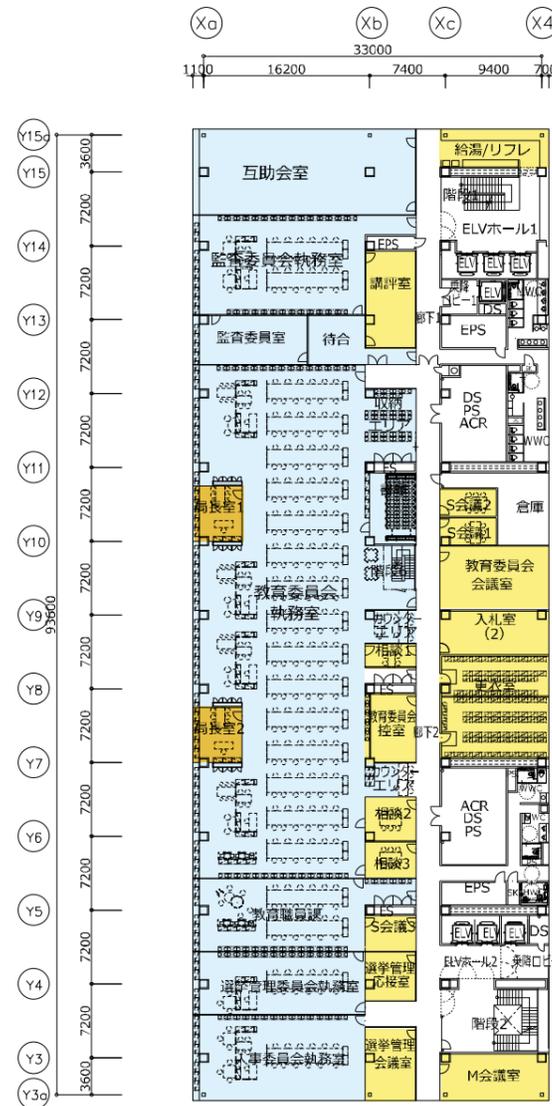


図 3-4 : 空調ゾーニング図



9階平面図

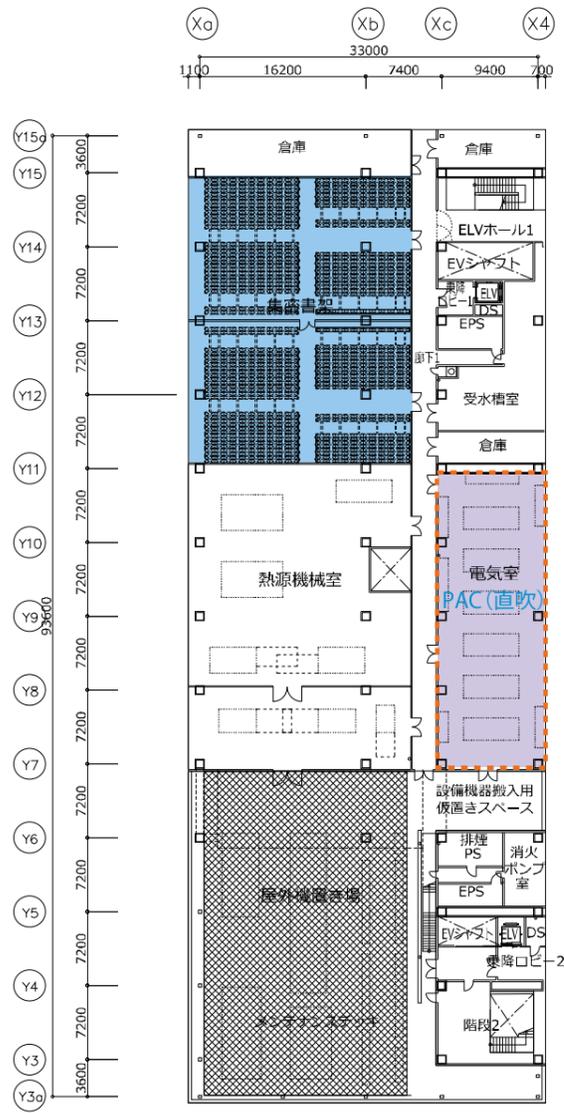


10階平面図

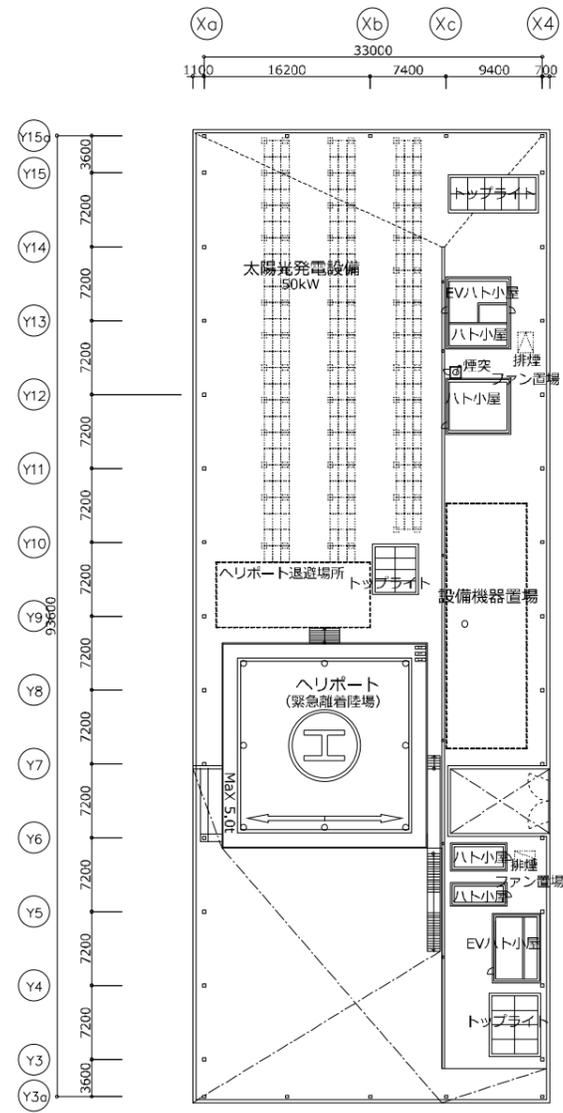
凡例

	AHU床吹方式
	AHU (床置き)
	FCU (天井)
	PAC (天井)
	PAC (床置き)
	WTU
	床冷暖放射空調
	水損対策必要エリア

図 3-5 : 空調ゾーニング図



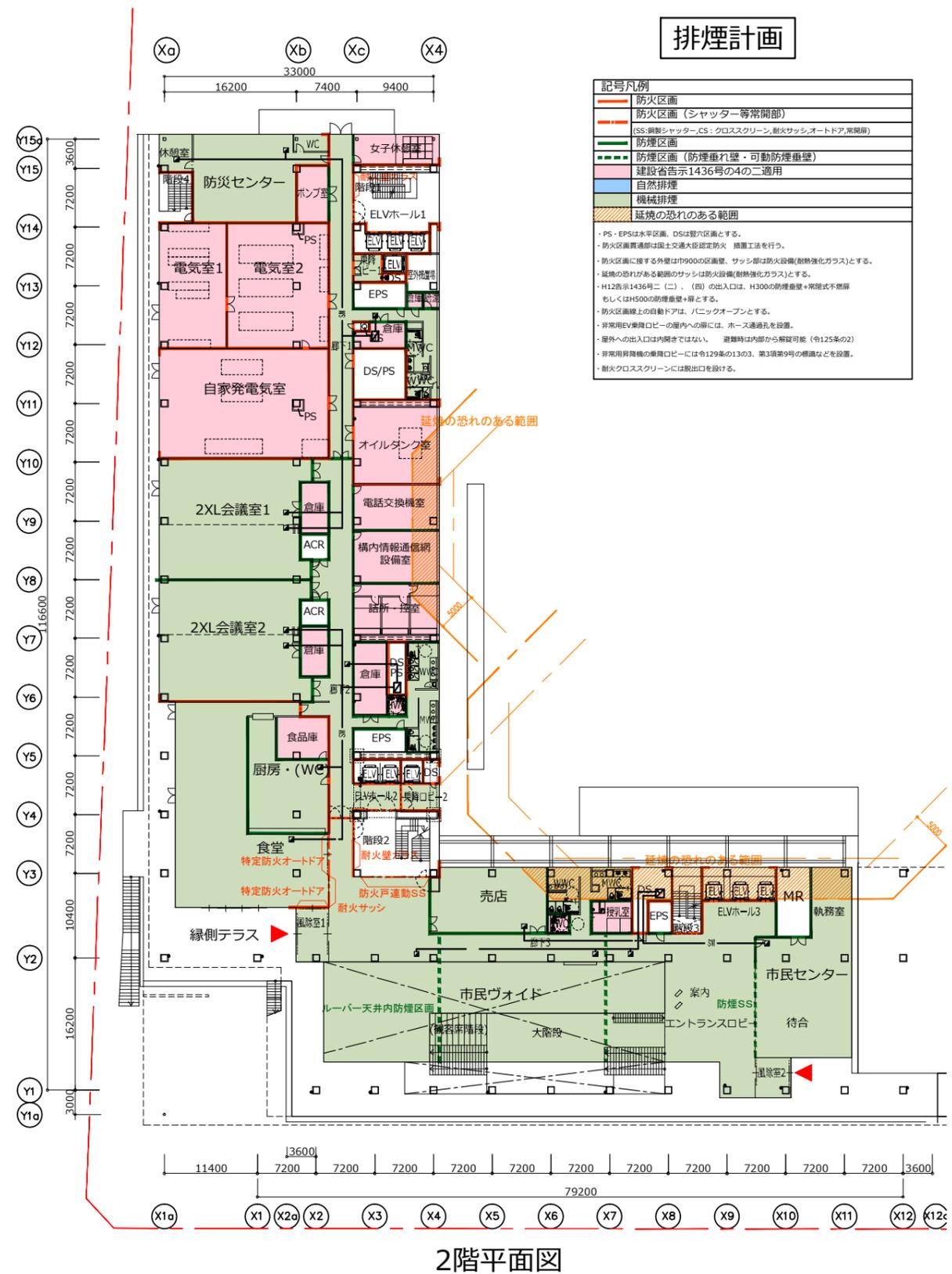
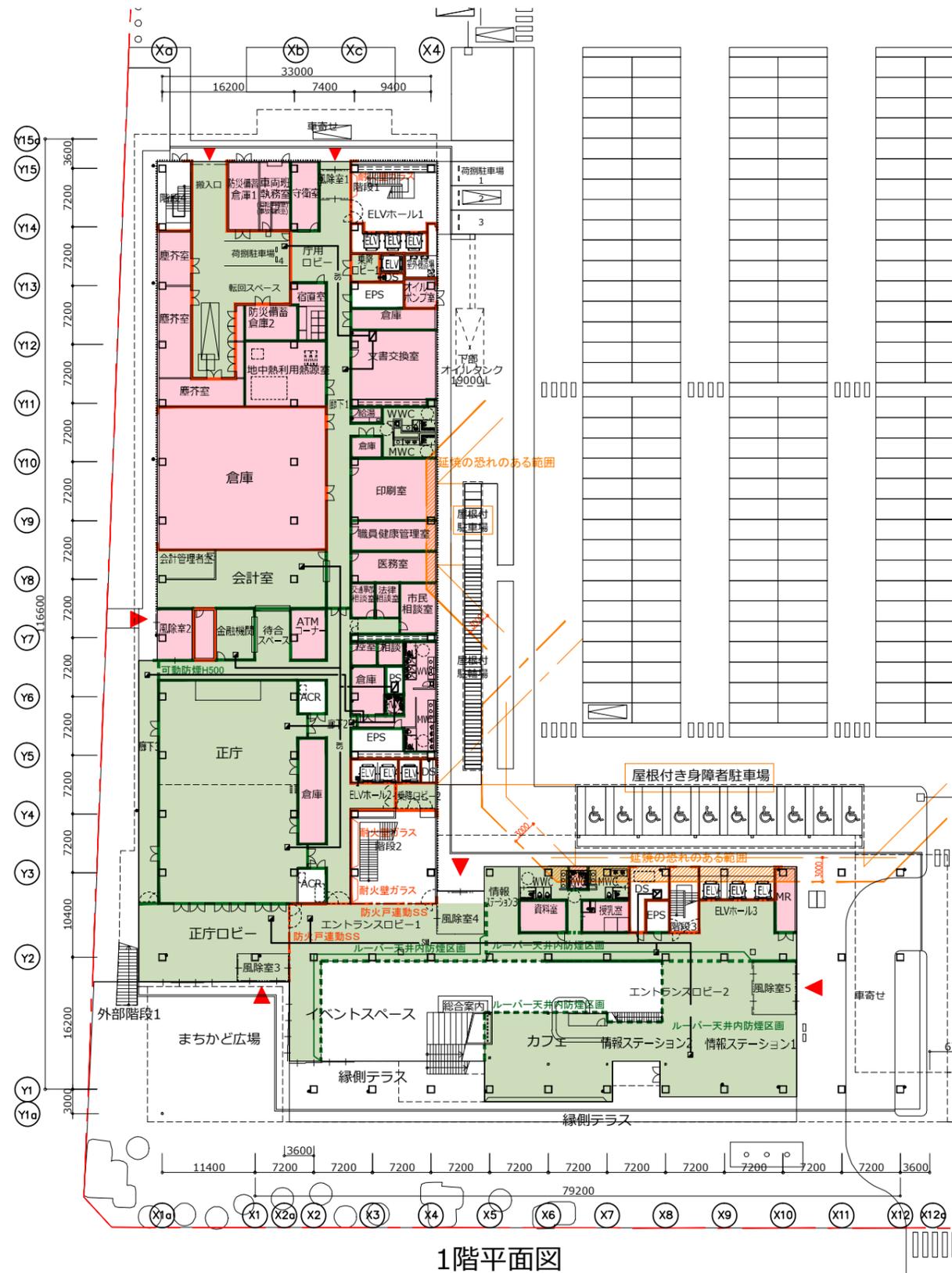
11階平面図



R階平面図

- 凡例
- AHU床吹方式
  - AHU(床置き)
  - FCU(天井)
  - HPFCU(天井)
  - PAC(天井)
  - PAC(床置き)
  - WTU
  - 床冷暖放射空調
  - 水損対策必要エリア

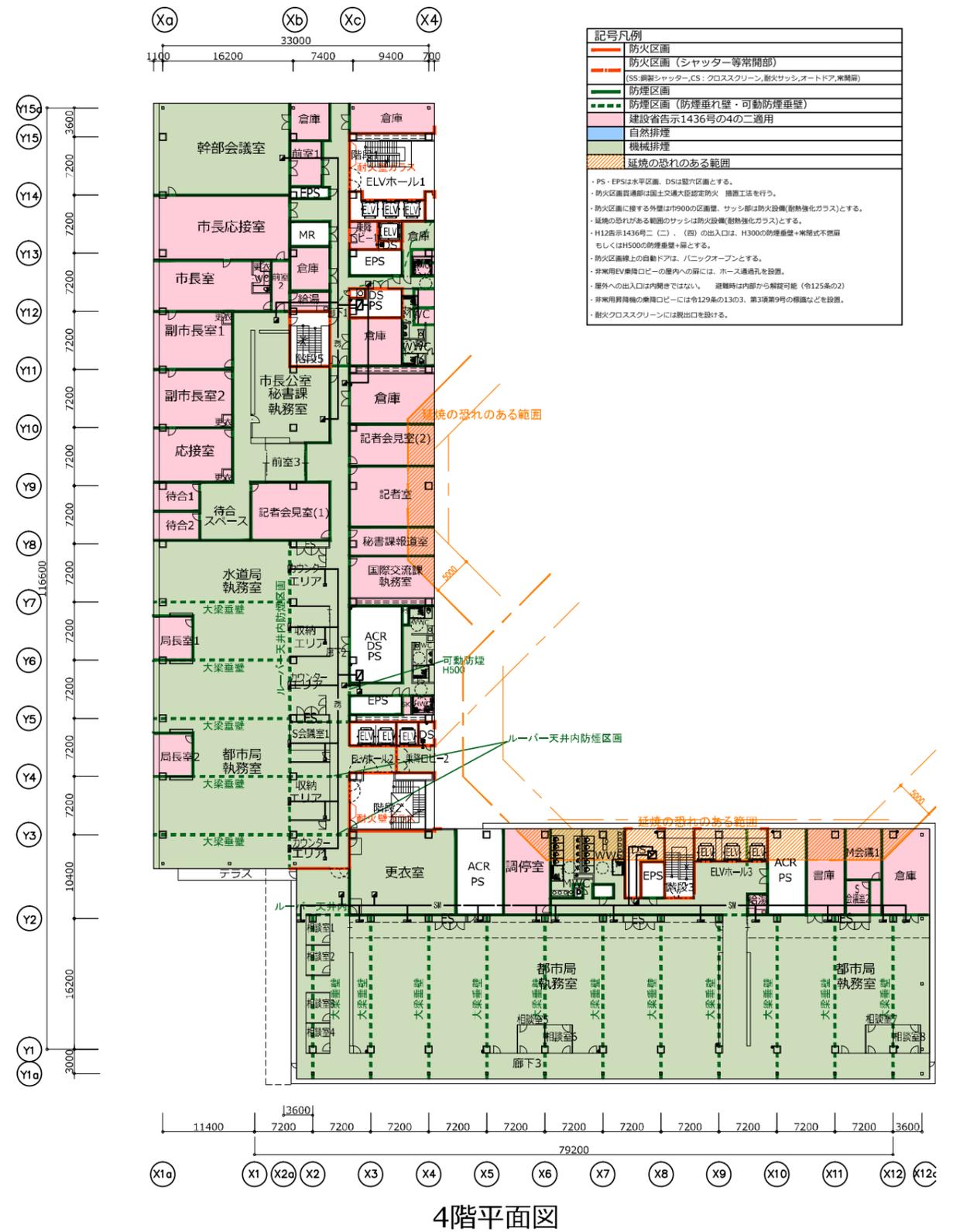
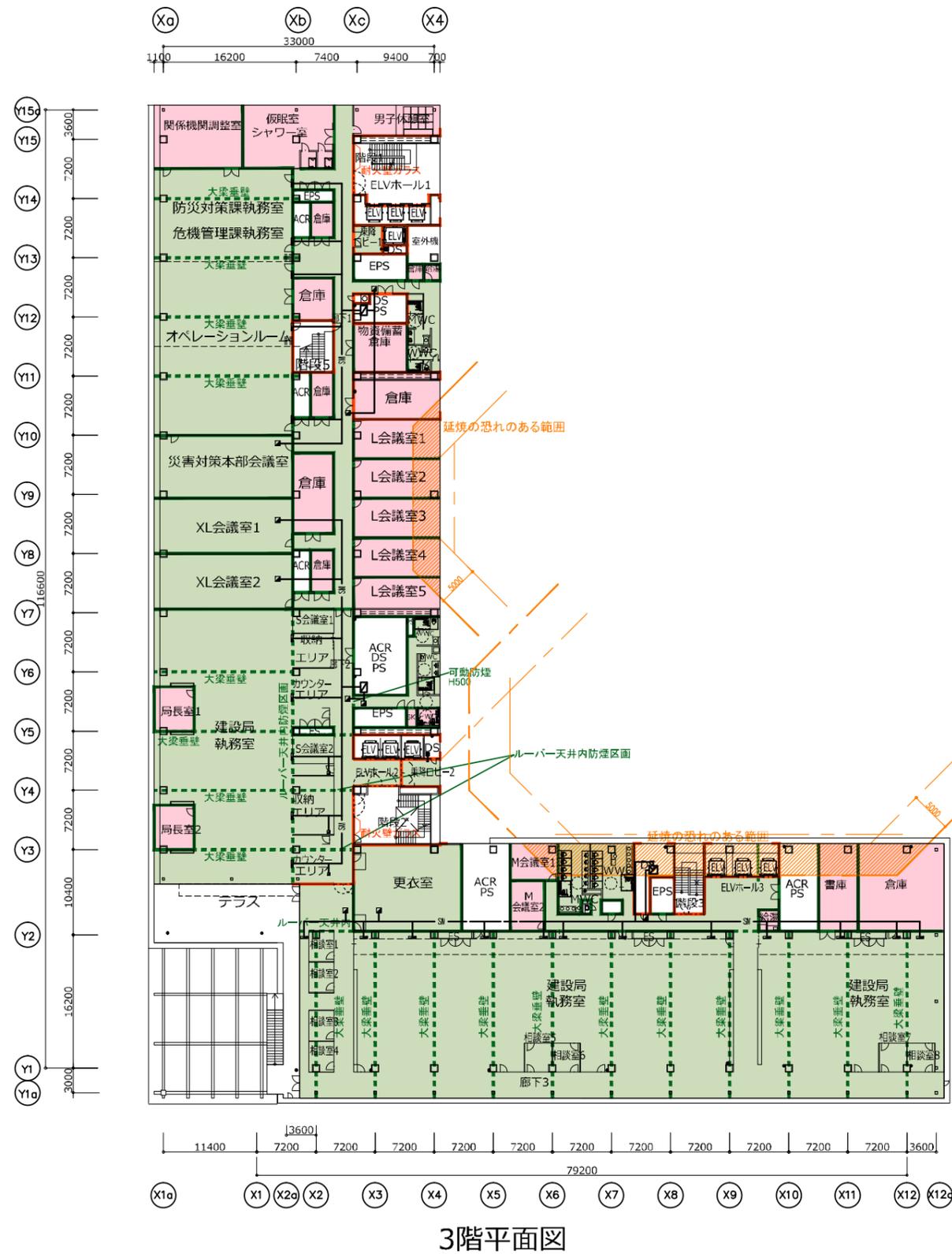
図 2-6-1 空調換気設備計画図



記号凡例	
[Red outline]	防火区画
[Red dashed outline]	防火区画 (シャッター等常開部)
[Green outline]	防煙区画 (SS: 避難シャッター・CS: クロススクリーン・耐火サッシ・オートドア常開部)
[Green dashed outline]	防煙区画 (防煙垂れ壁・可動防煙垂壁)
[Pink outline]	建設省告示1436号の4の二適用
[Blue outline]	自然排煙
[Green outline]	機械排煙
[Orange dashed outline]	延焼の恐れのある範囲

・PS・EPSは水平区画、DSは壁区画とする。  
 ・防火区画貫通部は国土交通大臣認定防火 措置工法を行う。  
 ・防火区画に接する外壁はH900の区画壁、サッシ部は防火設備(耐火強化ガラス)とする。  
 ・延焼の恐れのある範囲のサッシは防火設備(耐火強化ガラス)とする。  
 ・H12告示1436号(二) (四) の出入口は、H300の防煙垂壁+双層式不燃扉もしくはH500の防煙垂壁+扉とする。  
 ・防火区画線の上の自動ドアは、パニックオープンとする。  
 ・非常用EV乗降口ピローの扉には、ホース透過孔を設置。  
 ・屋外への出入口は内開きではない。避難時は内部から解放可能(令125条の2)  
 ・非常用昇降機の乗降口ピローには令129条の13の3、第3項第9号の標識などを設置。  
 ・耐火クロススクリーンには脱出口を設ける。

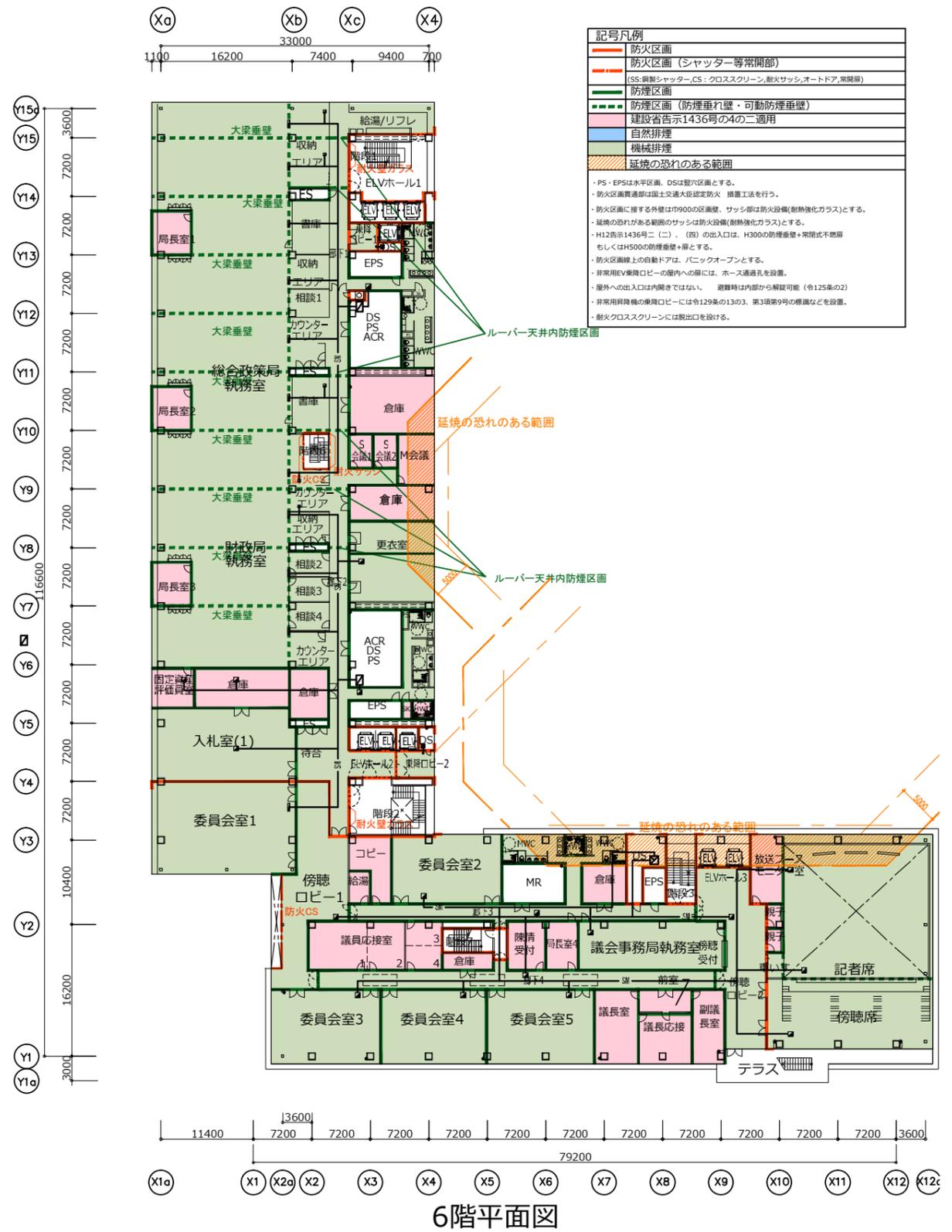
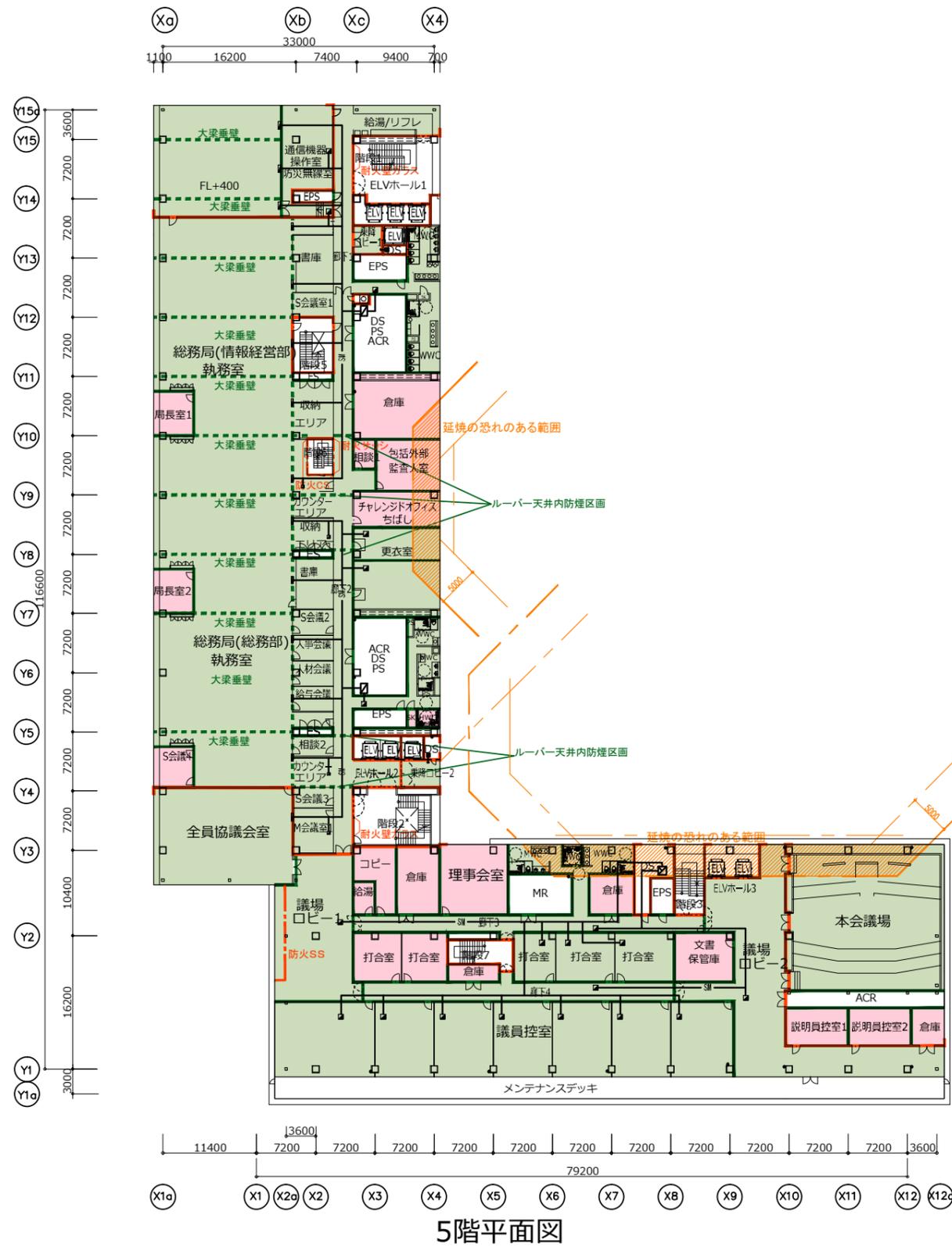
図 4-1 : 排煙ゾーニング図



記号凡例	
[Red outline]	防火区画
[Red outline with dashed line]	防火区画 (シャッター等常開部)
[Red outline with 'SS' label]	(SS: 鋼製シャッター・CS: クロススクリーン、耐火サッシ、オートドア、常開扉)
[Green outline]	防煙区画
[Green outline with dashed line]	防煙区画 (防煙垂れ壁・可動防煙垂壁)
[Green outline with dashed line]	建設省告示1436号の4の二適用
[Blue outline]	自然排煙
[Green outline]	機械排煙
[Orange outline]	延焼の恐れのある範囲

- ・ PS・EPSは水平区画、DSは壁区画とする。
- ・ 防火区画通過部は国土交通大臣認定防火 措置工法を行う。
- ・ 防火区画に接する外壁は900mmの区画壁、サッシ部は防火設備(耐火強化ガラス)とする。
- ・ 延焼の恐れのある範囲のサッシは防火設備(耐火強化ガラス)とする。
- ・ H12告示1436号(二)・(四)の出入口は、H300の防煙垂壁+常開式不燃扉もしくはH500の防煙垂壁とする。
- ・ 防火区画壁上の自動ドアは、パニックオープンとする。
- ・ 非常用EV乗降口ビルの扉内への扉には、ホース通過孔を設置。
- ・ 屋外への出入口は内開きでない。避難時は内部から解放可能(令125条の2)
- ・ 非常用昇降機の乗降口には令129条の13の3、第3項第9号の標識などを設置。
- ・ 耐火クロススクリーンには脱出口を設ける。

図 4-2 : 排煙ゾーニング図

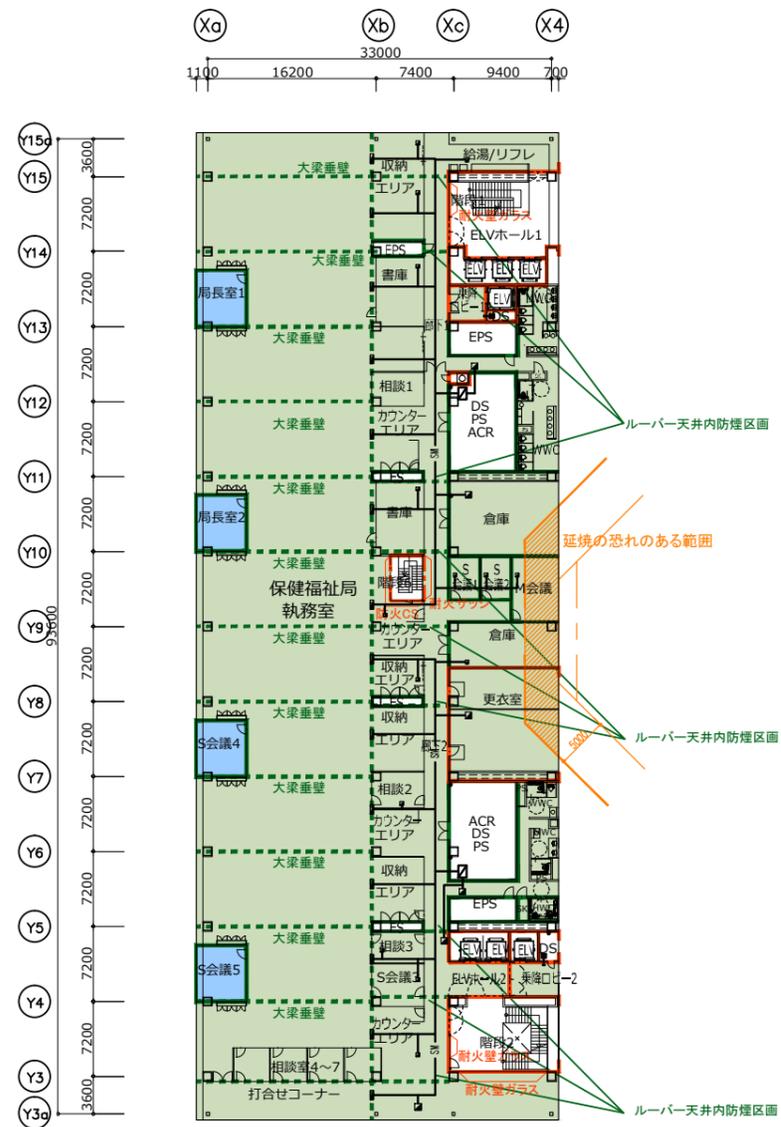


記号凡例	
[Red outline]	防火区画
[Red outline]	防火区画 (シャッター等常開部)
[Green outline]	防煙区画
[Green outline]	防煙区画 (防煙垂れ壁・可動防煙垂壁)
[Blue outline]	建設省告示1436号の4の二適用
[Light blue outline]	自然排煙
[Light blue outline]	機械排煙
[Orange outline]	延焼の恐れのある範囲

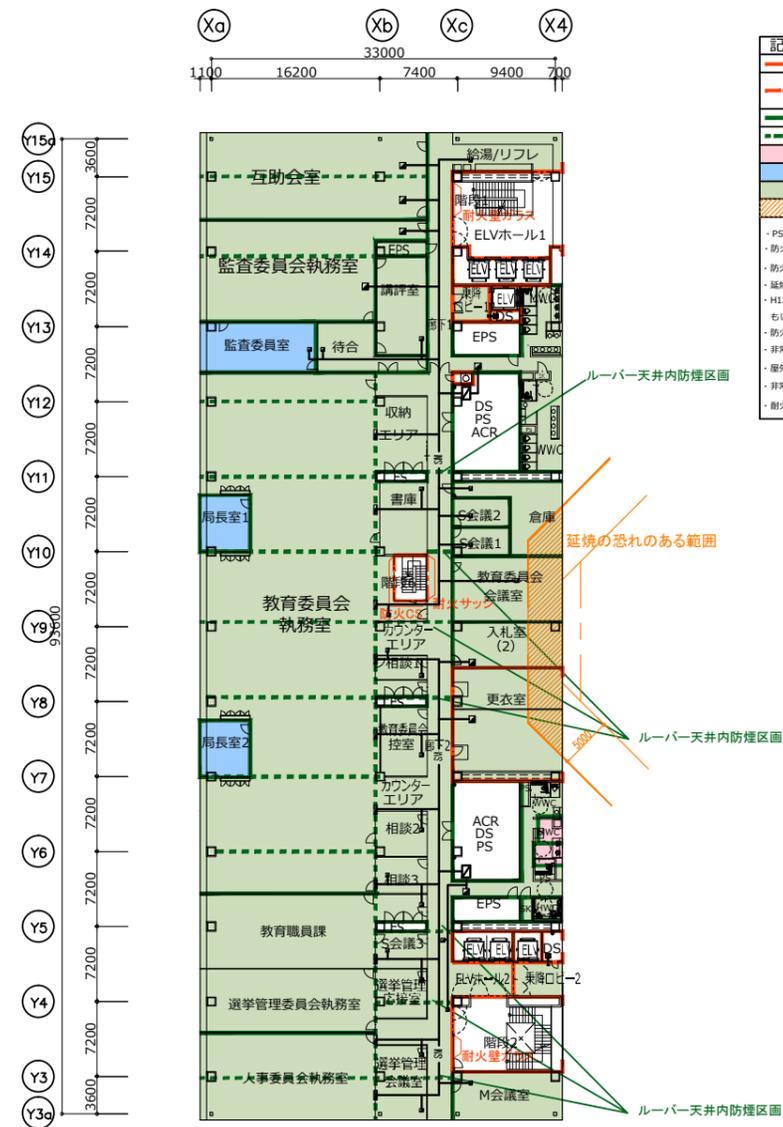
・PS・EPSは水平区画、DSは壁区画とする。  
 ・防火区画貫通部は国土交通大臣認定防火・排煙工法を行う。  
 ・防火区画に接する外壁は巾900の区画壁、サッシ部は防火設備(耐火強化ガラス)とする。  
 ・延焼の恐れがある範囲のサッシは防火設備(耐火強化ガラス)とする。  
 ・H12告示1436号ニ(二)、(四)の出入口は、H300の防煙垂壁+常閉式不燃扉もしくはH500の防煙垂壁+扉とする。  
 ・防火区画壁上の自動ドアは、パナックオープンとする。  
 ・非常用E/V降降口ロービーの扉には、ホース通過孔を設置。  
 ・屋外への出入口は内開きではない。避難時は内部から解放可能(令125条の2)  
 ・非常用昇降機の乗降ロービーには令129条の13の3、第3項第9号の標識などを設置。  
 ・耐火クロススクリーンには脱出口を設ける。

図 4-3 : 排煙ゾーニング図





9階平面図

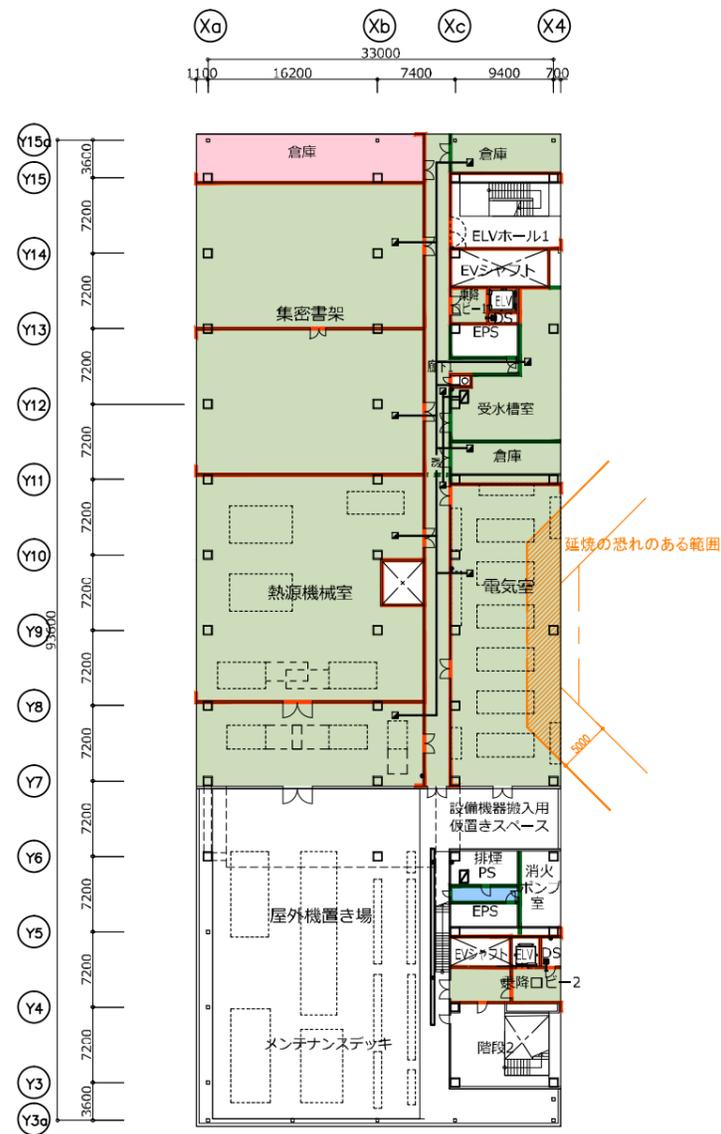


10階平面図

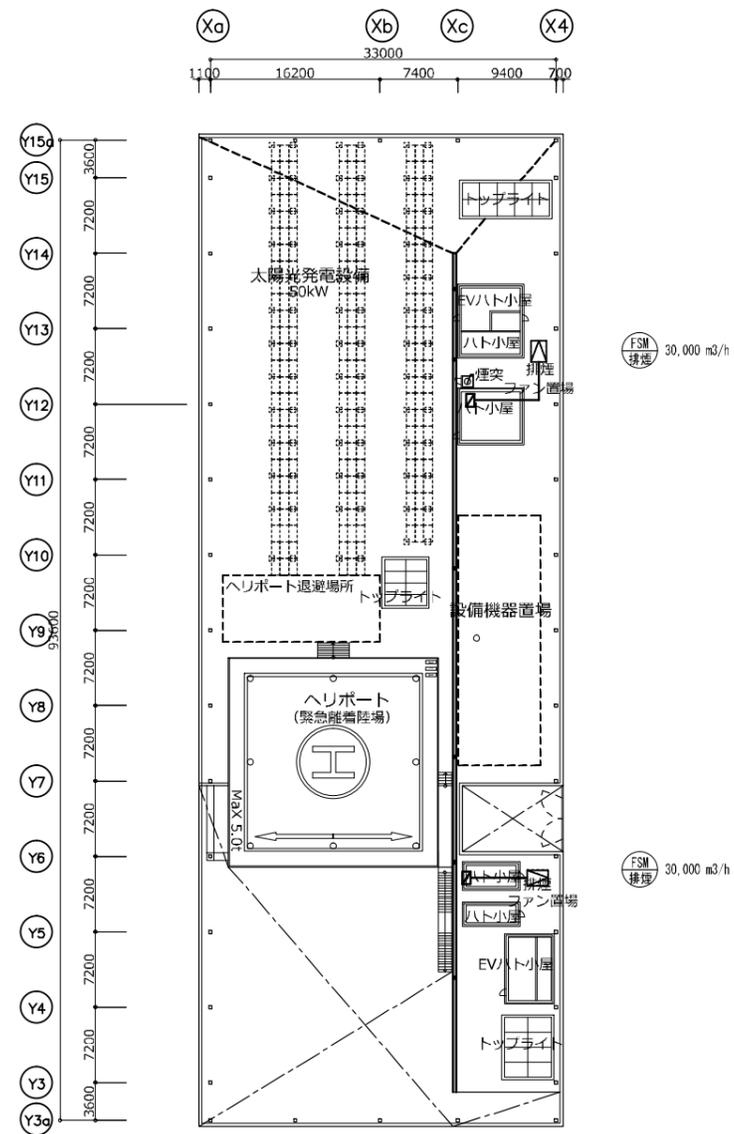
記号凡例	
<span style="border: 1px solid red; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	防火区画
<span style="border: 1px dashed red; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	防火区画 (シャッター等常閉部)
<span style="border: 1px solid orange; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	(SS: 鋼製シャッター, CS: クロススクリーン, 耐火サッシ, オートドア, 常閉扉)
<span style="border: 1px solid green; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	防煙区画
<span style="border: 1px dashed green; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	防煙区画 (防煙垂れ壁・可動防煙垂壁)
<span style="border: 1px solid blue; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	建設省告示1436号の4の2適用
<span style="border: 1px solid lightblue; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	自然排煙
<span style="border: 1px solid lightgreen; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	機械排煙
<span style="border: 1px solid orange; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	延焼の恐れのある範囲

・PS・EPSは水平区画、DSは壁区画とする。  
 ・防火区画貫通部は国土交通大臣認定防火 措置工法を行う。  
 ・防火区画に接する外壁は巾900の区画壁、サッシ部は防火設備(耐火強化ガラス)とする。  
 ・延焼の恐れがある範囲のサッシは防火設備(耐火強化ガラス)とする。  
 ・H12告示1436号(二)、(四)の出入口は、H300の防煙垂壁+常閉式不燃扉もしくはH500の防煙垂壁+扉とする。  
 ・防火区画連続上の自動ドアは、パニックオープンとする。  
 ・非常用エレベーターの扉内への扉には、ホース通過孔を設置。  
 ・屋外への出入口は内開きではない。避難時は内部から開閉可能(令125条の2)  
 ・非常用昇降機の乗降ロビーには令129条の13の3、第3項第9号の標識などを設置。  
 ・耐火クロススクリーンには脱出口を設ける。

図 4-5 : 排煙ゾーニング図



11階平面図

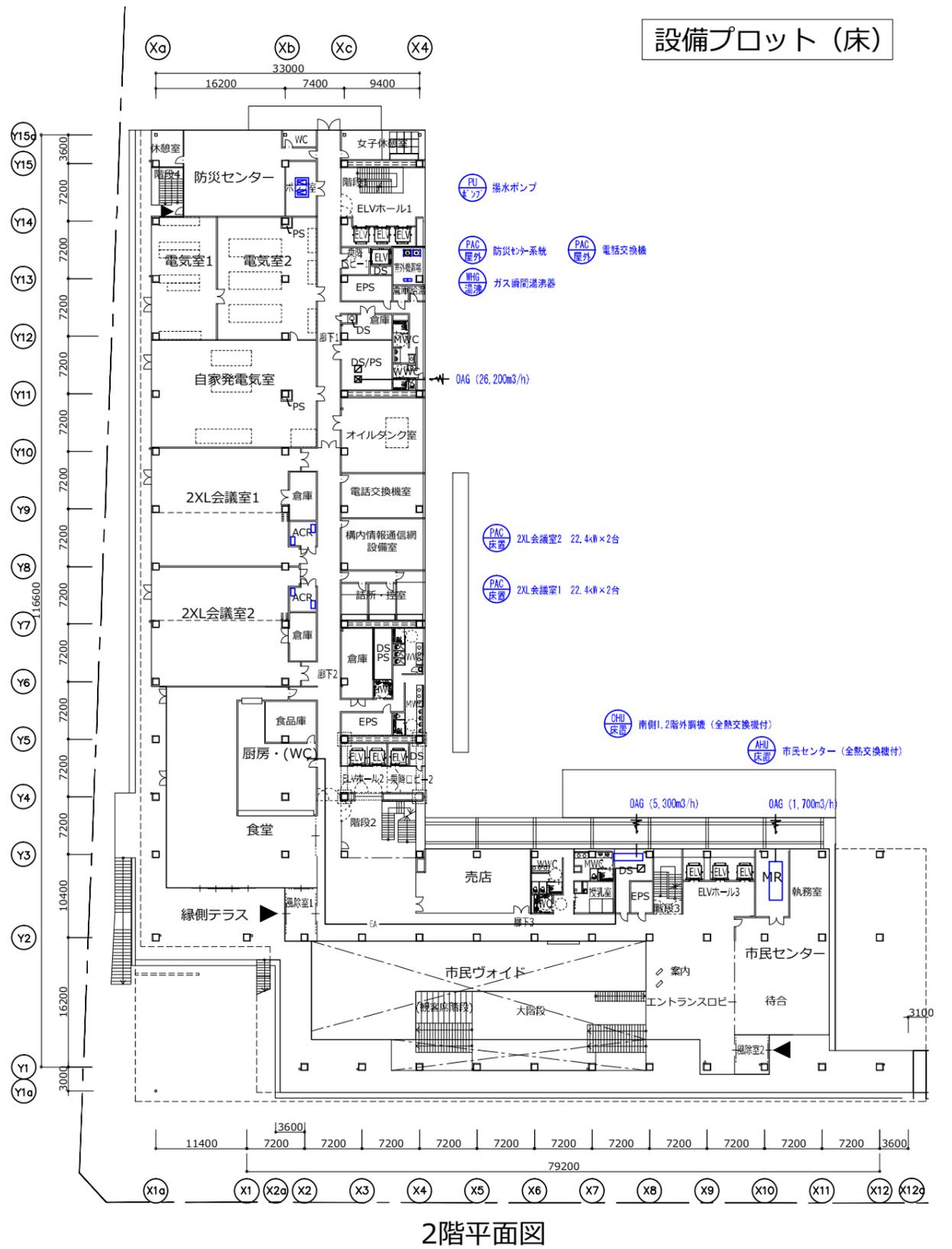
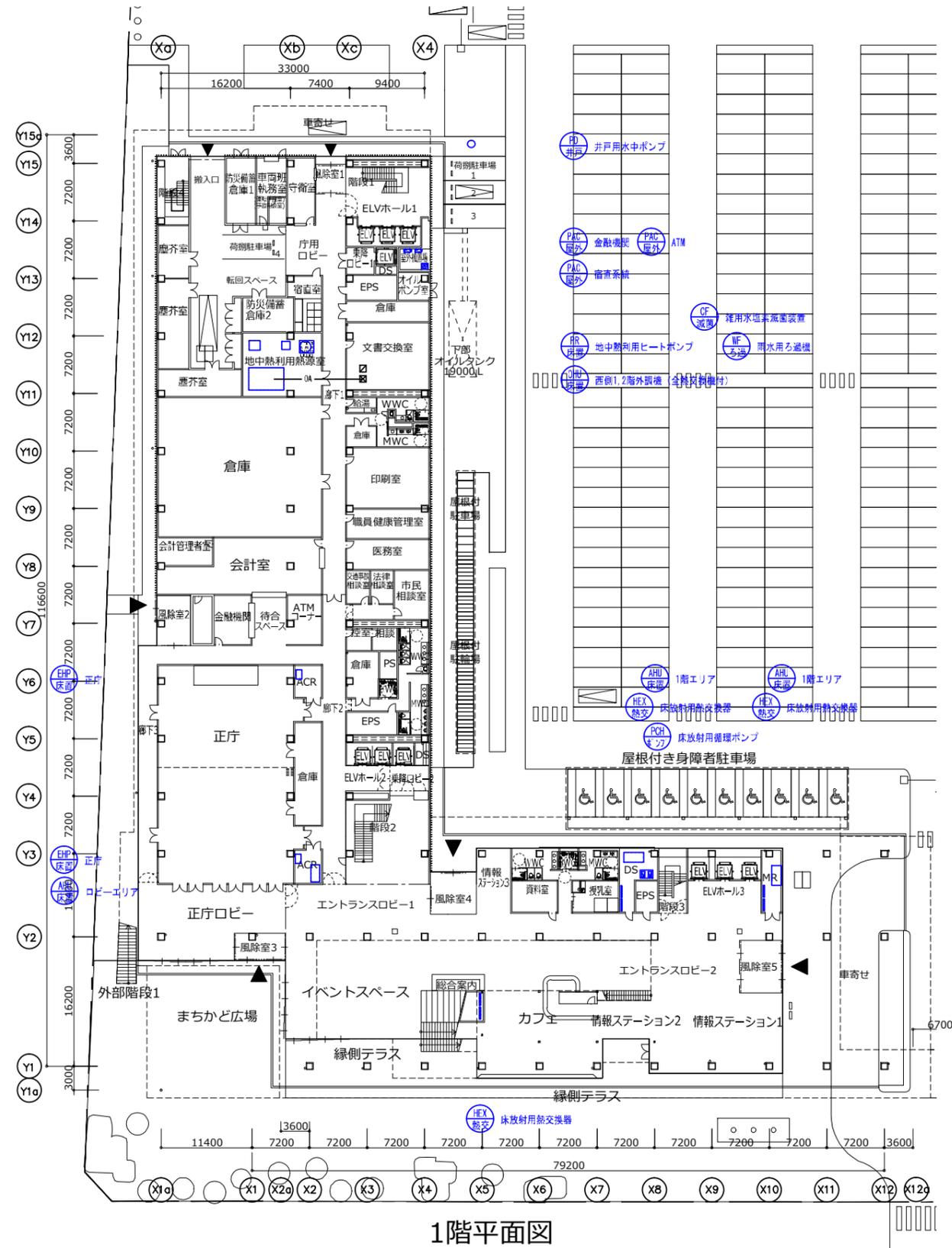


R階平面図

記号凡例	
<span style="border: 1px solid red; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	防火区画
<span style="border: 1px dashed red; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	防火区画 (シャッター等常開部)
<span style="border: 1px solid green; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	防煙区画
<span style="border: 1px dashed green; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	防煙区画 (防煙垂れ壁・可動防煙垂壁)
<span style="border: 1px solid blue; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	建設省告示1436号の4の二適用
<span style="border: 1px solid lightblue; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	自然排煙
<span style="border: 1px solid lightgreen; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	機械排煙
<span style="border: 1px solid orange; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	延焼の恐れのある範囲

・PS・EPSは水平区画、DSは垂直区画とする。  
 ・防火区画貫通部は国土交通大臣認定防火 措置工法を行う。  
 ・防火区画に接する外壁は巾900の区画壁、サッシ部は防火設備(耐火強化ガラス)とする。  
 ・延焼の恐れがある範囲のサッシは防火設備(耐火強化ガラス)とする。  
 ・H12告示1436号二(二)、(四)の出入口は、H300の防煙垂壁+常開式不燃扉もしくはH500の防煙垂壁+扉とする。  
 ・防火区画画面上の自動ドアは、バニックオープンとする。  
 ・非常用EV乗降ロビーの室内への扉には、ホース通過孔を設置。  
 ・屋外への出入口は内開きではない。避難時は内部から解放可能(令125条の2)  
 ・非常用昇降機の乗降ロビーには令129条の13の3、第3項第9号の標識などを設置。  
 ・耐火クロススクリーンには脱出口を設ける。

図 4-6 : 排煙ゾーニング図



設備プロット (床)

図 5-1 : 設備プロット図

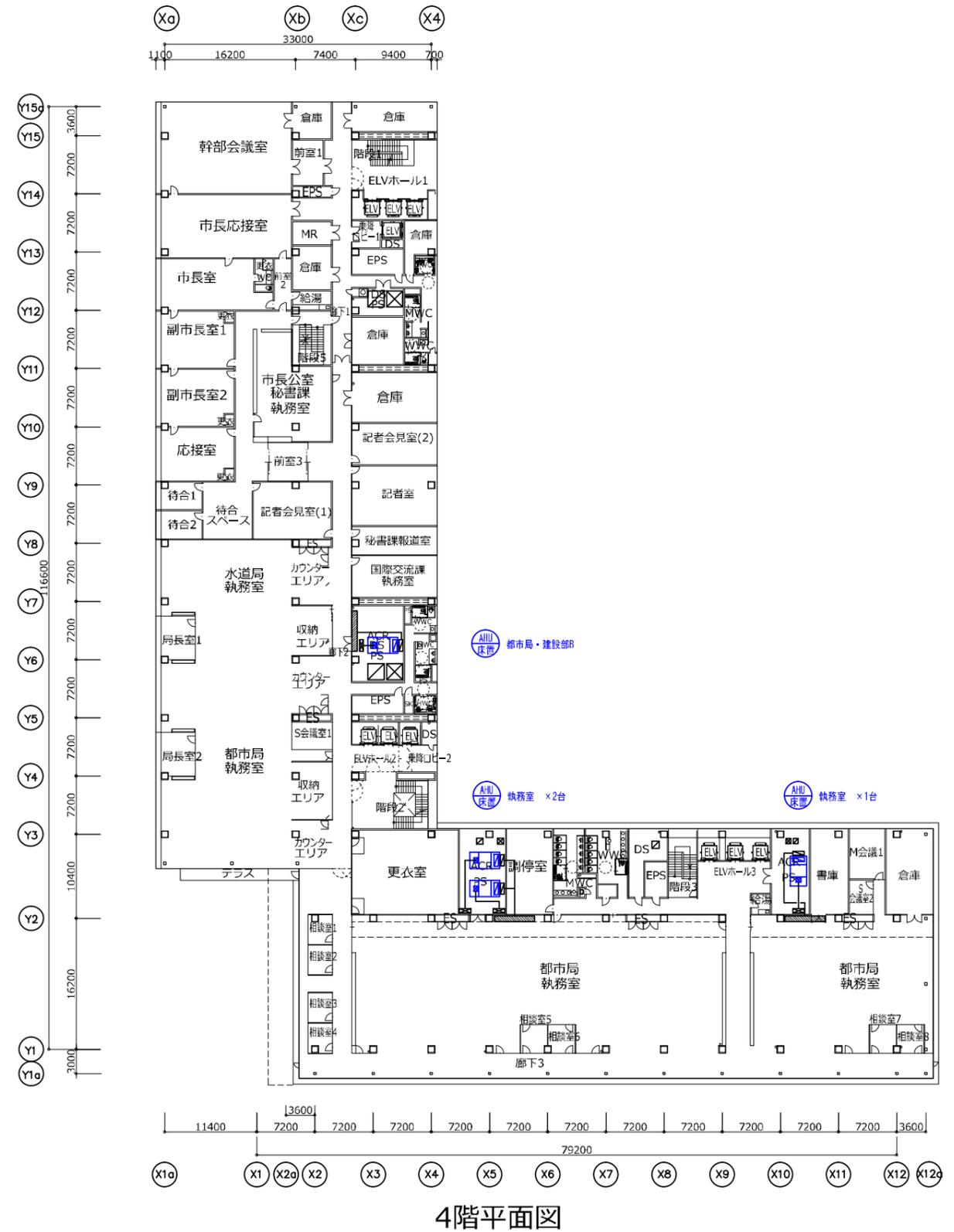
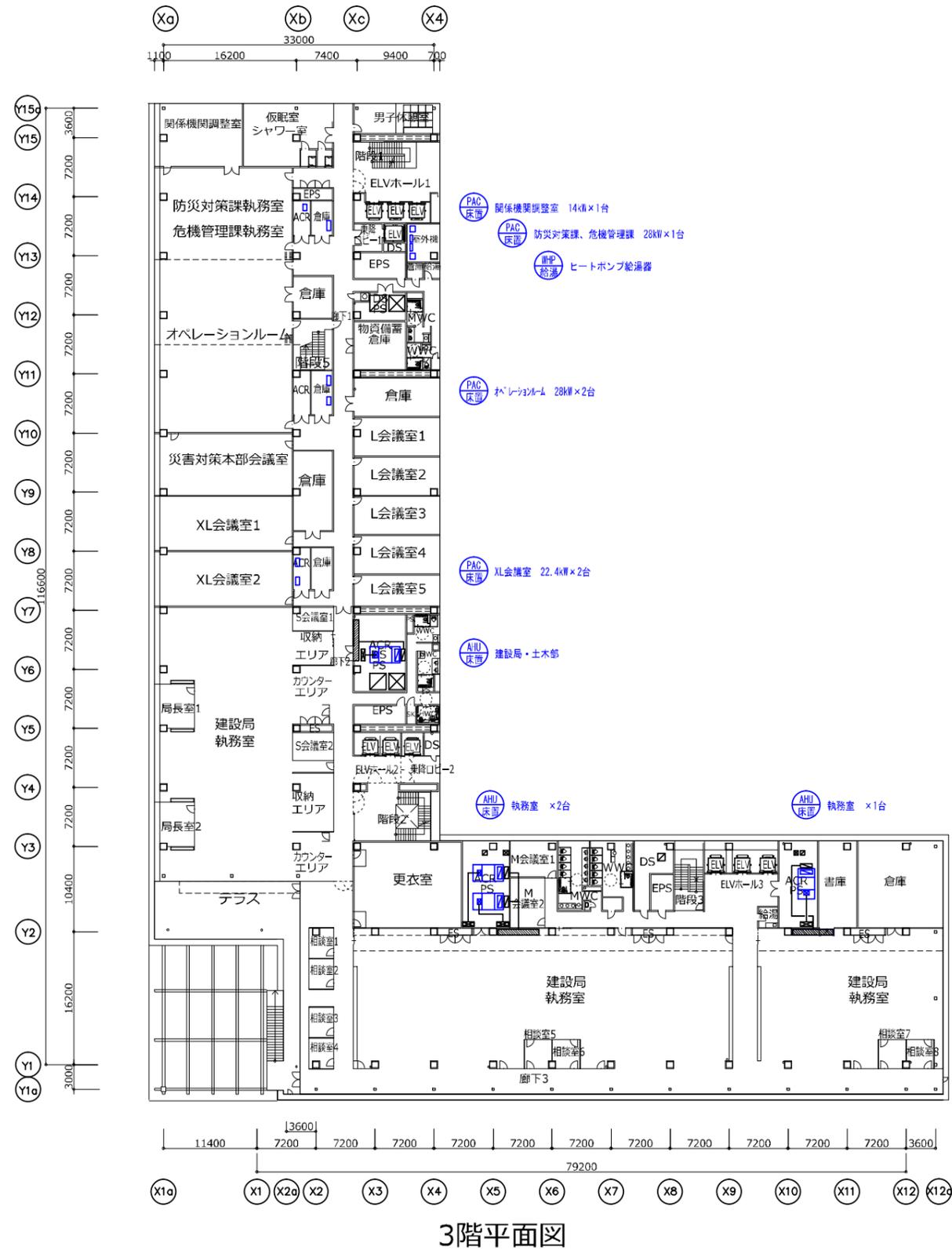


図 5-2 : 設備プロット図

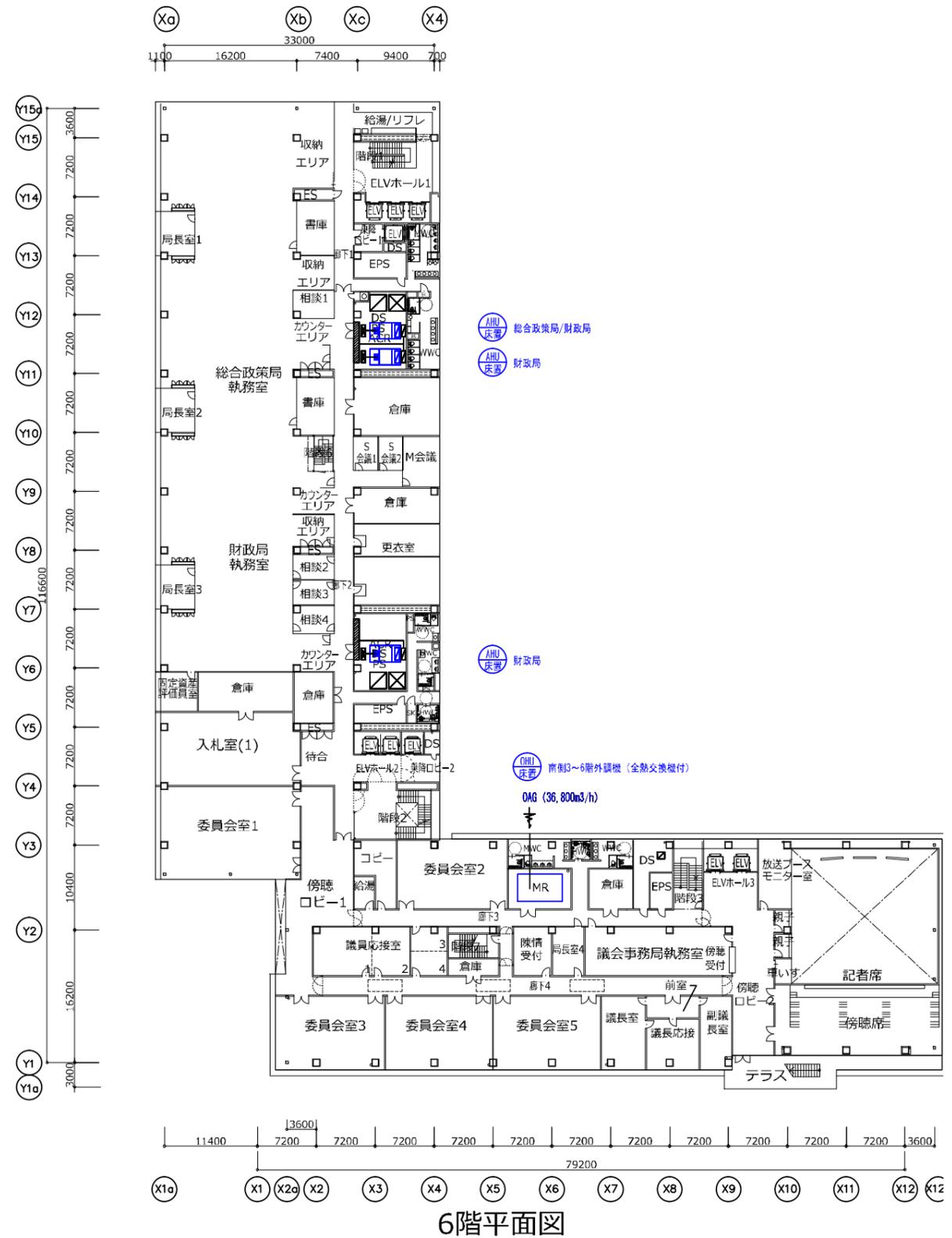
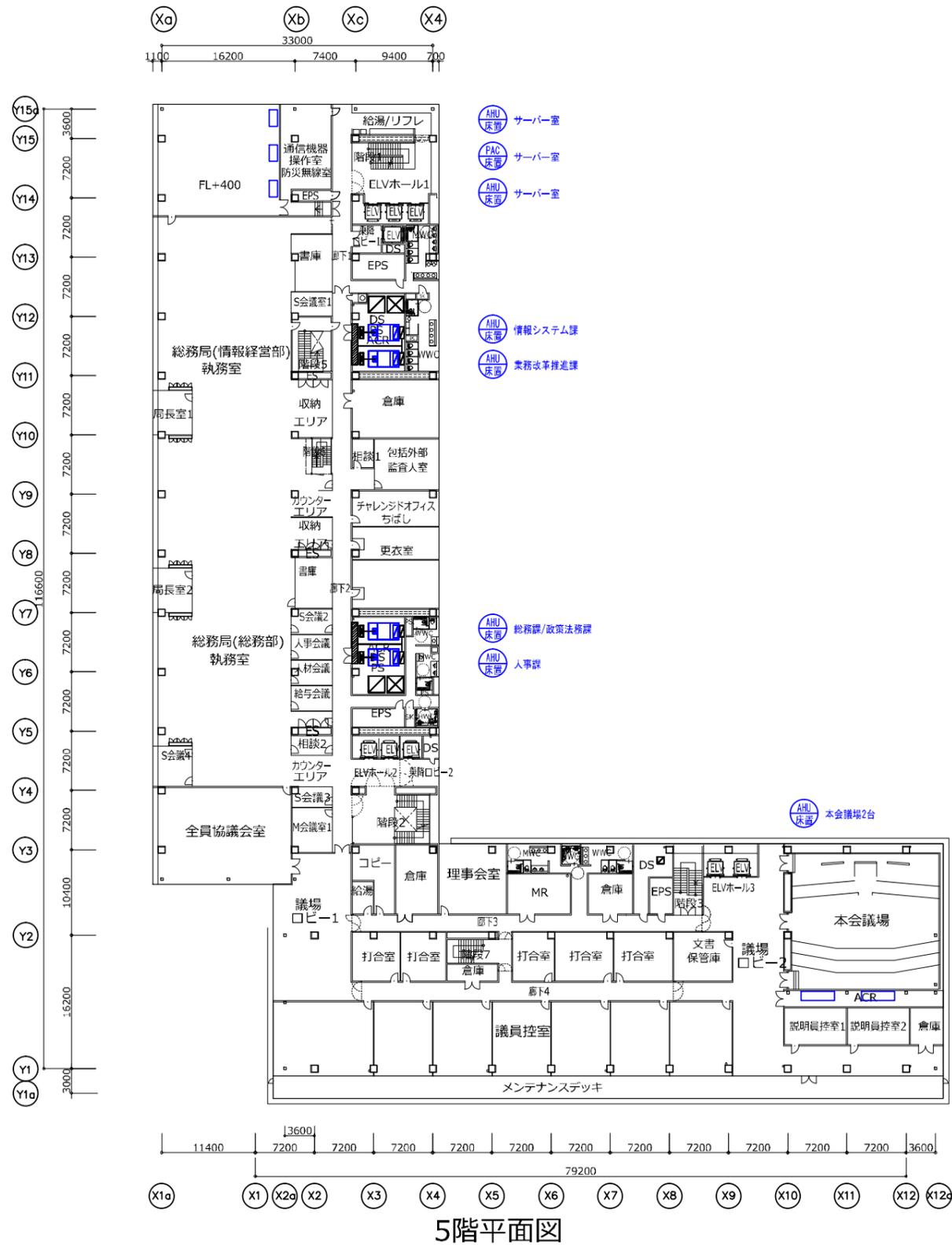


図 5-3 : 設備プロット図

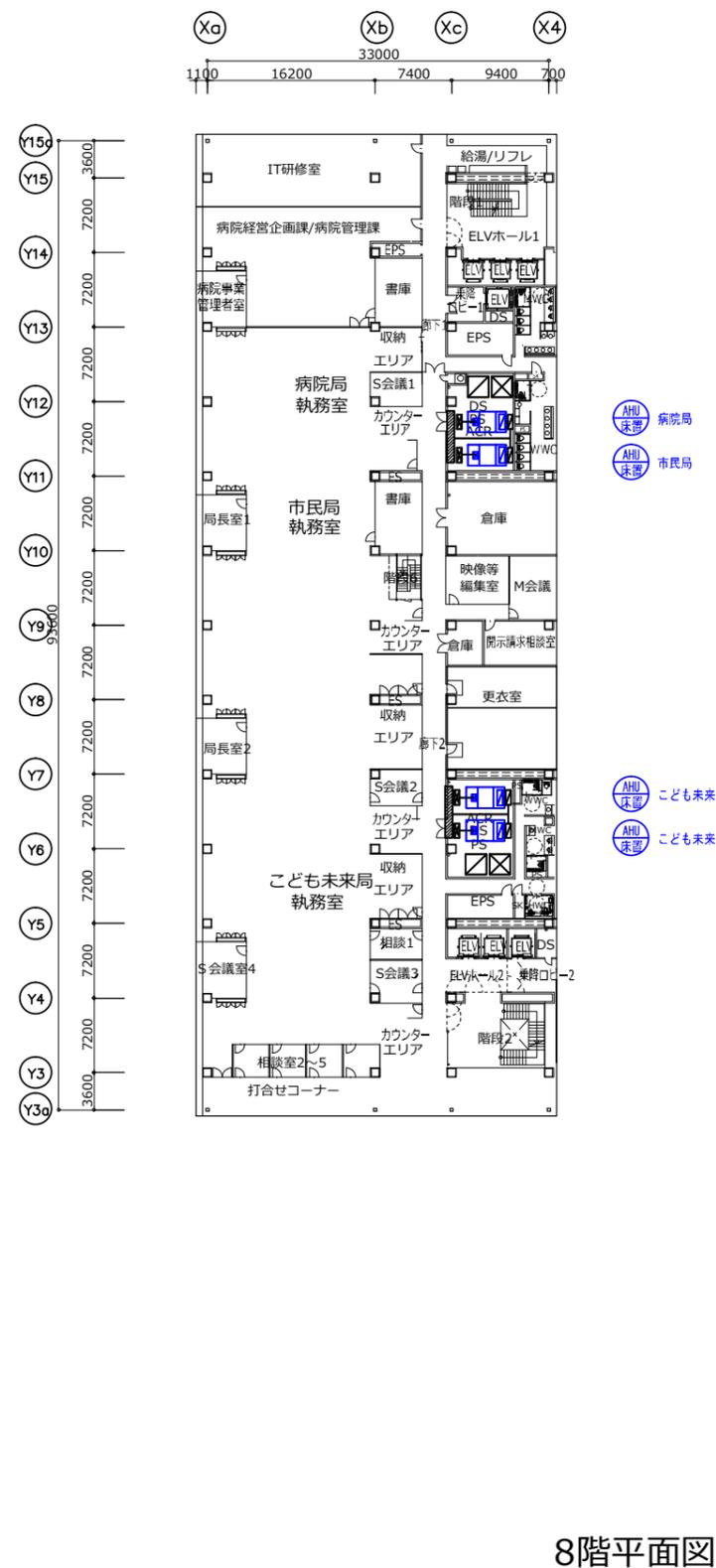
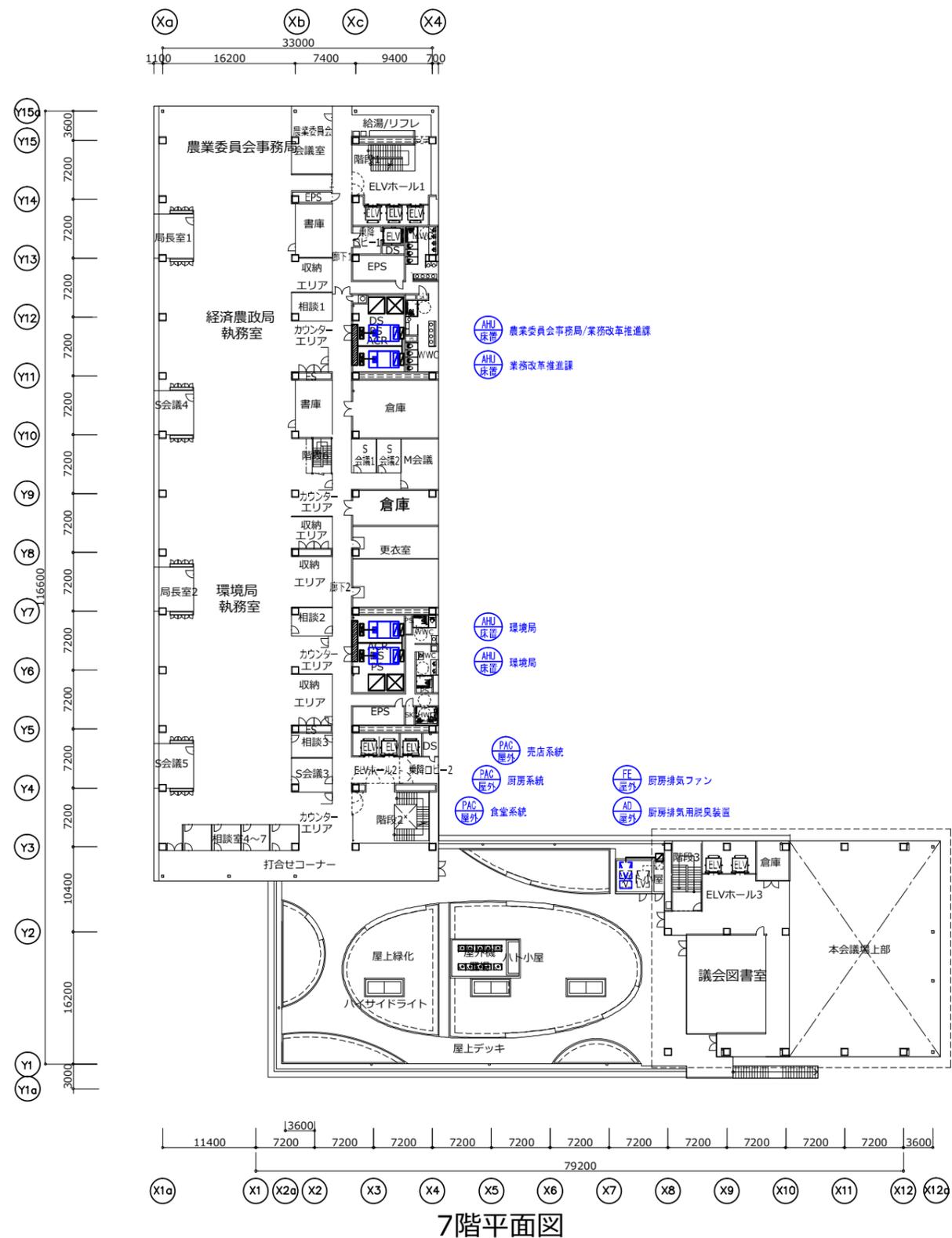
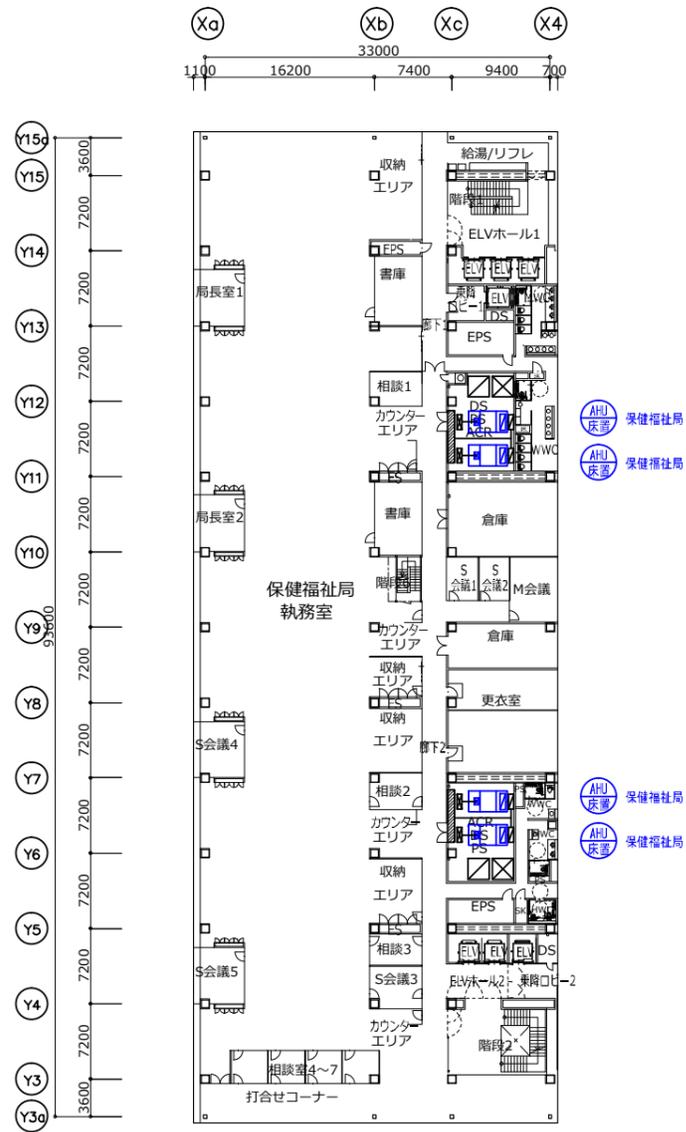
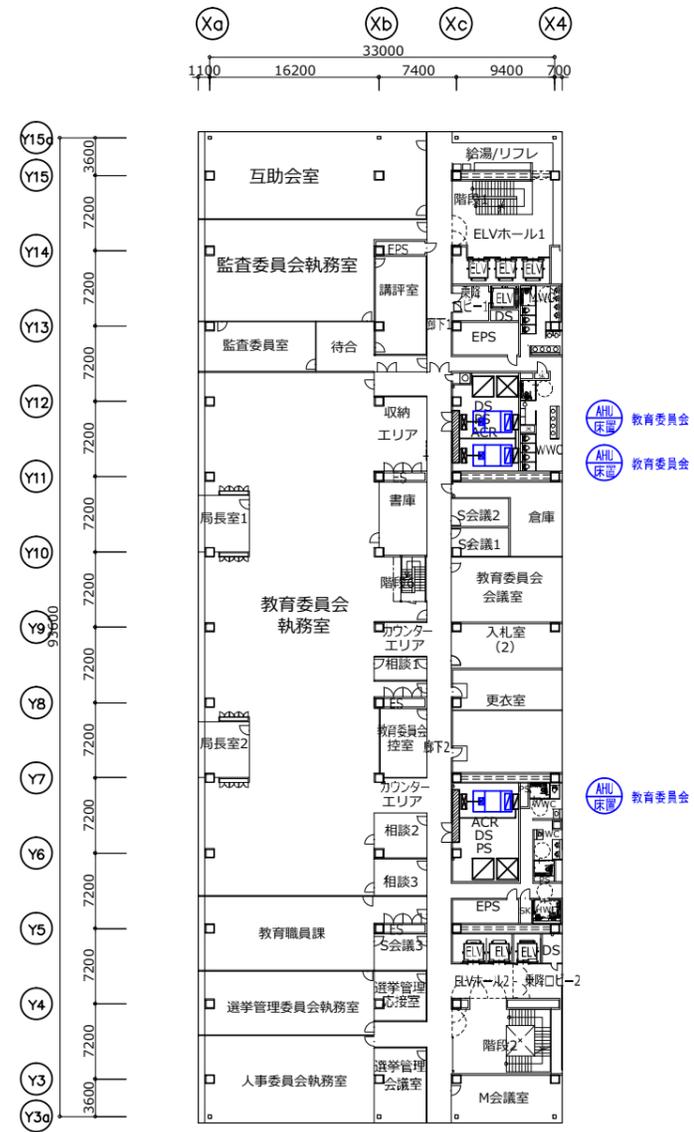


図 5-4 : 設備プロット図

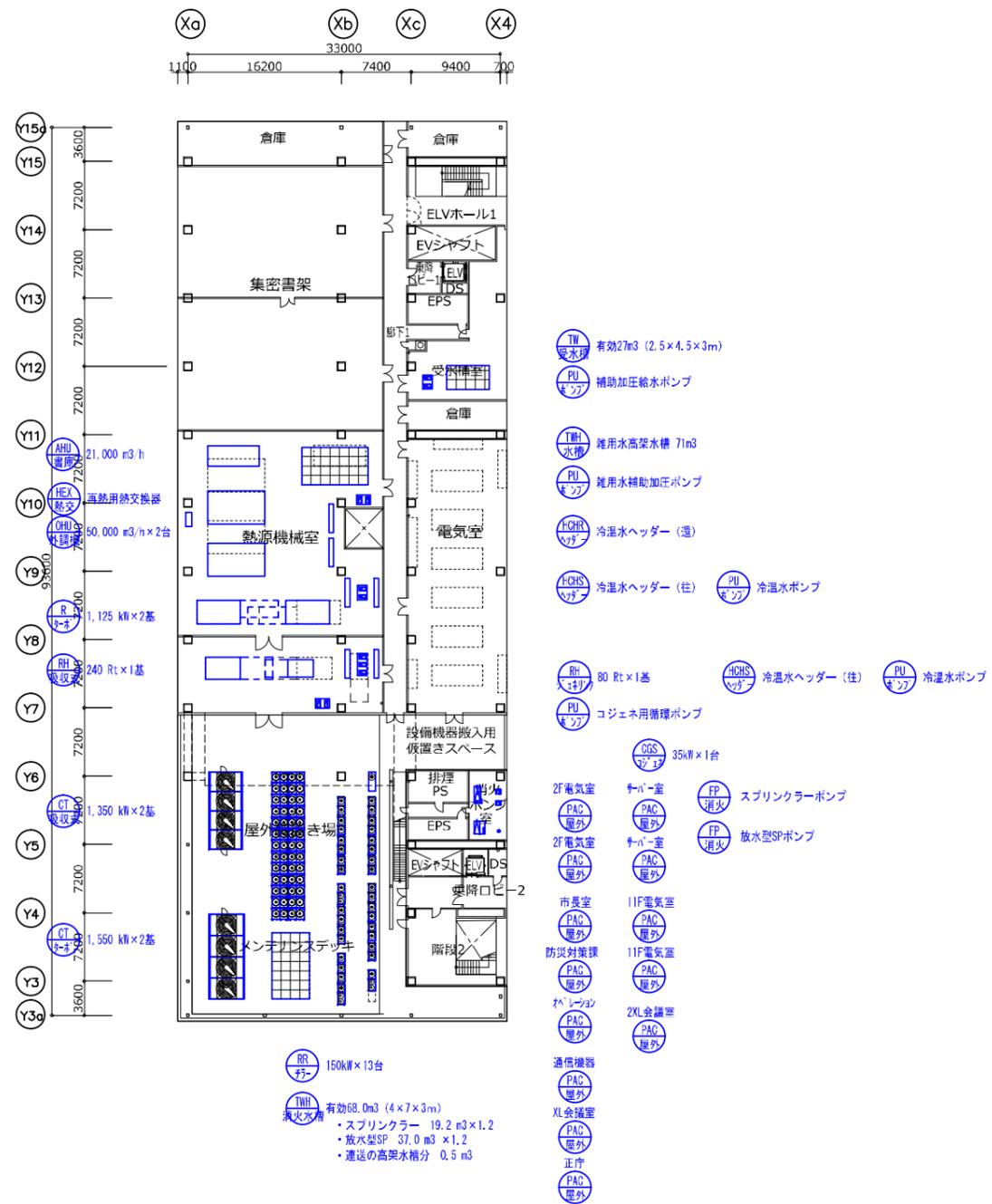


9階平面図

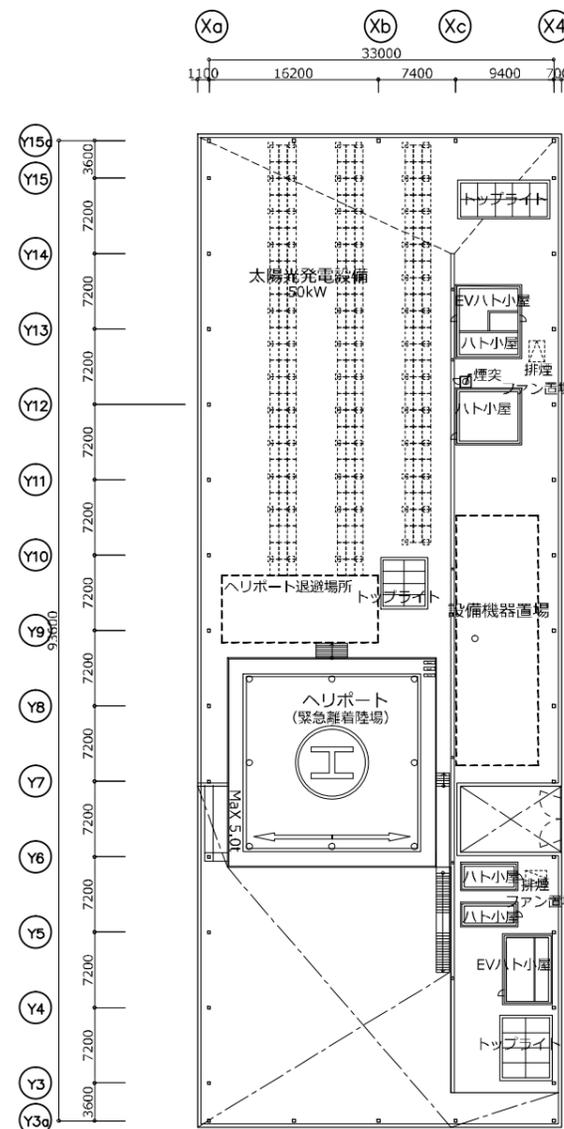


10階平面図

図 5-5 : 設備プロット図



11階平面図



R階平面図

図 5-6 : 設備プロット図

### (3) 空調換気設備計画

#### 3-5. 自動制御設備

中央監視装置により、空調設備・給排水設備の操作、状態監視、故障監視を一元化し、設備運用の省力化および予防保全を図り、省エネルギー運用を支援します。

電気設備と機械設備の BA サーバはレスポンスタイムの違い、サーバがダウンした際の相互への影響に配慮し、分散での設置とします。

上位システムにはオープンシステムを採用し、セキュリティ（入退室管理）、照明、空調等の連動を容易にします。

設備システムの保守管理機能の向上、省エネルギーと快適性の調和を目的に BEMS を導入します。

電気設備にて設けるマルチサイン装置にて、エネルギー使用量や発電量をリアルタイムで表示し、施設利用者各々の省エネルギーへの意識を啓発します。

#### (1) 監視機能

- ・各機器の状態監視
- ・各機器、水槽等の警報監視

#### (2) 制御・操作機能

- ・熱源：台数制御、送水温度制御、変流量制御等
- ・空調機、外調機：ウォーミングアップ制御、外気冷房制御、室内 CO<sub>2</sub> 濃度による外気導入量制御、凍結防止運転制御、還り温度補償制御等
- ・ファン：室内温度による換気ファンの発停、スケジュール制御等
- ・パッケージ形空調機：集中リモコンによる発停制御等
- ・ファンコイルユニット：還り温度補償制御等
- ・床吹出口：風量制御等
- ・水槽：水位制御等
- ・雨水排水：雨水切替弁制御（停電時自動閉切替弁、200A×10 系統）
- ・自然換気、ナイトパーズ：ダンパー制御、自然換気有効サイン表示等

#### (3) 主な計量・計測ポイント

##### ○電気

- ・建物全体の電力使用量
- ・太陽光パネル発電量
- ・各中央熱源機器、補機類の電力使用量
- ・各空調機（空調機、外調機、パッケージ形空調機等）の電力使用量
- ・給排水ポンプ類の電力使用量
- ・エレベーターの電力使用量
- ・各執務室における照明電力使用量
- ・各執務室における OA コンセント電力使用量
- ・全熱交換器および換気ファン系の電力使用量
- ・その他諸室の照明電力使用量

##### ○水

- ・建物全体の上水使用量
- ・建物全体の雑用水使用量
- ・外構散水の雑用水使用量
- ・井戸水の揚水量
- ・雨水の再生利用水量
- ・雑用水における上水の補給水量
- ・イベント時上水使用量

##### ○ガス

- ・マイクロ CGS のガス使用量
- ・ガス瞬間湯沸器のガス使用量
- ・ガス焚吸収式冷温水機のガス使用量

##### ○その他

- ・自然通風年間時間
- ・テナント部分（食堂、厨房、カフェ、売店）の水、電気、ガスの使用量
- ・外気温度・湿度、風速、風向、降雨状態

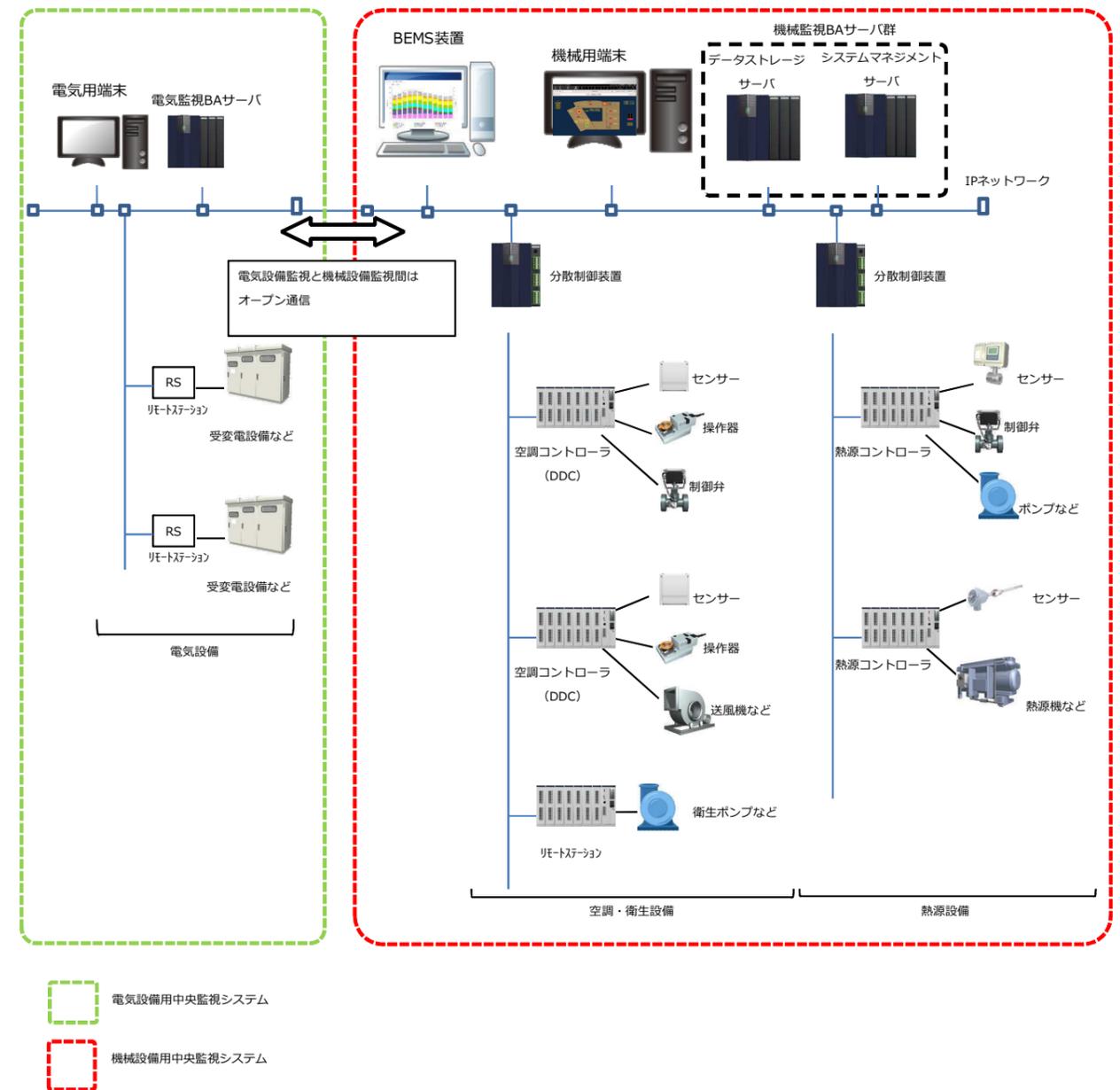


図 6：中央監視構成

4-0. 共通事項

本計画敷地は沿岸部に位置するため、以下の屋外に設置する機器は重耐塩仕様とします。

(重耐塩仕様がない場合は耐塩仕様)

- ・屋外水槽 (FRP 製)
- ・その他屋外に設置する機器類

4-1. 設計条件

上水 …千葉県水道局水道本管より引込む水であり、飲料用水、洗面、シャワー用水等に用います。

雑用水 …雨水再利用水 (不足分は空調ドレン、井水、上水 (表記は優先順位)) であり、トイレ洗浄水、屋外散水等に用います。

(1) 平常時

表 3 : 平常時給水量条件

延べ床面積	日使用水量 (m <sup>2</sup> あたり) ※1			日使用水量		
	合計	上水※2	雑用水※2	合計	上水	雑用水
		0.35	0.65		0.35	0.65
[m <sup>2</sup> ]	[L/(m <sup>2</sup> ・日)]	[L/(m <sup>2</sup> ・日)]	[L/(m <sup>2</sup> ・日)]	[m <sup>3</sup> /日]	[m <sup>3</sup> /日]	[m <sup>3</sup> /日]
47250	4.0	1.4	2.6	189.0	66.2	122.9

→受水槽容量 (上水) = 66.2 × 0.4 ≒ 27 m<sup>3</sup>

→受水槽容量 (雑用水) = 受水槽:110m<sup>3</sup>、高架水槽:52m<sup>3</sup> (非常時を想定し、容量を決定)

※1 : 千葉県水道局の基準により、日使用水量 4.0[L/m<sup>2</sup>・日]と決定

※2 : 建築設備設計基準 (平成 27 年度版) より上水・雑用水の使用割合を決定

(2) 非常時 (災害・停電時)

表 4 : 非常時の生活用水量

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	合計	有効水量	対応方法
使用者数 [人]	2,841	610	610	610	610	610	610	-	-	-
上水 [m <sup>3</sup> ]	11.36	2.44	2.44	2.44	-	-	-	18.68	19.0	受水槽、ペットボトル
雑用水 [m <sup>3</sup> ]	85.23	18.30	18.30	18.30	-	-	-	140.13	141.0	井水、雨水
排水 [m <sup>3</sup> ]	85.23	18.30	18.30	18.30	18.30	18.30	18.30	195.03	196.0	災害用緊急汚水槽

表 5 : 災害時給水量条件

生活用水	人員計算				備考
	使用者種別	使用者数算出方法	人員[人]		
			計算式・根拠	1日目	
職員			2,241	560	災害対策者 = 職員 × 25%
外部職員			50	50	
帰宅困難者			550		
合計			2,841	610	1日分の給排水

○上水 (飲料用水、洗面、シャワー用水)

$$Qa = qa \{ n1 \times t1 + n2 \times (t2 - t1) / 1000$$

Qa : 飲料用水の必要貯水量 (m<sup>3</sup>)  
 qa : 一人当たり一日使用量 = 4 (L/人・日) 4 (L/人・日)  
 n1 : 全職員数 (人) 2,841 (人)  
 n2 : 大地震動後、災害応急対策活動を行う職員等の数 (人) 610 (人)  
 t1 : 大地震動後、一般職員が施設を離れるまでの日数 (日) 1 (日)  
 t2 : 大地震動後、外部からの給水が得られるまでの日数 (日) 4 (日)

$$\therefore Qa = 4 \times \{ 2,841 \times 1 + 610 \times (4 - 1) \} / 1000 = 18.68 \text{ (m}^3\text{)} \rightarrow \text{水槽容量 } 19.0 \text{ (m}^3\text{)}$$

○雑用水 (トイレ洗浄水)

$$Qb = [ qb \{ n1 \times t1 + n2 \times (t2 - t1) + qc \times t2 \} / 1000$$

Qb : 雑用水の必要貯水量 (m<sup>3</sup>)  
 qb : 一人当たり一日使用量 = 30 (L/人・日) 30 (L/人・日)  
 qc : 重要設備 (大地震動後の災害応急対策活動に最低限必要な設備) の機能確保に必要な補給水1日使用量 (L/日) 0 (L/日)

$$\therefore Qb = [ 30 \{ 2,841 \times 1 + 610 \times (4 - 1) + 0 \times 4 \} / 1000 = 140.13 \text{ (m}^3\text{)} \rightarrow \text{有効水量 } 141.0 \text{ (m}^3\text{)}$$

○排水量

$$Qd = qb \{ n1 \times t1 + n2 \times (t3 - t1) / 1000$$

Qd : 相当期間分の排水量 (m<sup>3</sup>)  
 qb : 一人当たり一日排水量 = 30 (L/人・日) 30 (L/人・日)  
 n1 : 全職員数 (人) 2,841 (人)  
 n2 : 大地震動後、災害応急対策活動を行う職員等の数 (人) 610 (人)  
 t1 : 大地震動後、一般職員が施設を離れるまでの日数 (日) 1 (日)  
 t3 : 放流又は汚水等の搬出が可能となるまでの日数 (日) 7 (日)

$$\therefore Qd = 30 \times \{ 2,841 \times 1 + 610 \times (7 - 1) \} / 1000 = 195.03 \text{ (m}^3\text{)} \rightarrow \text{有効水量 } 196.0 \text{ (m}^3\text{)}$$

●対応方法

- ・飲料水の確保 : ペットボトル19m<sup>3</sup>+受水槽の残り水 (27m<sup>3</sup>×5割 = 13.5m<sup>3</sup>※1) …飲料水は原則ペットボトルにて確保
- ・雑用水の確保 : 井水、雨水 (雑用水槽110m<sup>3</sup>×5割 = 55m<sup>3</sup>※1 + 雑用高架水槽52m<sup>3</sup>×5割 = 26m<sup>3</sup>※1 + 井水60m<sup>3</sup>) ※2
- ・排水の確保 : ピットを利用した災害用緊急汚水槽の設置

※1 電極の設定により必ず確保

※2 ■水害等がなく、地下ピットの雨水槽・雑用水槽および井戸が使用可能な場合

給水 : 空調稼働、天候や上水道の状況に関わらず、井戸からの最大揚水量 (60 m<sup>3</sup>/日) 内で供給 60 m<sup>3</sup>×4 日 > 141 m<sup>3</sup>/4 日間

雑用水高置水槽 (容量 52 m<sup>3</sup>) の残り水 (52 m<sup>3</sup>×5 割 = 26 m<sup>3</sup>※1) + 60 m<sup>3</sup>/日 = 86 m<sup>3</sup> > 85.23 m<sup>3</sup>/1 日目

排水 : 災害用緊急汚水槽 (196 m<sup>3</sup>) に貯留

■高潮水害時、地下ピットの雨水槽・雑用水槽および井戸が水没する場合

給水 : 雑用水高置水槽 (容量 52 m<sup>3</sup>) の残り水 (52 m<sup>3</sup>×5 割 = 26 m<sup>3</sup>※1) に、屋上で取水した雨水を補給 ←最大 52 m<sup>3</sup>確保 (天候による)

※水没した井戸→雑用水槽→雑用水高置水槽への給水が可能であれば (ポンプ等が動作し、衛生的に問題なければ) 雑用水給水量の確保は可能

排水 : 災害用緊急汚水槽に貯留

※水没した災害用緊急汚水槽に排水を流せるかは様子を見ながら運用

## (4) 給排水衛生設備計画

### 4-2. 衛生器具設備

衛生器具は節水性、使いやすさ、維持管理性、衛生面等に配慮した器具を選定します。

表 6：衛生器具の仕様

器具名称	仕様
洋風大便器	節水型洗浄弁、センサースイッチ（停電時対応手動ボタン付）、温水洗浄便座、擬音装置（女子便所）、中水仕様※
小便器	自動洗浄式低リップ小便器、中水仕様、自己発電型（一部）
手洗器	自動水洗
歯磨きユニット	ベッセル式、ボール洗浄水栓、レバー単水栓
ハンドドライヤー	高速両面タイプ
多目的トイレ	節水型洗浄弁、温水洗浄便座、オストメイト、手洗器
掃除用流し	バック付掃除用流し
冷水器	ピルトインタイプ（エントランスホールに2台設置）

※中水仕様：雑用水（水源：空調ドレン、雨水、井水）の利用を想定した仕様

### 4-3. 給水設備

上水（水源は県水）、雑用水（水源は空調ドレン、雨水、井水、上水）の2つの給水源を有効利用した計画とします。

図 6 に給水フロー図を示します。

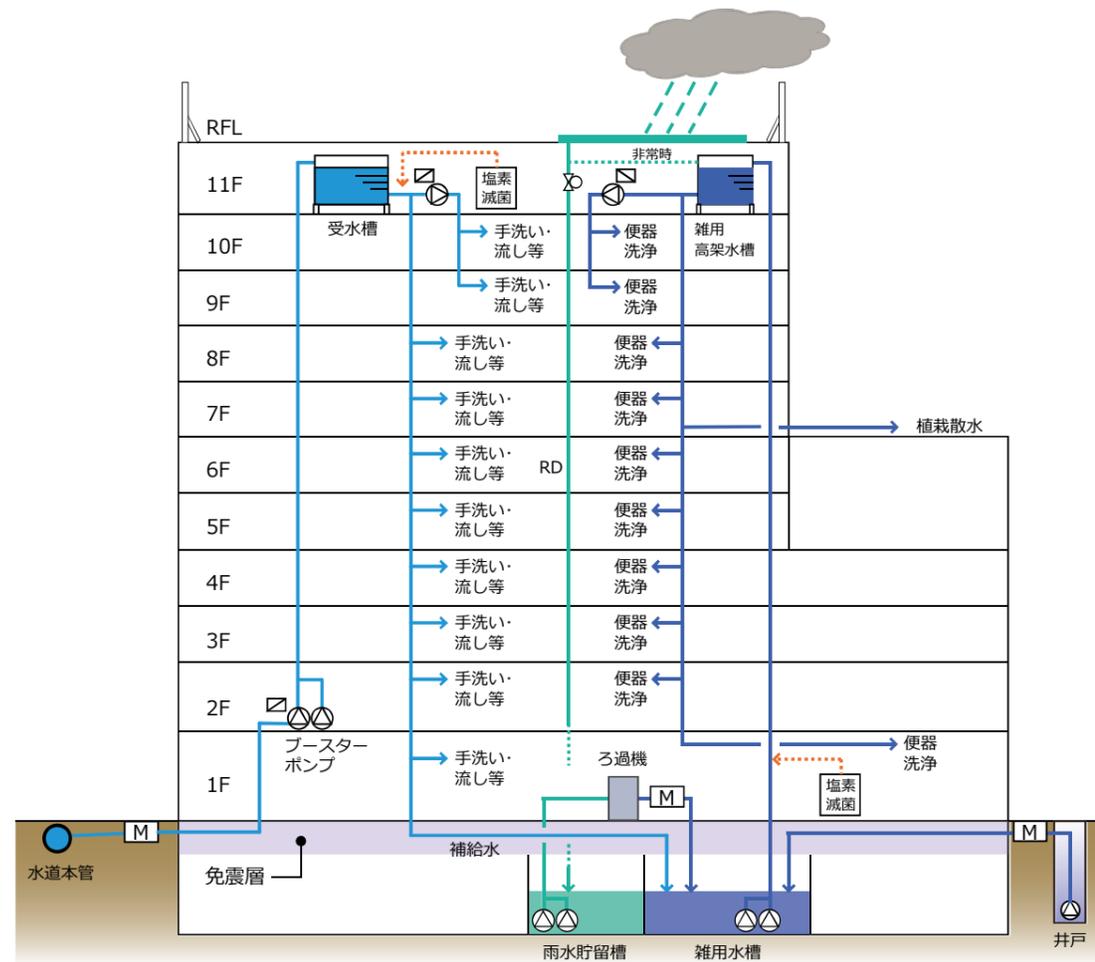


図 7：給水フロー図

### (1) 上水

上水は給水本管より 75A で引き込み、増圧ポンプにて 11 階に設置の上水系統受水槽（FRP 製、有効容量 27m<sup>3</sup>）に貯水し、重力により、必要箇所へ供給します。ただし、上層階系統は補助加圧給水ポンプにて加圧して供給します。受水槽には緊急遮断弁・採水栓を設け、県水途絶時においても生活用水を確保できる計画とします。

### (2) 雑用水

雑用水は給水方式を高置水槽給水方式とし、免震層下部地下二重ピットを利用した雑用水槽より、揚水ポンプ（水中ポンプ）にて 11 階に設置した雑用高架水槽へ貯水し、重力により、必要箇所へ供給します。ただし、上層階系統は補助加圧給水ポンプにて加圧して供給します。省資源および災害時の水源確保として、空調ドレン、雨水、井水を水源として利用します。雑用高架水槽を設けることで高潮による浸水時にも、貯水分を供給可能とします。

### ○給水配管材料

屋内 : ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-PB) (上水)  
 : 硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB) (雑用水)  
 地中埋設 : ポリエチレン管 (屋外散水、受水槽一次側)

※免震構造部と非免震構造部を渡る配管には、免震継手を設置します

### 4-4. 排水設備

屋内は汚水・雑排水の合流、厨房排水、雨水の 3 系統による分流方式とし、屋外は汚水、雨水の 2 系統による分流方式とします。汚水・雑排水は重力による自然放流としますが、敷地が広いので、下水公設柵の深さが不足する場合は排水中継槽を介し、ポンプアップ排水とします。

屋外洗車場、車両整備場にはガソリントラップを設置します。

災害時は使用エリアを限定した便所排水を災害用緊急汚水槽へ放流する計画とします。

第一柵までは擁壁から支持を取り、以降を地盤改良する計画としますが、建物近くに配管する屋外排水管および柵は、極力、擁壁から支持を取り、地盤改良範囲を必要最小限に納める計画とします。

### ○排水配管材料

雑用水管 : 耐火二層管 (消防認定品)      汚水管 : 耐火二層管 (消防認定品)  
 通気管 : 耐火二層管 (消防認定品)      屋外排水管 : 硬質塩化ビニル管  
 : 硬質塩化ビニル管 (ピット部分)      厨房排水管 : 耐火二層管 (消防認定品)

※免震構造部と非免震構造部を渡る配管には、免震継手を設置します

### 4-5. 給湯設備

給湯方式は、個別給湯方式とします。

### ○給湯箇所

- ・3階仮眠室 シャワーユニット  
 経済性、環境性、および災害時の利用を考慮し、ヒートポンプ給湯器を採用します。
- ・2階食堂  
 厨房用として、潜熱回収型ガス瞬間湯沸器を採用します。
- ・給湯室  
 湯沸用として、飲雑兼用の貯湯式電気温水器 (30L) を採用します。
- ・多目的トイレ  
 手洗い用、オストメイト流し用として、貯湯式電気温水器を採用します。  
 (給湯対象室、給湯方式についての詳細は諸元表を参照)

### ○給湯配管材料

給湯用塩ビライニング鋼管 (HTLP)、給湯用内外面塩ビライニング鋼管 (WHTLP)

## (4) 給排水衛生設備計画

### 4-6. 消火設備

関連法規および所轄消防指導に準拠した安全性の高い消火設備を設置します。

消防法上の防火対象物は(16)項イ ((15)項 事務所・(3)項ロ 飲食店の複合用途) に該当とします。

表7: 消火設備

消火設備等	設置場所	備考
消火器	全館	
大型消火器	オイルタンク室	
屋内消火栓	-	スプリンクラー設備にて代替
屋外消火栓	-	スプリンクラー設備にて代替
スプリンクラー設備	全館	天井高10m超部分:放水型
不活性ガス消火設備	11階電気室、発電機室、情報経営部分室	
移動式粉末消火設備	ヘリポート	
連結送水管	3階以上	
フード等用簡易自動消火装置	2階食堂厨房	

### 4-7. 厨房器具設備

2F 食堂の厨房器具は都市ガスおよび電気を熱源として使用します。

- ・想定食数: 500 食
- ・主な器具: 飲食業許可を前提とした配置計画とし、厨房設備(プレハブ冷蔵庫、プレハブ冷凍庫、自動炊飯器、ガスレンジ、フライヤー、食器洗浄機、コンベア等)をテナント業者による別工事、グリストラップを本工事とする

### 4-8. ガス設備

災害時の安定した供給に配慮し、中圧ガスを引き込み、専用ガバナにて整圧します(空調熱源・厨房用)。

免震構造部と非免震構造部を渡る配管には、免震継手を設置します。

なお、新庁舎建設に先立ち、地区ガバナを新庁舎建設範囲外に移設する工事を行います(東京ガス工事)。

#### ○ガス供給箇所

- ・2階 厨房器具、ガス給湯器(食堂)
- ・11階 ガス焚吸収式冷温水機(機械室)、マイクロ CGS(11階屋外)

### 4-9. 雨水利用設備

屋根より集水した雨水を便器洗浄水・植栽散水などに利用し、省資源・ランニングコスト低減に配慮した計画とします。

水処理方式は、ごみ除去用スクリーン+ろ過機+薬液注入とします。

### 4-10. さく井設備

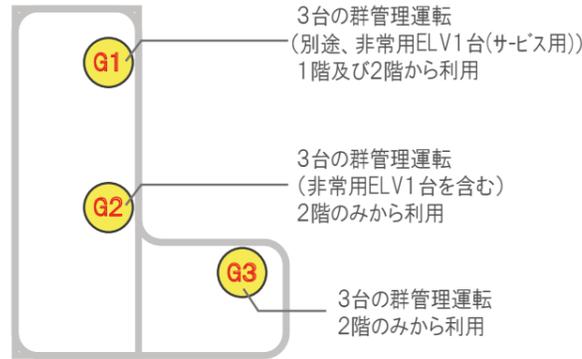
井水を雑用水、緑化散水などに利用し、水源の多重化およびランニングコストの低減を図ります。

- ・さく井本数 : 1 本
- ・ポンプ吐出口径 : 25φ
- ・揚水量 : 60m<sup>3</sup>/日 (ポンプ吐出口径 25A での最大揚水量。ビル用水法、千葉県環境保全条例に準拠)
- ・掘削深度 : 約 120m

(5) 昇降機設備計画

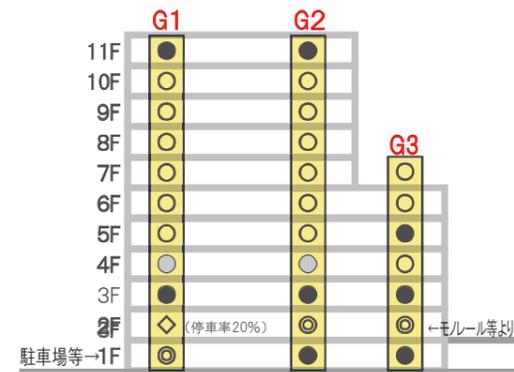
□交通量計算の条件

・全職員の80%(立寄り等の外出を考慮)を対象とし、出勤時を想定する。



※群管理運転制御は運用で解除(切替)可能

図8: エレベータ計画平面イメージ



凡例: ◎=出発階、◇=準出発階、○=停止階、●=不停止階  
◎=停止又は不停止階(運用対応)

図9: エレベータ計画断面イメージ

□交通量計算結果と比較検討

■判断水準

本計画では始業時間が30分ずれている事を考慮し、5分間輸送率10%以上、平均運転間隔40秒以下を望ましい水準として結果を評価する。また、かご乗車率は輸送率が確保できる範囲の「かご乗車率50%」で検討を行い評価する。

□計算結果

G1は17人乗り(150m/min)3台、G2は17人乗り(150m/min)3台、G3は11人乗り(105m/min)2台とすることで、5分間輸送率10%以上、平均運転間隔40秒以下となる。なお、G3については議会開催時の混雑緩和の為、1~4階は3台にて計画する。

表8: 計算結果

	G1	G2	G3
定員	17人	17人	11人
速度	150m/min	150m/min	105m/min
台数	3台グループ	3台グループ	2台グループ
機種	ニニ機械室	ニニ機械室	機械室1
平均運転間隔	39秒	37秒	29秒
個別輸送率	4%	6%	13%
総合輸送率		10%	13%
結果	○	○	○

表9: 昇降機設備仕様一覧

	G1(1-3号機)	G1(4号機)	G2(5-6号機)	G2(7号機)	G3(8-9号機)	G3(10号機)
用途	乗用	非常用乗人荷用	乗用	非常用乗人荷用	乗用	乗用
機械室	有(小型機械室)	有(小型機械室)	有(小型機械室)	有(小型機械室)	無(機械室レス)	無(機械室レス)
制御方式	交流可変周波数制御(A177'イ付)	交流可変周波数制御(A177'イ付)	交流可変周波数制御(A177'イ付)	交流可変周波数制御(A177'イ付)	交流可変周波数制御	交流可変周波数制御
操作方式	3台群乗合全自動方式	方向性乗合全自動方式	3台群乗合全自動方式(内非常用1台)	3台群乗合全自動方式(内非常用1台)	3台群乗合全自動方式	3台群乗合全自動方式
積載荷重	1150Kg	1700Kg	1150Kg	1150Kg	750Kg	750Kg
定員	17人	26人	17人	17人	11人	11人
速度	150m/min	105m/min	150m/min	150m/min	105m/min	105m/min
停止ヶ所	10ヶ所(1~10F)	11ヶ所(1~11F)	10ヶ所(1~10F)	11ヶ所(1~11F)	7ヶ所(1~7F)	4ヶ所(1~4F)
戸形式	2枚戸中央開き	2枚戸中央開き	2枚戸中央開き	2枚戸中央開き	2枚戸中央開き	2枚戸中央開き
出入口寸法	W1000×H2100	W1100×H2100	W1000×H2100	W1000×H2100	W900×H2100	W900×H2100
かご内法	W1800×D1500×H2300	W1800×D2000×H22500	W1800×D1500×H2300	W1800×D1500×H2300	W1400×D1350×H2300	W1400×D1350×H2300
電動機容量	AC Kw					
動力電源(1台1回線)	ACGC-3φ-200V, 50Hz (kVA)	AC-3φ-200V, 50Hz (kVA)	ACGC-3φ-200V, 50Hz (kVA)	ACGC-3φ-200V, 50Hz (kVA)	AC-3φ-200V, 50Hz (kVA)	AC-3φ-200V, 50Hz (kVA)
照明電源(1台1回線)	ACGC-3φ-100V, 50Hz (1kVA)	AC-3φ-100V, 50Hz (1kVA)	ACGC-3φ-100V, 50Hz (1kVA)	ACGC-3φ-100V, 50Hz (1kVA)	AC-3φ-100V, 50Hz (1kVA)	AC-3φ-100V, 50Hz (1kVA)
かご上クーラー電源(1台1回線)	ACGC-3φ-200V, 50Hz (1.5kVA)					
かご内コンセント用電源(1台1回線)	—	—	—	—	—	—
管制	地震 有(PS波) 火災 有 自家発 無					
停電時最寄階着床(バッテリー)	有	有	有	有	有	有
新法対応	有(A14耐震)	有(A14耐震)	有(A14耐震)	有(A14耐震)	有(A14耐震)	有(A14耐震)
新耐震基準対応	有	有	有	有	有	有
ビット下利用	無	無	無	無	無	無
昇降路内機器指定色塗装	無	無	無	無	無	無
車椅子仕様	有	無	有	有	有	有
視覚障害者仕様	有	無	有	有	有	有
高調波対策	有(通産省対応ACL+絶縁トランス)	有(通産省対応ACL+絶縁トランス)	有(通産省対応ACL+絶縁トランス)	有(通産省対応ACL+絶縁トランス)	有(PWM制御+絶縁トランス)	有(PWM制御+絶縁トランス)
専用運転	有	有	有	有	有	有
即時予約機能	有	有	有	有	有	有
消臭通過機能	有	有	有	有	有	有
いたずら行き先階呼びキャンセル	有	有	有	有	有	有
反転時かご呼び自動取消し機能	有	有	有	有	有	有
二度押しキャンセル機能(かご)	有	有	有	有	有	有
グループ分割機能	無	無	無	無	有(10号機の切り離し)	有(10号機の切り離し)
かご上非常放送用スピーカー	有	有	有	有	有	有
乗場ボタンによるドアオープン機能	有	有	有	有	有	有
不停止制御機能	有(監視盤に全階+SW、タイマ併用)	有(監視盤に全階+SW、タイマ併用)	有(監視盤に全階+SW、タイマ併用)	有(監視盤に全階+SW、タイマ併用)	有(監視盤に全階+SW、タイマ併用)	有(監視盤に全階+SW、タイマ併用)
着床チャイム	有(かご上)	有(かご上)	有(かご上)	有(かご上)	有(かご上)	有(かご上)
速達対策型ドア	有(全階)	無(全階)	有(全階)	有(全階)	有(全階)	有(全階)
三方枠	全階 大枠(SUS VIB)	全階 大枠(SUS HL)	全階 大枠(SUS VIB)	全階 大枠(SUS VIB)	全階 大枠(SUS VIB)	全階 大枠(SUS VIB)
幕板	全階 鋼板指定色塗装(磨き無し)	無	全階 鋼板指定色塗装(磨き無し)	全階 鋼板指定色塗装(磨き無し)	全階 鋼板指定色塗装(磨き無し)	全階 鋼板指定色塗装(磨き無し)
扉	全階 鋼板指定色塗装(磨き無し)	SUS HL	全階 鋼板指定色塗装(磨き無し)	全階 鋼板指定色塗装(磨き無し)	全階 鋼板指定色塗装(磨き無し)	全階 鋼板指定色塗装(磨き無し)
しきい	硬質アルミ	硬質アルミ	硬質アルミ	硬質アルミ	硬質アルミ	硬質アルミ
ランニングクリアランス	25mm	25mm	25mm	25mm	10mm	10mm
乗場ボタン	特注型ストローク式(白色点灯)	マイクロストローク式(メーカー標準)	特注ストローク式(白色点灯)	特注ストローク式(白色点灯)	マイクロストローク式(メーカー標準)	マイクロストローク式(メーカー標準)
乗場ボタンフェースプレート	SUS VIB フェースプレート式	SUS-HL7E-スリット付	SUS VIB フェースプレート式	SUS VIB フェースプレート式	SUS-VIB7E-スリット付	SUS-VIB7E-スリット付
乗場位置表示灯	—	デジタルドット式(乗場ボタン一体型)	—	—	—	—
ホールランタン	白色LED点灯(特注形状幕板組込型)	無	白色LED点灯(特注形状幕板組込型)	白色LED点灯(特注形状幕板組込型)	白色LED点灯(特注形状幕板組込型)	白色LED点灯(特注形状幕板組込型)
非常呼戻しボタン	無	1階のみ設置	無	1階のみ設置	無	無
メンテナンスボックス	無	無	無	無	有(乗場ボタン一体型)	有(乗場ボタン一体型)
かご内壁	鋼板指定色塗装(磨き無し)	鋼板指定色塗装(磨き無し)	鋼板指定色塗装(磨き無し)	鋼板指定色塗装(磨き無し)	鋼板指定色塗装(磨き無し)	鋼板指定色塗装(磨き無し)
かご内扉	鋼板指定色塗装(磨き無し)	鋼板指定色塗装(磨き無し)	鋼板指定色塗装(磨き無し)	鋼板指定色塗装(磨き無し)	鋼板指定色塗装(磨き無し)	鋼板指定色塗装(磨き無し)
フェーシア(幕板)	鋼板指定色塗装(磨き無し)	鋼板指定色塗装(磨き無し)	鋼板指定色塗装(磨き無し)	鋼板指定色塗装(磨き無し)	鋼板指定色塗装(磨き無し)	鋼板指定色塗装(磨き無し)
袖壁	—	—	—	—	—	—
出入口柱	SUS VIB	SUS HL	SUS VIB	SUS VIB	SUS VIB	SUS VIB
天井照明	ガラススクロ (LED照明)	アクリルグローブ (LED照明)	ガラススクロ (LED照明)	ガラススクロ (LED照明)	ガラススクロ (LED照明)	ガラススクロ (LED照明)
天井	—	鋼板指定色塗装(5分ツヤ)	—	—	—	—
かご内ボタン	特注ストローク式(白色点灯)	マイクロストローク式(メーカー標準)	特注ストローク式(白色点灯)	特注ストローク式(白色点灯)	特注ストローク式(白色点灯)	特注ストローク式(白色点灯)
かご操作盤	主&副 袖壁一体型(SUS VIB)	プレート式(ステンレス調アルミ)	主&副 袖壁一体型(SUS VIB)	主&副 袖壁一体型(SUS VIB)	袖壁一体型(SUS VIB)	袖壁一体型(SUS VIB)
かご位置表示灯	デジタルドット式(かご操作盤一体型)	デジタルドット式(かご操作盤一体型)	デジタルドット式(かご操作盤一体型)	デジタルドット式(かご操作盤一体型)	デジタルドット式(かご操作盤一体型)	デジタルドット式(かご操作盤一体型)
カードリーダー対応	無	無	無	無	無	無
防犯カメラ	有(かご副操作盤組込)	有(かご背面/パネルにドーム型取付)	有(かご副操作盤組込)	有(かご副操作盤組込)	有(かご操作盤と反対の袖に組込)	有(かご操作盤と反対の袖に組込)
多光軸ドアセンサー	有	有	有	有	有	有
車椅子操作盤	SUS VIB	ステンレス調アルミ	SUS VIB	SUS VIB	SUS VIB	SUS VIB
手摺	特注型 SUS VIB	SUS HL (メーカー標準)	特注型 SUS VIB	特注型 SUS VIB	特注型 SUS VIB	特注型 SUS VIB
巾木	SUS HL					
鏡	背面中央/パネルフルハイトミラー	—	背面中央/パネルフルハイトミラー	背面中央/パネルフルハイトミラー	背面中央/パネルフルハイトミラー	背面中央/パネルフルハイトミラー
音声合成案内	有	有	有	有	有	有
コンセント	無	無	無	無	無	無
床	t6 ラバータイル(指定品)					
かご上クーラー	無	無	無	無	無	無
保護幕	無	有	無	無	無	無
床マット	無	有	無	無	無	無
監視盤	—	—	有(自立型LED式)	—	—	—

上水 : 既存引込を老朽化のため、更新します。  
 汚水・雑排水 : 既存公設柵を利用します。既存庁舎廻りの屋外排水管および柵は建物（擁壁）から支持を取り、地盤改良範囲を必要最小限に納める計画とします。

ガス : 既存地区ガバナは新庁舎建設範囲外へ移設し、引込位置も北側に移動します。新庁舎建設前に屋外ガス配管は盛替え工事をを行います。

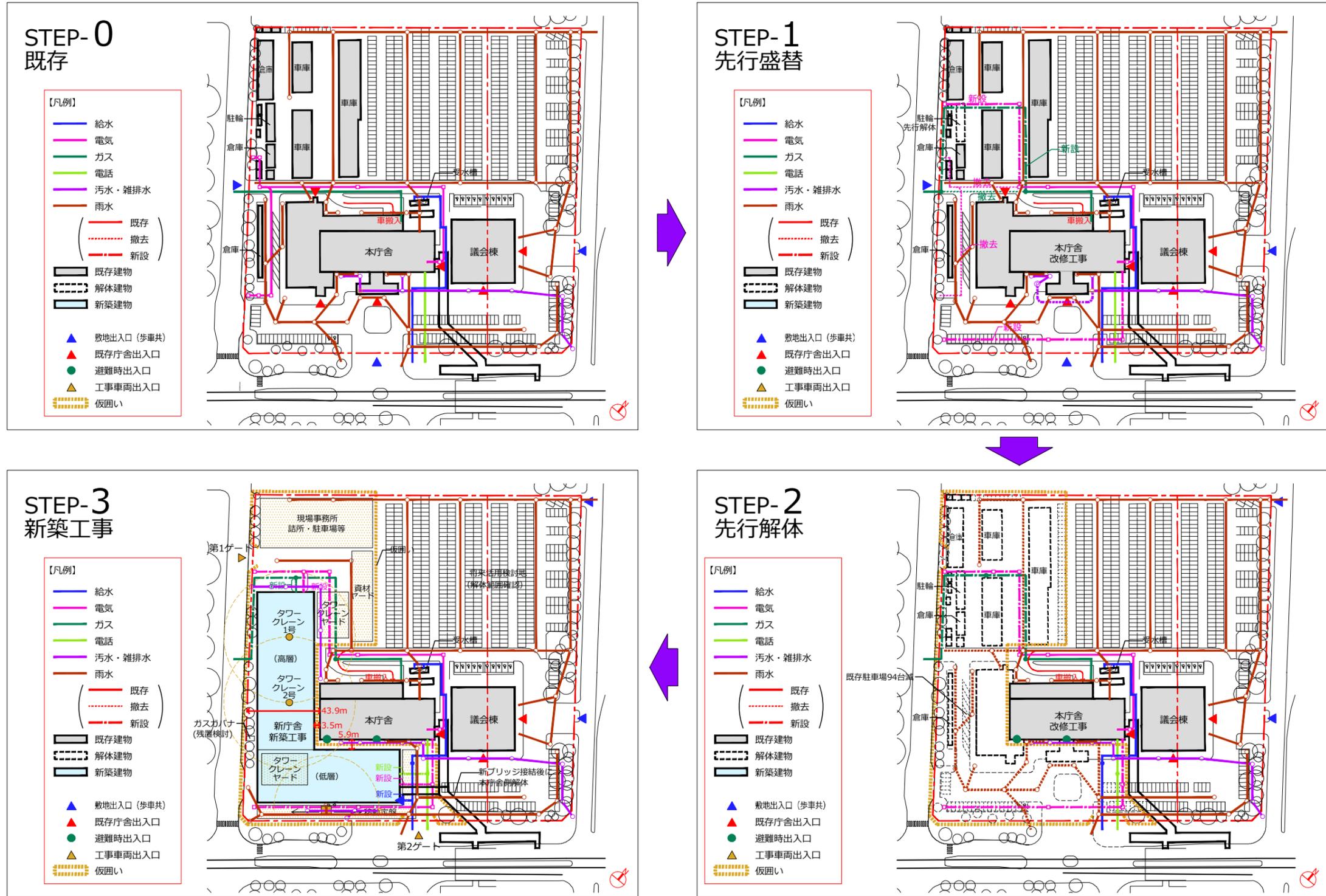


図 10 : 仮設、盛り替え計画図



# (8) 諸元表

【備考】

空調の時間内利用は「平日 8:00～18:00」、時間外利用は「平日 18:00～20:00 及び 休日」を基本とする。なお、個別空調エリアについては、上記時間外においても稼働は可能である(●にて表記)。  
 AHU:空調機 PAC:パッケージ形空調機 FCU:ファンコイルユニット WTU:ウォールスルーユニット OHU:外調機 AHEX:全熱交換器 HPFCU:コンプレッサ付ファンコイルユニット PACIF:冷暖フリーパッケージ形空調機  
 室内熱負荷計算における室内温湿度条件は 冷房:26℃50% 暖房:22℃40% とする。定時:勤務時間、随時:適宜、使用する時のみを示す。

階数	室名	空調の有無	セントラル空調	個別空調	時間外利用	災害時		空気調和換気設備														給排水衛生設備					備考		
						空調	換気	室内温湿度条件				空調時間	負荷		方式・型式				種別	換気量		制気口	給水		給湯	排水		ガス	
								冷房	暖房	冷房	暖房		照明発熱 (W/m <sup>2</sup> )	機器発熱 (W/m <sup>2</sup> )	外気処理	室内負荷	吹出位置	制気口		単位換気量 (m <sup>3</sup> /h・人)	換気回数 (回/h)		上水	雑用水					
								温度(℃)	湿度(目標%)	温度(℃)	湿度(目標%)																		
3階	M会議室1	○	○					28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	BL_CL	第1種換気	30	-	角形HHS							
	M会議室2	○	○					28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	BL_CL	第1種換気	30	-	角形HHS							
	ELLVホール3							-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ELLVホール2							-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	廊下3	○	○					28	50	20	40	定時	4	5	OHU	FCU	天井吹出	BL_CL	第1種換気	30	-	空調と兼用							
	廊下							-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	局長室1~2	○		○	●			28	50	20	40	定時	14	5	WTU	WTU	壁吹出	直吹出	第1種換気	30	-	空調と兼用						WTUより外気取り入れ	
	事務室(建設局)	○	○		○				28	50	20	40	定時	14	25	OHU	AHU	床吹出	床吹出口	第1種換気	30	-	空調と兼用						
	書庫	○		○					28	50	20	40	随時	4	5	-	PAC	天井吹出	天井吹出	第1種換気	-	2	VHS:HS						
	更衣室	○	○						28	50	20	40	随時	4	-	OHU	FCU	天井吹出	天井吹出	第1種換気	-	5	角形HHS						
	カウンターエリア	○	○						28	50	20	40	定時	6	5	OHU	AHU	床吹出	床吹出口	第1種換気	30	-	空調と兼用						
	収納エリア	○	○						28	50	20	40	随時	4	5	OHU	AHU	床吹出	床吹出口	第1種換気	30	-	空調と兼用						
	S会議室1	○	○						28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	BL_CL	第1種換気	30	-	空調と兼用						
	S会議室2	○	○						28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	BL_CL	第1種換気	30	-	空調と兼用						
	相談室1~8	○	○						28	50	20	40	随時	10	5	OHU	AHU	床吹出	床吹出口	第1種換気	30	-	空調と兼用						
	XL会議室1~2	○		○	●	○	○		28	50	20	40	随時	10	5	OHU	PAC	天井吹出	BL_CL	第1種換気	30	-	角形HHS						
	L会議室1~5	○	○						28	50	20	40	随時	10	5	OHU	FCU	天井吹出	BL_CL	第1種換気	30	-	角形HHS						
	災害対策本部会議室	○		○	●	○	○		28	50	20	40	随時	14	5	OHU	PAC	床吹出	床吹出口	第1種換気	30	-	角形HHS						
	オペレーションルーム	○		○	●	○	○		28	50	20	40	随時	14	25	OHU	PAC	床吹出	床吹出口	第1種換気	30	-	角形HHS						
	防災対策課事務室	○		○	●	○	○		28	50	20	40	定時	14	25	OHU	PAC	床吹出	床吹出口	第1種換気	30	-	角形HHS						
関係機関調整室	○		○	●	○	○		28	50	20	40	随時	14	5	OHU	PAC	床吹出	床吹出口	第1種換気	30	-	角形HHS							
仮眠室	○	○						28	50	20	40	随時	6	-	AH:EX	PAC	天井吹出	角形HHS	第1種換気	30	-	角形HHS	○		○	○			
男子休憩室	○	○						28	50	20	40	随時	2	5	OHU	FCU	天井吹出	角形HHS	第1種換気	30	-	角形HHS							
室外機置場								-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
倉庫/物資備蓄								-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	VHS:HS							
廊下1,2								-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ELLVホール1								-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ELLV附室1,2								-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4階	M会議室1	○	○					28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	BL_CL	第1種換気	30	-	角形HHS							
	S会議室2	○	○					28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	BL_CL	第1種換気	30	-	角形HHS							
	ELLVホール3							-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ELLVホール2							-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	廊下3	○	○					28	50	20	40	定時	4	5	OHU	FCU	天井吹出	BL_CL	第1種換気	30	-	空調と兼用							
	廊下							-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	事務室(都市局)	○	○		○				28	50	20	40	定時	14	25	OHU	AHU	床吹出	床吹出口	第1種換気	30	-	空調と兼用						
	局長室1~2	○		○	●				28	50	20	40	定時	14	5	WTU	WTU	壁吹出	直吹出	第1種換気	30	-	空調と兼用						WTUより外気取り入れ
	調停室	○	○						28	50	20	40	随時	10	5	OHU	FCU	天井吹出	角形HHS	第1種換気	30	-	VHS:HS						
	書庫	○		○					28	50	20	40	随時	4	5	-	PAC	天井吹出	天井吹出	第1種換気	-	2	VHS:HS						
	更衣室	○	○						28	50	20	40	随時	4	-	OHU	FCU	天井吹出	天井吹出	第1種換気	-	5	VHS:HS						
	カウンターエリア	○	○						28	50	20	40	定時	6	5	OHU	AHU	床吹出	床吹出口	第1種換気	30	-	空調と兼用						
	収納エリア	○	○						28	50	20	40	随時	4	5	OHU	AHU	床吹出	床吹出口	第1種換気	30	-	空調と兼用						
	S会議室1	○	○						28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	BL_CL	第1種換気	30	-	空調と兼用						
	相談室1~8	○	○						28	50	20	40	随時	10	5	OHU	AHU	床吹出	床吹出口	第1種換気	30	-	空調と兼用						
	国際交流課執務室	○	○			○			28	50	20	40	定時	14	25	OHU	FCU	天井吹出	角形HHS	第1種換気	30	-	空調と兼用						
	記者室	○	○						28	50	20	40	随時	10	5	OHU	PACIF)	天井吹出	BL_CL	第1種換気	30	-	空調と兼用						
	記者会見室(1)	○	○						28	50	20	40	随時	10	5	OHU	PACIF)	天井吹出	BL_CL	第1種換気	30	-	空調と兼用						
	記者会見室(2)	○	○						28	50	20	40	随時	10	5	OHU	PACIF)	天井吹出	BL_CL	第1種換気	30	-	空調と兼用						
	前室1~3	○		○	●				28	50	20	40	随時	2	-	OHU	PACIF)	天井吹出	角形HHS	第1種換気	30	-	空調と兼用						
市長公室	○		○	●				28	50	20	40	定時	14	25	OHU	PACIF)	天井吹出	BL_CL	第1種換気	30	-	空調と兼用							
待合スペース	○		○	●				28	50	20	40	定時	4	5	OHU	PACIF)	天井吹出	角形HHS	第1種換気	30	-	空調と兼用							
待合室1,2	○		○	●				28	50	20	40	随時	4	5	OHU	PACIF)	天井吹出	BL_CL	第1種換気	30	-	角形HHS							
市長室	○		○	●				28	50	20	40	定時	10	5	OHU	PACIF)	天井吹出	BL_CL	第1種換気	30	-	空調と兼用	○			○			
副市長室1,2	○		○	●				28	50	20	40	定時	10	5	OHU	PACIF)	天井吹出	BL_CL	第1種換気	30	-	空調と兼用							
更衣室(市長・副市長室)	○		○	●				28	50	20	40	随時	4	-	OHU	PACIF)	天井吹出	角形HHS	第1種換気	-	5	空調と兼用							
市長応接室	○		○	●				28	50	20	40	随時	10	5	OHU	PACIF)	天井吹出	BL_CL	第1種換気	30	-	空調と兼用							
応接室	○		○	●				28	50	20	40	随時	10	5	OHU	PACIF)	天井吹出	BL_CL	第1種換気	30	-	空調と兼用							
幹部会議室	○		○	●				28	50	20	40	随時	10	5	OHU	PACIF)	天井吹出	BL_CL	第1種換気	30	-	空調と兼用							
秘書課報道室	○	○						28	50	20	40	定時	10	5	OHU	PACIF)	天井吹出	角形HHS	第1種換気	30	-	空調と兼用							
倉庫								-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	VHS:HS							
廊下1,2								-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ELLVホール1								-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ELLV附室1,2								-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(8) 諸元表

【備考】

空調の時間内利用は「平日 8:00~18:00」、時間外利用は「平日 18:00~20:00 及び 休日」を基本とする。なお、個別空調エリアについては、上記時間外においても稼働は可能である(●にて表記)。

AHU:空調機 PAC:パッケージ形空調機 FCU:ファンコイルユニット WTU:ウォールスルーユニット OHU:外調機 AH-EX:全熱交換器 HPFCU:コンプレッサ付ファンコイルユニット PAC(F):冷暖フリーパッケージ形空調機  
 室内熱負荷計算における室内温湿度条件は 冷房:26℃50% 暖房:22℃40% とする。定時:勤務時間、随時:適宜、使用する時のみを示す。

階数	室名	空調の有無	セントラル空調	個別空調	時間外利用	災害時		空気調和換気設備														給排水衛生設備					備考			
						空調	換気	室内温湿度条件				空調時間	負荷		方式・型式					種別	換気量		制気口	給水		給湯		排水	ガス	
								冷房		暖房			照明発熱 (W/m <sup>2</sup> )	機器発熱 (W/m <sup>2</sup> )	外気処理	室内負荷	吹出位置	制気口	単位換気量 (m <sup>3</sup> /h・人)		換気回数 (回/h)	上水		雑用水						
								温度 (℃)	湿度 (目標%)	温度 (℃)	湿度 (目標%)																			
5階	本会議場	○	○		○			28	50	20	40	随時	10	※	OHU	AHU	床吹出	床吹出口	第1種換気	30	-	空調と兼用							※空調能力:250W/m <sup>2</sup> (一般的な想定負荷)	
	説明員控室1,2	○	○		○			28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	角77HHS	第1種換気	30	-	空調と兼用								
	文書保管庫	○	○		○			28	50	20	40	随時	4	5	OHU	HPFCU	天井吹出	VHSHS	第1種換気	-	5	空調と兼用								
	打合せ室	○	○		○			28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	角77HHS	第1種換気	30	-	空調と兼用								
	理事会室	○	○		○			28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	BL-CL	第1種換気	30	-	空調と兼用								
	コピー室	○	○		○			28	50	20	40	随時	6	5	OHU	HPFCU	天井吹出	角77HHS	第1種換気	30	-	空調と兼用								
	全員協議室	○	○		○			28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	BL-CL	第1種換気	30	-	空調と兼用								
	議員控室	○	○		○			28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	角77HHS	第1種換気	30	-	空調と兼用								
	F.L.Vホール3	○	○		○			28	50	20	40	定時	6	-	-	HPFCU	天井吹出	BL-CL	-	-	-									
	議場ロビー1,2	○	○		○			28	50	20	40	定時	4	5	OHU	HPFCU	天井吹出	BL-CL	第1種換気	30	-	空調と兼用								
	議会エリア廊下	○	○		○			28	50	20	40	定時	2	-	-	HPFCU	天井吹出	BL-CL	-	-	-									
	F.L.Vホール2							-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
	執務室	○	○		○			28	50	20	40	定時	14	25	OHU	AHU	床吹出	床吹出口	第1種換気	30	-	空調と兼用								
	カウンターエリア	○	○		○			28	50	20	40	定時	6	5	OHU	AHU	床吹出	床吹出口	第1種換気	30	-	空調と兼用								
	収納エリア	○	○		○			28	50	20	40	随時	4	5	OHU	AHU	床吹出	床吹出口	第1種換気	30	-	空調と兼用								
	書庫	○	○		○			28	50	20	40	随時	4	5	OHU	AHU	床吹出	床吹出口	第1種換気	30	-	空調と兼用								将来の用途変更考慮
	更衣室	○	○		○			28	50	20	40	随時	4	-	OHU	FCU	天井吹出	天井外	第1種換気	-	5	角77HHS								
	M会議室1	○	○		○			28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	BL-CL	第1種換気	30	-	空調と兼用								
	S会議室3	○	○		○			28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	BL-CL	第1種換気	30	-	空調と兼用								
	相談室2	○	○		○			28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	BL-CL	第1種換気	30	-	空調と兼用								
	給与会議	○	○		○			28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	BL-CL	第1種換気	30	-	空調と兼用								
	人材会議	○	○		○			28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	BL-CL	第1種換気	30	-	空調と兼用								
	人事会議	○	○		○			28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	BL-CL	第1種換気	30	-	空調と兼用								
	S会議室1,2	○	○		○			28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	BL-CL	第1種換気	30	-	空調と兼用								
	S会議室4	○	○		○	●		28	50	20	40	随時	10	5	WTU	WTU	壁吹出	直吹出	第1種換気	30	-	空調と兼用							WTUより外気取り入れ	
	局長室1,2	○	○		○	●		28	50	20	40	定時	14	5	WTU	WTU	壁吹出	直吹出	第1種換気	30	-	空調と兼用							WTUより外気取り入れ	
相談室1	○	○		○			28	50	20	40	随時	10	5	OHU	FCU	天井吹出	BL-CL	第1種換気	30	-	角77HHS									
包括外部監査人室	○	○		○			28	50	20	40	随時	14	5	OHU	FCU	天井吹出	角77HHS	第1種換気	30	-	空調と兼用									
チャレンジオフィス5ばし	○	○		○			28	50	20	40	随時	14	5	OHU	FCU	天井吹出	角77HHS	第1種換気	30	-	空調と兼用									
情報経営部分室	○	○		○	●	○	24	45	24	45	常時(24時間)	4	800	-	PAC	直吹出	直吹出	第1種換気	-	5	VHSHS							※サーバー700W/台×210台相当		
通信機器操作室	○	○		○	●	○	28	50	20	40	常時(24時間)	10	5	OHU	PAC	天井吹出	角77HHS	第1種換気	30	-	空調と兼用									
防災無線室	○	○		○	●	○	28	50	20	40	常時(24時間)	10	5	OHU	PAC	天井吹出	角77HHS	第1種換気	30	-	空調と兼用									
給湯/リフレ	○	○		○			28	50	20	40	随時	2	5	OHU	FCU	天井吹出	角77HHS	第1種換気	30	-	空調と兼用	○		○	○					
倉庫							-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	VHSHS										
廊下1,2							-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-										
F.L.Vホール1							-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-										
F.L.V附室1,2							-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-										
6階	傍聴席・記者席	○	○		○			28	50	20	40	随時	10	5	OHU	AHU	床吹出	床吹出口	第1種換気	30	-	空調と兼用								
	親子ルーム、車椅子	○	○		○			28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	角77HHS	第1種換気	30	-	角77HHS								
	放送ブース	○	○		○			28	50	20	40	随時	10	300	OHU	HPFCU	天井吹出	角77HHS	第1種換気	30	-	空調と兼用								
	議会事務局執務室、傍聴受付	○	○		○			28	50	20	40	定時	14	25	OHU	HPFCU	天井吹出	角77HHS	第1種換気	30	-	空調と兼用								
	前室							-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
	議長室	○	○		○			28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	BL-CL	第1種換気	30	-	空調と兼用								
	議長応接室	○	○		○			28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	BL-CL	第1種換気	30	-	空調と兼用								
	副議長室	○	○		○			28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	BL-CL	第1種換気	30	-	空調と兼用								
	委員会室1~5	○	○		○			28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	角77HHS	第1種換気	30	-	空調と兼用								
	コピー室	○	○		○			28	50	20	40	随時	6	5	OHU	HPFCU	天井吹出	角77HHS	第1種換気	30	-	VHSHS								
	議員応接室	○	○		○			28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	BL-CL	第1種換気	30	-	空調と兼用								
	議情受付	○	○		○			28	50	20	40	定時	14	5	OHU	HPFCU	天井吹出	角77HHS	第1種換気	30	-	空調と兼用								
	局長室4	○	○		○			28	50	20	40	定時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	角77HHS	第1種換気	30	-	空調と兼用								
	F.L.Vホール3	○	○		○			28	50	20	40	定時	6	-	-	HPFCU	天井吹出	BL-CL	-	-	-									
	傍聴ロビー1,2	○	○		○			28	50	20	40	定時	4	5	OHU	HPFCU	天井吹出	角77HHS	第1種換気	30	-	空調と兼用								
	議会エリア廊下	○	○		○			28	50	20	40	定時	4	-	-	HPFCU	天井吹出	BL-CL	-	-	-									
	F.L.Vホール2							-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
	入札室(1)	○	○		○			28	50	20	40	随時	7	5	OHU	AHU	床吹出	床吹出口	第1種換気	30	-	空調と兼用								



(8) 諸元表

【備考】  
 空調の時間内利用は「平日 8:00～18:00」、時間外利用は「平日 18:00～20:00 及び 休日」を基本とする。なお、個別空調エリアについては、上記時間外においても稼働は可能である(●にて表記)。  
 AHU:空調機 PAC:パッケージ形空調機 FCU:ファンコイルユニット WTU:ウォールスルーユニット OHU:外調機 AHX:全熱交換器 HPFCU:コンプレッサ付ファンコイルユニット PAC(F):冷暖フリーパッケージ形空調機  
 室内熱負荷計算における室内温湿度条件は 冷房:26℃50% 暖房:22℃40% とする。定時:勤務時間、随時:適宜、使用する時のみを示す。

階数	室名	空調の有無	セントラル空調	個別空調	時間外利用	空気調和換気設備																給排水衛生設備					備考			
						室内温湿度条件				空調時間	負荷		方式・型式						種別	換気量			給水		給湯	排水		ガス		
						冷房		暖房			照明発熱 (W/m <sup>2</sup> )	機器発熱 (W/m <sup>2</sup> )	外気処理	室内負荷	吹出位置	制気口	単位換気量 (m <sup>3</sup> /h・人)	換気回数 (回/h)		制気口	上水	雑用水								
						温度 (℃)	湿度 (目標%)	温度 (℃)	湿度 (目標%)																					
10階	執務室(教育委員会)	○	○		○		28	50	20	40	定時	14	25	OHU	AHU	床吹出	床吹出口	第1種換気	30	-	空調と兼用									
	局長室1,2	○		○	●		28	50	20	40	定時	14	5	WTU	WTU	壁吹出	直吹出	第1種換気	30	-	空調と兼用							WTUより外気取り入れ		
	人事委員会執務室	○	○		○		28	50	20	40	定時	14	25	OHU	AHU	床吹出	床吹出口	第1種換気	30	-	空調と兼用									
	選挙管理委員会執務室	○	○		○		28	50	20	40	定時	14	25	OHU	AHU	床吹出	床吹出口	第1種換気	30	-	空調と兼用									
	監査委員会	○	○				28	50	20	40	随時	14	5	OHU	AHU	床吹出	床吹出口	第1種換気	30	-	空調と兼用									
	監査委員会執務室	○	○		○		28	50	20	40	定時	14	25	OHU	AHU	床吹出	床吹出口	第1種換気	30	-	空調と兼用									
	互助会室	○	○				28	50	20	40	定時	14	5	OHU	AHU	床吹出	床吹出口	第1種換気	30	-	空調と兼用									
	講評室	○	○				28	50	20	40	随時	14	5	OHU	HPFCU	天井吹出	BL・CL	第1種換気	30	-	空調と兼用									
	待合	○	○				28	50	20	40	定時	7	5	OHU	AHU	床吹出	床吹出口	第1種換気	30	-	空調と兼用									
	S会議室3	○	○				28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	BL・CL	第1種換気	30	-	空調と兼用									
	相談室1～3	○	○				28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	BL・CL	第1種換気	30	-	空調と兼用									
	教育委員会控室	○	○				28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	BL・CL	第1種換気	30	-	空調と兼用									
	選挙管理応接室	○	○				28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	角7社HS	第1種換気	30	-	空調と兼用									
	選挙管理会議室	○	○				28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	角7社HS	第1種換気	30	-	空調と兼用									
	カウンターエリア	○	○				28	50	20	40	定時	6	5	OHU	AHU	床吹出	床吹出口	第1種換気	30	-	空調と兼用									
	収納エリア	○	○				28	50	20	40	随時	4	5	OHU	AHU	床吹出	床吹出口	第1種換気	30	-	空調と兼用									
	書庫	○	○				28	50	20	40	随時	4	5	OHU	AHU	床吹出	床吹出口	第1種換気	30	-	空調と兼用								将来の用途変更考慮	
	更衣室	○	○				28	50	20	40	随時	4	-	OHU	FCU	天井吹出	天井外	第1種換気	-	5	角7社HS									
	M会議室	○	○				28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	角7社HS	第1種換気	30	-	空調と兼用									
	S会議室1,2	○	○				28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	BL・CL	第1種換気	30	-	角7社HS									
入札室(2)	○	○				28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	BL・CL	第1種換気	30	-	空調と兼用										
教育委員会会議室	○	○				28	50	20	40	随時	10	5	OHU	HPFCU	天井吹出	角7社HS	第1種換気	30	-	空調と兼用										
給湯/リフレ	○	○				28	50	20	40	随時	2	5	OHU	FCU	天井吹出	角7社HS	第1種換気	30	-	空調と兼用	○		○	○						
倉庫						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	第1種換気	-	5	VHSHS										
廊下1,2						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-										
ELVホール1,2						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-										
ELV附室1,2						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-										
11階	廊下1						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-										
	熱源機械室						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	第1種換気	-	5	VHSHS								○	
	電気室	○		○	●	○	35	-	-	-	常時(24時間)	4	※	-	PAC	床置き	直吹出	第1種換気	-	5	VHSHS								※空調能力:400W/m <sup>2</sup> (一般的な想定負荷)	
	集塵書架	○	○				28	50	20	40	随時	4	-	OHU	AHU	天井吹出	角7社HS	第1種換気	-	5	VHSHS									
	倉庫						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	第1種換気	-	5	VHSHS									
	消火ポンプ室						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	第1種換気	-	5	VHSHS	○				○				
	ELVホール1,2						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
ELV附室1,2						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-										
共通	給湯室	○	○				28	50	20	40	随時	4	5	-	FCU	天井吹出	天井外	第3種換気	-	5	角7社HS	○		○	○	○				
	MWC						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	第3種換気	-	10	HS	○	○	○	○	○				
	WWC						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	第3種換気	-	10	HS	○	○	○	○	○				
	HMC						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	第3種換気	-	10	HS	○	○	○	○	○				
	MR・ACR						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	第1種換気	-	5	VHSHS	○				○				
	PS/EPS/DS						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
	階段1						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
	階段2						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
	階段3						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
	階段4						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
	階段5						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
階段6						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-										
階段7						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-										
大階段						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-										
外部階段						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-										

## 6 . 仮設計画概要

# (1) 工事ステップ計画概要

## □ 既存庁舎機能を確保した利便性、安全性に配慮した仮設計画

- ・ステップ1では、設備インフラの先行盛替工事や付属施設の仮設置を行い、工事期間中に庁舎機能を維持する為の工事を行います。
- ・ステップ2では、新庁舎建設工事範囲内の既存建物の先行解体を行います。現庁舎1階西側の先行解体に伴い、仮移転先となる中央コミュニティセンター7階をステップ2までに改修工事します。
- ・ステップ3では、新庁舎の建設工事を行います。
- ・ステップ4では、新庁舎への庁舎機能移転後、既存本庁舎及び既存議事堂棟の解体工事を行います。また既存連絡デッキを解体後、新連絡デッキの接続工事を行います。
- ・ステップ5では、駐車場等外構工事を行います。来庁舎用駐車場エリアを先行して整備した後、公用車用駐車場エリアを整備します。
- ・ステップ6では、外構を含めた新庁舎の全体完成後、将来活用検討地内の仮設施設の解体等の整備を行います。
- ・仮設駐車場は各ステップ時に、公用車用150台、来庁舎用190台以上を確保します。

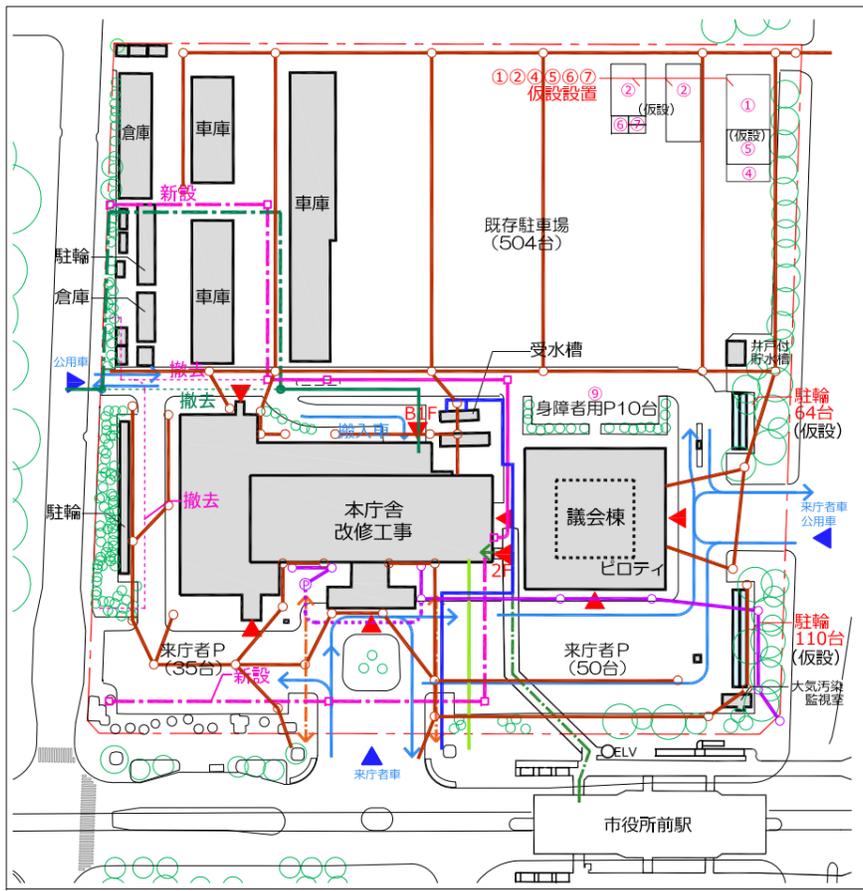
【凡例】

既存建物	敷地主出入口 (歩車共)	来庁舎車・公用車動線
解体工事建物	建物の主出入口	歩行者動線
新築工事建物	工事車両出入口	モノレールからの動線
来庁舎用駐車場	仮囲い	(インフラ先行盛替)
公用車用駐車場		給水
		ガス
		電気
		電話
		汚水・雑排水
		雨水

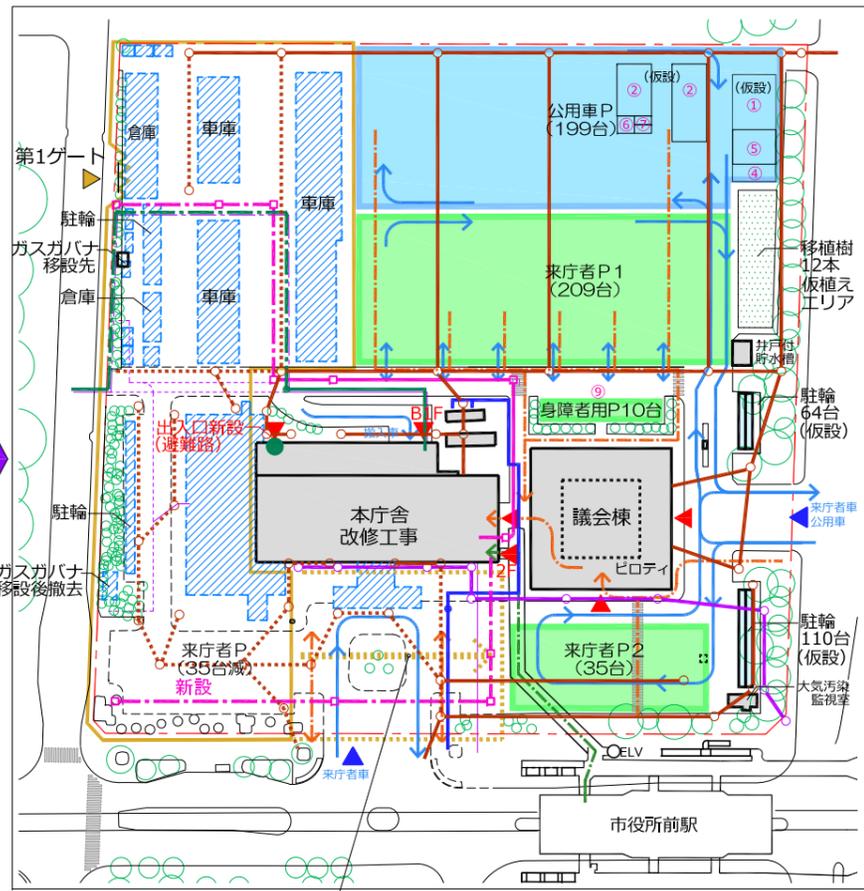
- ① 駐車密閉型車庫 10台
- ② 屋根付駐車場 30台
- ③ 運転手控室 → 新庁舎完成までは既存利用
- ④ 車両整備所 (屋根付)
- ⑤ 車両部品庫
- ⑥ 公用車洗車設備 (給・排水・電源設備必要)
- ⑦ 公用車用 電気自動車駐車スペース 5台計画 ⇒ 工事中は既存2台分を仮設整備
- ⑧ 来庁舎用 電気自動車駐車スペース 5台計画 ⇒ 工事中は整備なし
- ⑨ 身障者駐車場(屋根付)

(線種) 既存 撤去 新設

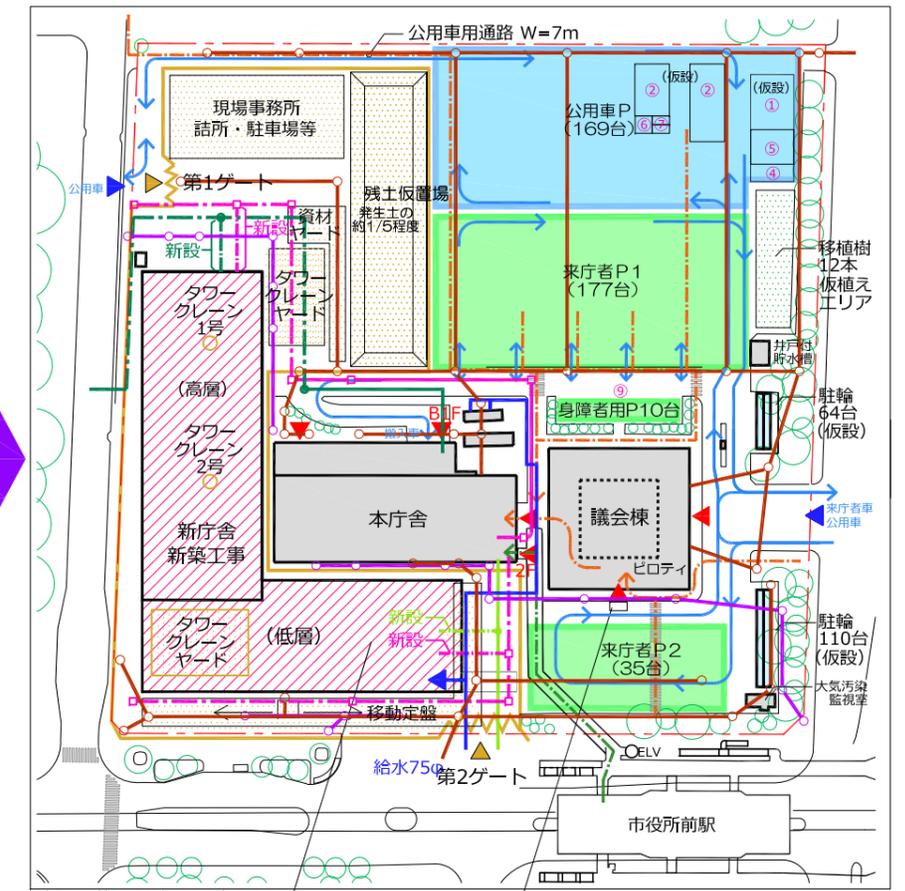
### STEP-1 先行盛替



### STEP-2 先行解体



### STEP-3 新築工事

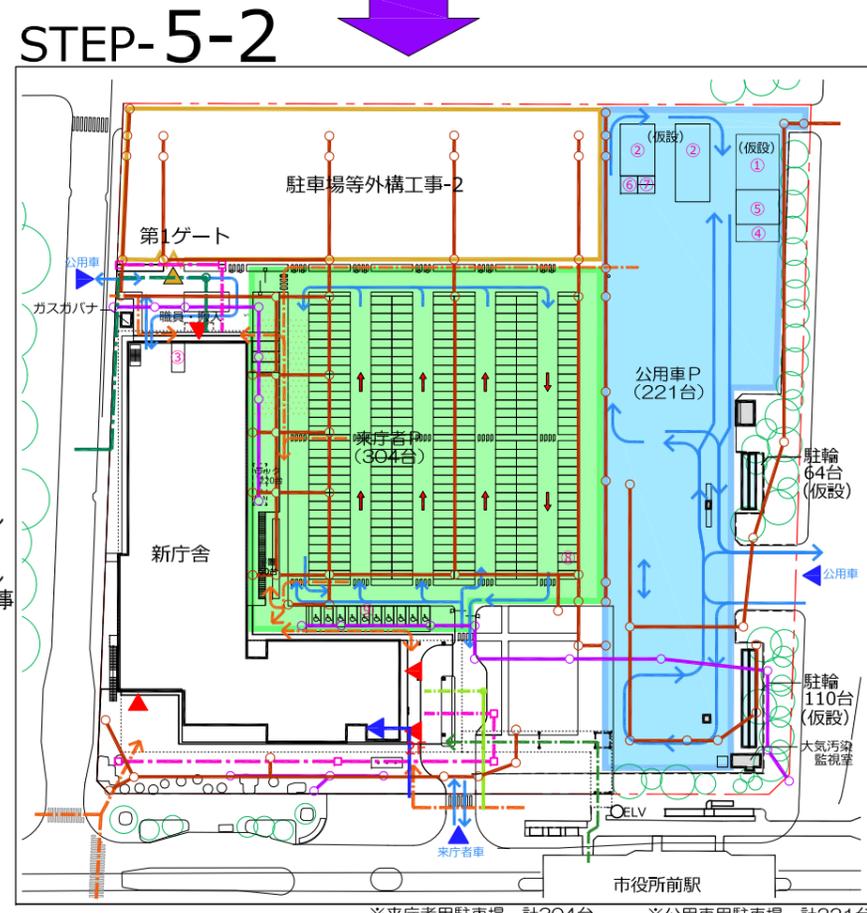
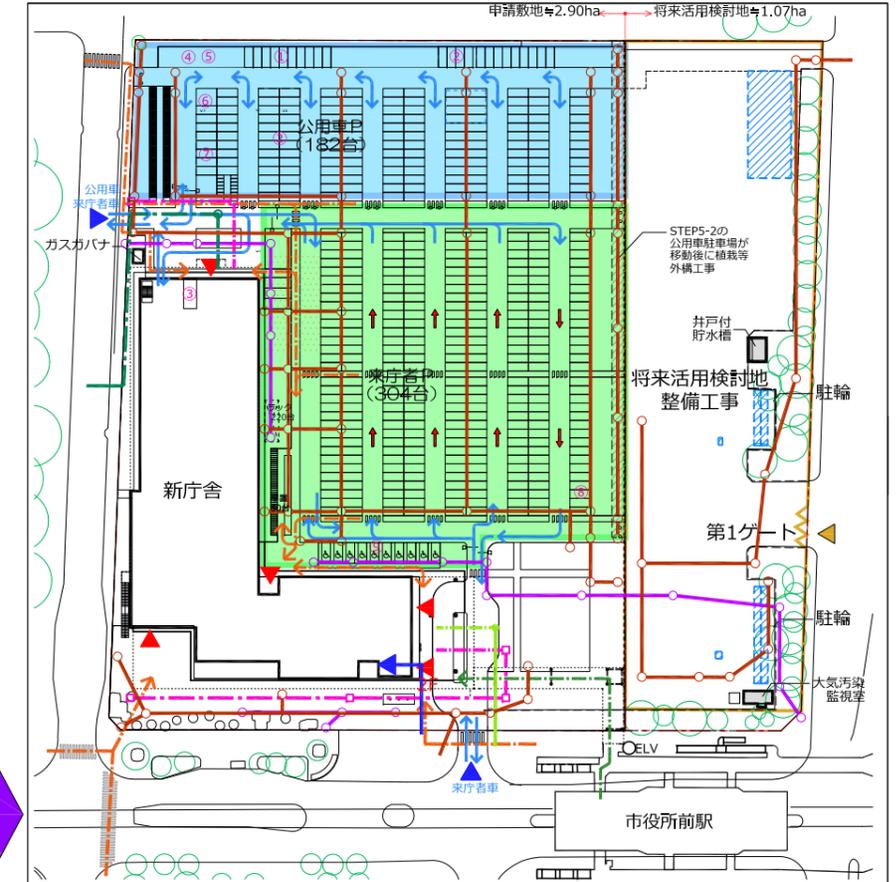
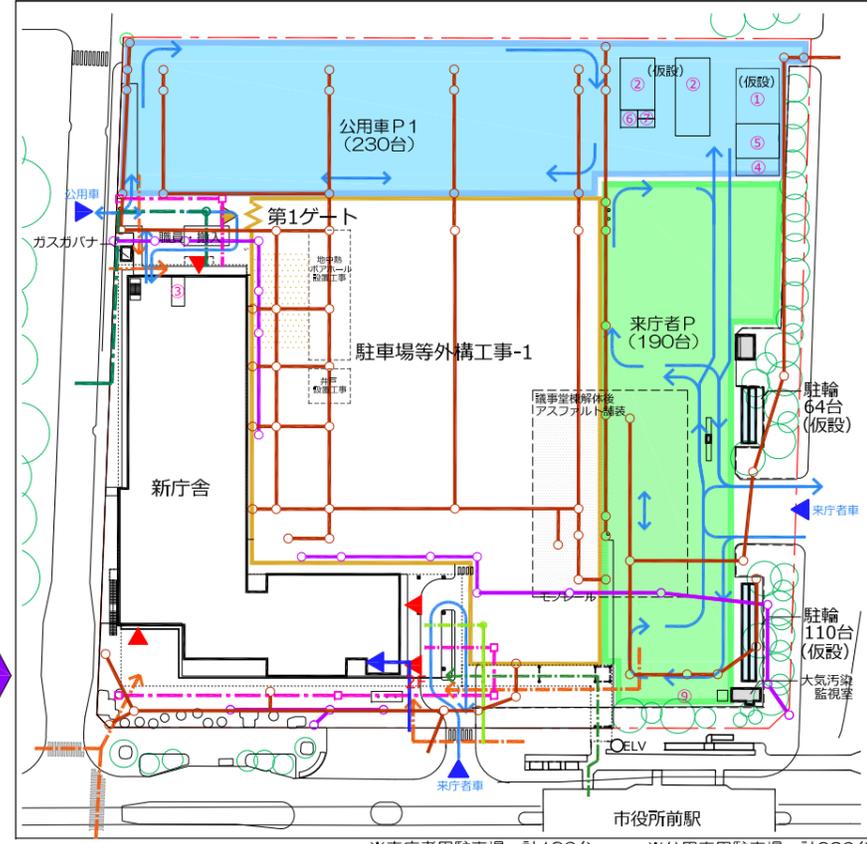
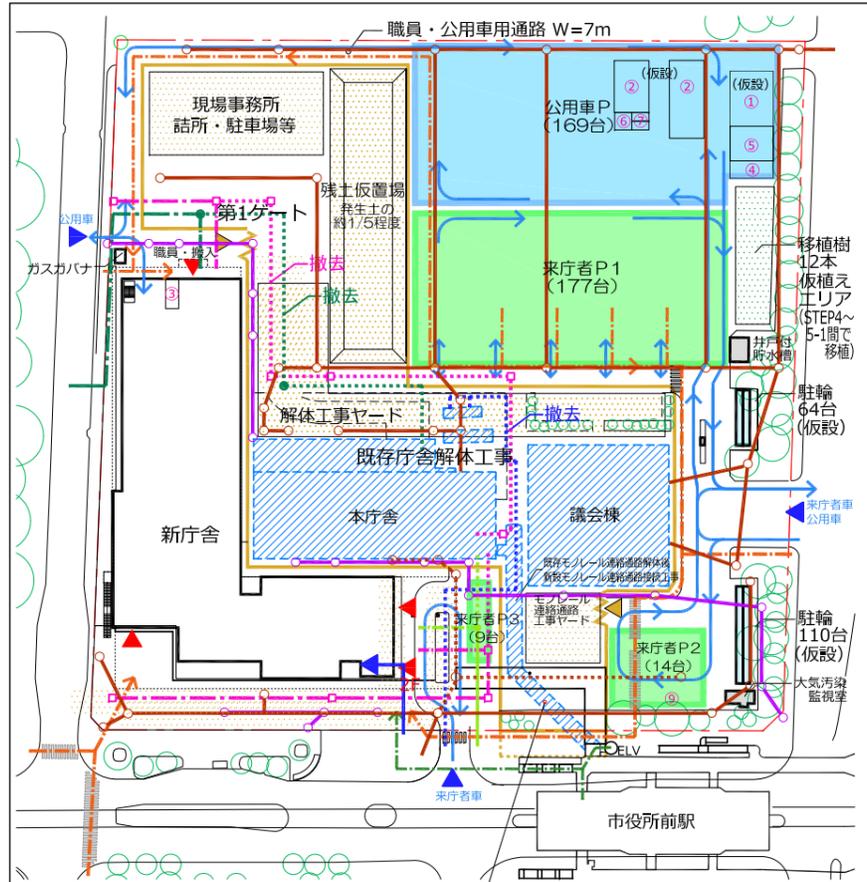


(1) 工事ステップ計画概要

STEP-4  
既存解体工事

STEP-5-1  
駐車場等外構工事

STEP-6  
全体完成(将来活用検討地整備工事)

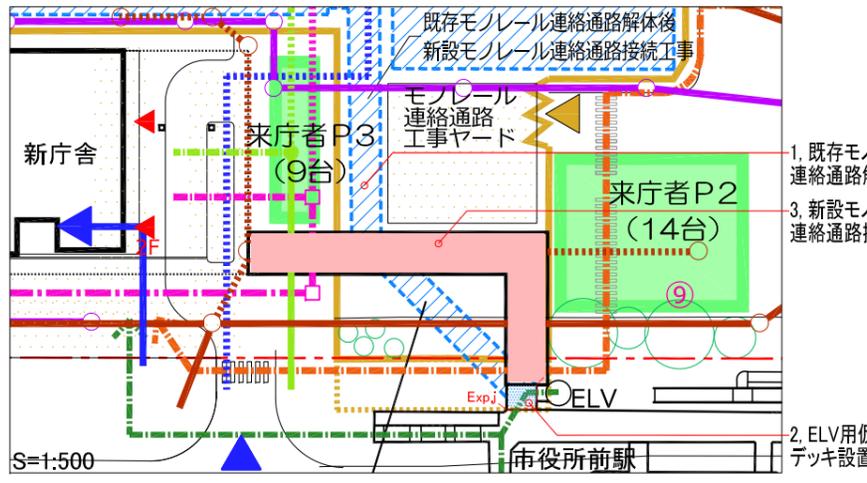


新設モノレール連絡通路接続工事  
 既存モノレール連絡通路解体後、新設モノレール連絡通路接続までの一定期間  
 モノレール2階レベルから地上に下りて利用する必要あり

※来庁者用駐車場 計200台  
 ※公用車用駐車場 計169台

※来庁者用駐車場 計190台 ※公用車用駐車場 計230台

※来庁者用駐車場 計304台  
 ※公用車用駐車場 計182台

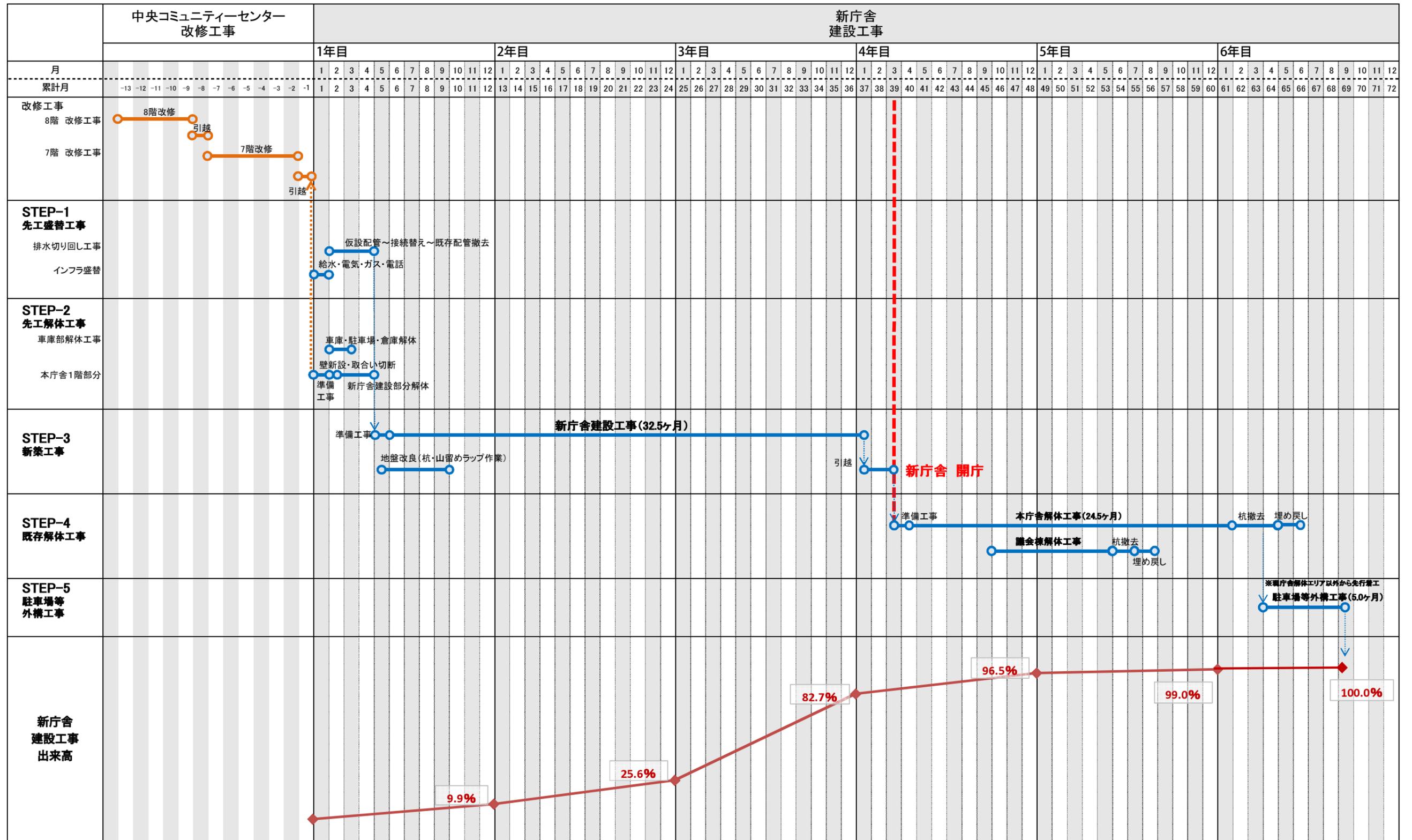


【凡例】

既存建物	敷地主出入口 (歩車共)	来庁者車・公用車動線
解体工事建物	建物の主出入口	歩行者動線
新築工事建物	工事車両出入口	モノレールからの動線 (インフラ先行盛替)
来庁者用駐車場	仮囲い	給水
公用車用駐車場		ガス
		電気
		汚水・雑排水
		雨水
		電話

① 駐車密閉型車庫 10台  
 ② 屋根付駐車場 30台  
 ③ 運転手控室 ⇒新庁舎完成までは既存利用  
 ④ 車両整備所 (屋根付)  
 ⑤ 車両部品庫  
 ⑥ 公用車洗車設備 (給・排水・電源設備必要)  
 ⑦ 公用車用 電気自動車駐車スペース 5台計画 ⇒工事中は既存2台分を仮設整備  
 ⑧ 来庁者用 電気自動車駐車スペース 5台計画 ⇒工事中は整備なし  
 ⑨ 身障者駐車場(屋根付)

(——) 既存  
 (---) 撤去  
 (---) 新設

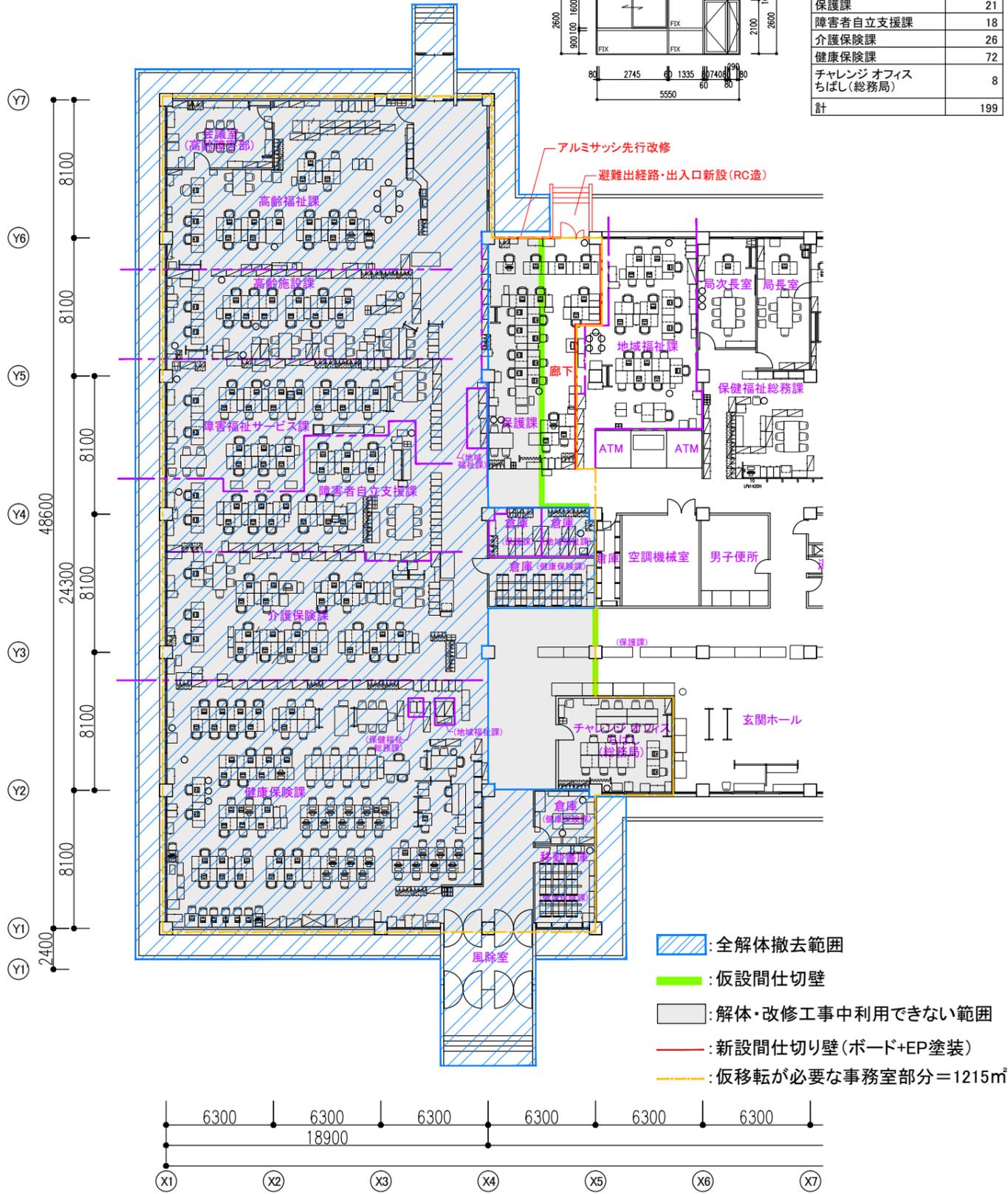
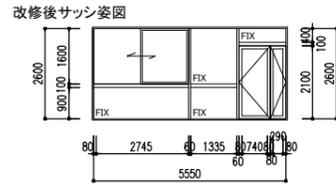


# (4) 本庁舎改修計画概要

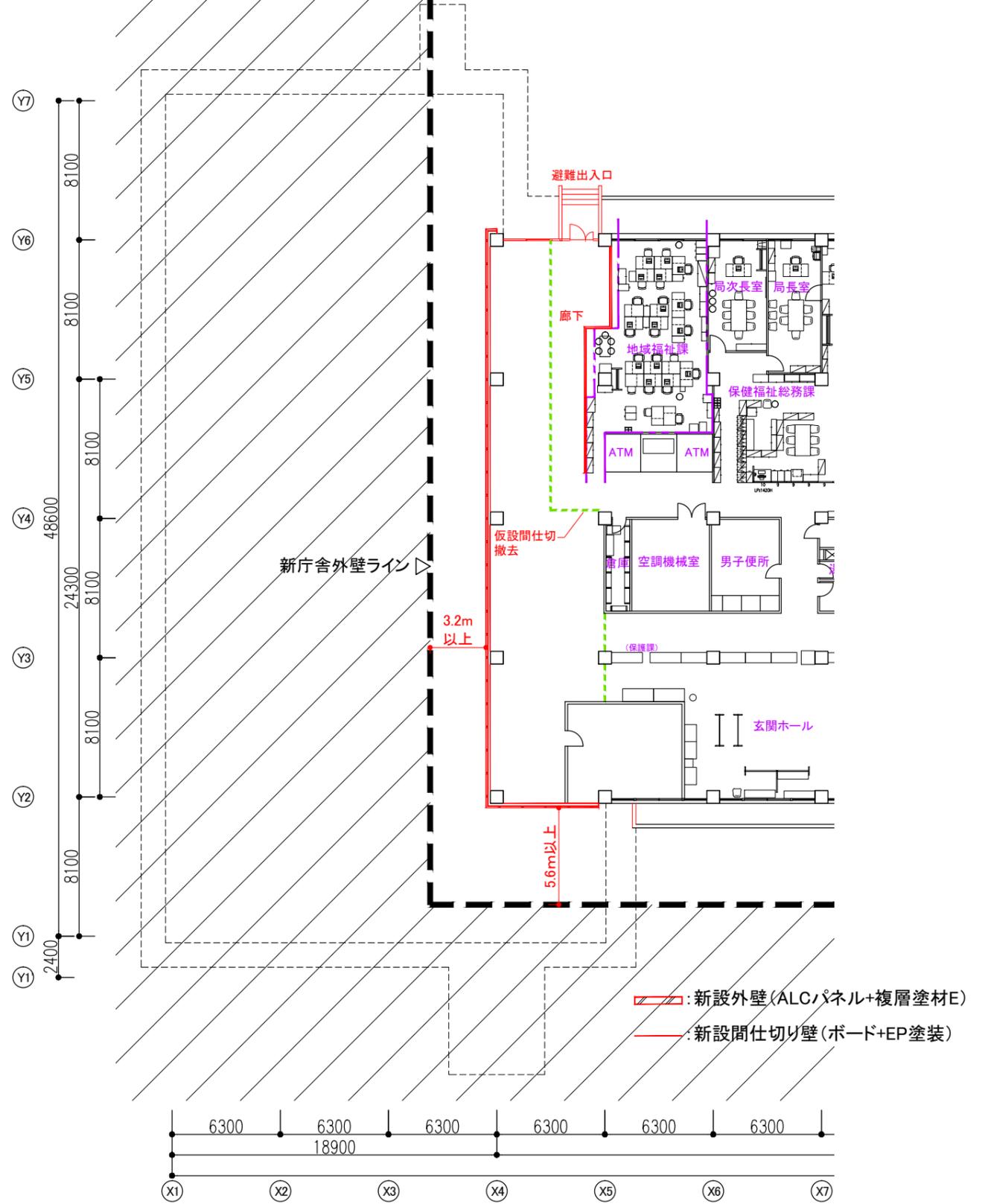


利用できない範囲の課・席数

課名	デスク数
高齢福祉課	18
高齢施設課	14
障害福祉サービス課	22
保護課	21
障害者自立支援課	18
介護保険課	26
健康保険課	72
チャレンジ オフィス ちばし(総務局)	8
計	199



改修前



改修後

## 7 . 基本設計図

千葉市新庁舎整備事業

## 基本設計図

平成 29(2017 年 10 月

久米設計・隈研吾建築都市設計共同企業体

---

## 敷地概要

建設地	千葉県千葉市中央区千葉港1番1号
敷地面積	約 29,000㎡ (現本庁舎敷地: 39,680.95㎡)
法定建ぺい率	90% (80% + 10%角地緩和)
法定容積率	400%
周辺道路現況幅員	千葉港黒砂台線 (南側): 51.58m 千葉港5号線 (西側): 20.50m

## 法的規制

区域指定	都市計画区域
用途地域	商業地域
高度地区	指定無し
日影規制	指定無し
防火指定	準防火地域

## 建物概要

主要用途	庁舎		
構造種別	鉄骨造 (基礎免震構造)	付属施設	合計(付属施設含む)
建築面積	6776.44㎡	建築面積	1904.61㎡
延床面積	49399.12㎡	延床面積	1885.91㎡
容積対象床面積	47488.84㎡	容積対象床面積	669.45㎡
階数	地上 11階		
高さ	約 53m		
		建築面積	8681.05㎡
		延床面積	51285.03㎡
		容積対象床面積	48158.29㎡
		容積率	166.06%

## 付属施設概要

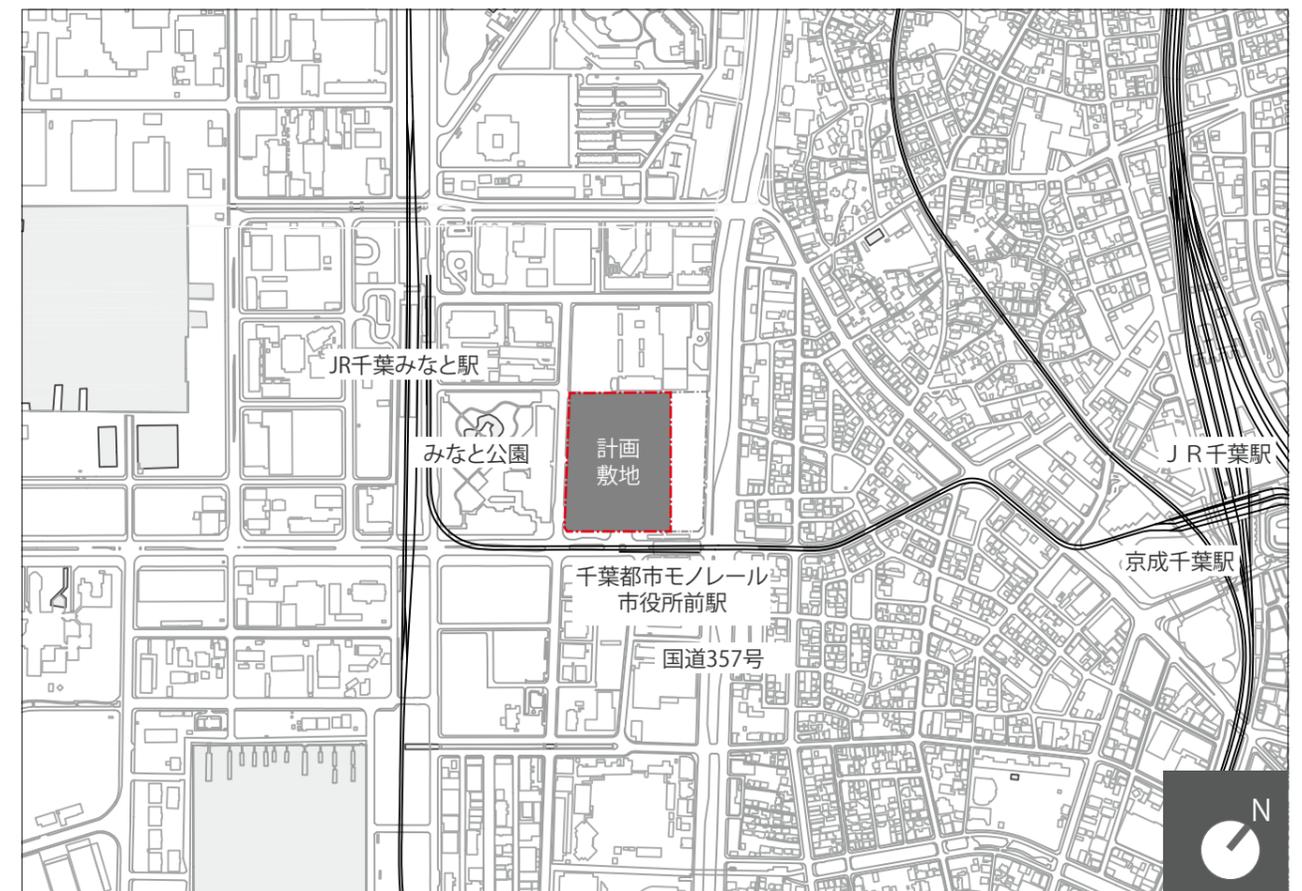
主要用途	モノレール 連絡通路	屋根付 身障者駐車場	倉庫・ 密閉型車庫	屋根付 公用車車庫	屋根付 駐輪場1	屋根付 駐車場1	屋根付 駐輪場2	屋根付 駐車場2
構造種別	鉄骨造	鉄骨造	鉄骨造	鉄骨造	鉄骨造	鉄骨造	鉄骨造	鉄骨造
建築面積	331.15㎡	259.00㎡	567.00㎡	390.00㎡	50.00㎡	20.00㎡	137.46㎡	150.00㎡
延床面積	312.45㎡	259.00㎡	567.00㎡	390.00㎡	50.00㎡	20.00㎡	137.46㎡	150.00㎡
容積対象床面積	312.45㎡	0㎡	357.00㎡	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡
階数	1階	1階	1階	1階	1階	1階	1階	1階
					自転車50台	バイク10台	自転車230台	バイク72台

## 駐車場概要

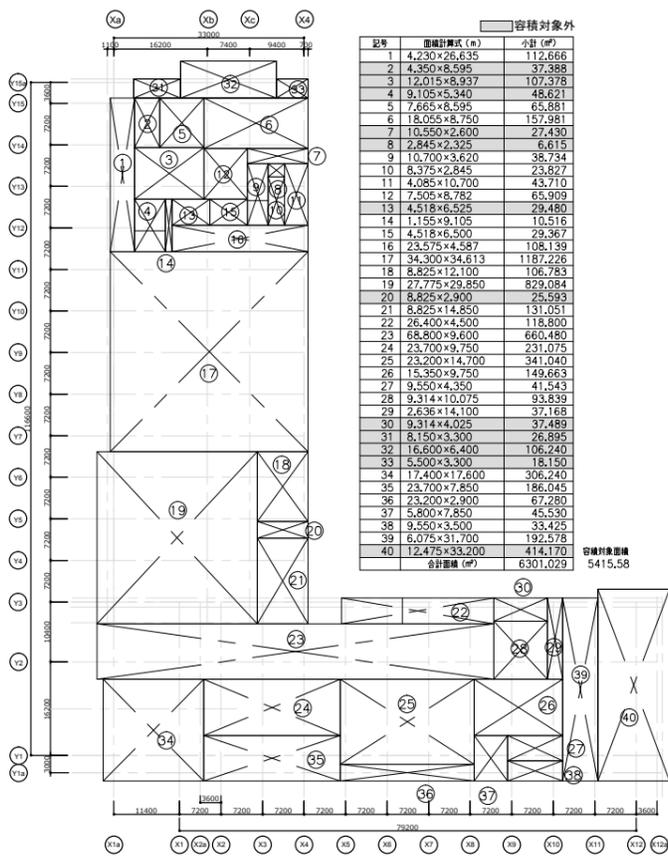
駐車台数	482台 (来庁者用駐車場 302台, 公用車用駐車場 180台)
駐輪台数	362台 (自転車駐輪場 50台 + 230台, バイク駐車場 10台 + 72台)



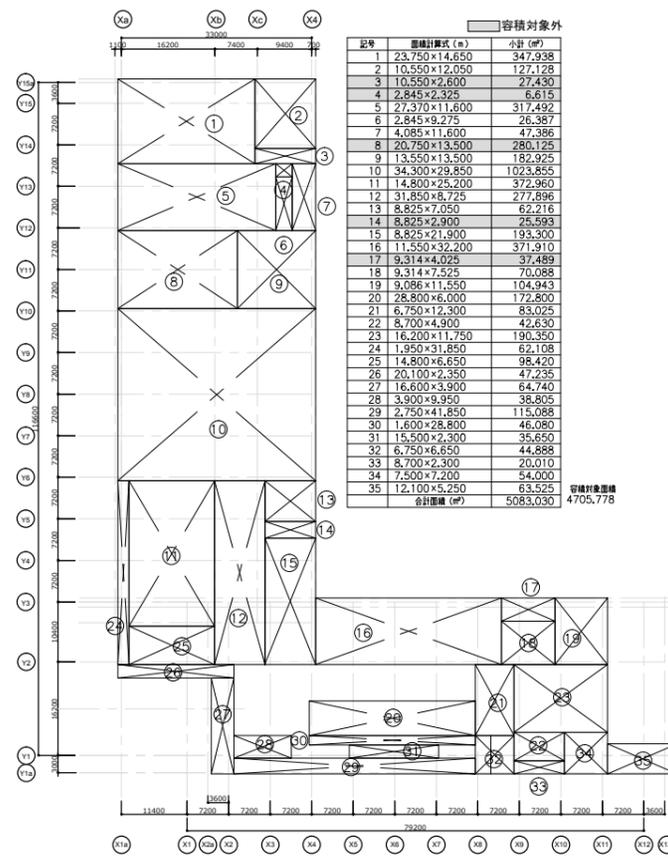
敷地南側より



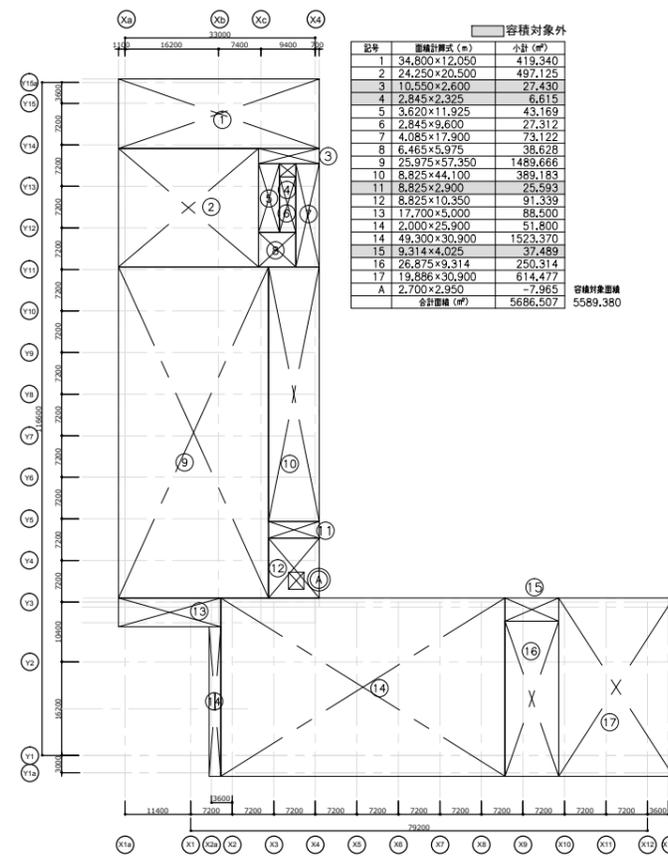
scale 1:10000 案内図



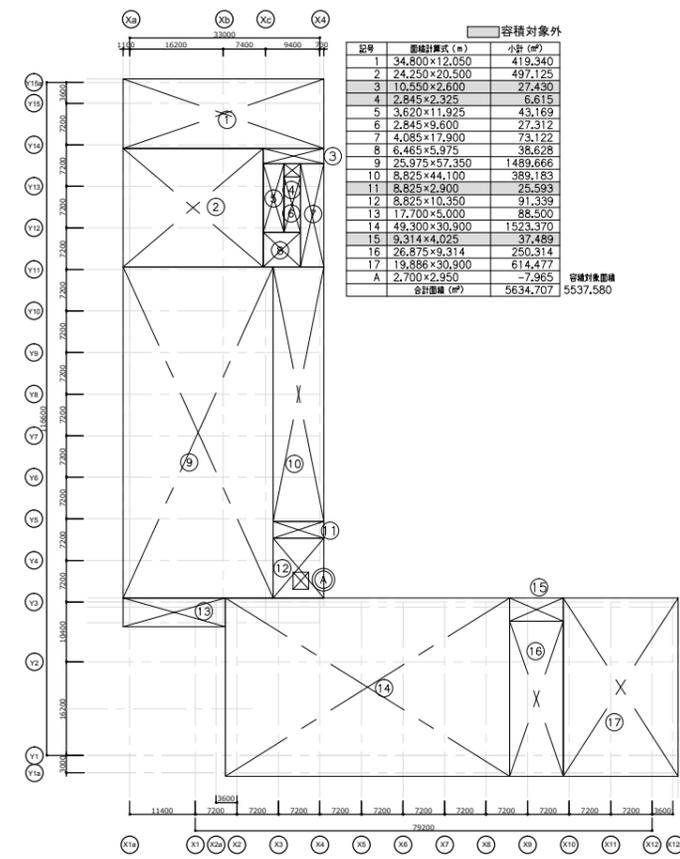
1階床面積算定図 1:1200



2階床面積算定図 1:1200



3階床面積算定図 1:1200



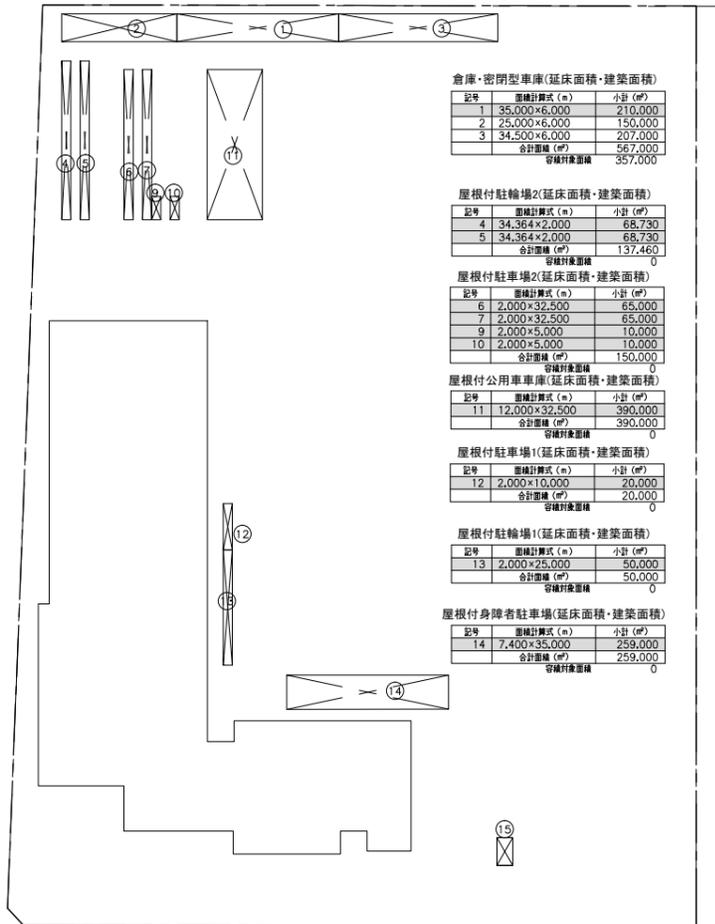
4階床面積算定図 1:1200

面積表

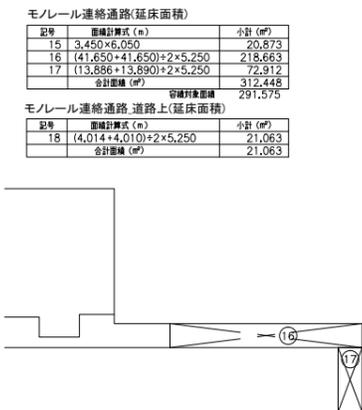
	建築面積	延床面積	容積対象床面積
新庁舎	6776.44	49399.12	47488.84
モノレール連絡通路	331.15	312.45	312.45
屋根付身障者駐車場	259.00	259.00	0
倉庫・密閉型車庫	567.00	567.00	357.00
屋根付公用車庫	390.00	390.00	0
屋根付駐輪場1	50.00	50.00	0
屋根付駐輪場2	20.00	20.00	0
屋根付駐輪場2	137.46	137.46	0
屋根付駐輪場2	150.00	150.00	0
合計	8681.05	51285.03	48158.29

※容積対象外自動車庫/車庫の部分

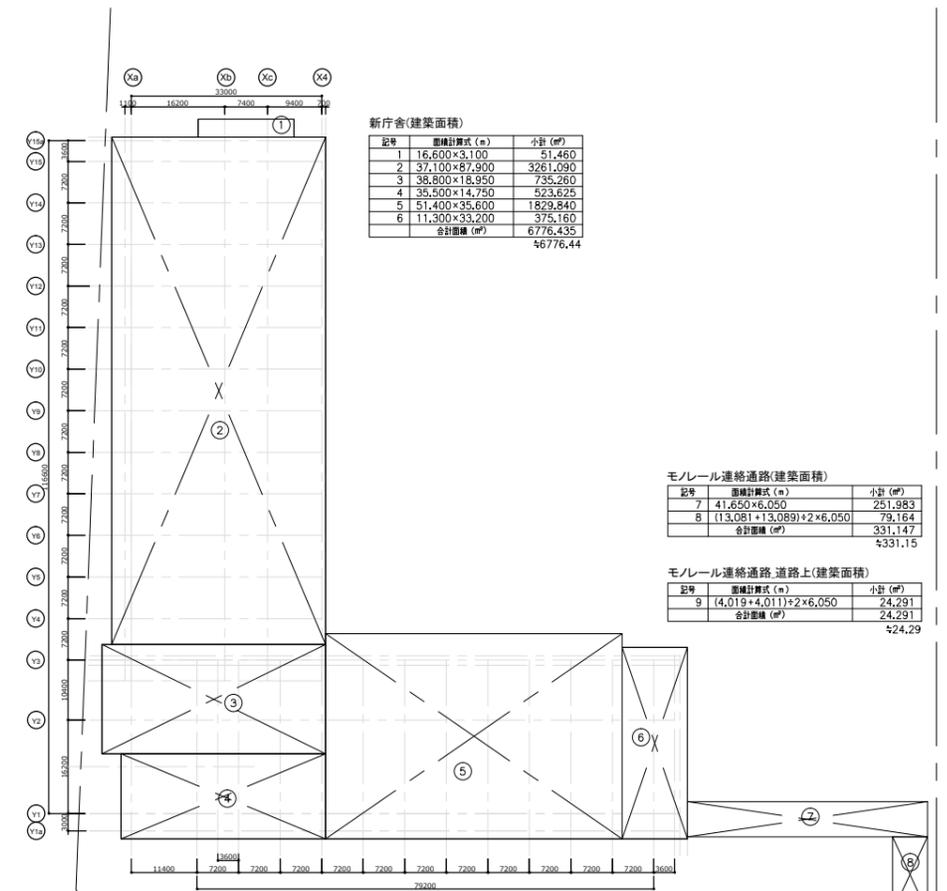
	自動車庫面積
新庁舎	758,842
モノレール連絡通路	20,873
屋根付身障者駐車場	259,000
倉庫・密閉型車庫	210,000
屋根付公用車庫	390,000
屋根付駐輪場1	50,000
屋根付駐輪場1	20,000
屋根付駐輪場2	137,460
屋根付駐輪場2	150,000
合計	1,996,175 <math>10257.006 = 51285.030/5</math>



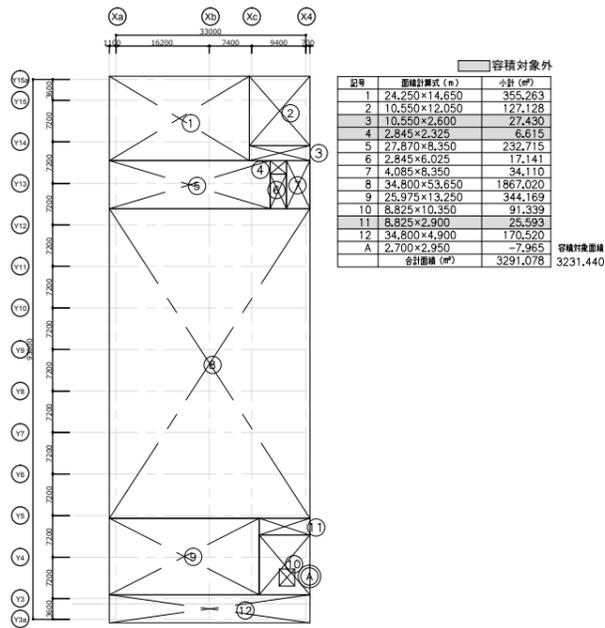
附属棟建築面積・床面積算定図 1:1500



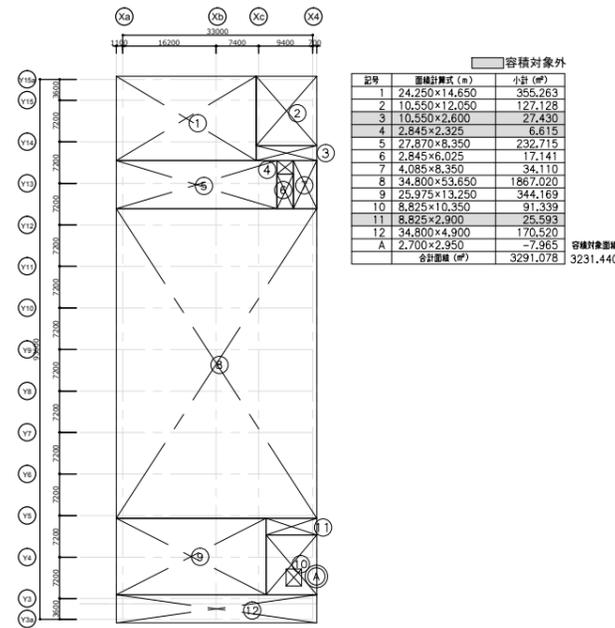
モノレール連絡通路 床面積算定図 1:1500



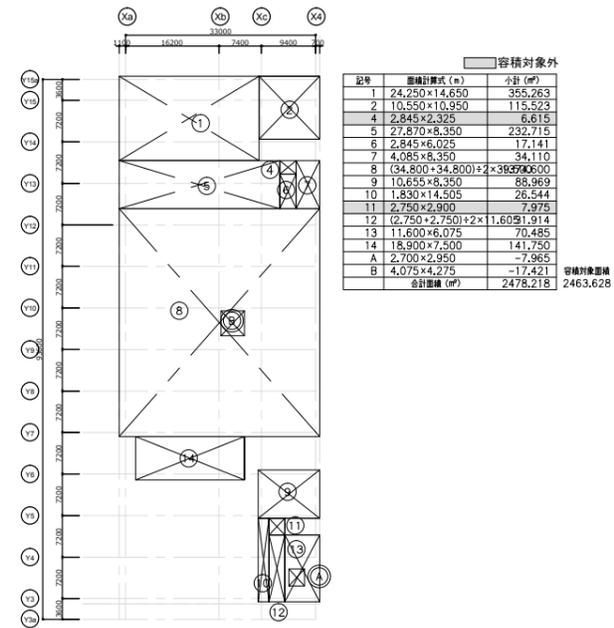
本庁舎・モノレール連絡通路建築面積算定図 1:1200



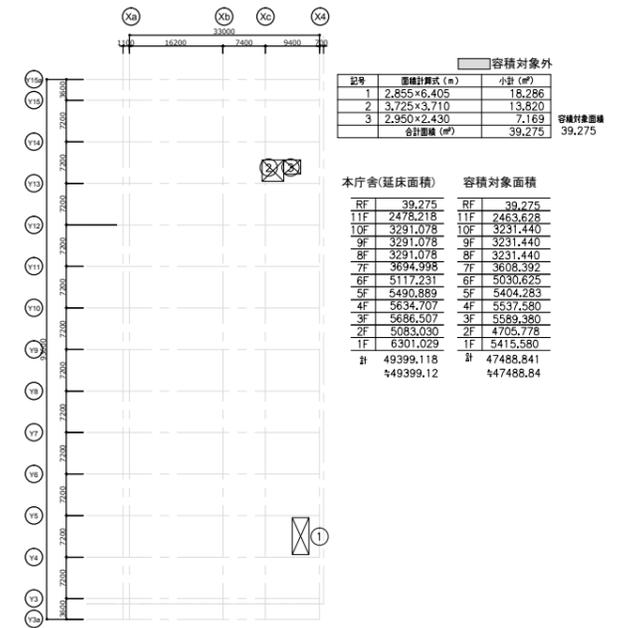
9階床面積算定図 1:1200



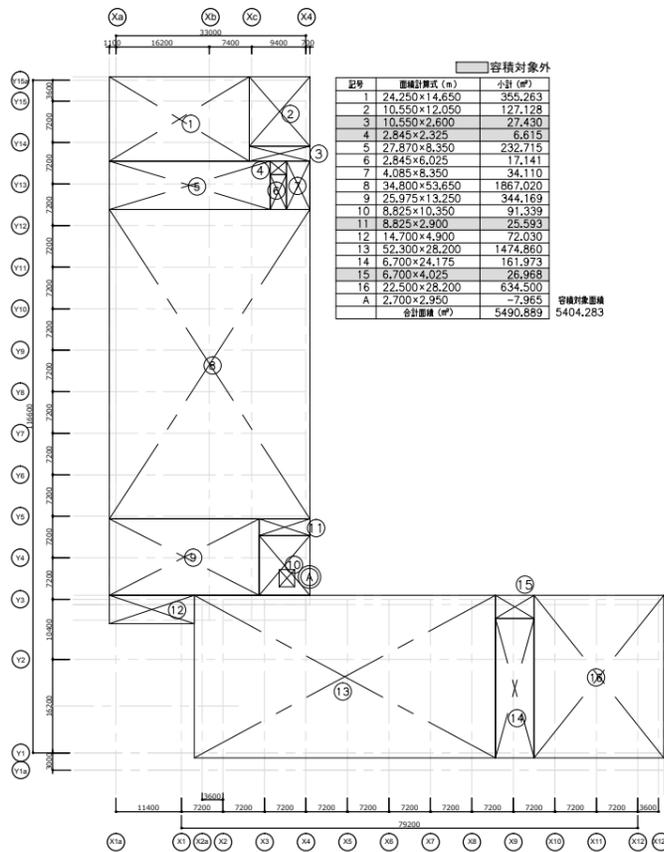
10階床面積算定図 1:1200



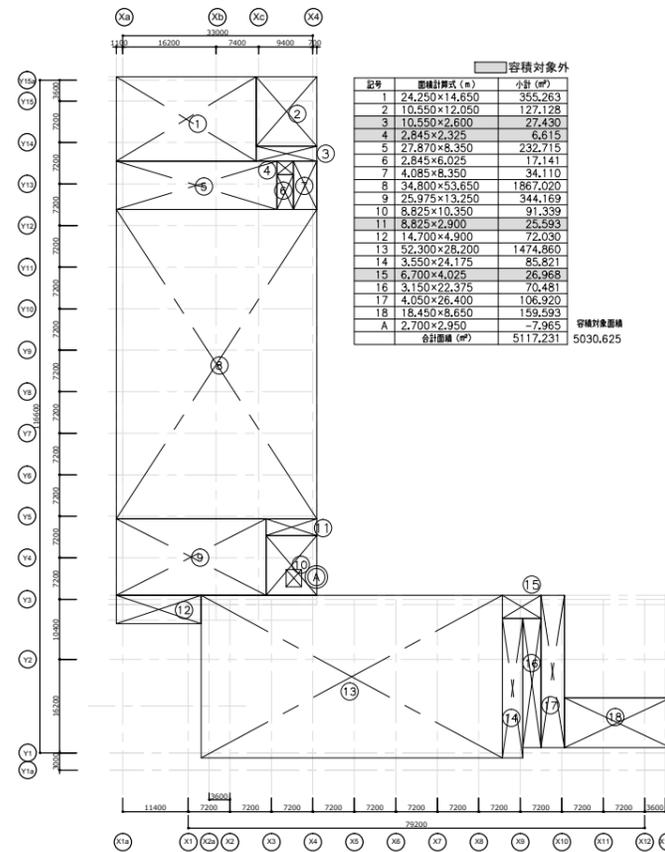
11階床面積算定図 1:1200



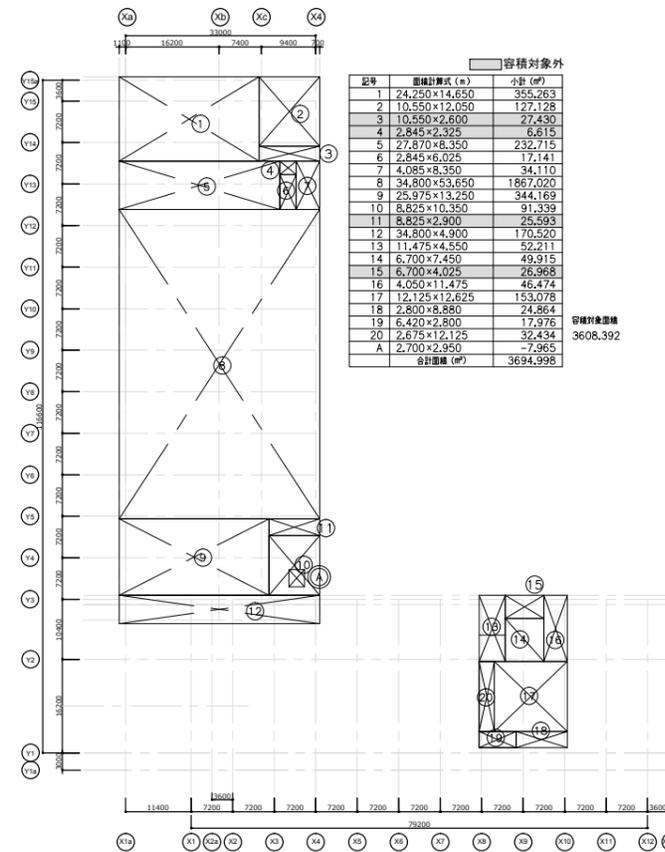
R階床面積算定図 1:1200



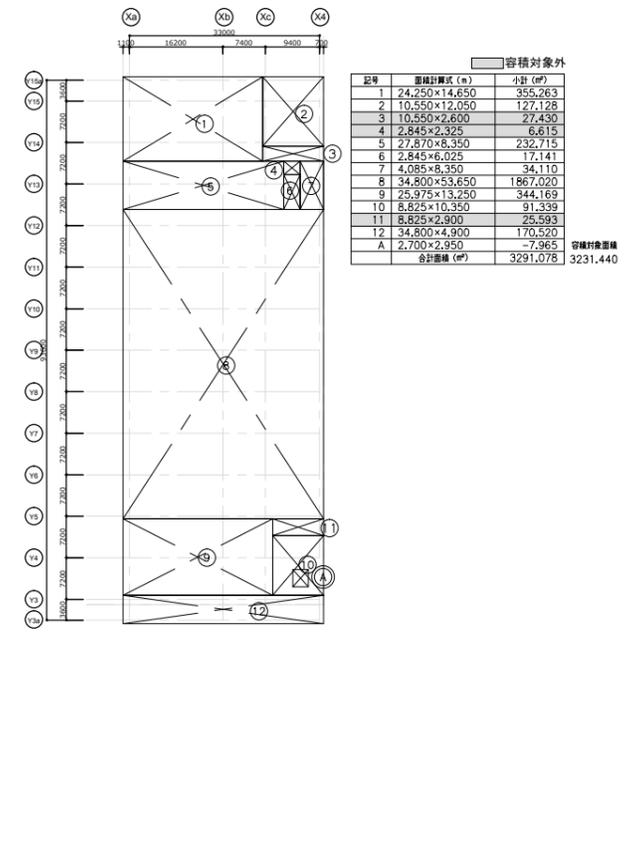
5階床面積算定図 1:1200



6階床面積算定図 1:1200



7階床面積算定図 1:1200



8階床面積算定図 1:1200

外部仕上表

部位	箇所	仕上	
屋	根	庁舎棟7階	アスファルト断熱防水(A1-2)押えコント80 再生木デッキ+スチール溶融亜鉛メッキ下地組 屋上緑化 ハイサイドライト・自然換気窓(電動)
		庁舎棟8階(本会議場屋根)	金属板葺屋根
		庁舎棟11階	アスファルト断熱防水(A1-2)押えコント80
		庁舎棟R階	アスファルト断熱防水(A1-2)押えコント80 トップライト・自然換気窓(電動)
笠	木	庁舎棟7階	スチール笠木(リン酸処理) アルミ笠木 2次電解着色
外	壁	庁舎棟1階~2階	押出成形セメント板+低汚染型フッ素樹脂塗装
		庁舎棟1階~R階	プレキャストコンクリート板+低汚染型フッ素樹脂塗装(白)+カラークリアー塗装(艶消し)
建	具	庁舎棟	アルミサッシ 2次電解着色
			アルミカーテンウォール 2次電解着色
			アルミガラリ フッ素樹脂焼付塗装
			アルミスバンドレル フッ素樹脂焼付塗装
			ステンレスオートドア(SUS404)
			スチールドア フッ素樹脂焼付塗装
ガラス	庇	庁舎棟	Low-E6+A12+FL6、Low-E10+A12+FL10、Low-E8+A12+倍強度12 Low-E10+A12+強化15、Low-E6+A12+耐熱強化6.5 Low-E6+A12+耐熱強化8、Low-E8+A12+耐熱強化12(※Aは空気層を示す)
			アルミハニカムパネル フッ素樹脂焼付メタリック塗装
			アルミハニカムパネル フッ素樹脂焼付メタリック塗装
エントランス	庇	庁舎棟床	アルミハニカムパネル フッ素樹脂焼付メタリック塗装
ピロティ	庇	庁舎棟床	アルミハニカムパネル フッ素樹脂焼付メタリック塗装
縁側テラス	庇	庁舎棟1階	アスファルト防水(D-2) 再生木デッキ(無垢材)+スチール溶融亜鉛メッキ下地組
テラス・メンテナンスデッキ	庇	庁舎棟2階~6階	アスファルト防水(D1-2) 再生木デッキ(中空材)+スチール溶融亜鉛メッキ下地組
軒	天	庁舎棟エントランス	天然木ルーバー+防鳥ネット(SUS)
		庁舎棟イベントスペース	天然木ルーバー+強化合わせガラス
		庁舎棟7階本会議場屋根	アルミカットパネル フッ素樹脂焼付塗装
エキスパンションジョイント	天	庁舎棟1F	ステンレス(免震)歩行用、ステンレス(免震)T-4、ステンレス(免震)T-20
		連絡デッキ-庁舎棟	ステンレス(免震)歩行用、T型手摺
		連絡デッキ-モノレール駅	ステンレス歩行用
外部ルーバー	天	庁舎棟1階~2階	□150×30@300 木調焼付印刷アルミパネル加工品 下地リン酸処理
		庁舎棟5階~6階	□150×30@900 木調焼付印刷アルミパネル加工品 下地リン酸処理
		庁舎棟1階~6階	△450×50@1800 フッ素樹脂焼付メタリック塗装 下地リン酸処理
ヘリポート	天	庁舎棟R階	PC床板式、油脂回収タンク、表示サイン、フック、転落防止底、St手摺
屋外目隠し	天	庁舎棟7階	□50×30@60 フッ素樹脂焼付塗装
メンテナンス通路	天	庁舎棟庇	ステンレス縦樋
		庁舎棟2階~7階	ウレタン塗膜防水(X-2)、緑化手摺
共通	通	外部鉄部	溶融亜鉛メッキ+リン酸処理
		外部ステンレス部	SUS404

モノレール連絡通路  
外部仕上表

部位	箇所	仕上	
屋根・天井	連絡デッキ	天然木ルーバー+強化合わせガラス	
床	連絡デッキ	アスファルト防水(D-2) 再生木デッキ(無垢材)+スチール溶融亜鉛メッキ下地組	
メンテナンス通路	連絡デッキ	ウレタン塗膜防水(X-2)、緑化手摺	
軒	天	連絡デッキ	スラブ現し+低汚染型フッ素樹脂クリア塗装(白艶消し)
構造	天	連絡デッキ	鉄骨造 常温亜鉛メッキ+ポリウレタン塗装
壁	天	連絡デッキ	ステンレス縦樋

倉庫・密閉型車庫・屋根付駐車場  
外部仕上表

部位	箇所	仕上
屋根	倉庫・密閉型車庫・屋根付き駐車場	ガルバリウム鋼板 折板葺(裏面:ベフ貼)片流れ屋根
外壁	倉庫・密閉型車庫・屋根付き駐車場(短辺のみ)	角波ガルバリウム鋼板
建具	倉庫・密閉型車庫:窓	アルミサッシュ 引違い
	倉庫:出入口	カラーアルミサッシュ 片開き
	密閉型車庫	重量シャッター(手動) DH3000
構造	倉庫	軽量鉄骨造(プレース入り)
	密閉型車庫・屋根付き駐車場	重量鉄骨造(ラーメン構造) *屋根付き駐車場はフッ素塗装仕上げ
基礎	倉庫・密閉型車庫	鉄筋コンクリート造 布基礎H600 モルタル刷毛引き仕上げ

内部仕上表

番号	階	室名	仕上	床	巾木	壁	天井	天井高	備考 ( ) 内事業費外工事
			躯体	下地		下地	下地		
1-1	1階	風除室1	±0 -	タイル□300 RC	SUS H60	塗装 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2800	自動ドア・衝突防止柵・(傘立て)
1-2	1階	ELVホール1	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2800	
1-3	1階	乗降ロビー1	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2800	
1-4	1階	廊下1・庁用ロビー	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2800	コーナーガード
1-5	1階	守衛室	±0 -100	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード -	2800	カウンター-W1200・カウンターアルミサッシ
1-6	1階	車両班執務室 (運転手控室)	±0 -100	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2800	
1-7	1階	宿直室	+300 -10	畳敷き 木軸架構	畳寄せ	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード -	2400	押入・洗面台
1-8	1階	防災備蓄倉庫1・2	±0 -10	エポキシ樹脂塗床 RC	床塗上 H300	塗装 石膏ボード	- -	直天	腰壁RC立上H850
1-9	1階	塵芥室	±0 -10	エポキシ樹脂塗床 RC	床塗上 H300	塗装 ケイカル版	- -	直天	腰壁RC立上H850・排水側溝・グレーチング・地流し
1-10	1階	荷捌き駐車場	±0 -	塗床防水 RC	-	フッ素樹脂塗装 押出成形セメント版	塗装 ケイカル版	4000	車止め・コーナーガード・腰壁RC立上H850
1-11	1階	室外機置場	±0 -10	塗床防水 RC	床塗上 H300	フッ素樹脂塗装 押出成形セメント版	フッ素樹脂塗装 ケイカル版	4200	腰壁RC立上H850
1-12	1階	オイルポンプ室	±0 -10	エポキシ樹脂塗床 RC	床塗上 H300	塗装 ALC	- -	直天	防油堤・腰壁RC立上H850・機械基礎・溜め槽
1-13	1階	倉庫	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード -	3500	
1-14	1階	地中熱利用熱源室	±0 -10	防塵塗装 RC	-	グラスウールボード ガラスクロス押え	グラスウールボード ガラスクロス押え	直天	機械基礎・腰壁RC立上H850
1-15	1階	文書交換室	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード -	2800	
1-16	1階	印刷室	±0 -100	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード -	2800	
1-17	1階	職員健康管理室	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2800	カーテン・ブラインド・パーテーション
1-18	1階	医務室	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2800	カーテン・ブラインド・パーテーション
1-19	1階	法律相談室	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2800	
1-20	1階	交通事故相談室	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2800	
1-21	1階	控室	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2800	
1-22	1階	相談室	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2800	
1-23	1階	市民相談室	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2800	ガラスパーティション・ブラインド
1-24	1階	会計管理者室	±0 -100	タイルカーペット OA	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	織物クロス 石膏ボード	2800	
1-25	1階	会計室	±0 -100	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2800	2段カウンター-W3000・カウンターサッシ・ロールスクリーン
1-26	1階	金庫室	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 RC	塗装 RC	2800	室・扉仕様【耐火3時間・浸水3m・防盜50分】
1-27	1階	金融機関	±0 -100	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2800	2段カウンター-W3000・カウンターサッシ・ロールスクリーン
1-28	1階	ATMコーナー	±0 -300	石貼 鋼製床組	ビニル H60	塗装 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2800	
1-29	1階	待合スペース	±0 -50	石貼 RC	SUS H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー+塗装	2800	天井内塗装
1-30	1階	廊下2・3	±0 -50	石貼 RC	SUS H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー+塗装	2800 4200	天井内塗装 電動ロールスクリーン
1-31	1階	正庁	±0 -10	タイルカーペット RC	SUS H60	不燃木パネル 石膏ボード	不燃木ルーバー H20	4000	可動間仕切壁(遮音)・スクリーンBOX2箇所・天井内GWBガラスクロス押え・天井内塗装・遺台
1-32	1階	ELVホール2・乗降ロビー2	±0 -50	石貼 RC	SUS H60	アルミカットパネル 石膏ボード	アルミルーバー+塗装	4000	天井内塗装・電動ロールスクリーン

内部仕上表

番号	階	室名	仕上	床	巾木	壁	天井	天井高	備考 ( ) 内事業費外工事
			躯体	下地		下地	下地		
1-33	1階	正庁ロビー	±0 -300	石貼 鋼製床組	SUS H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー塗装	4200	電動ロールスクリーン
1-34	1階	風除室2	±0 -50	石貼 RC	SUS H60	アルミカットパネル 石膏ボード	アルミルーバー塗装	4200	自動ドア・衝突防止柵
1-35	1階	風除室3~5	±0 -50	石貼 RC	SUS H60	-	アルミルーバー塗装	4200	自動ドア・衝突防止柵
1-36	1階	イベントスペース	±0 -300	石貼 鋼製床組	-	-	不燃木ルーバー H20	10000	電動ロールスクリーン・ガラス大型引き戸・天井内塗装
1-37	1階	総合案内	±0 -300	石貼 鋼製床組	SUS H60	不燃木パネル 石膏ボード	不燃木ルーバー H20~H200	10000	カウンター
1-38	1階	カフェ	±0 -300	石貼 鋼製床組	SUS H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー塗装	2300	カウンター・電動ロールスクリーン・天井内塗装
1-39	1階	情報ステーション1	±0 -300	石貼 鋼製床組	-	-	不燃木ルーバー H20	4200	電動ロールスクリーン・天井内塗装
1-40	1階	情報ステーション2	±0 -300	石貼 鋼製床組	-	-	アルミルーバー塗装	4200	電動ロールスクリーン・天井内塗装
1-41	1階	情報ステーション3	±0 -300	石貼 鋼製床組	SUS H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー塗装	4200	電動ロールスクリーン・天井内塗装
1-42	1階	資料室	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル 巾木	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2800	電動ロールスクリーン
1-43	1階	授乳室	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	石膏ボード	2800	カーテンW6000・カーテンレール・流し台・(授乳用ソファ)・(ベビーベッド)
1-44	1階	エントランスロビー	±0 -300	石貼 鋼製床組	SUS H60	-	アルミルーバー塗装	4200	(傘立て)・天井内塗装・電動ロールスクリーン
1-45	1階	ELVホール3	±0 -300	石貼 鋼製床組	SUS H60	アルミカットパネル 石膏ボード	アルミルーバー塗装	4200	天井内塗装・電動ロールスクリーン
2-1	2階	防災センター	±0 -100	ビニルタイル OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2800	
2-2	2階	休憩室(防災センター内)	+300 -10	畳敷き 木軸架構	畳寄せ	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード -	2400	押入・洗面台
2-3	2階	WC(防災センター内)	±0 -10	長尺塩ビシート RC	SUS H60	メラミン不燃化粧板 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2400	トイレブース・手洗いカウンター・ライニング
2-4	2階	ポンプ室	±0 -10	エポキシ塗床 RC	床塗立上 H300	グラスウールボード ガラスクロス押え	グラスウールボード ガラスクロス押え	直天	腰壁RC立上H850、機械基礎、塗布防水
2-5	2階	女子休憩室	+300 -10	畳敷き 木軸架構	畳寄せ	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード -	2800	一部長尺塩ビシート・上框・フローリング 押入W1200×2・洗面台・換
2-6	2階	ELVホール1	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2800	
2-7	2階	乗降ロビー1	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2800	
2-8	2階	室外機置場	±0 -10	エポキシ塗床 RC	床塗立上 H300	フッ素樹脂塗装 押出成型セメント板	フッ素樹脂塗装 ケイカル板	4200	腰壁RC立上H850
2-9	2階	電気室1・2	±0 -300	エポキシ塗床 RC	床塗立上 H300	グラスウールボード ガラスクロス押え	グラスウールボード ガラスクロス押え	直天	腰壁RC立上H850、機械基礎、シンダーコン ン配線ビッド
2-10	2階	自家発電機室	±0 -300	エポキシ塗床 RC	床塗立上 H300	グラスウールボード ガラスクロス押え	グラスウールボード ガラスクロス押え	直天	腰壁RC立上H850、機械基礎、シンダーコン ン
2-11	2階	オイルタンク室	±0 -300	エポキシ塗床 RC	床塗立上 H300	塗装 ALC	-	直天	防油堤、腰壁RC立上H850)、機械基礎
2-12	2階	電話交換機室	±0 -100	ビニルタイル OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード -	2800	外周RC立上H150
2-13	2階	構内情報通信網設備室	±0 -100	ビニルタイル(面敷) OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード -	2800	外周RC立上H150
2-14	2階	詰所・控室	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード -	2800	一部畳敷き・上框・フローリング・押入・洗面 台
2-15	2階	廊下1	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2800	
2-16	2階	2XL会議室1・2	±0 -10	タイルカーペット RC	SUS H60	不燃木パネル 石膏ボード	アルミルーバー塗装 H20	3500	可動間仕切り壁(遮音)・スクリーンBOX・天井内GW Bガラスクロス押え・天井内塗装・電動ロールスクリー ン
2-17	2階	ELVホール2・乗降ロビー2	±0 -50	フローリング RC	SUS H60	塗装 石膏ボード	不燃木ルーバー H20~H200	4200	天井内塗装
2-18	2階	倉庫	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード 石膏ボード	4200	
2-19	2階	廊下2	±0 -50	フローリング RC	SUS H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー塗装 H20~H200	4200	天井内塗装

番号	階	室名	仕上	床	巾木	壁	天井	天井高	備考 ( ) 内事業費外工事
			躯体	下地		下地	下地		
2-20	2階	廊下3	±0 -50	フローリング RC	SUS H60	塗装 石膏ボード	不燃木ルーバー H20~H200	4200	
2-21	2階	厨房	±0 -300	塗床防水 アス防+RC	床塗立上 H300	SUSPL 石膏ボード	塗装 ケイカル板	3500	腰壁RC立上H850・排水側溝・グレーチン グ
2-22	2階	WC(厨房内)	±0 -300	塗床防水 アス防+RC	床塗立上 H300	メラミン不燃化粧板 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2400	トイレブース・手洗いカウンター・ライニング
2-23	2階	食品庫	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード 石膏ボード	3500	
2-24	2階	食堂	±0 -50	フローリング RC	SUS H60	塗装 石膏ボード	不燃木ルーバー H20~H200	4200	壁面50%不燃木パネル・天井内塗装・電動 ロールスクリーン
2-25	2階	売店	±0 -50	フローリング RC	SUS H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	3200	電動ロールスクリーン
2-26	2階	授乳室	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2800	カーテンW6000・カーテンレール・流し台・ (授乳用ソファ)・(ベビーベッド)
2-27	2階	エントランスロビー	±0 -50	フローリング RC	SUS H60	塗装 石膏ボード	不燃木ルーバー H20~H200	4200	壁面50%不燃木パネル・吹き抜け部ガラス自 立手摺・天井内塗装・電動ロールスクリー ン
2-28	2階	ELVホール3	±0 -50	フローリング RC	SUS H60	塗装 石膏ボード	不燃木ルーバー H20~H200	4200	天井内塗装
2-29	2階	市民センター執務室	±0 -100	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	3500	カウンター・電動ロールスクリーン
2-30	2階	市民センター待合	±0 -50	フローリング RC	SUS H60	塗装 石膏ボード	不燃木ルーバー H20~H200	4200	壁面50%不燃木パネル・天井内塗装・電動 ロールスクリーン
2-31	2階	風除室1・2	±0 -50	フローリング RC	SUS H60	-	不燃木ルーバー H20~H200	4200	自動ドア・衝突防止柵・天井内塗装
2-32	2階	大階段	-	フローリング RC/St	ささらPL H20	-	不燃木ルーバー H20~H200	-	ガラス自立手摺・天井内塗装・電動ロールスク リーン
3-1	3階	関係機関調整室	±0 -300	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	塗装 PC床板	2600~3600	設備プレート PC床板現し
3-2	3階	仮眠室 シャワー室	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード -	2400	(2段ベット)・シャワーブース2基
3-3	3階	男子休憩室	+300 -10	畳敷き 木軸架構	畳寄せ	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード -	2500	一部長尺塩ビシート・上框・フローリング 押入W1200×2・洗面台・換
3-4	3階	ELVホール1	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2400	
3-5	3階	乗降ロビー1	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2400	
3-6	3階	廊下1	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2400	
3-7	3階	室外機置場	±0 -10	塗床防水 RC	床塗立上 H300	フッ素樹脂塗装 押出成型セメント板	フッ素樹脂塗装 ケイカル板	2800	腰壁RC立上H850
3-8	3階	防災対策課執務室 危機管理課執務室	±0 -300	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	クリア塗装(白艶消し) PC床板	2600~3600	設備プレート 可動間仕切り壁【遮音】 PC床板現し
3-9	3階	オペレーションルーム	±0 -300	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	クリア塗装(白艶消し) PC床板	2600~3600	設備プレート 可動間仕切り壁【遮音】 PC床板現し
3-10	3階	災害対策本部会議室	±0 -300	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	クリア塗装(白艶消し) PC床板	2600~3600	設備プレート PC床板現し
3-11	3階	物資備蓄倉庫	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード 石膏ボード	2400	
3-12	3階	倉庫	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード 石膏ボード	2400	
3-13	3階	XL会議室1・2	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2600	スクリーンBOX
3-14	3階	L会議室1~5	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2600	スクリーンBOX
3-15	3階	執務室	±0 -300	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	クリア塗装(白艶消し) PC床板	2600~3600	設備プレート PC床板現し
3-16	3階	局長室1・2	±0 -300	タイルカーペット OA	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	不燃木ルーバー H50	2500	ガラスパーティション・ブラインド・造作棚
3-17	3階	S会議室1・2	±0 -300	タイルカーペット OA	-	不燃木板貼 スチールパーティション	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
3-18	3階	収納エリア(執務室内)	±0 -300	タイルカーペット OA	-	不燃木板貼 スチールパーティション	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
3-19	3階	カウンターエリア(執務室内)	±0 -300	タイルカーペット OA	-	不燃木板貼 スチールパーティション	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装

内部仕上表

番号	階	室名	仕上	床	巾木	壁	天井	天井高	備考 ( ) 内事業費外工事
			躯体	下地		下地	下地		
3-20	3階	相談室1~4	±0 -300	タイルカーベット OA	-	不燃木板貼 スチールパーティション	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
3-21	3階	相談室5~8	±0 -300	タイルカーベット OA	-	不燃木板貼 スチールパーティション	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
3-22	3階	廊下2・3	±0 -300	タイルカーベット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
3-23	3階	ELVホール2・乗降ロビー2	±0 -10	タイルカーベット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	天井内塗装
3-24	3階	更衣室	±0 -10	タイルカーベット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード -	2400	カーテン・カーテンレール
3-25	3階	M会議室1・2	±0 -10	タイルカーベット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2400	ガラスパーティション・ブラインド
3-26	3階	書庫	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2400	ブラインド
3-27	3階	ELVホール3	±0 -10	タイルカーベット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	天井内塗装
4-1	4階	幹部会議室	±0 -10	ロールカーベット RC	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	織物クロス 石膏ボード	2600~2800	
4-2	4階	前室1	±0 -10	ロールカーベット RC	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	織物クロス 石膏ボード	2400	
4-3	4階	ELVホール1	±0 -10	タイルカーベット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	石膏ボード	2400	
4-4	4階	乗降ロビー1	±0 -10	タイルカーベット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	石膏ボード	2400	
4-5	4階	廊下1	±0 -10	タイルカーベット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	石膏ボード	2400	
4-6	4階	市長応接室	±0 -10	ロールカーベット RC	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	織物クロス 石膏ボード	2800	
4-7	4階	前室2	±0 -10	ロールカーベット RC	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	織物クロス 石膏ボード	2400	
4-8	4階	市長室	±0 -10	ロールカーベット RC	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	織物クロス 石膏ボード	2800	木造作棚(檜)・木造作り戸棚(檜)・ピク チャーレール・洗面カウンター
4-9	4階	副市長室1~2	±0 -10	ロールカーベット RC	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	織物クロス 石膏ボード	2800	木造作棚(檜)・木造作り戸棚(檜)・ピク チャーレール
4-10	4階	応接室	±0 -10	ロールカーベット RC	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	織物クロス 石膏ボード	2800	木造作棚(檜)・木造作り戸棚(檜)・ピク チャーレール
4-11	4階	更衣室(市長・副市長室・応接室)	±0 -10	タイルカーベット RC	ビニル H60	織物クロス 石膏ボード	織物クロス 石膏ボード	2800	カーテン・カーテンレール・木造作衣裳棚
4-12	4階	待合室1・2	±0 -10	ロールカーベット RC	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	織物クロス 石膏ボード	2800	
4-13	4階	待合スペース	±0 -10	ロールカーベット RC	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	織物クロス 石膏ボード	2600	
4-14	4階	秘書課執務室	±0 -100	タイルカーベット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2400~2600	木造作カウンター
4-15	4階	前室3	±0 -10	ロールカーベット RC	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	織物クロス 石膏ボード	2400	
4-16	4階	記者会見室(1)	±0 -10	タイルカーベット RC	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2400	
4-17	4階	記者会見室(2)	±0 -100	タイルカーベット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2500	ブラインド
4-18	4階	記者室	±0 -100	タイルカーベット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2500	ブラインド
4-19	4階	秘書課報道室	±0 -100	タイルカーベット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2500	ブラインド
4-20	4階	国際交流課執務室	±0 -100	タイルカーベット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2500	ブラインド
4-21	4階	執務室	±0 -300	タイルカーベット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 PC床板	2600~3600	設備プレート
4-22	4階	局長室1・2	±0 -300	タイルカーベット OA	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	不燃木ルーバー H50	2500	ガラスパーティション・ブラインド・造作棚
4-23	4階	S会議室1	±0 -300	タイルカーベット OA	-	不燃木板貼 スチールパーティション	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
4-24	4階	収納エリア(執務室内)	±0 -300	タイルカーベット OA	-	不燃木板貼 スチールパーティション	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装

番号	階	室名	仕上	床	巾木	壁	天井	天井高	備考 ( ) 内事業費外工事
			躯体	下地		下地	下地		
4-25	4階	カウンターエリア(執務室内)	±0 -300	タイルカーベット OA	-	不燃木板貼 スチールパーティション	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
4-26	4階	相談室1~4	±0 -300	タイルカーベット OA	-	不燃木板貼 スチールパーティション	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
4-27	4階	相談室5~8	±0 -300	タイルカーベット OA	-	不燃木板貼 スチールパーティション	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
4-28	4階	廊下2・3	±0 -300	タイルカーベット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
4-29	4階	ELVホール2・乗降ロビー2	±0 -10	タイルカーベット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	天井内塗装
4-30	4階	更衣室	±0 -10	タイルカーベット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード -	2400	カーテン・カーテンレール
4-31	4階	調停室	±0 -300	タイルカーベット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2400	ブラインド
4-32	4階	M会議室1	±0 -10	タイルカーベット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2400	ブラインド
4-33	4階	S会議室2	±0 -10	タイルカーベット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2400	ブラインド
4-34	4階	書庫	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2400	ブラインド
4-35	4階	倉庫	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード 石膏ボード	2400	
4-36	4階	ELVホール3	±0 -10	タイルカーベット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	天井内塗装
5-1	5階	サーバー室	+400 -300	ビニルタイル(重敷) 三次免震床	ビニル H60	グラスウールボード ガラスクロス押え	グラスウールボード ガラスクロス押え	直天	
5-2	5階	通信機器操作室 ・防災無線室	+400 -300	ビニルタイル(重敷) 三次免震床	ビニル H60	グラスウールボード ガラスクロス押え	グラスウールボード ガラスクロス押え	2400	
5-3	5階	ELVホール1	±0 -10	タイルカーベット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	
5-4	5階	乗降ロビー1	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	石膏ボード	2400	
5-5	5階	廊下1	±0 -300	タイルカーベット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	天井内塗装
5-6	5階	執務室	±0 -300	タイルカーベット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	クリア塗装(白艶消し) PC床板	2600~3600	設備プレート・ブラインド
5-7	5階	局長室1・2	±0 -300	タイルカーベット OA	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	不燃木ルーバー H50	2500	ガラスパーティション・ブラインド・造作棚
5-8	5階	S会議室4	±0 -300	タイルカーベット OA	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	不燃木ルーバー H50	2500	ガラスパーティション・ブラインド・造作棚
5-9	5階	書庫(執務室内)	±0 -300	タイルカーベット OA	-	不燃木板貼 スチールパーティション	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
5-10	5階	収納エリア(執務室内)	±0 -300	タイルカーベット OA	-	不燃木板貼 スチールパーティション	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
5-11	5階	カウンターエリア(執務室内)	±0 -300	タイルカーベット OA	-	不燃木板貼 スチールパーティション	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
5-12	5階	S会議室1~3	±0 -300	タイルカーベット OA	-	不燃木板貼 スチールパーティション	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
5-13	5階	人事会議室	±0 -300	タイルカーベット OA	-	不燃木板貼 スチールパーティション	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
5-14	5階	人材会議室	±0 -300	タイルカーベット OA	-	不燃木板貼 スチールパーティション	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
5-15	5階	給与会議室	±0 -300	タイルカーベット OA	-	不燃木板貼 スチールパーティション	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
5-16	5階	相談室2	±0 -300	タイルカーベット OA	-	不燃木板貼 スチールパーティション	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
5-17	5階	M会議室1	±0 -300	タイルカーベット OA	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	アルミルーバー H50	2500	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
5-18	5階	チャレンジオフィスちばし	±0 -10	タイルカーベット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2500	
5-19	5階	包括外部監査入室	±0 -10	タイルカーベット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2500	
5-20	5階	相談室1	±0 -10	タイルカーベット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2500	ガラスパーティション・ブラインド・壁面一部 不燃木パネル

内部仕上表

番号	階	室名	仕上	床	巾木	壁	天井	天井高	備考 ( ) 内事業費外工事
			躯体	下地		下地	下地		
5-21	5階	倉庫	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード -	2400	
5-22	5階	更衣室	±0 -10	タイルカーベツト RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード 石膏ボード	2500	
5-23	5階	ELVホール2・乗降ロビー2	±0 -10	タイルカーベツト RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	天井内塗装
5-24	5階	廊下2	±0 -300	タイルカーベツト OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内GWBガラスクロス押え・天井内塗装
5-25	5階	全員協議会室	±0 -300	タイルカーベツト OA	ビニル H60	織物クロス 石膏ボード	織物クロス 石膏ボード	2700	
5-26	5階	本会議場ロビー1・2	±0 -10	タイルカーベツト RC	ビニル H60	織物クロス 石膏ボード	不燃木ルーバー H20	2400	
5-27	5階	廊下3・4	±0 -10	タイルカーベツト RC	ビニル H60	織物クロス 石膏ボード	織物クロス 石膏ボード	2400	
5-28	5階	打合せ室	±0 -10	タイルカーベツト RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2400	
5-29	5階	理事会室	±0 -10	タイルカーベツト RC	ビニル H60	織物クロス 石膏ボード	織物クロス 石膏ボード	2600	
5-30	5階	議員控室	±0 -100	タイルカーベツト OA	ビニル H60	織物クロス 石膏ボード	織物クロス 石膏ボード	2600	
5-31	5階	文書保管庫	±0 -10	タイルカーベツト RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード -	2400	
5-32	5階	コピー室	±0 -10	タイルカーベツト RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード -	2400	
5-33	5階	説明員控室1・2	±0 -10	タイルカーベツト RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2400	
5-34	5階	本会議場	±0 -300	ロールカーベツト 鋼製床組	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	不燃木ルーバー 岩綿吸音板	10550	議場家具、天井内GWBガラスクロス押え
5-35	5階	ELVホール3	±0 -10	タイルカーベツト RC	ビニル H60	織物クロス 石膏ボード	不燃木ルーバー H20	2400	天井内塗装
6-1	6階	ELVホール1	±0 -10	タイルカーベツト RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	天井内塗装
6-2	6階	乗降ロビー1	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2400	
6-3	6階	廊下1	±0 -300	タイルカーベツト OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内GWBガラスクロス押え・天井内塗装
6-4	6階	執務室	±0 -300	タイルカーベツト OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	クリア塗装(白艶消し) PC床板 PC床板現し	2600~3600	設備プレート・ブラインド
6-5	6階	局長室1~3	±0 -300	タイルカーベツト OA	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	不燃木ルーバー H50	2500	ガラスパーティション・ブラインド・造作棚
6-6	6階	固定資産評価員室	±0 -300	タイルカーベツト OA	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	不燃木ルーバー H50	2500	ブラインド
6-7	6階	書庫(執務室内)	±0 -300	タイルカーベツト OA	-	不燃木板貼 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内GWBガラスクロス押え・天井内塗装
6-8	6階	収納エリア(執務室内)	±0 -300	タイルカーベツト OA	-	不燃木板貼 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内GWBガラスクロス押え・天井内塗装
6-9	6階	カウンターエリア(執務室内)	±0 -300	タイルカーベツト OA	-	不燃木板貼 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内GWBガラスクロス押え・天井内塗装
6-10	6階	相談室1~4	±0 -300	タイルカーベツト OA	-	不燃木板貼 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内GWBガラスクロス押え・天井内塗装
6-11	6階	S会議室1・2	±0 -10	タイルカーベツト RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2500	ガラスパーティション・ブラインド
6-12	6階	M会議室	±0 -10	タイルカーベツト RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2500	ガラスパーティション・ブラインド
6-13	6階	更衣室	±0 -10	タイルカーベツト RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード -	2500	カーテン・カーテンレール
6-14	6階	倉庫	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード 石膏ボード	2400	
6-15	6階	ELVホール2・乗降ロビー2	±0 -10	タイルカーベツト RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	天井内塗装
6-16	6階	廊下2・待合	±0 -300	タイルカーベツト OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内GWBガラスクロス押え・天井内塗装
6-17	6階	入札室(1)	±0 -300	タイルカーベツト OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	クリア塗装(白艶消し) PC床板 PC床板現し	2600~3600	設備プレート・スクリーンBOX

番号	階	室名	仕上	床	巾木	壁	天井	天井高	備考 ( ) 内事業費外工事
			躯体	下地		下地	下地		
6-18	6階	傍聴ロビー1・2	±0 -10	タイルカーベツト RC	ビニル H60	織物クロス 石膏ボード	不燃木ルーバー H20	2400	天井内塗装
6-19	6階	廊下3・4	±0 -10	タイルカーベツト RC	ビニル H60	織物クロス 石膏ボード	織物クロス 石膏ボード	2400	ハイサイドライト
6-20	6階	委員会室1	±0 -300	タイルカーベツト OA	木 H60	織物クロス 石膏ボード	織物クロス 石膏ボード	2700	
6-21	6階	委員会室2~5	±0 -10	タイルカーベツト RC	木 H60	織物クロス 石膏ボード	織物クロス 石膏ボード	2600	
6-22	6階	議員応接室1~4	±0 -10	タイルカーベツト RC	木 H60	織物クロス 石膏ボード	織物クロス 石膏ボード	2600	木造作棚・木造つくり戸棚
6-23	6階	陳情受付	±0 -10	タイルカーベツト RC	木 H60	織物クロス 石膏ボード	織物クロス 石膏ボード	2600	
6-24	6階	コピー室	±0 -10	タイルカーベツト RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード -	2400	
6-25	6階	議会議務局執務室	±0 -100	タイルカーベツト OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2600	カウンター
6-26	6階	局長室4	±0 -100	タイルカーベツト OA	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	不燃木ルーバー H50	2600	天井内塗装
6-27	6階	前室	±0 -10	ロールカーベツト RC	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	織物クロス 石膏ボード	2600	
6-28	6階	議長室	±0 -10	ロールカーベツト RC	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	織物クロス 石膏ボード	2600	木造作棚(檜)・木造つくり戸棚(檜)・ビクチャーレール
6-29	6階	議長応接室	±0 -10	ロールカーベツト RC	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	織物クロス 石膏ボード	2600	木造作棚(檜)・木造つくり戸棚(檜)・ビクチャーレール
6-30	6階	副議長室	±0 -10	ロールカーベツト RC	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	織物クロス 石膏ボード	2600	木造作棚(檜)・木造つくり戸棚(檜)・ビクチャーレール
6-31	6階	ELVホール3	±0 -10	タイルカーベツト RC	ビニル H60	織物クロス 石膏ボード	不燃木ルーバー H50	2400	天井内塗装
6-32	6階	傍聴席・記者席	±0 -300	ロールカーベツト 鋼製床組	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	不燃木ルーバー H500	6300	傍聴席・天井内塗装
6-33	6階	親子ルーム・車いすルーム	±0 -300	ロールカーベツト 鋼製床組	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2400	防音合わせガラス 傍聴席
6-34	6階	放送ブース	±0 -300	タイルカーベツト OA	ビニル H60	有孔ボード 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2400	防音合わせガラス
7-1	7階	ELVホール1	±0 -10	タイルカーベツト RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	天井内塗装
7-2	7階	乗降ロビー1	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2400	
7-3	7階	廊下1	±0 -300	タイルカーベツト OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内GWBガラスクロス押え・天井内塗装
7-4	7階	執務室	±0 -300	タイルカーベツト OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	クリア塗装(白艶消し) PC床板 PC床板現し	2600~3600	設備プレート・ブラインド
7-5	7階	局長室1・2	±0 -300	タイルカーベツト OA	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	不燃木ルーバー H50	2500	ガラスパーティション・ブラインド・造作棚
7-6	7階	S会議室4・5	±0 -300	タイルカーベツト OA	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	不燃木ルーバー H50	2500	ガラスパーティション・ブラインド・造作棚
7-7	7階	農業委員会会議室	±0 -300	タイルカーベツト OA	-	不燃木板貼 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内GWBガラスクロス押え・天井内塗装
7-8	7階	書庫(執務室内)	±0 -300	タイルカーベツト OA	-	不燃木板貼 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内GWBガラスクロス押え・天井内塗装
7-9	7階	収納エリア(執務室内)	±0 -300	タイルカーベツト OA	-	不燃木板貼 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内GWBガラスクロス押え・天井内塗装
7-10	7階	カウンターエリア(執務室内)	±0 -300	タイルカーベツト OA	-	不燃木板貼 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内GWBガラスクロス押え・天井内塗装
7-11	7階	相談室1~3	±0 -300	タイルカーベツト OA	-	不燃木板貼 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内GWBガラスクロス押え・天井内塗装
7-12	7階	相談室4~7	±0 -300	タイルカーベツト OA	-	不燃木板貼 石膏ボード	クリア塗装(白艶消し) PC床板 PC床板現し	2600~3600	ガラスパーティション自立・ブラインド・天井内GWBガラスクロス押え・天井内塗装
7-13	7階	S会議室3	±0 -300	タイルカーベツト OA	-	不燃木板貼 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内GWBガラスクロス押え・天井内塗装
7-14	7階	S会議室1・2	±0 -10	タイルカーベツト RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2500	ガラスパーティション・ブラインド
7-15	7階	M会議室	±0 -10	タイルカーベツト RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2500	ガラスパーティション・ブラインド

内部仕上表

番号	階	室名	仕上	床	巾木	壁	天井	天井高	備考 ( ) 内事業費外工事
			躯体	下地		下地	下地		
7-16	7階	更衣室	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード -	2500	カーテン・カーテンレール
7-17	7階	倉庫	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード 石膏ボード	2400	
7-18	7階	ELVホール2・乗降口ビ-2	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	天井内塗装
7-19	7階	廊下2	±0 -300	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
7-20	7階	打合せコーナー	±0 -300	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	クリア塗装(白艶消し) PC床板 PC床板現し	2600~3600	設備プレート・ブラインド
7-21	7階	議会図書室	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2600	ガラスパーティション・ブラインド
7-22	7階	ELVホール3	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	天井内塗装・防音合わせガラス
8-1	8階	ELVホール1	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	天井内塗装
8-2	8階	乗降口ビ-1	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2400	
8-3	8階	廊下1	±0 -300	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
8-4	8階	IT研修室	±0 -300	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	クリア塗装(白艶消し) PC床板 PC床板現し	2600~3600	設備プレート
8-5	8階	執務室	±0 -300	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	クリア塗装(白艶消し) PC床板 PC床板現し	2600~3600	設備プレート・ブラインド
8-6	8階	病院事業管理者室	±0 -300	タイルカーペット OA	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	不燃木ルーバー H50	2500	ガラスパーティション・ブラインド・造作棚
8-7	8階	局長室1・2	±0 -300	タイルカーペット OA	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	不燃木ルーバー H50	2500	ガラスパーティション・ブラインド・造作棚
8-8	8階	S会議室4	±0 -300	タイルカーペット OA	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	不燃木ルーバー H50	2500	ガラスパーティション・ブラインド・造作棚
8-9	8階	書庫(執務室内)	±0 -300	タイルカーペット OA	-	不燃木板貼 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
8-10	8階	収納エリア(執務室内)	±0 -300	タイルカーペット OA	-	不燃木板貼 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
8-11	8階	カウンターエリア(執務室内)	±0 -300	タイルカーペット OA	-	不燃木板貼 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
8-12	8階	S会議室1~3	±0 -300	タイルカーペット OA	-	不燃木板貼 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
8-13	8階	相談室1	±0 -300	タイルカーペット OA	-	不燃木板貼 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
8-14	8階	相談室2~5	±0 -300	タイルカーペット OA	-	不燃木板貼 石膏ボード	クリア塗装(白艶消し) PC床板 PC床板現し	2600~3600	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
8-15	8階	映像等編集室	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2500	ガラスパーティション・ブラインド
8-16	8階	M会議室	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2500	ガラスパーティション・ブラインド
8-17	8階	開示相談室	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2500	
8-18	8階	更衣室	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード -	2500	カーテン・カーテンレール
8-19	8階	倉庫	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード 石膏ボード	2400	
8-20	8階	ELVホール2・乗降口ビ-2	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	天井内塗装
8-21	8階	廊下2	±0 -300	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
8-22	8階	打合せコーナー	±0 -300	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	クリア塗装(白艶消し) PC床板 PC床板現し	2600~3600	設備プレート・ブラインド
9-1	9階	ELVホール1	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	天井内塗装
9-2	9階	乗降口ビ-1	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2400	
9-3	9階	廊下1	±0 -300	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装

番号	階	室名	仕上	床	巾木	壁	天井	天井高	備考 ( ) 内事業費外工事
			躯体	下地		下地	下地		
9-4	9階	執務室	±0 -300	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	クリア塗装(白艶消し) PC床板 PC床板現し	2600~3600	設備プレート・ブラインド
9-5	9階	局長室1・2	±0 -300	タイルカーペット OA	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	不燃木ルーバー H50	2500	ガラスパーティション・ブラインド・造作棚
9-6	9階	S会議室4・5	±0 -300	タイルカーペット OA	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	不燃木ルーバー H50	2500	ガラスパーティション・ブラインド・造作棚
9-7	9階	書庫(執務室内)	±0 -300	タイルカーペット OA	-	不燃木板貼 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
9-8	9階	収納エリア(執務室内)	±0 -300	タイルカーペット OA	-	不燃木板貼 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
9-9	9階	カウンターエリア(執務室内)	±0 -300	タイルカーペット OA	-	不燃木板貼 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
9-10	9階	S会議室3	±0 -300	タイルカーペット OA	-	不燃木板貼 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
9-11	9階	相談室1~3	±0 -300	タイルカーペット OA	-	不燃木板貼 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
9-12	9階	相談室4~7	±0 -300	タイルカーペット OA	-	不燃木板貼 石膏ボード	クリア塗装(白艶消し) PC床板 PC床板現し	2600~3600	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
9-13	9階	S会議室1・2	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2500	ガラスパーティション・ブラインド
9-14	9階	M会議室	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2500	ガラスパーティション・ブラインド
9-15	9階	更衣室	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード -	2500	カーテン・カーテンレール
9-16	9階	倉庫	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード 石膏ボード	2400	
9-17	9階	ELVホール2・乗降口ビ-2	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	天井内塗装
9-18	9階	廊下2	±0 -300	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
9-19	9階	打合せコーナー	±0 -300	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	クリア塗装(白艶消し) PC床板 PC床板現し	2600~3600	設備プレート・ブラインド
10-1	10階	ELVホール1	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	天井内塗装
10-2	10階	乗降口ビ-1	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2400	
10-3	10階	廊下1	±0 -300	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
10-4	10階	互助会室	±0 -300	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	塗装 石膏ボード		設備プレート
10-5	10階	監査委員会執務室	±0 -300	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2600~3000	設備プレート・ブラインド
10-6	10階	監査委員室	±0 -300	タイルカーペット OA	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	織物クロス 石膏ボード	2600	ブラインド・造作棚
10-7	10階	講評室	±0 -300	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
10-8	10階	待合	±0 -300	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2600~3000	
10-9	10階	執務室	±0 -300	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2600~3000	設備プレート・ブラインド
10-10	10階	教職員課執務室	±0 -300	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2600~3000	設備プレート・ブラインド
10-11	10階	局長室1・2	±0 -300	タイルカーペット OA	木 H60	不燃木パネル 石膏ボード	不燃木ルーバー H50	2500	ガラスパーティション・ブラインド・造作棚
10-12	10階	書庫(執務室内)	±0 -300	タイルカーペット OA	-	不燃木板貼 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
10-13	10階	収納エリア(執務室内)	±0 -300	タイルカーペット OA	-	不燃木板貼 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
10-14	10階	カウンターエリア(執務室内)	±0 -300	タイルカーペット OA	-	不燃木板貼 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
10-15	10階	相談室1~3	±0 -300	タイルカーペット OA	-	不燃木板貼 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装
10-16	10階	教育委員会控室	±0 -300	タイルカーペット OA	-	不燃木板貼 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内G WBガラスクロス押え・天井内塗装

内部仕上表

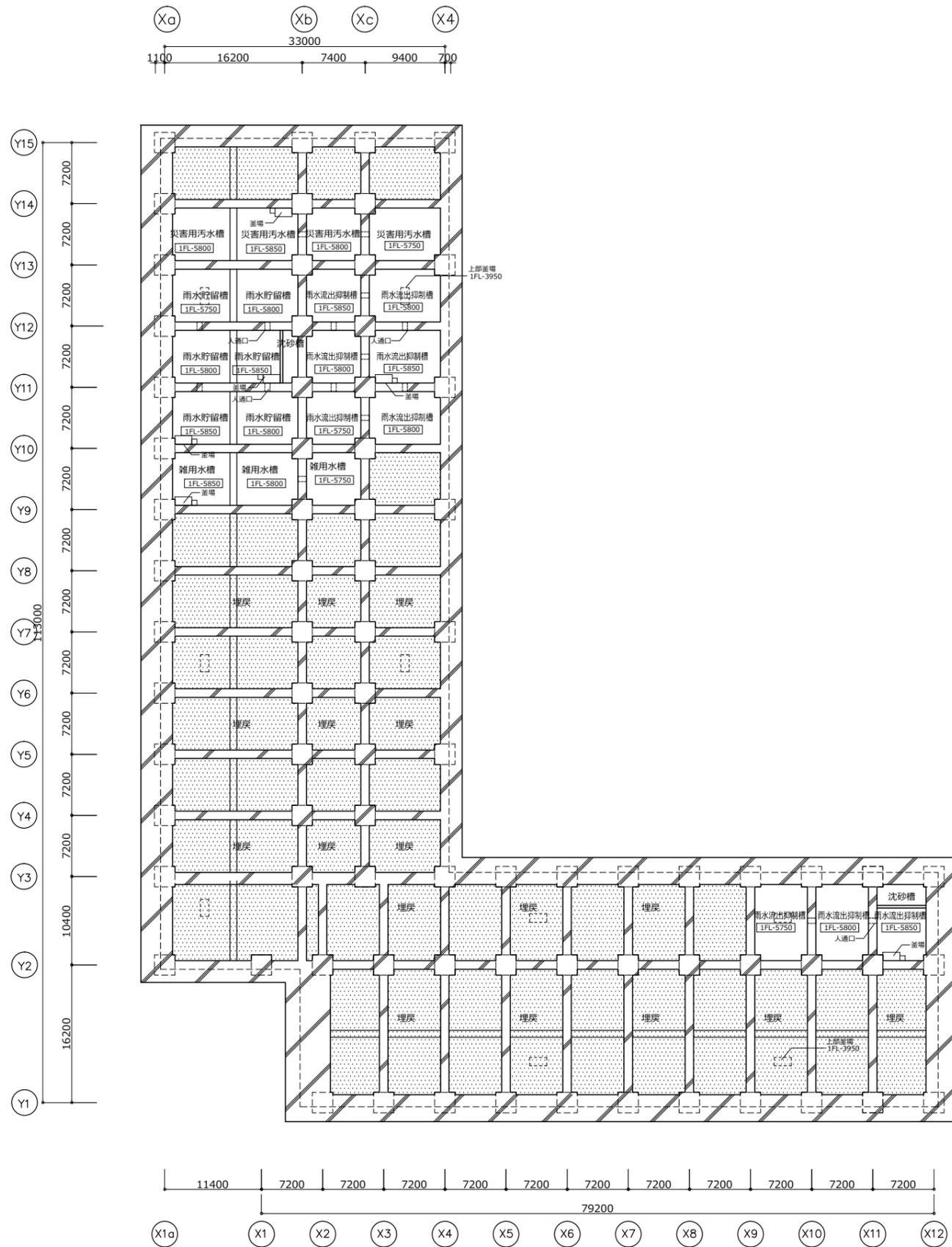
番号	階	室名	仕上	床	巾木	壁	天井	天井高	備考 ( ) 内事業費外工事
			躯体	下地		下地	下地		
10-17	10階	S会議室3	±0 -300	タイルカーペット OA	-	不燃木板貼 スチールパーティション	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内GWBガラスクロス押え・天井内塗装
10-18	10階	選挙管理委員会執務室	±0 -300	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2600~3000	設備プレート・ブラインド
10-19	10階	選挙管理応接室	±0 -300	タイルカーペット OA	-	不燃木板貼 スチールパーティション	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内GWBガラスクロス押え・天井内塗装
10-20	10階	選挙管理会議室	±0 -300	タイルカーペット OA	-	不燃木板貼 スチールパーティション	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内GWBガラスクロス押え・天井内塗装
10-21	10階	人事委員会執務室	±0 -300	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2600~3000	設備プレート・ブラインド
10-22	10階	M会議室	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内GWBガラスクロス押え・天井内塗装
10-23	10階	S会議室1・2	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2500	
10-24	10階	入札室(2)	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2500	ブラインド
10-25	10階	教育委員会会議室	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2500	ブラインド
10-26	10階	更衣室	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード -	2500	カーテン・カーテンレール
10-27	10階	倉庫	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード 石膏ボード	2400	
10-28	10階	ELVホール2・乗降ロビー2	±0 -10	タイルカーペット RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	天井内塗装
10-29	10階	廊下2	±0 -300	タイルカーペット OA	ビニル H60	塗装 石膏ボード	アルミルーバー H50	2400	ガラスパーティション・ブラインド・天井内GWBガラスクロス押え・天井内塗装
11-1	11階	乗降ロビー1	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	岩綿吸音板 石膏ボード	2400	
11-2	11階	消火ポンプ室	±0 -10	エポキシ塗床 RC	-	グラスウールボード ガラスクロス押え	グラスウールボード ガラスクロス押え	-	機械基礎、塗布防水
11-3	11階	倉庫	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	-	-	
11-4	11階	集密書架	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	-	-	集密書架
11-5	11階	電気室	±0 -300	エポキシ塗床 RC	床塗立上 H300	グラスウールボード ガラスクロス押え	グラスウールボード ガラスクロス押え		腰壁RC立上H850、シンダーコン、配線ビット、機械基礎
11-6	11階	熱源機械室	±0 -300	エポキシ塗床 RC	床塗立上 H300	グラスウールボード ガラスクロス押え	グラスウールボード ガラスクロス押え		腰壁RC立上H850、シンダーコン、排水側溝、機械基礎、塗布防水
11-7	11階	廊下	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2800	
11-8	11階	ELVホール2・乗降ロビー2	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	塗装 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2800	
11-9	11階	受水槽室	±0 -300	エポキシ塗床 RC	床塗立上 H300	グラスウールボード ガラスクロス押え	グラスウールボード ガラスクロス押え		腰壁RC立上H850、シンダーコン、機械基礎、塗布防水
0-1	共通	給湯室	±0 -10	長尺塩ビシート RC	ビニル H60	メラミン不燃化粧紙 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2400	ミニキッチン・カウンター・造作食器棚
0-2	共通	MWC	±0 -10	長尺塩ビシート RC	SUS H60	メラミン不燃化粧紙 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2400	トイレブース・手洗いカウンター・手摺・姿見・間接照明付き鏡・ライニング
0-3	共通	WWC	±0 -10	長尺塩ビシート RC	SUS H60	メラミン不燃化粧紙 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2400	トイレブース・手洗いカウンター・手摺・姿見・間接照明付き鏡・パウダーカウンター・ライニング
0-4	共通	HWC	±0 -10	長尺塩ビシート RC	SUS H60	メラミン不燃化粧紙 石膏ボード	塗装 石膏ボード	2400	手摺・ベビーチェア・姿見・フィッティングボード・ベビーベッド・ライニング
0-5	共通	MR・ACR	-300 -300	防塵塗装 RC	-	グラスウールボード ガラスクロス押え	グラスウールボード ガラスクロス押え	-	機械基礎
0-6	共通	PS/EPS/DS	±0 -10	防塵塗装 RC	-	-	-	-	RC立上H150
0-7	1~11階	階段1	-	長尺塩ビシート RC/St	ささらPL H20	塗装 石膏ボード	段裏塗装	-	StFB手摺(塗装)
0-8	1~2階	階段2	-	石貼り RC/St	ささらPL H20	塗装 石膏ボード	段裏塗装	-	StFB手摺(塗装)
0-9	2~3階	階段2	-	フローリング RC/St	ささらPL H20	塗装 石膏ボード	段裏塗装	-	StFB手摺(塗装)
0-10	3~11階	階段2	-	タイルカーペット RC/St	ささらPL H20	塗装 石膏ボード	段裏塗装	-	StFB手摺(塗装)

番号	階	室名	仕上	床	巾木	壁	天井	天井高	備考 ( ) 内事業費外工事
			躯体	下地		下地	下地		
0-11	1~2階	階段3	-	石貼り RC/St	ささらPL H20	塗装 石膏ボード	段裏塗装	-	StFB手摺(塗装)
0-12	2~3階	階段3	-	フローリング RC/St	ささらPL H20	塗装 石膏ボード	段裏塗装	-	StFB手摺(塗装)
0-13	3~7階	階段3	-	タイルカーペット RC/St	ささらPL H20	塗装 石膏ボード	段裏塗装	-	StFB手摺(塗装)
0-14	1~2階	階段4	-	畳めつきリン酸処理 St	ささらPL H20	フッ素樹脂塗装 押出成型セメント板	-	-	StFB手摺(溶融亜鉛めっきリン酸処理)
0-15	3~6階	階段5	-	タイルカーペット RC/St	ささらPL H20	塗装 石膏ボード	段裏塗装	-	StFB手摺(塗装)
0-16	5~10階	階段6	-	タイルカーペット RC/St	ささらPL H20	塗装 石膏ボード	段裏塗装	-	StFB手摺(塗装)
0-17	5~6階	階段7	-	タイルカーペット RC/St	ささらPL H20	塗装 石膏ボード	段裏塗装	-	StFB手摺(塗装)

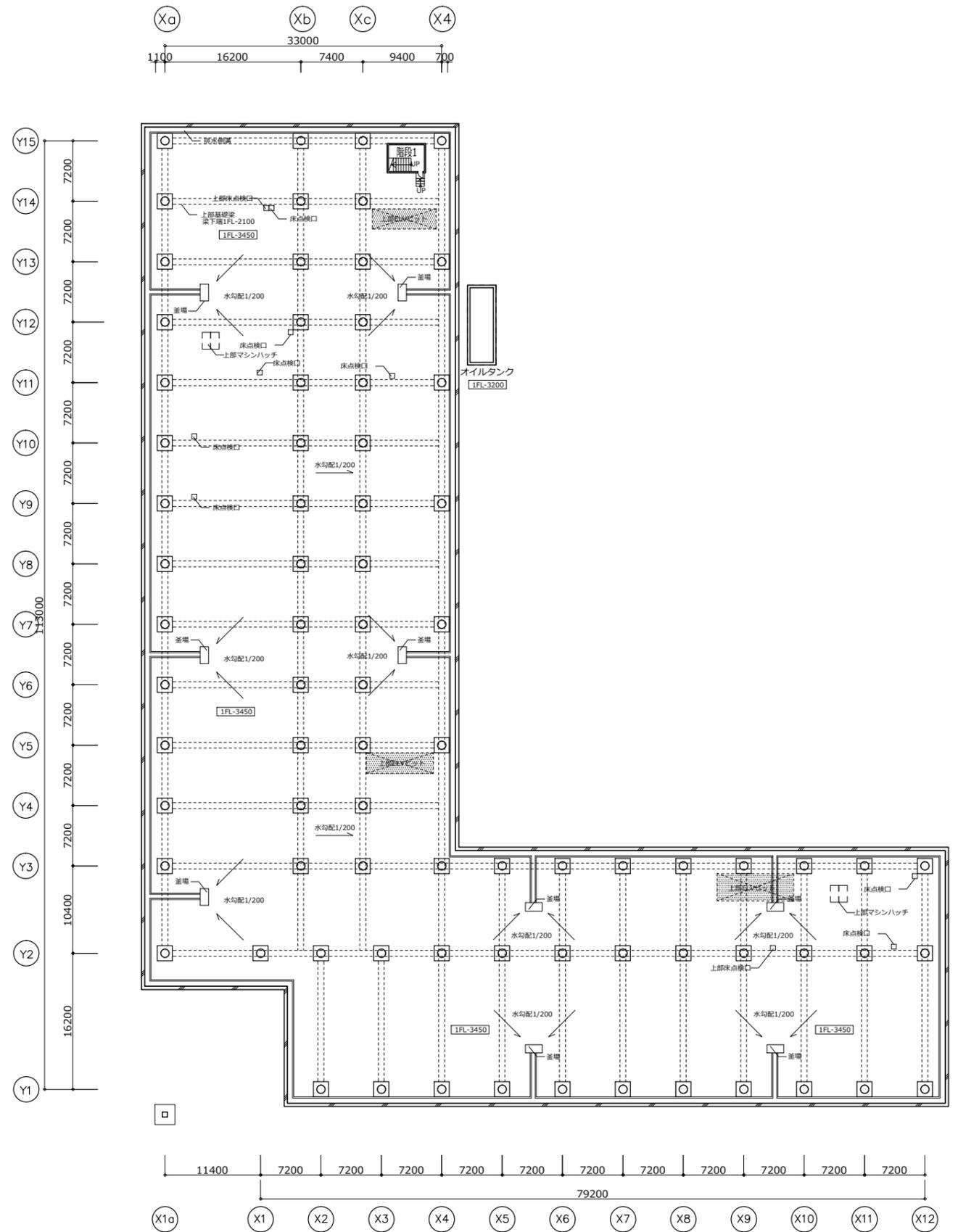
倉庫・密閉型車庫

番号	階	室名	仕上	床	巾木	壁	天井	天井高	備考
			躯体	下地		下地	下地		
倉庫	1階	倉庫	±0 -10	エポキシ塗床 RC/土間	ビニル H60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード -	3000	天井 グラスウール敷き込み 外壁廻り内壁 LGS下地 グラスウール充填
密閉型 車庫	1階	車両整備所	±0 -10	エポキシ塗床 RC/土間	RC目地分か れH60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード -	3000	天井 グラスウール敷き込み 外壁廻り内壁 LGS下地 グラスウール充填
	1階	車両部品庫	±0 -10	エポキシ塗床 RC/土間	RC目地分か れH60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード -	3000	天井 グラスウール敷き込み 外壁廻り内壁 LGS下地 グラスウール充填
	1階	車庫	±0 -10	エポキシ塗床 RC/土間	RC目地分か れH60	塗装 石膏ボード	化粧石膏ボード -	3000	天井 グラスウール敷き込み 外壁廻り内壁 LGS下地 グラスウール充填 車止め700、ガンソリトラップ





ピット平面図



地下免震階平面図





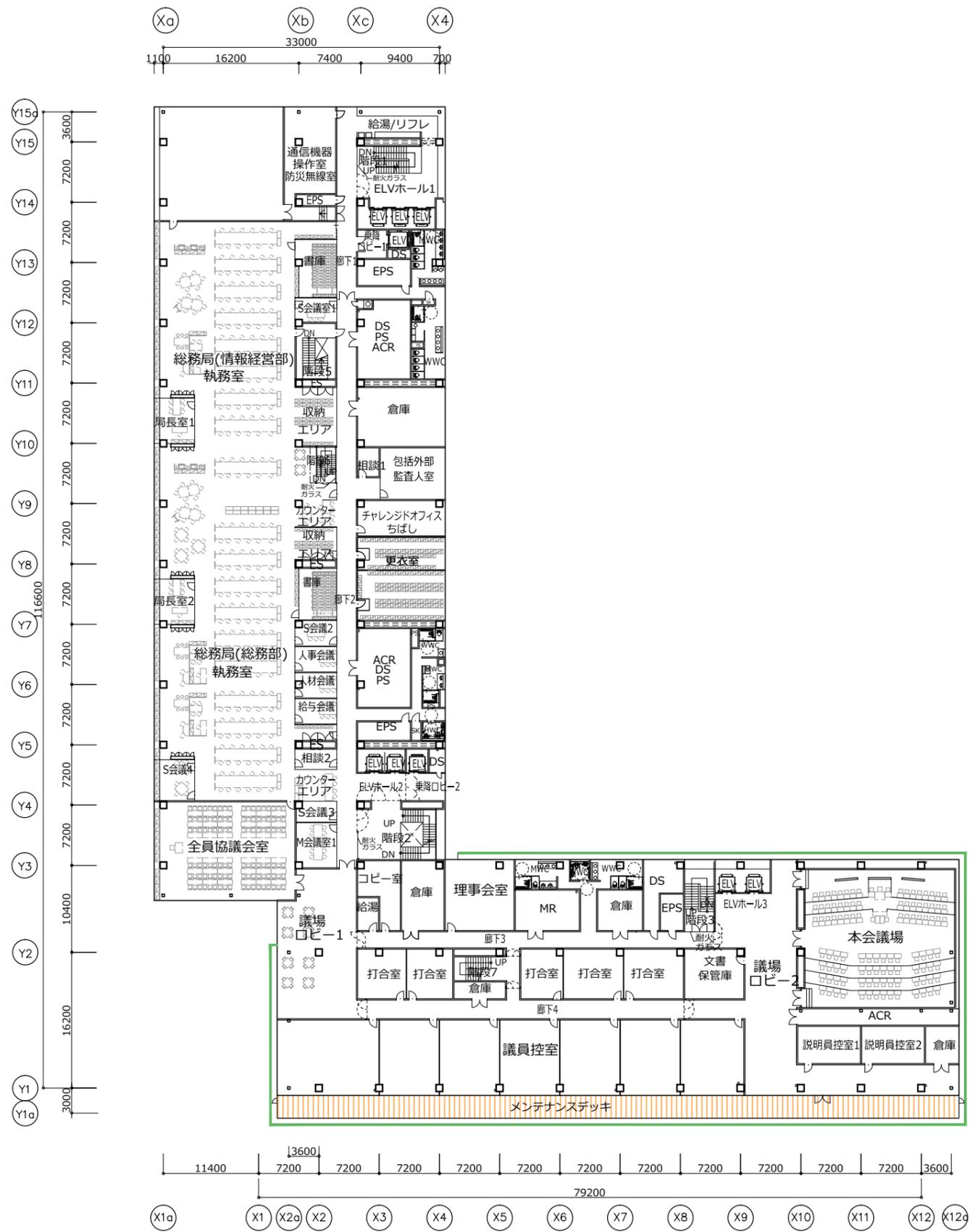


2階平面図

将来活用検討地

新庁舎





5階平面図

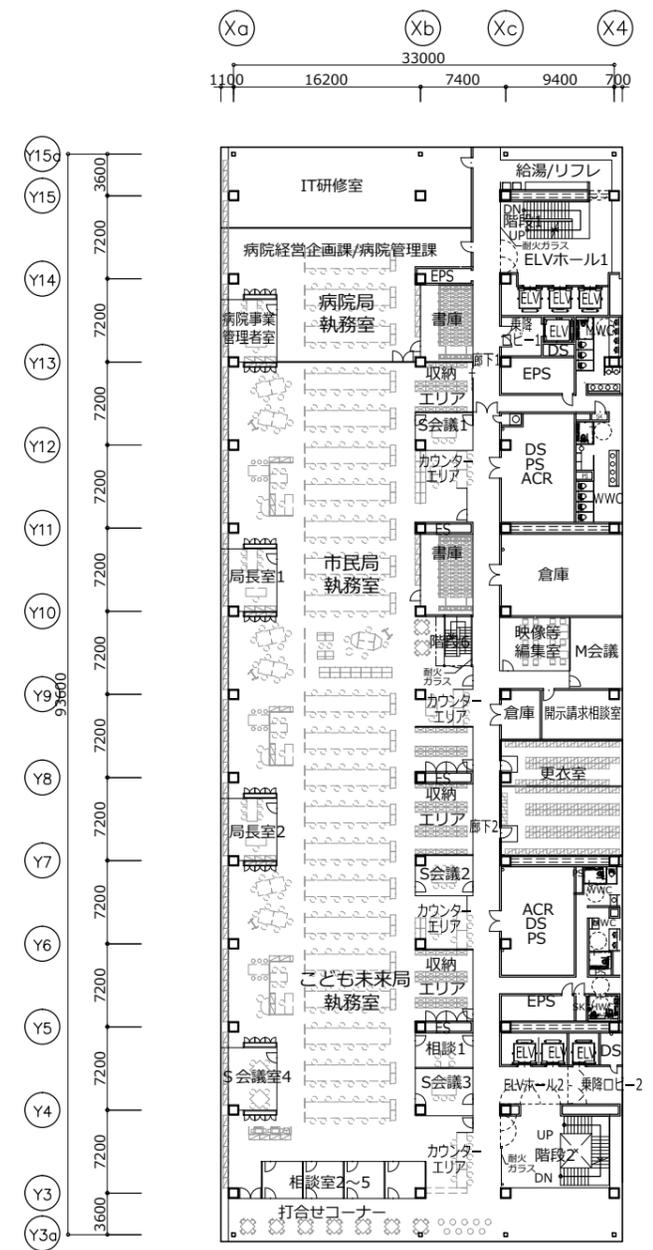


6階平面図

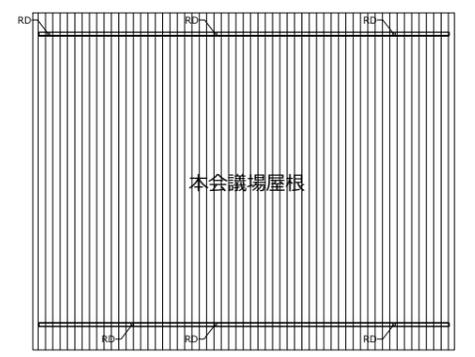


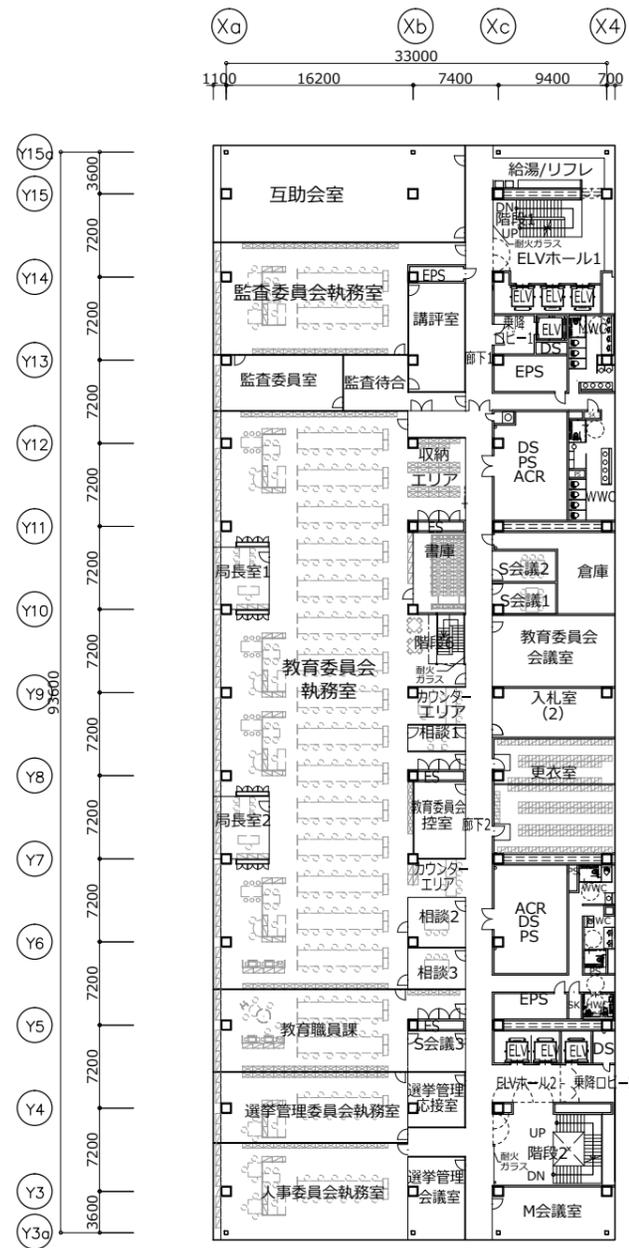
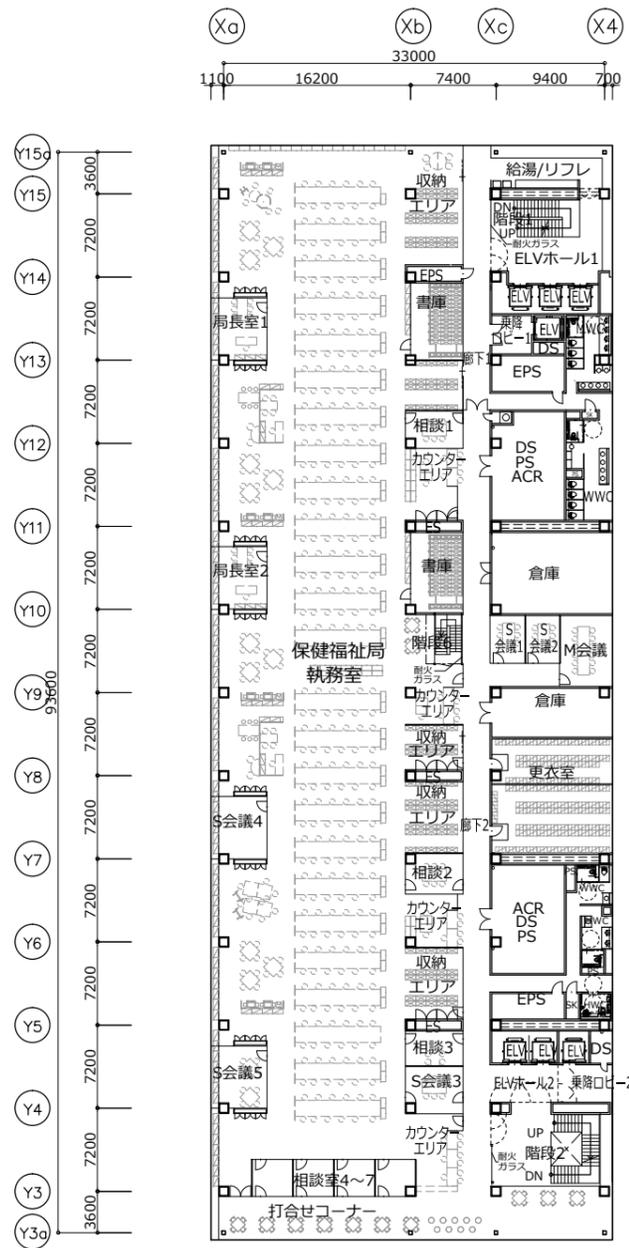


7階平面図



8階平面図

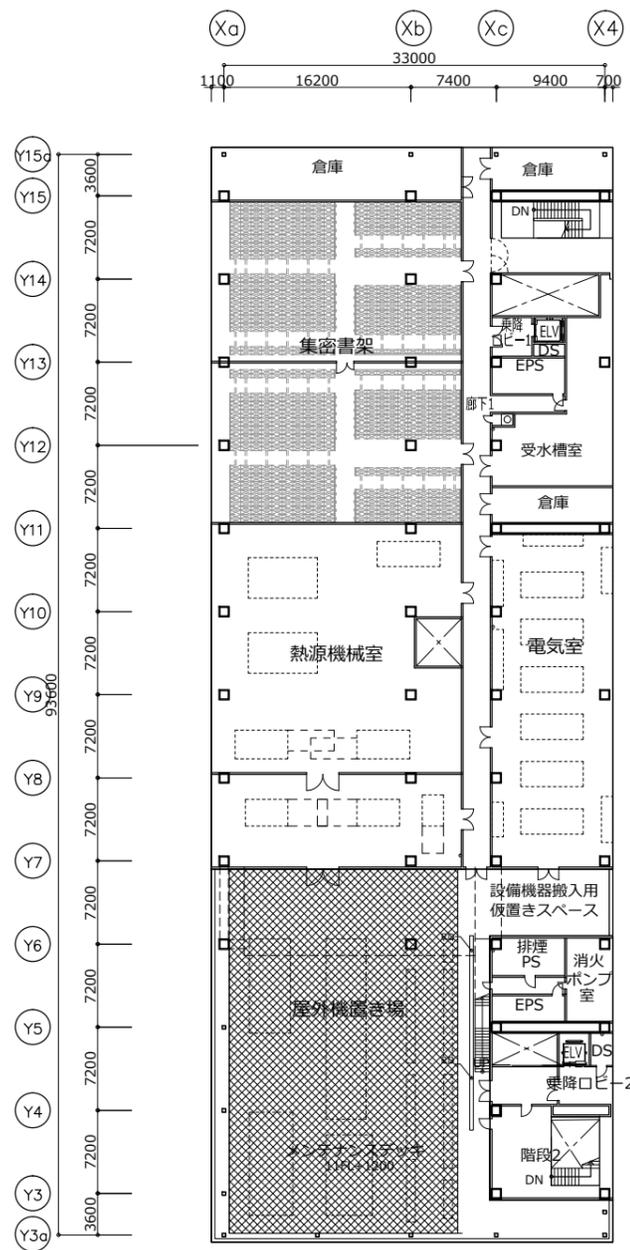




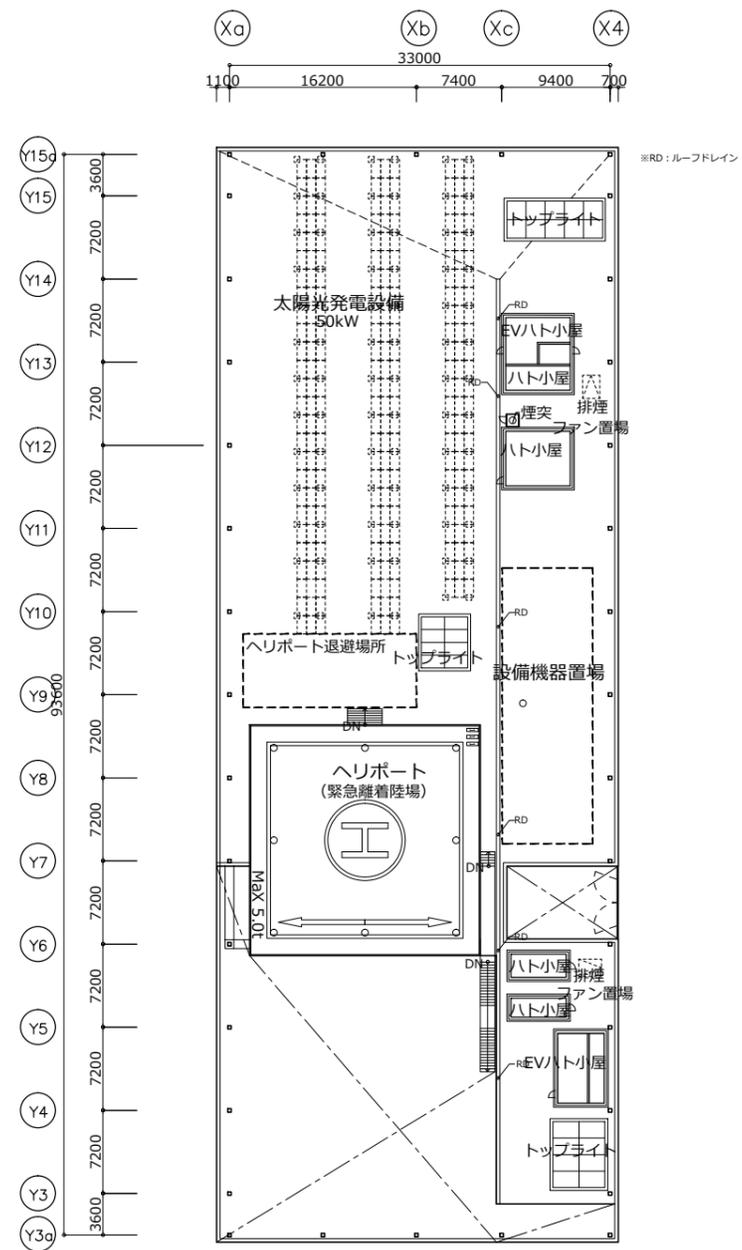
9階平面図

10階平面図



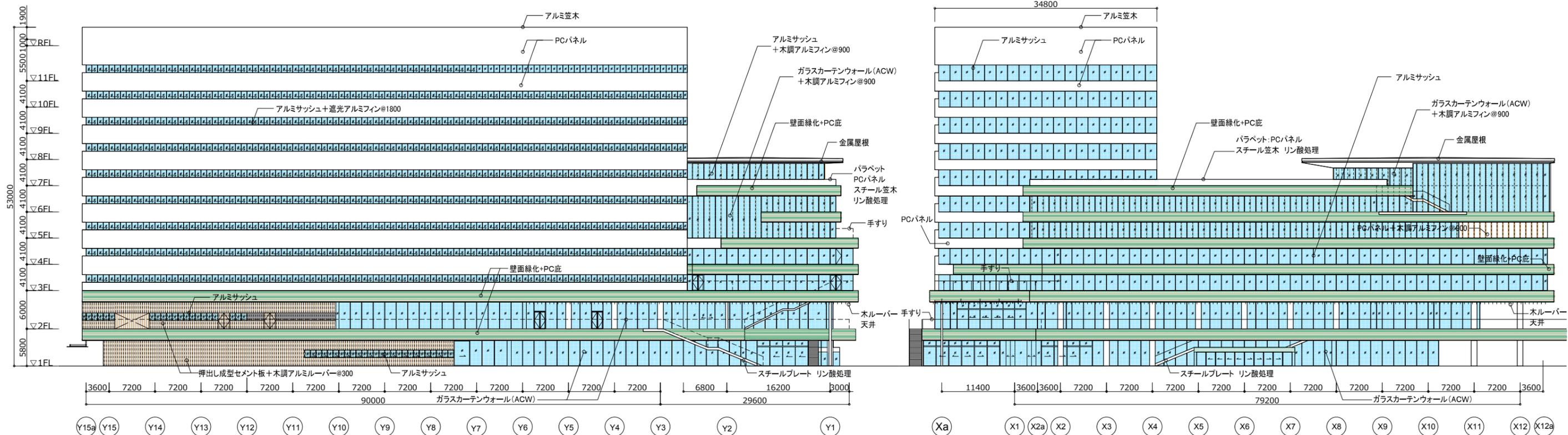


11階平面図



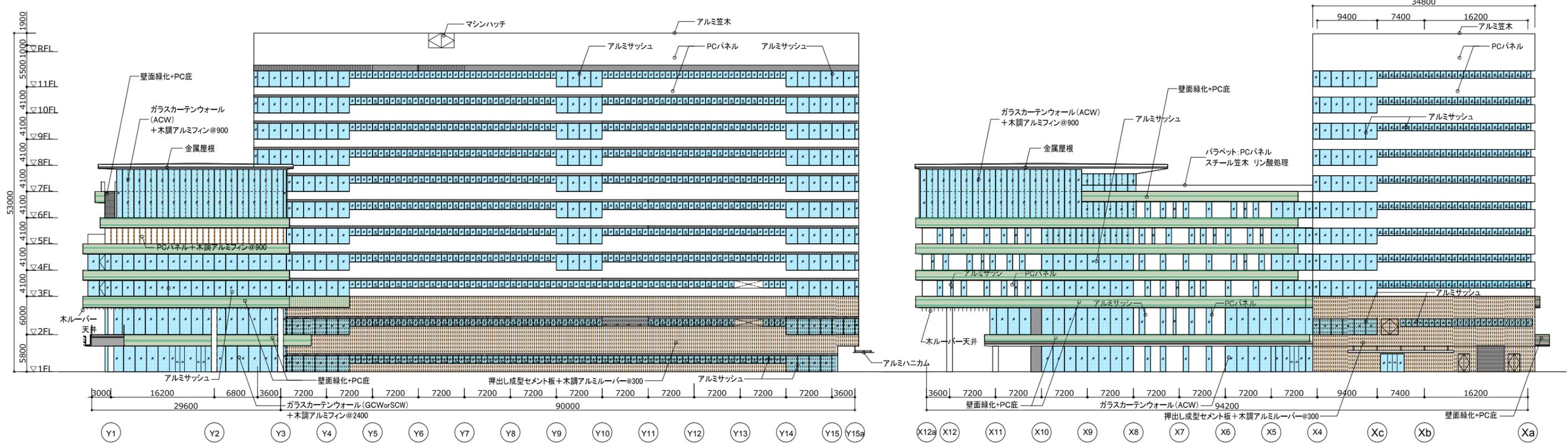
R階平面図





南西立面図

南東立面図

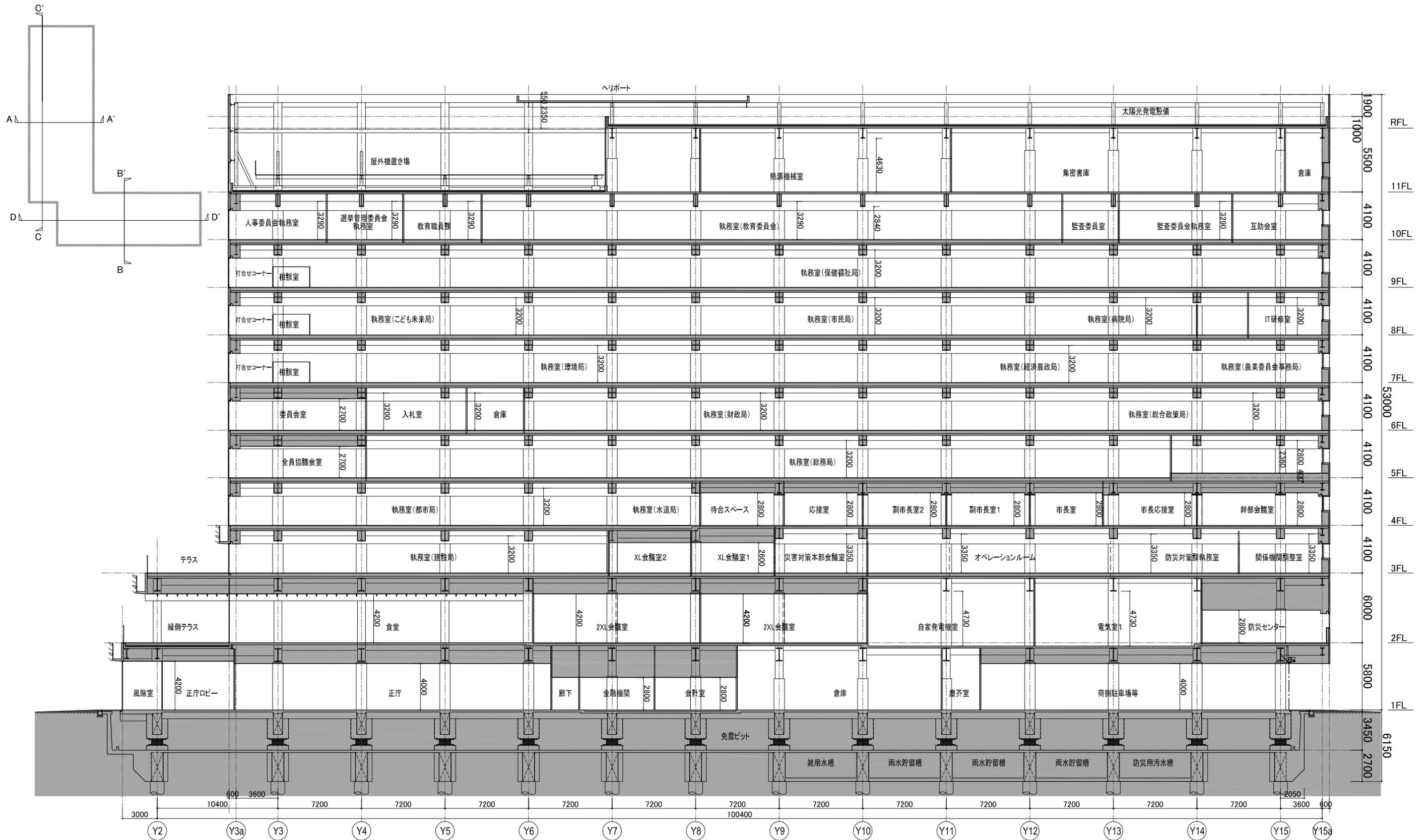


北東立面図

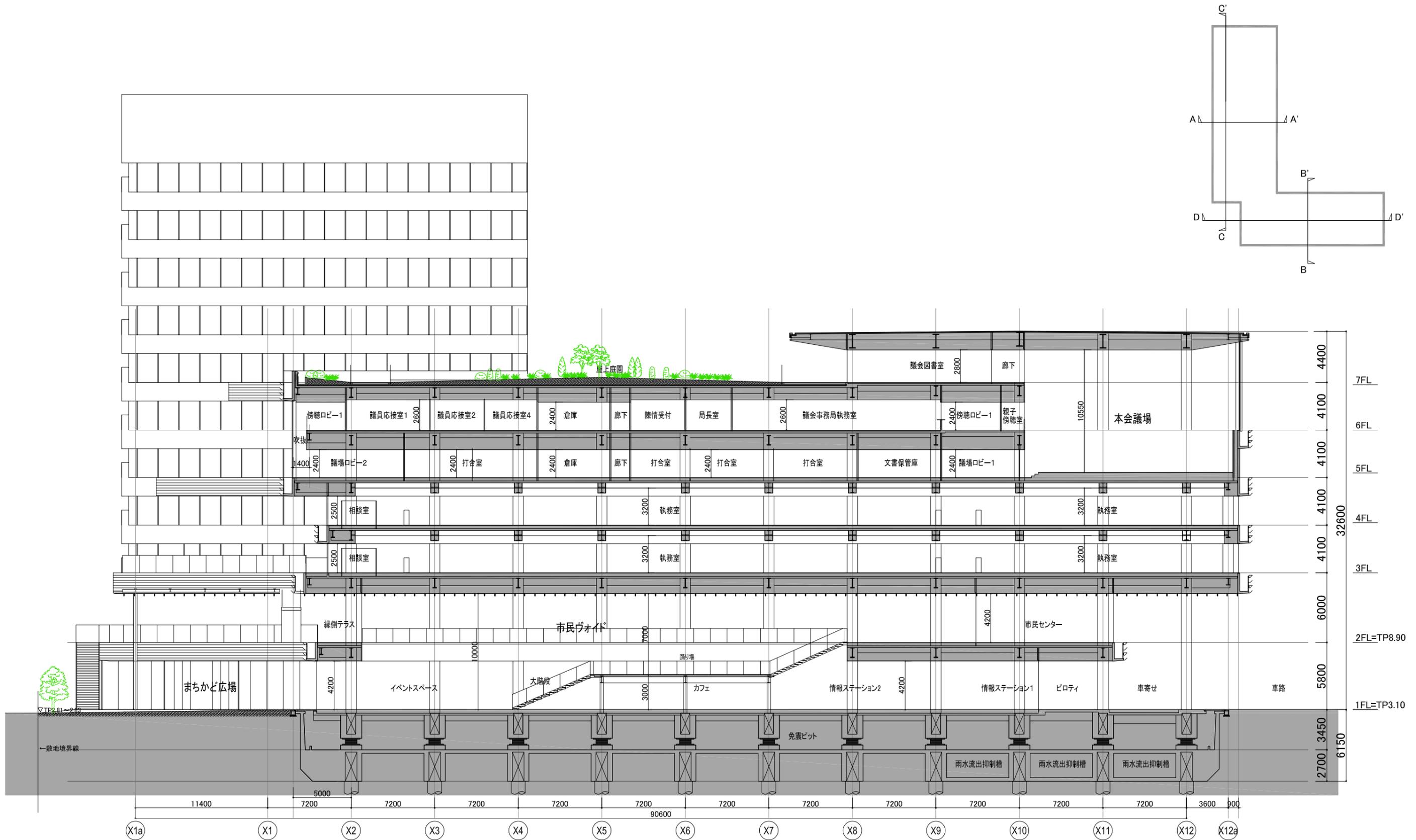
北西立面図

	アルミガラリ開口率30% (フッ素樹脂焼付塗装)		Low-eガラス複層板	手すり: 強化ガラス自立型
	リブ付アルミスパンデル (フッ素樹脂焼付塗装)		壁面緑化+P C庇	

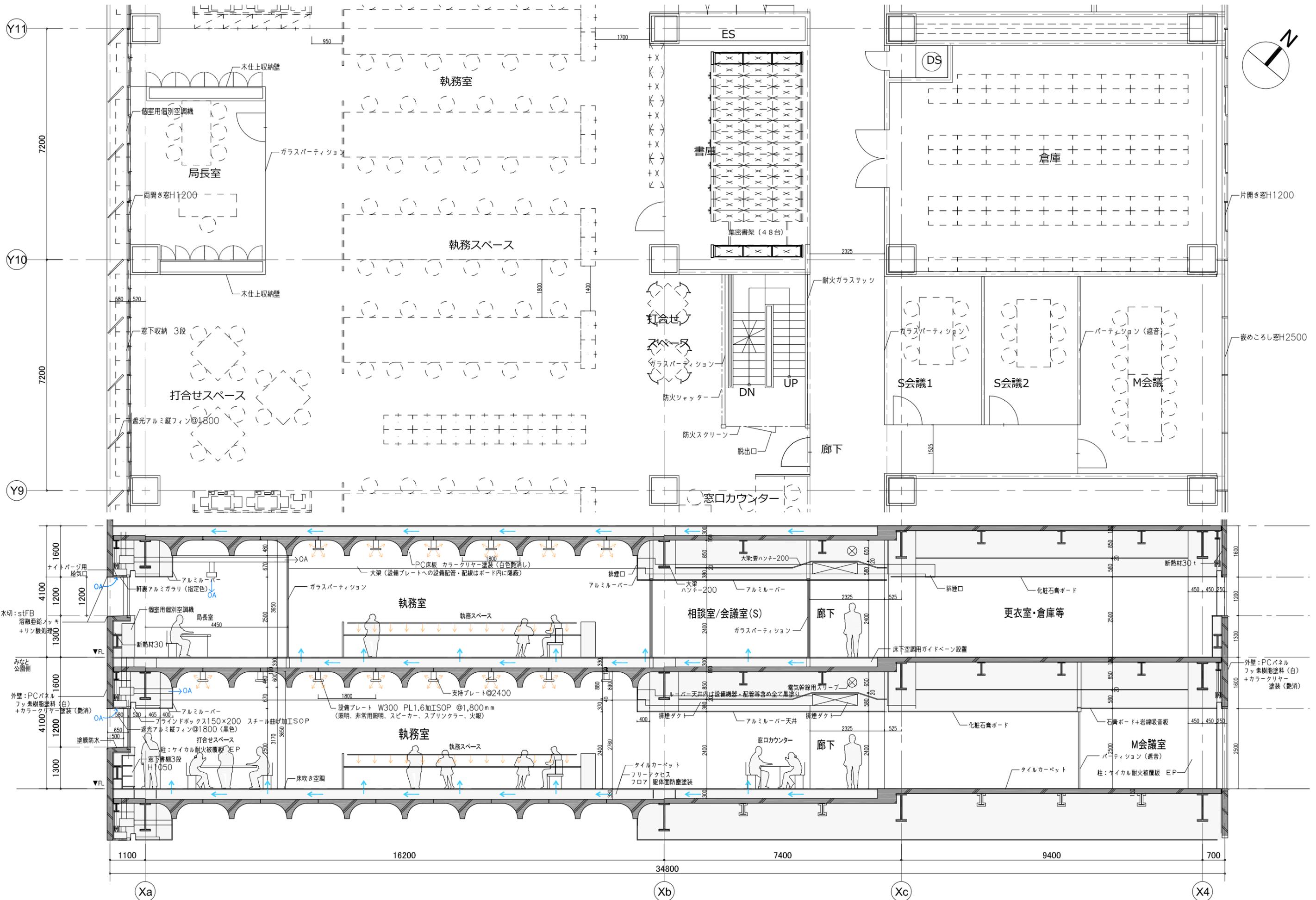




C-C' 断面図



D-D' 断面図



■ 駐車台数

車		台数	計
公用車	駐車スペースのみ	135	180台 Ⅶ 180台 (必要台数)
	電気自動車	⑦ 5	
	密閉型車庫	① 10	
	屋根付公用車車庫	② 30	
小計		180台	
来庁車	普通車 (内55台議員用)	283	302台 Ⅶ 300台 (必要台数)
	電気自動車	⑧ 5	
	身障者駐車	⑨ 10	
	荷捌き駐車	⑩ 4	
	小計	302台	
合計		482台	482台 Ⅶ 480台 (必要台数)

■ 駐輪台数 (自転車・バイク)

	1	2	小計	合計
⑪ 自転車置場	50台 (平置き)	230台 (ラック)	280台	362台
⑫ バイク置場	10台	72台	82台	

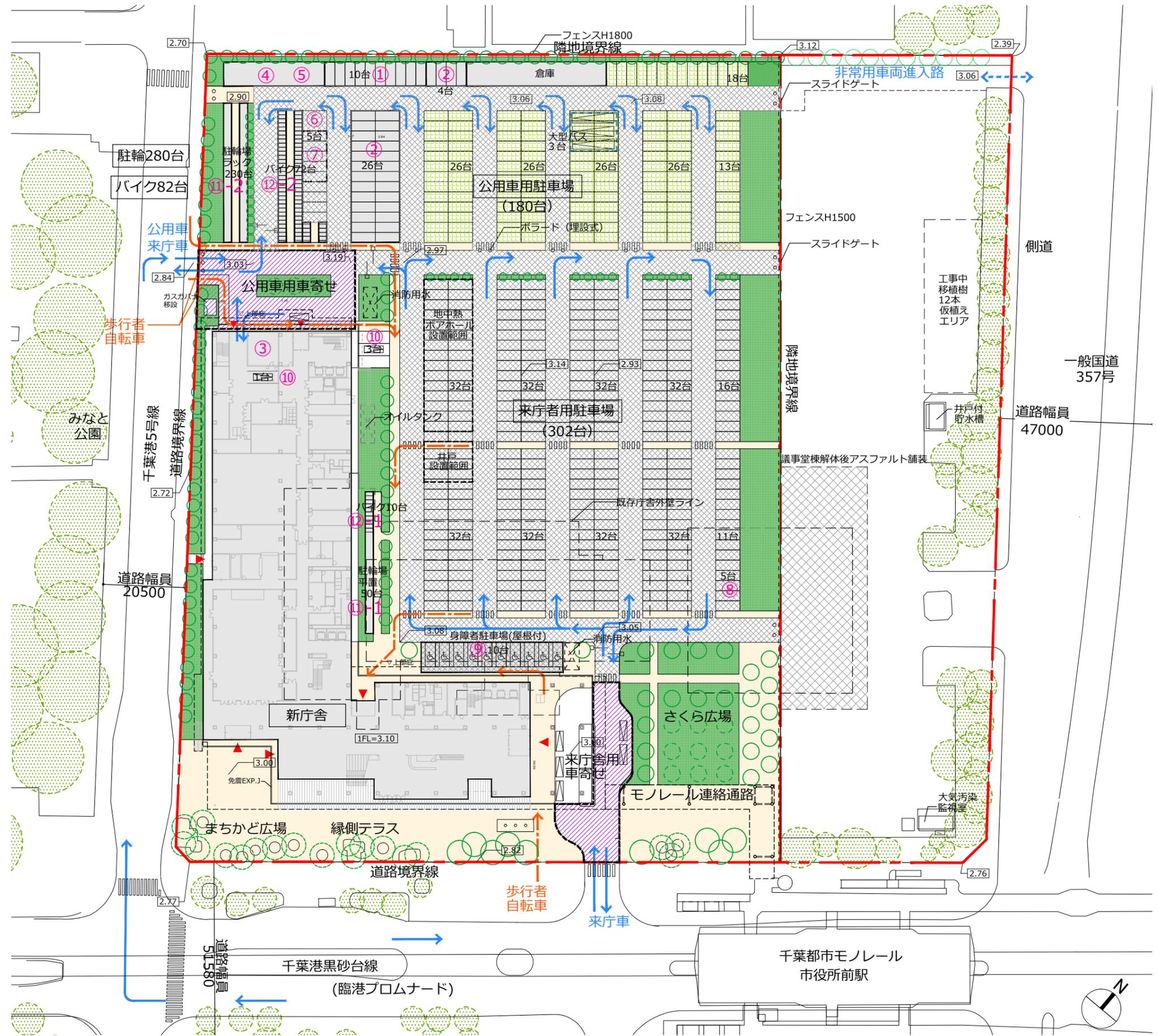
■ 施設名

- ① 密閉型車庫
- ② 屋根付公用車車庫
- ③ 配車窓口
- ④ 車両整備所
- ⑤ 車両部品庫
- ⑥ 公用車洗車設備
- ⑦ 電気自動車駐車スペース (公用車用)
- ⑧ 電気自動車駐車スペース (来庁者用)
- ⑨ 身障者駐車スペース
- ⑩ 荷捌き駐車スペース
- ⑪ 自転車置場
- ⑫ バイク置場

凡例

	アスファルト舗装	10785㎡ (議事堂棟後1283㎡)
	平板ブロック舗装	4626㎡
	植生ブロック	1965㎡
	地盤改良範囲	1196㎡
	地上緑化	3528㎡

- 車両動線
- 歩行者動線



■ 樹種 (地上緑化)

記号	樹種	区分	開花時期	数量	記号	樹種	区分	開花時期	数量			
●	ケヤキ, ヤマモモ (既存樹利用)	高木	落葉 (H6.3~11.5m)	19本	●	コブシ オリーブ イチヨウ タブノキ クスノキ	混植	高木	落葉	9月	高木	
●	ケヤキ	高木	落葉	9本				中木	常緑	5~6月	18本	
●	サクラ (保存樹・移植)	高木	落葉 (H8.0m)	9本				高木	落葉		中木	
●	イヌマキ (保存樹・移植)	高木	常緑 (H4.2~6.0m)	3本				高木	常緑		5本	
●	ハナミズキ サルズベリ	高木	落葉	4~5月	●	ササキツツジ, アベリア等	低木	常緑	2740m			
●	オリーブ	高木	落葉	5~9月					23本			
●	ゲッケイジュ	中木	常緑	5~6月					芝	植生ブロック	常緑	840m
●	サザンカ	中木	常緑	4~5月					62本	アジサイ	低木	落葉
●	ベニカナメモチ	生垣	常緑	138m	ユキヤナギ	低木	落葉	3~4月	880m			
				414本	オオデマリ	低木	落葉	4~5月	4400本			
					フィリヤブラン	低木	常緑	7~8月				

※規格は特記なき限り次による  
 高木 H3.5~5.0m程度 中木 H1.8m程度 低木 H0.5m程度、5株/m  
 生垣 H1.2m程度、3本/m 植生ブロック 1車室あたり9m×65%

■ 植栽密度 (地上緑化)

※10m当り：高木1本、中木2本、低木10本  
 ※換算率：高木：中木：低木 = 1 : 5 : 15 : 3m

計画本数				換算後本数			必要本数		
高木 (本)	中木 (本)	低木 (本)	生垣 (m)	高木 (本)	中木 (本)	低木 (本)	高木 (本)	中木 (本)	低木 (本)
81	67	18100	138	395	789	11914	395	789	3954
			-138	+46					
			-4020	+268					
			-2166	+722					

■ 樹種 (屋上緑化)

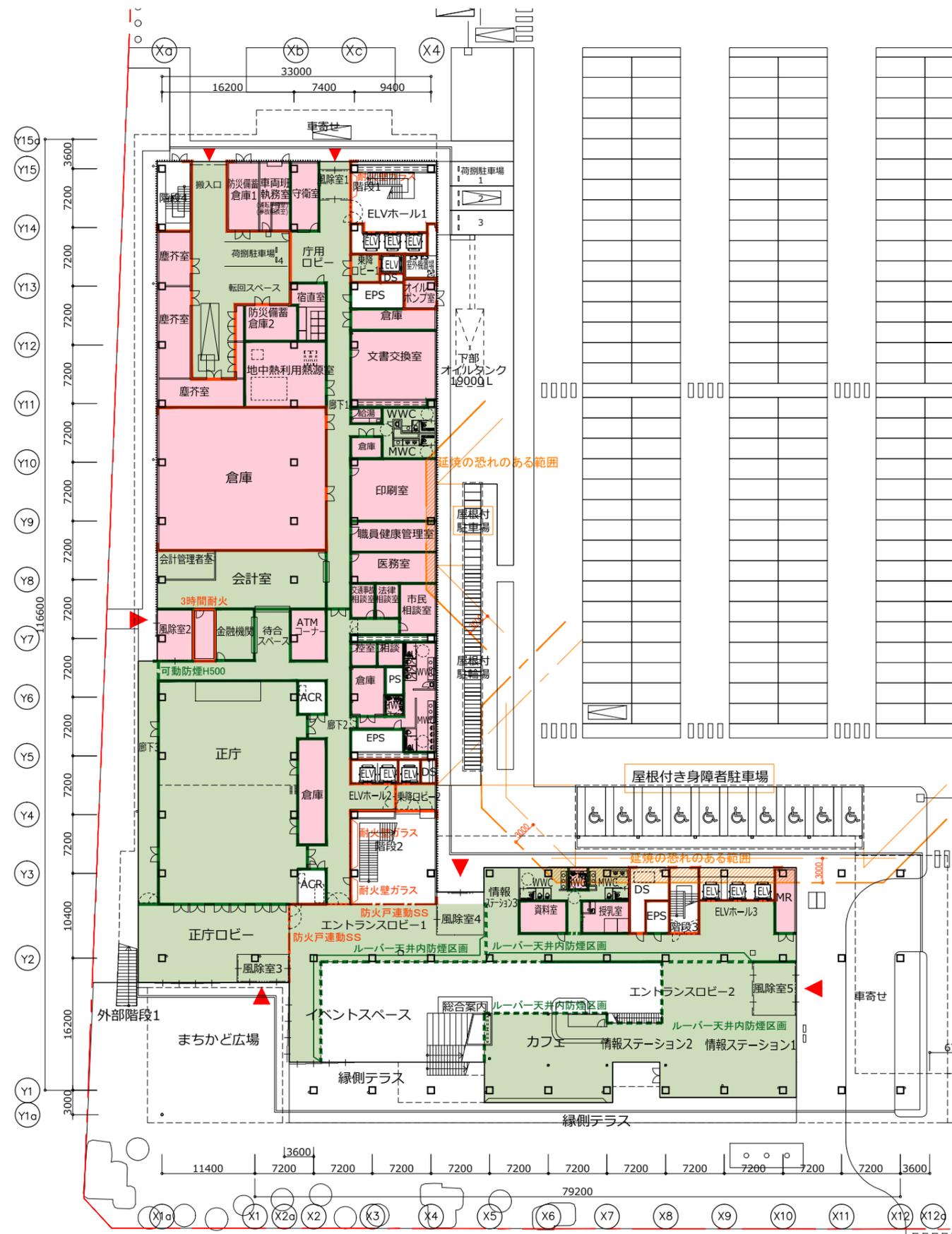
記号	樹種	区分	開花時期	数量	記号	樹種	区分	開花時期	数量
●	シマトネリコ	高木	常緑	6~7月	●	ヒドラツツジ ユキヤナギ オオデマリ アベリア	低木	常緑	4~5月
●	ハナミズキ	高木	落葉	4~5月			385m		
●	オリーブ	中木	常緑	5~6月					
●	サザンカ	中木	常緑	9~12月					
				20本	●	フィリヤブラン	地被	常緑	70m

■ 緑化面積、接道緑化長さ

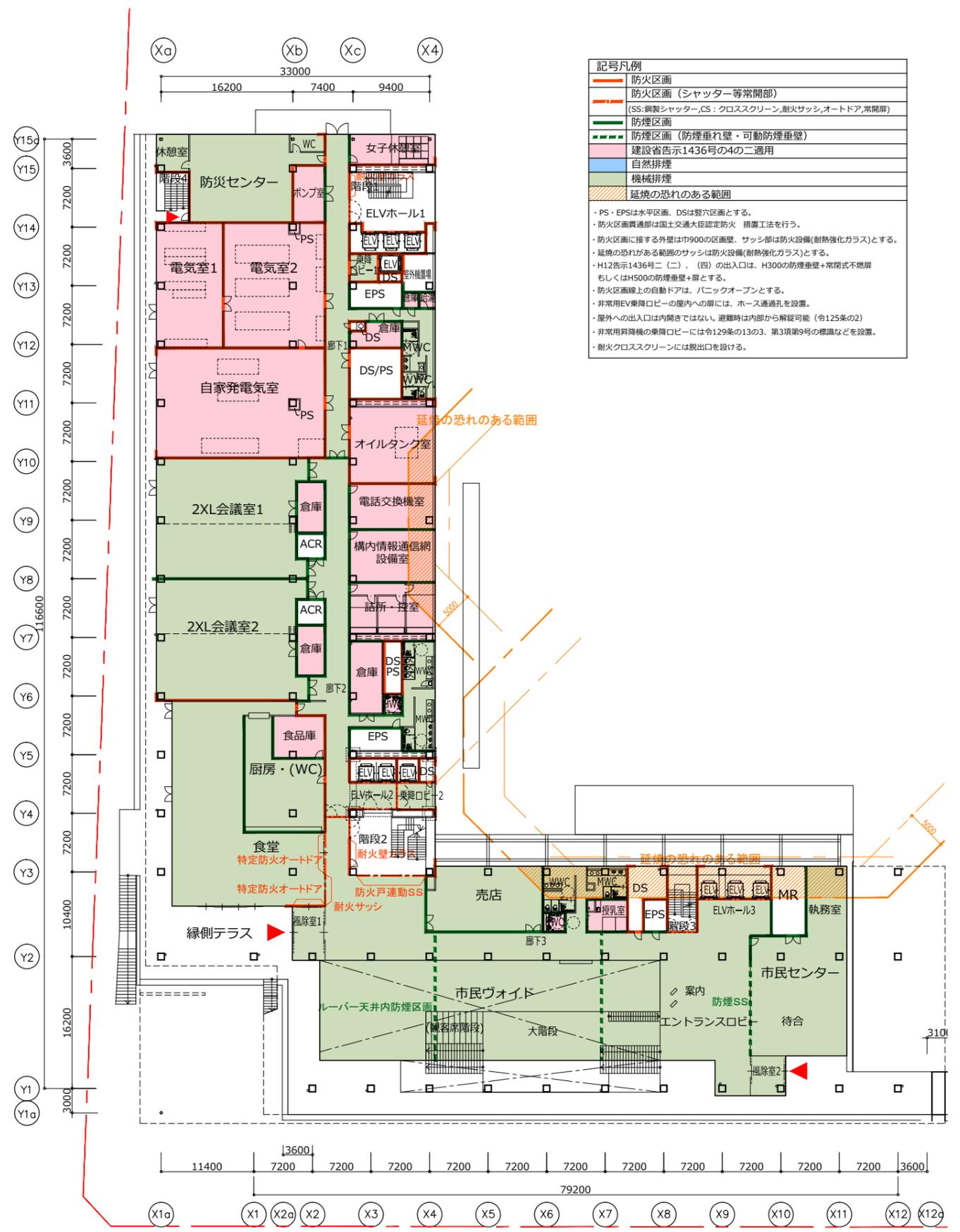
地上緑化面積	申請敷地 (2.90ha) 3754m <sup>2</sup> vs 2900m <sup>2</sup> (地上必要面積)
駐車場緑化ブロック	789m <sup>2</sup>
建物屋上緑化面積	1713m <sup>2</sup> (7F屋上緑化455m <sup>2</sup> +2~7F壁面緑化1258m <sup>2</sup> )
合計緑化面積	6256m <sup>2</sup> vs 5800m <sup>2</sup> (全体必要面積)
接道緑化	242.6m vs 242.5m (全体必要延長)

※緑化条例：千葉市公共施設等緑化推進要綱+工場等緑化技術基準  
 敷地面積×緑化率20%以上 (地上部で10%以上)  
 接道部70%以上 (緑化幅0.6m以上)





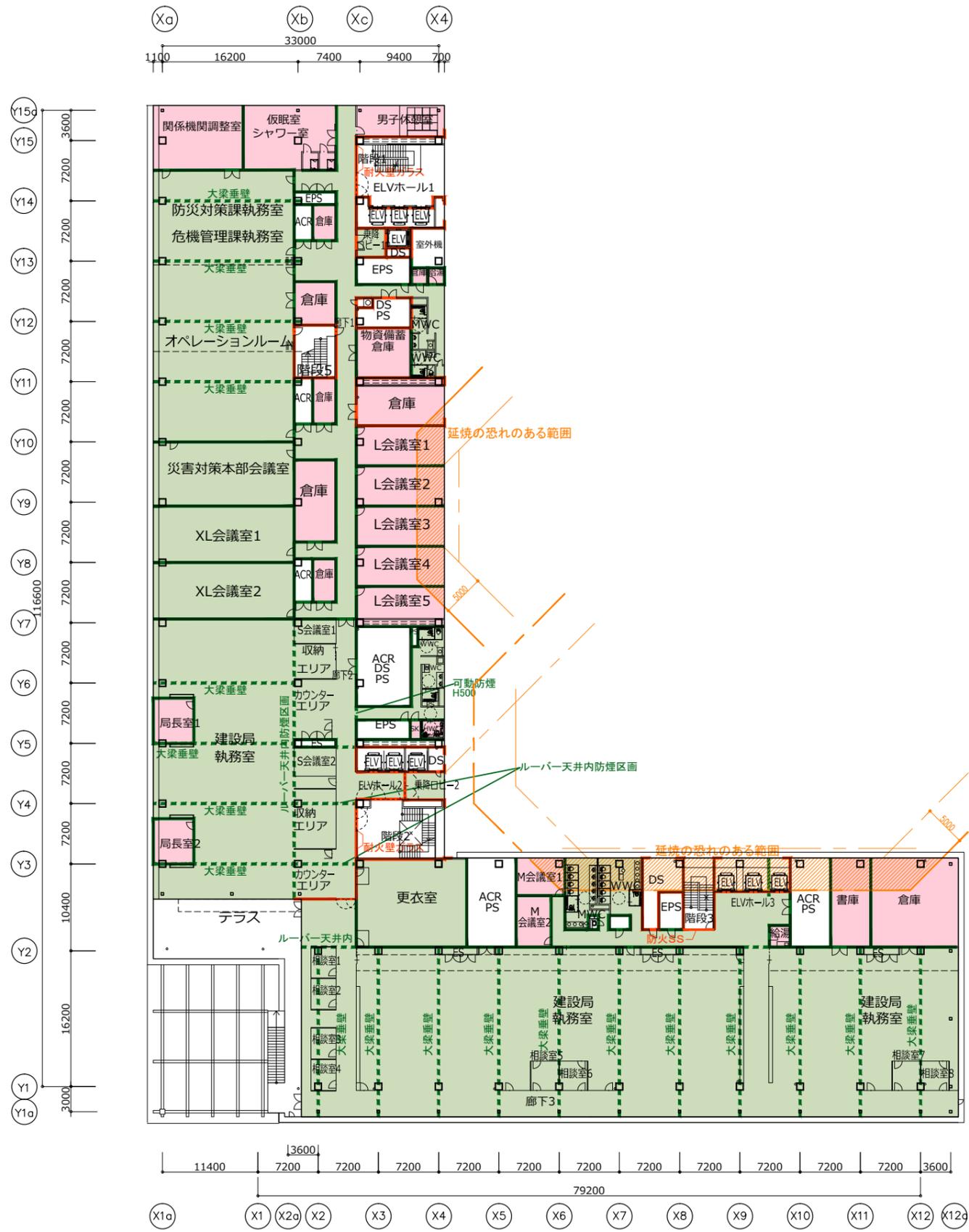
1階平面図



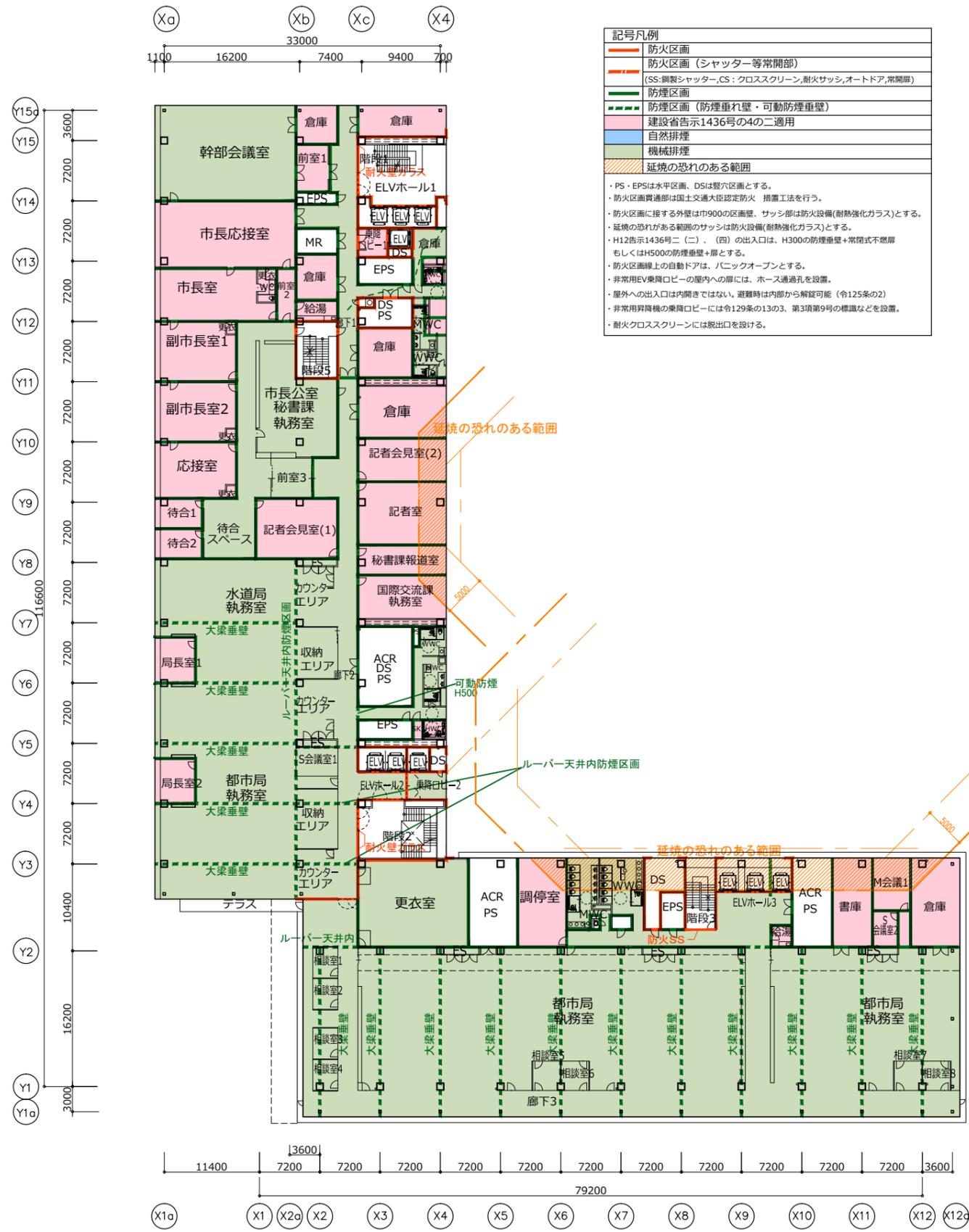
2階平面図

記号凡例	
[Red dashed line]	防火区画
[Red solid line]	防火区画 (シャッター等常開部) (SS:鋼製シャッター, CS:クロススクリーン, 耐火サッシ, オートドア, 常開扉)
[Green solid line]	防煙区画
[Green dashed line]	防煙区画 (防煙垂れ壁・可動防煙垂壁)
[Pink solid line]	建設省告示1436号の4の二適用
[Blue solid line]	自然排煙
[Green solid line]	機械排煙
[Orange dashed line]	延焼の恐れのある範囲

- PS・EPSは水平区画、DSは壁区画とする。
- 防火区画貫通部は国土交通大臣認定防火 措置工法を行う。
- 防火区画に接する外壁は巾900の区画壁、サッシ部は防火設備(耐火強化ガラス)とする。
- 延焼の恐れがある範囲のサッシは防火設備(耐火強化ガラス)とする。
- H12告示1436号二(二)、(四)の出入口は、H300の防煙垂壁+常閉式不燃扉もしくはH500の防煙垂壁+扉とする。
- 防火区画壁上の自動ドアは、ハニックオープンとする。
- 非常用EV乗降ロービーの屋内への扉には、ホース通過孔を設置。
- 屋外への出入口は内開きではない。避難時は内部から解放可能(令125条の2)
- 非常用昇降機の乗降ロービーには令129条の13の3、第3項第9号の標識などを設置。
- 耐火クロススクリーンには脱出口を設ける。



3階平面図

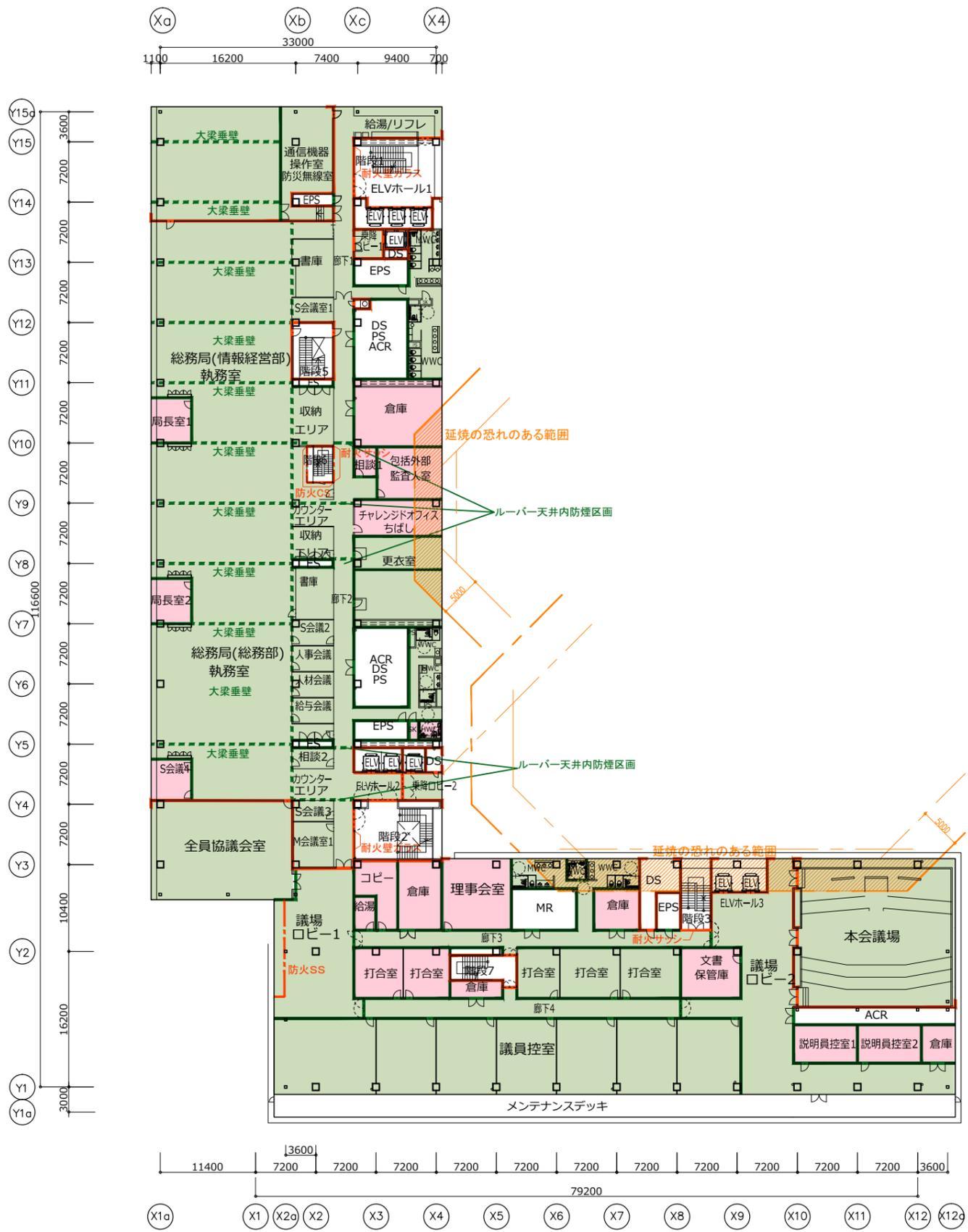


4階平面図

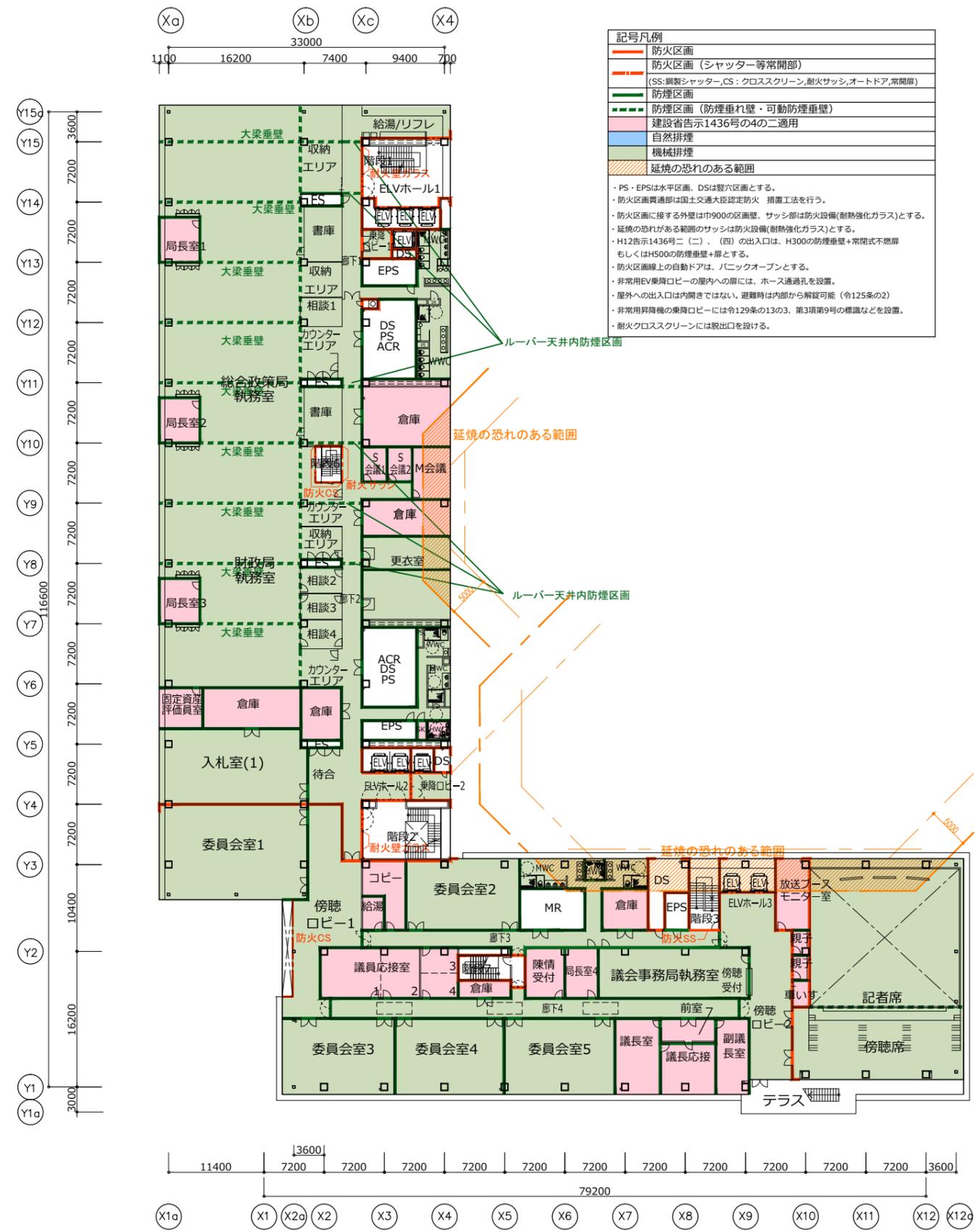
記号凡例

防火区画	防火区画 (シャッター等常閉部)
防火区画 (SS:鋼製シャッター, CS:クロススクリーン,耐火サッシ,オートドア,常閉扉)	防煙区画
防煙区画 (防煙重れ壁・可動防煙重壁)	建設省告示1436号の4の二適用
自然排煙	機械排煙
延焼の恐れのある範囲	

・PS・EPSは水平区画、DSは壁穴区画とする。  
 ・防火区画貫通部は国土交通大臣認定防火 措置工法を行う。  
 ・防火区画に接する外壁は巾900の区画壁、サッシ部は防火設備(耐火強化ガラス)とする。  
 ・延焼の恐れのある範囲のサッシは防火設備(耐火強化ガラス)とする。  
 ・H12告示1436号二(二)、(四)の出入口は、H300の防煙重壁+常閉式不燃扉もしくはH500の防煙重壁+扉とする。  
 ・防火区画線上の自動ドアは、ノックオープンとする。  
 ・非常用EV乗降口ビの扉内への扉には、ホース通過孔を設置。  
 ・屋外への出入口は内開きではない。避難時は内部から解放可能(令125条の2)  
 ・非常用昇降機の乗降口ビには令129条の13の3、第3項第9号の標識などを設置。  
 ・耐火クロススクリーンには脱出口を設ける。



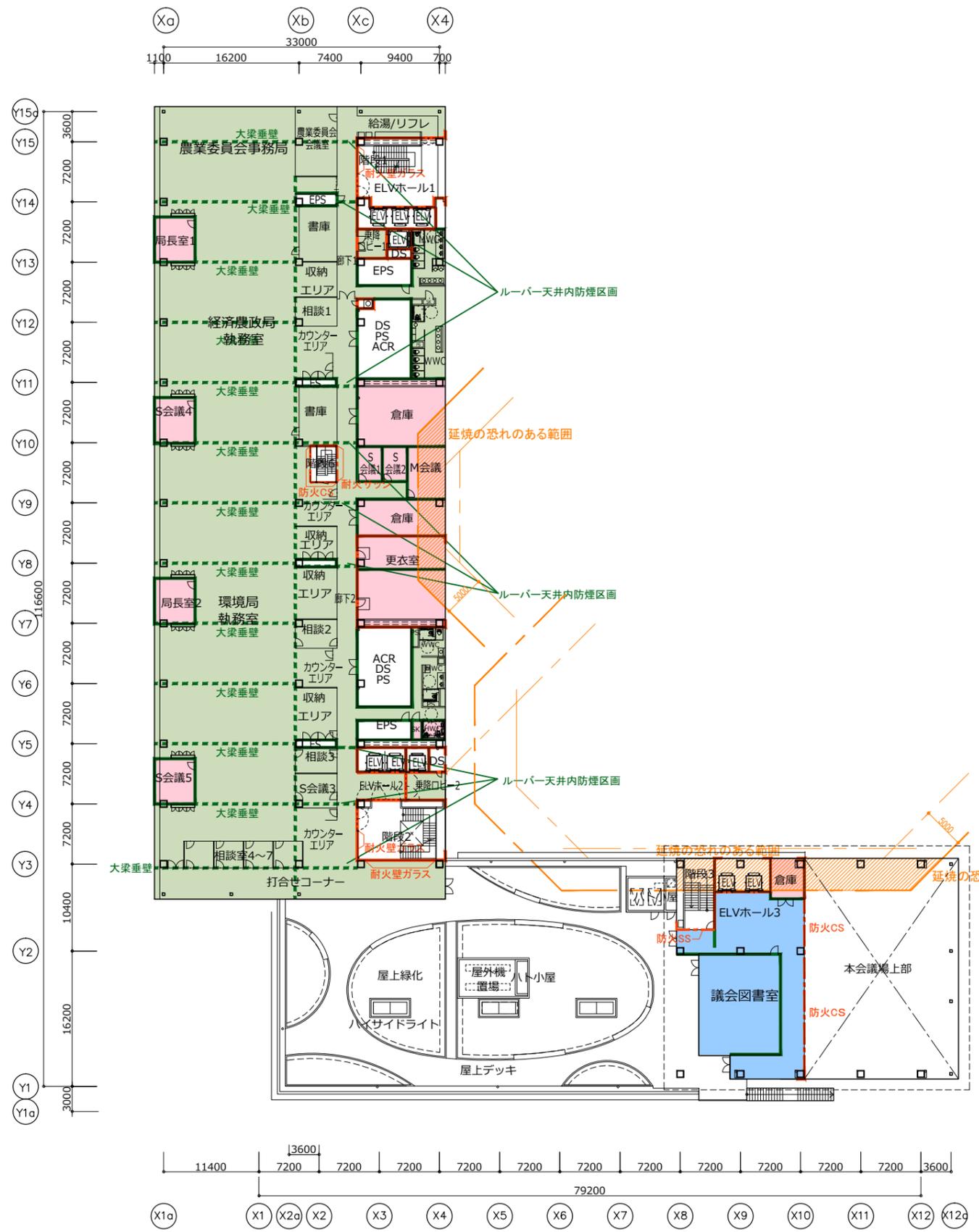
5階平面図



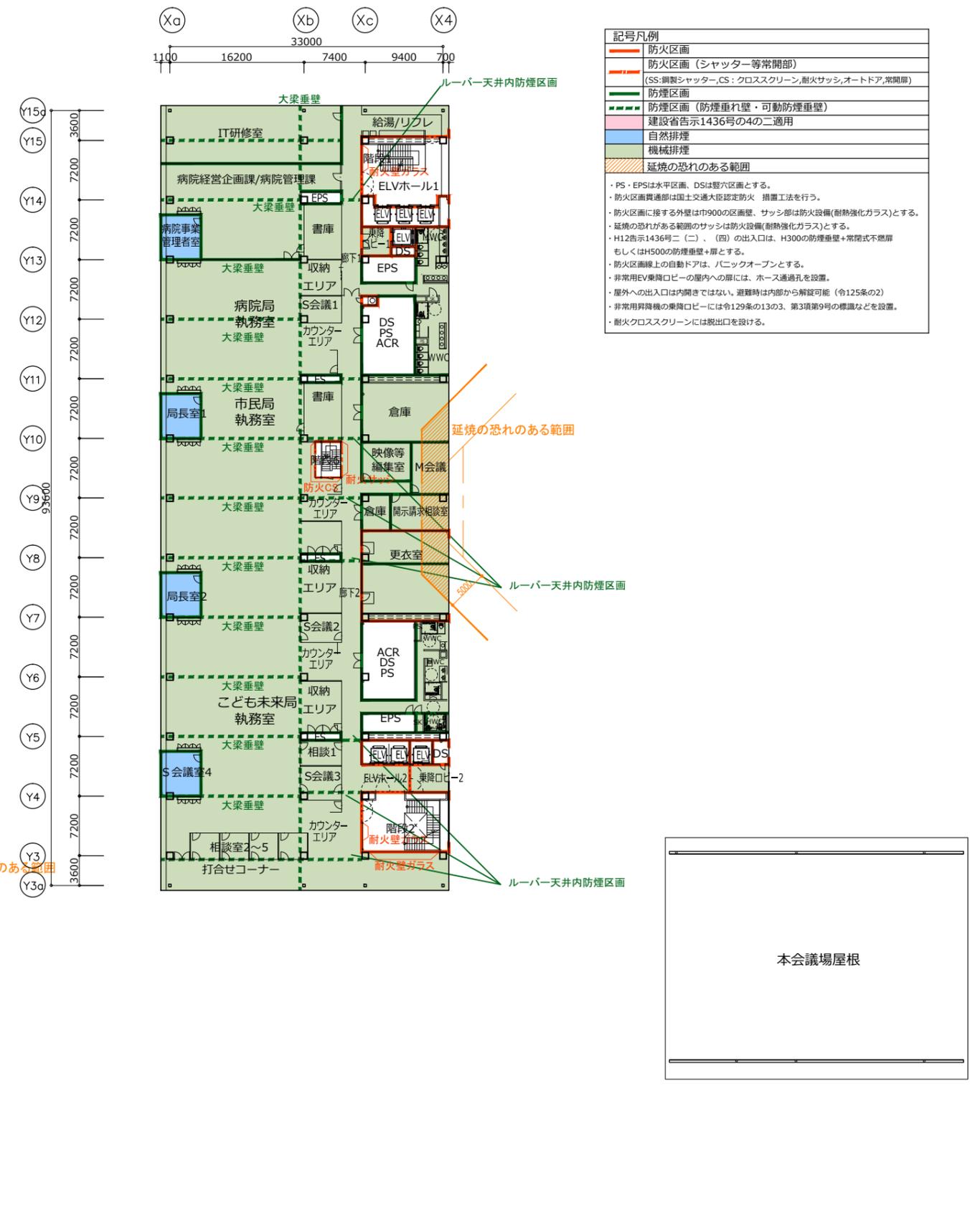
6階平面図

記号凡例	
<span style="border: 1px solid red; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	防火区画
<span style="border: 1px dashed red; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	防火区画 (シャッター等常閉部)
<span style="border: 1px solid blue; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	防火区画 (SS:鋼製シャッター, CS:クロススクリーン, 耐火サッシ, オートドア, 常閉扉)
<span style="border: 1px solid green; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	防煙区画
<span style="border: 1px dashed green; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	防煙区画 (防煙垂れ壁・可動防煙垂壁)
<span style="background-color: #e0e0e0; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	建設省告示1436号の4の二適用
<span style="background-color: #c0c0c0; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	自然排煙
<span style="background-color: #a0a0a0; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	機械排煙
<span style="border: 1px solid orange; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	延焼の恐れのある範囲

・PS・EPSは水平区画、DSは壁区画とする。  
 ・防火区画貫通部は国土交通大臣認定防火 措置工法を行う。  
 ・防火区画に接する外壁は巾900の区画壁、サッシ部は防火設備(耐火強化ガラス)とする。  
 ・延焼の恐れのある範囲のサッシは防火設備(耐火強化ガラス)とする。  
 ・H12告示1436号二(二)、(四)の出入口は、H300の防煙垂壁+常閉式不燃扉もしくはH500の防煙垂壁+扉とする。  
 ・防火区画線上の自動ドアは、パニクオープンとする。  
 ・非常用EV乗降ロープの屋内への扉には、ホース通過孔を設置。  
 ・屋外への出入口は内開きではない。避難時は内部から解放可能(令125条の2)  
 ・非常用昇降機の乗降ロープには令129条の13の3、第3項第9号の標識などを設置。  
 ・耐火クロススクリーンには脱出口を設ける。



7階平面図

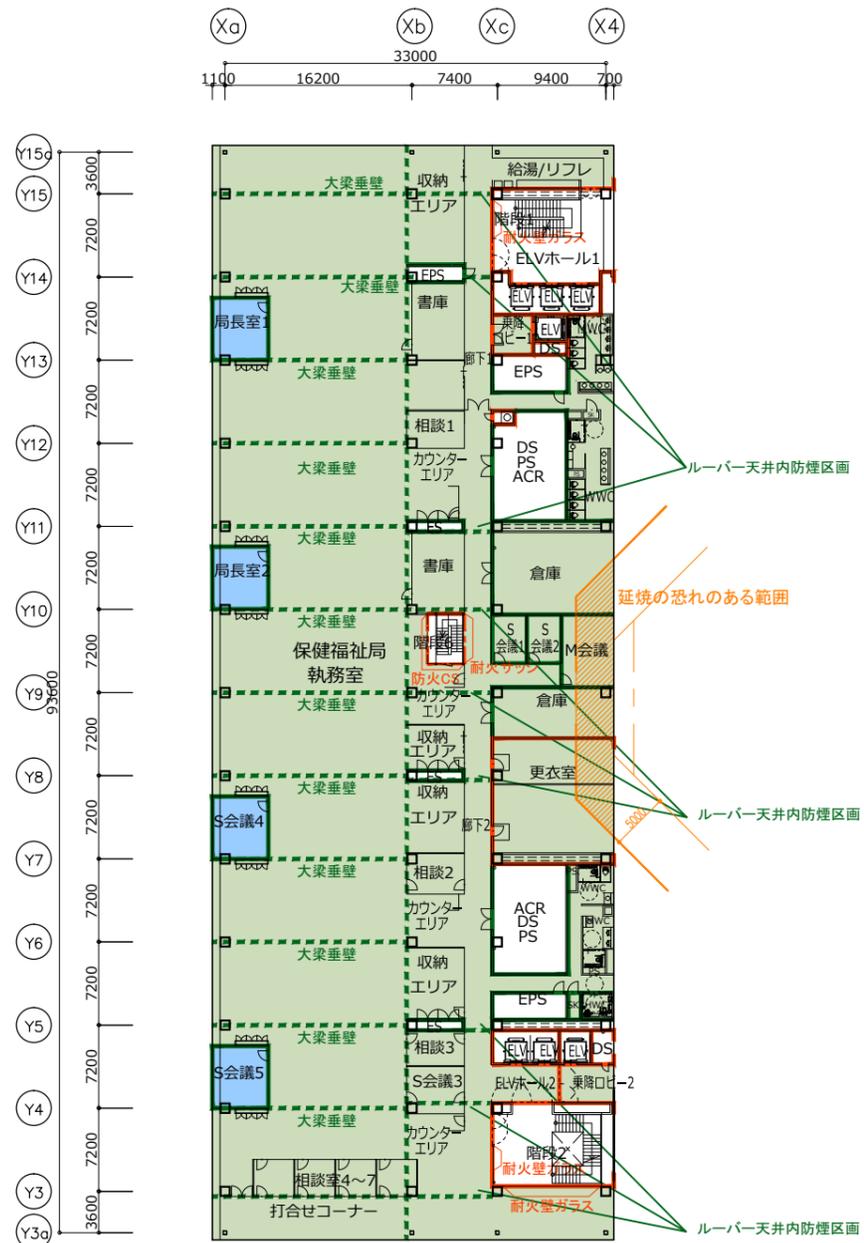


8階平面図

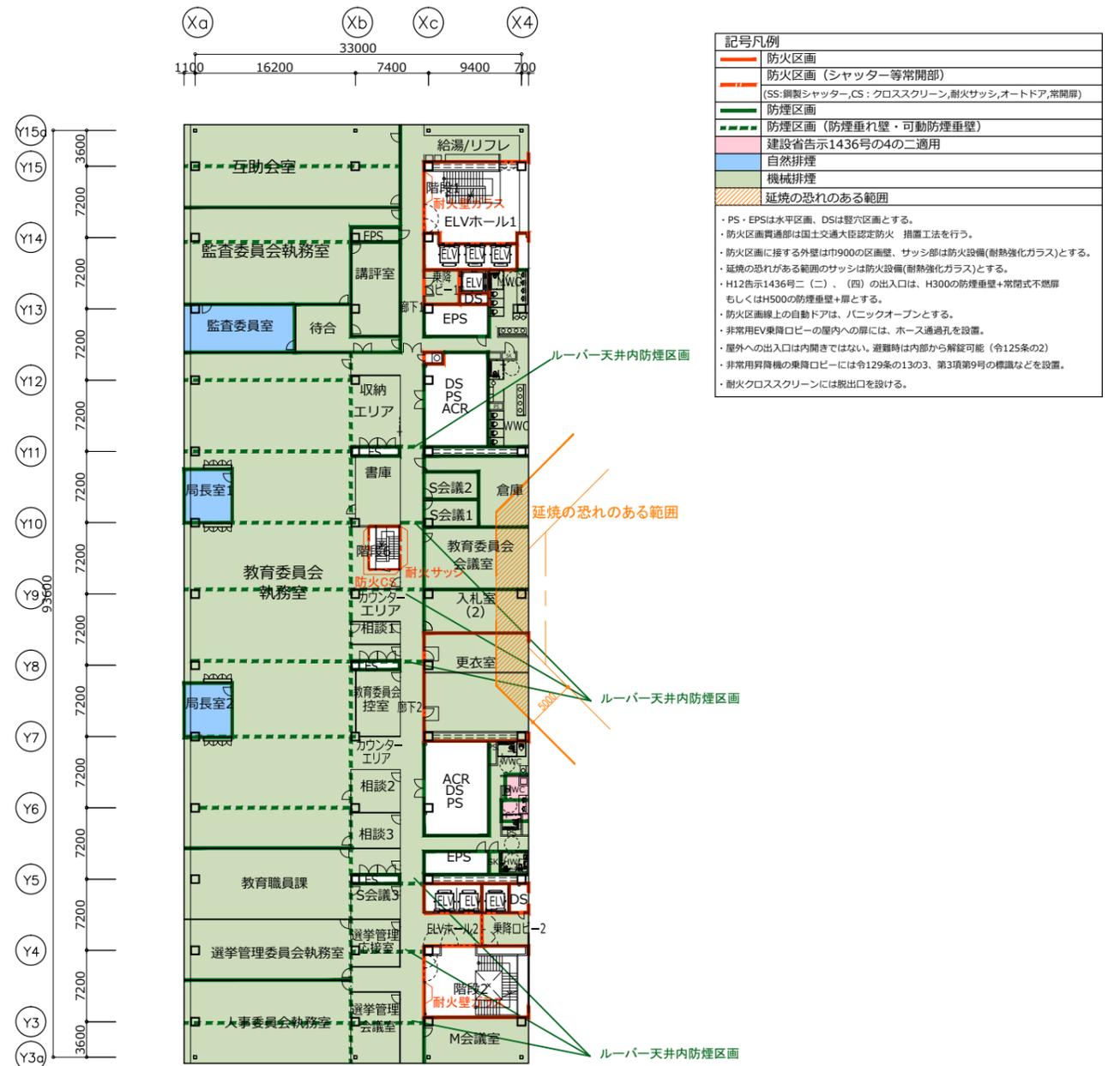
記号凡例	
<span style="border: 1px solid red; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	防火区画
<span style="border: 1px solid orange; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	防火区画(シャッター等常開部)
<span style="border: 1px solid green; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	防火区画(防煙重れ壁・可動防煙重壁)
<span style="border: 1px solid blue; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	防火区画(防煙重れ壁・可動防煙重壁)
<span style="border: 1px solid lightblue; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	建設省告示1436号の4の二適用
<span style="border: 1px solid lightgreen; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	自然排煙
<span style="border: 1px solid lightyellow; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	機械排煙
<span style="border: 1px dashed orange; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	延焼の恐れのある範囲

- ・ PS・EPSは水平区画、DSは壁穴区画とする。
- ・ 防火区画貫通部は国土交通大臣認定防火 措置工法を行う。
- ・ 防火区画に接する外壁は巾900の区画壁、サッシ部は防火設備(耐熱強化ガラス)とする。
- ・ 延焼の恐れがある範囲のサッシは防火設備(耐熱強化ガラス)とする。
- ・ H12告示1436号二(二)、(四)の出入口は、H300の防煙重壁+常開式不燃扉もしくはH500の防煙重壁+扉とする。
- ・ 防火区画線上の自動ドアは、パニックオープンとする。
- ・ 非常用昇降口扉の扉内への扉には、ホース通過孔を設置。
- ・ 屋外への出入口は内開きではない。避難時は内部から解錠可能(令125条の2)
- ・ 非常用昇降機の乗降口扉には令129条の13の3、第3項第9号の標識などを設置。
- ・ 耐火クロススクリーンには脱出口を設ける。



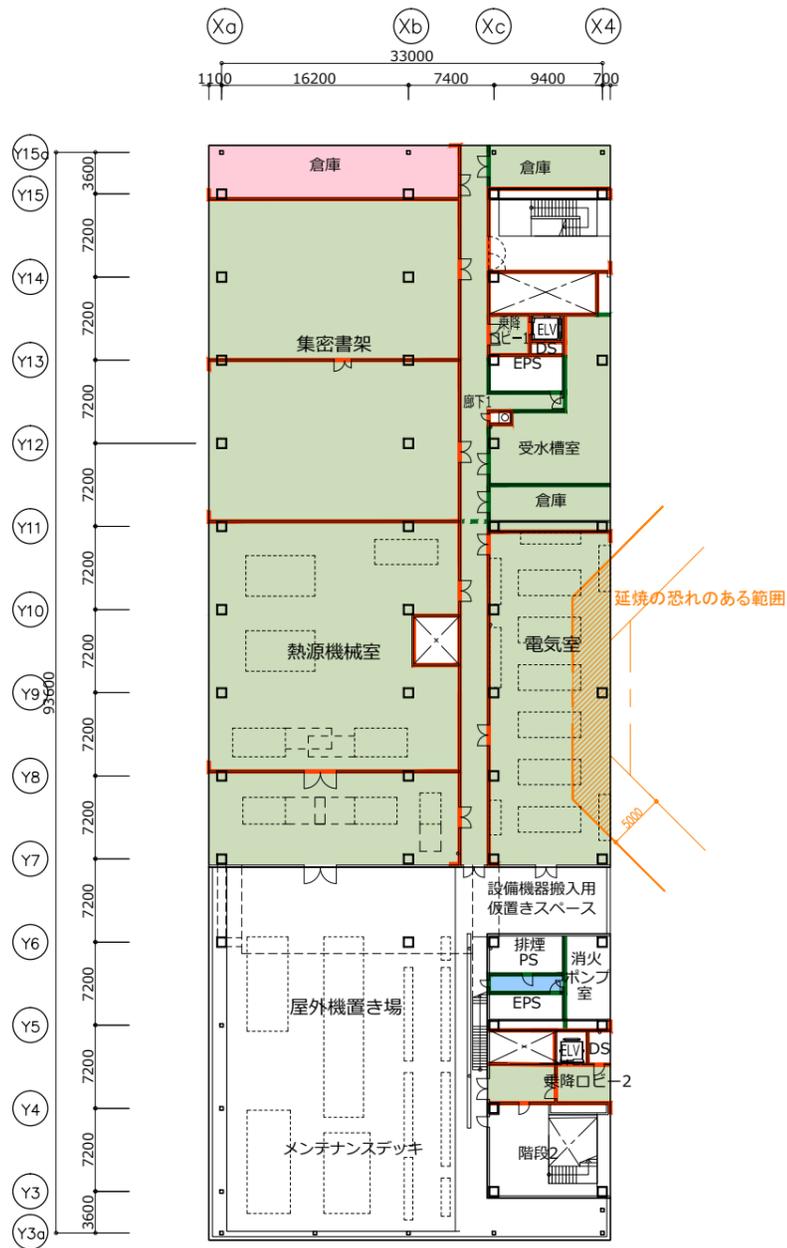


9階平面図

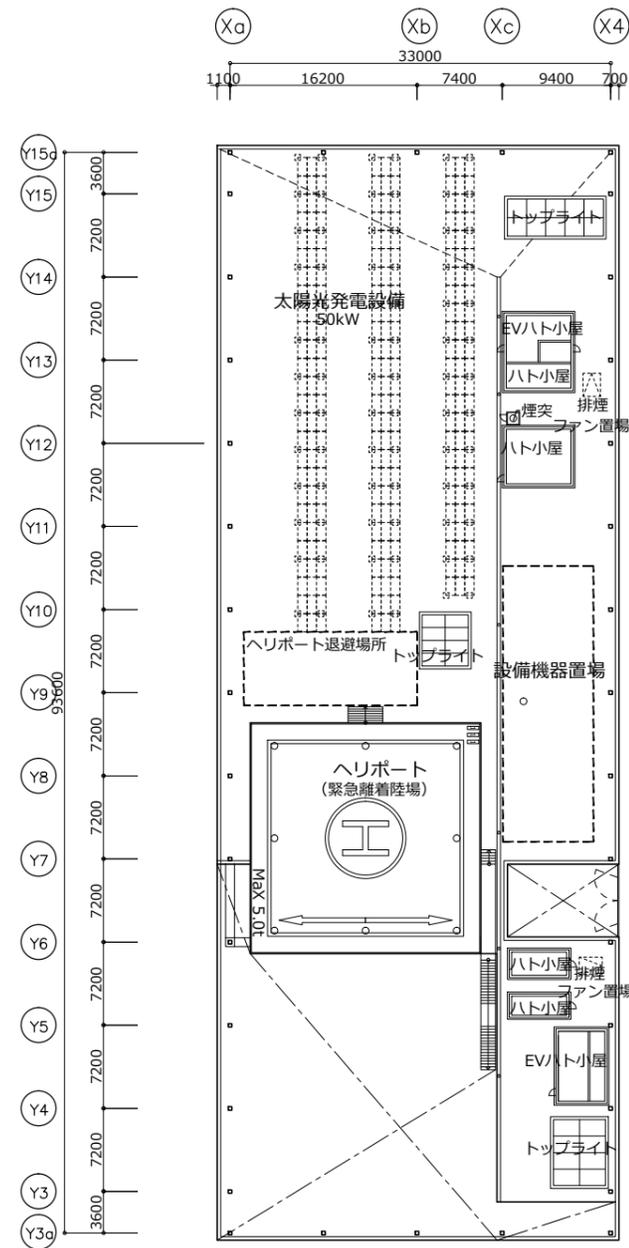


10階平面図





11階平面図

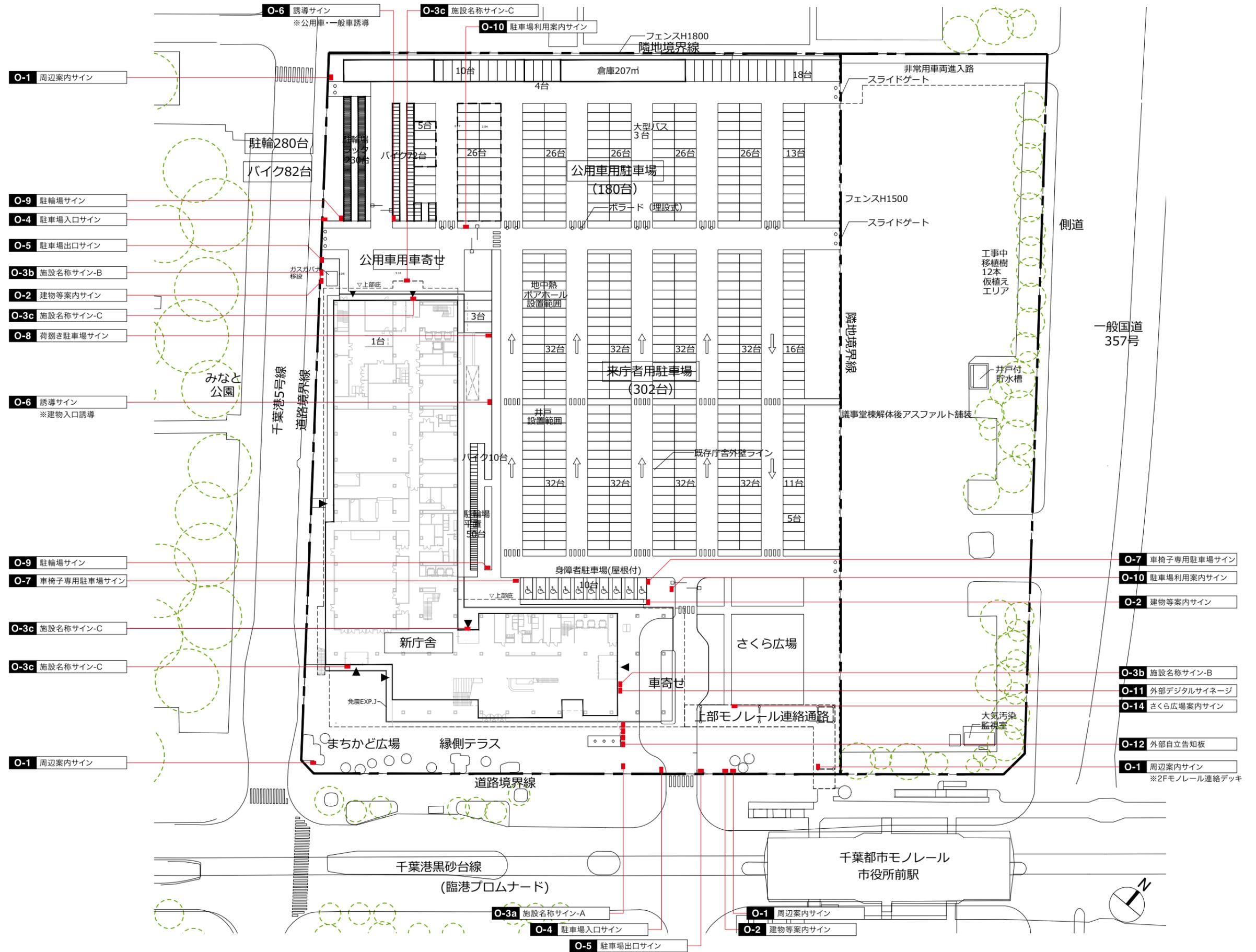


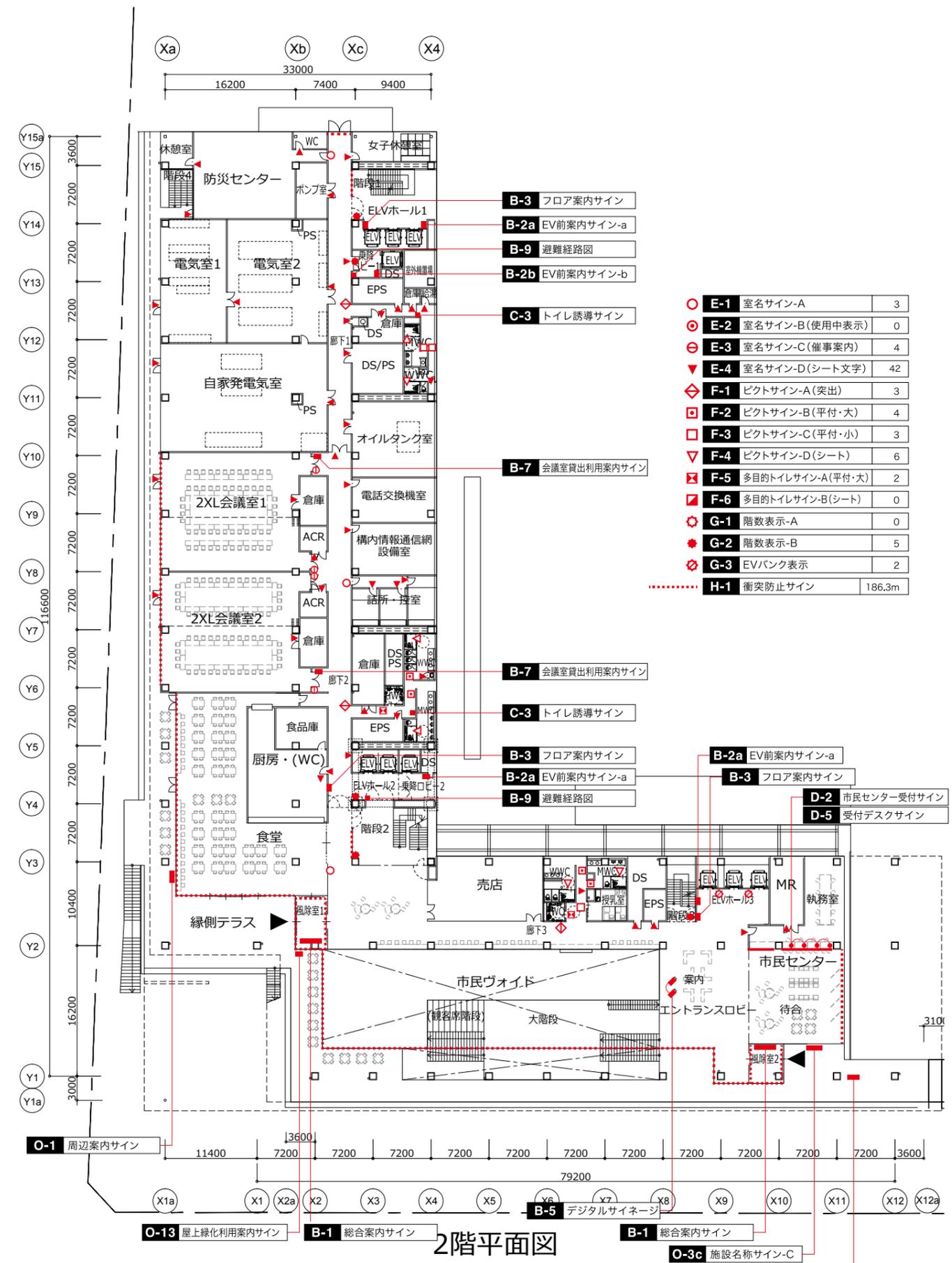
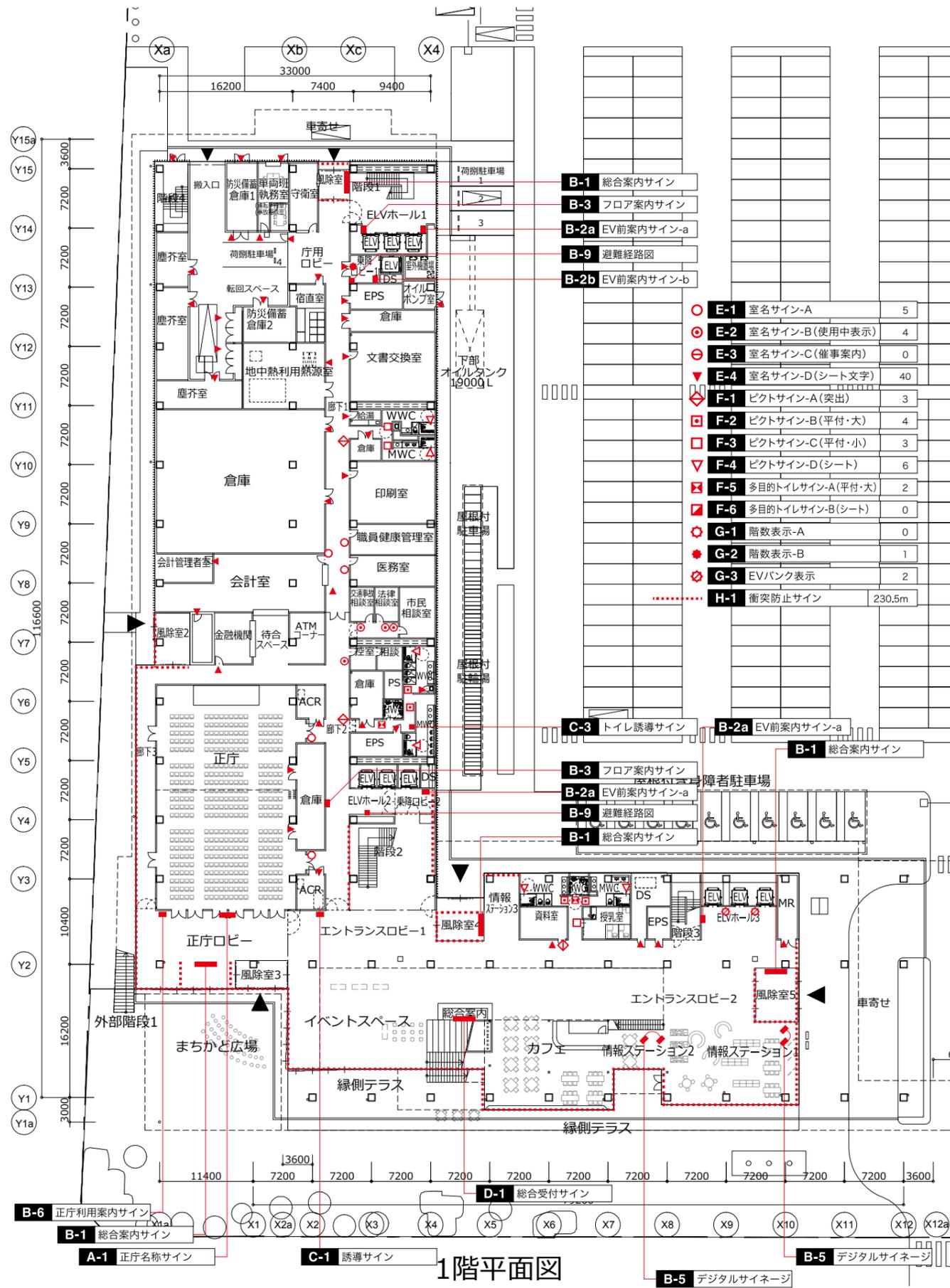
R階平面図

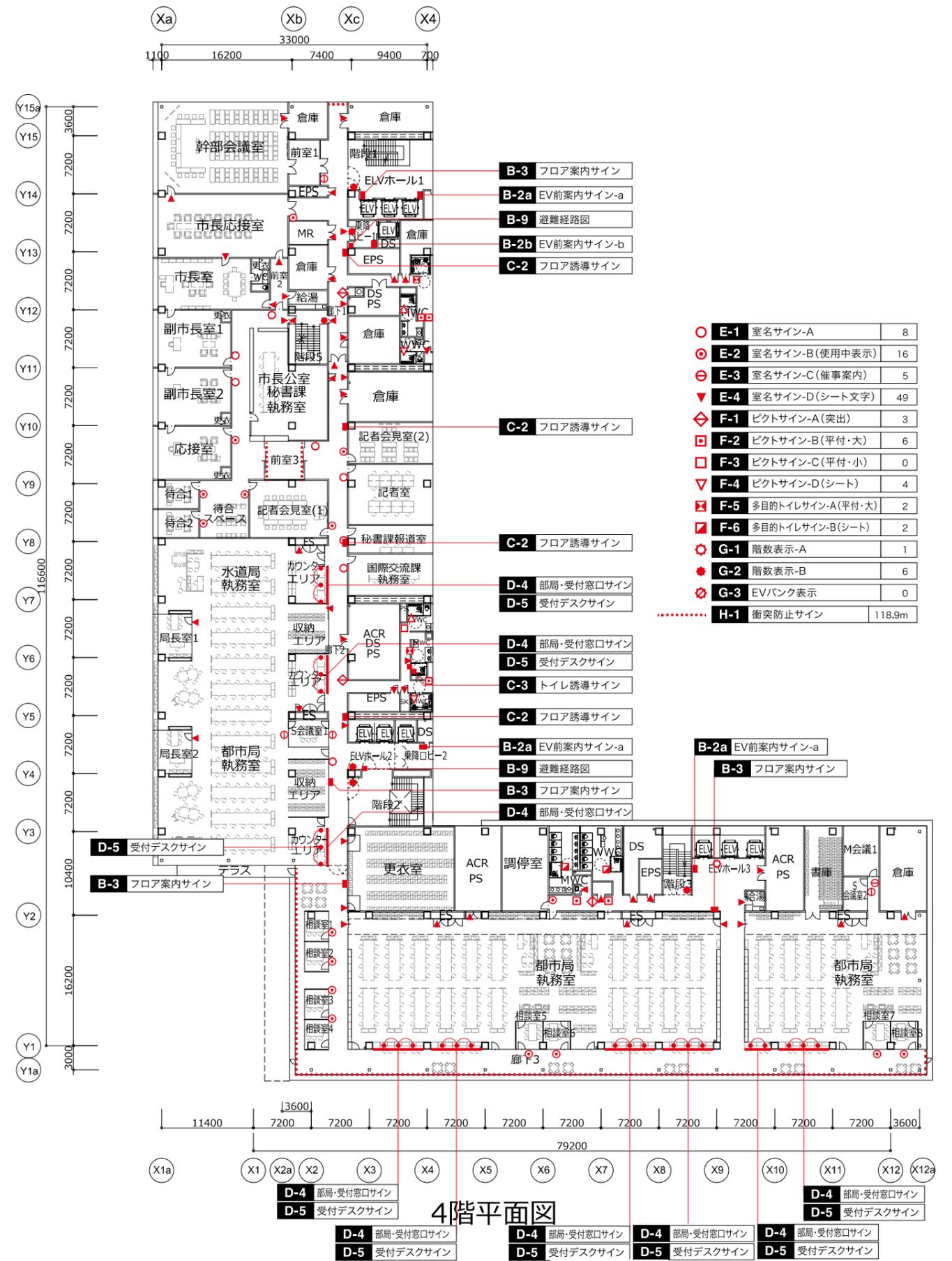
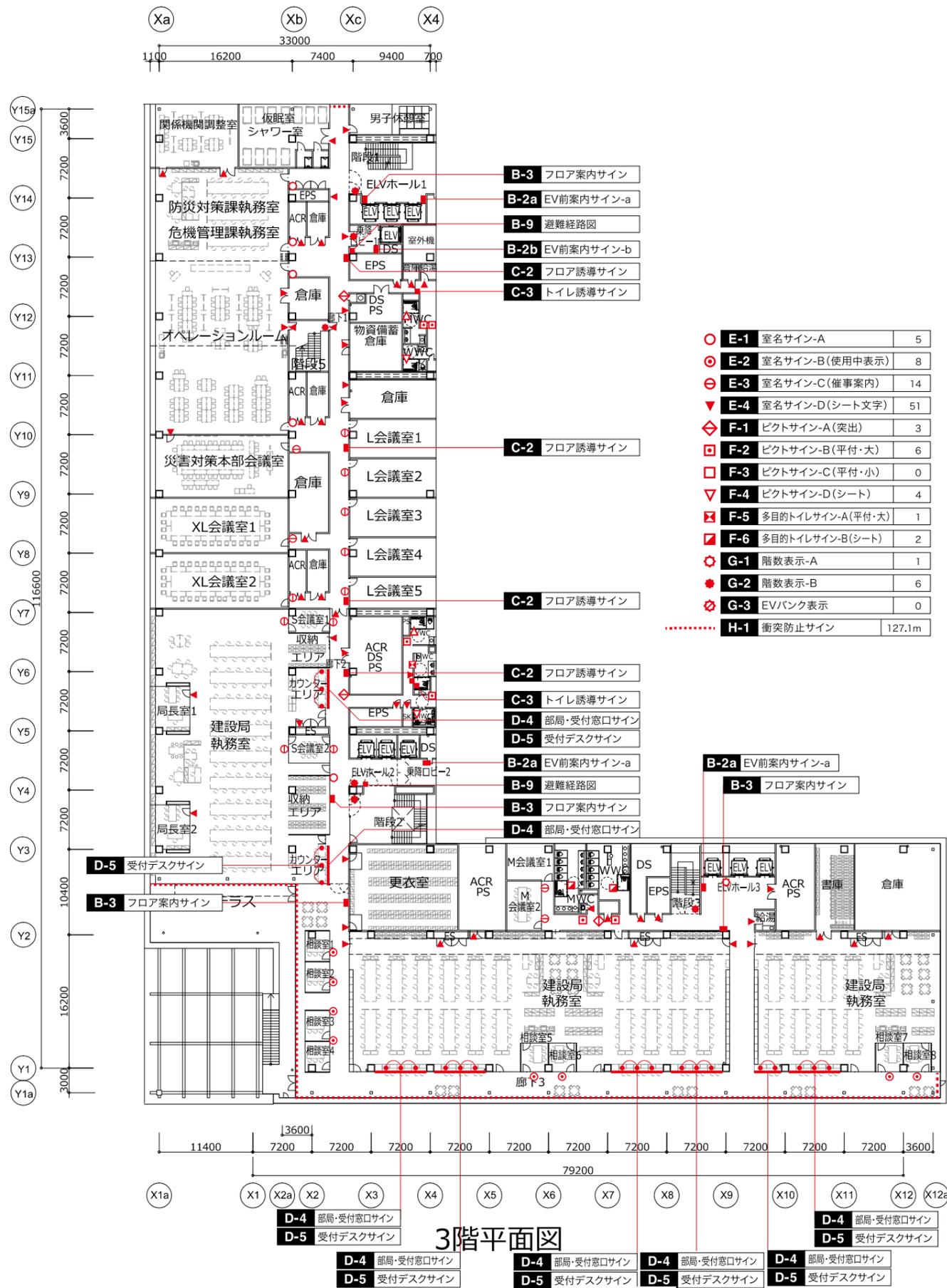
記号凡例	
	防火区画
	防火区画 (シャッター等常開部)
	(SS:鋼製シャッター, CS:クロススクリーン, 耐火サッシ, オートドア, 常開扉)
	防煙区画
	防煙区画 (防煙垂れ壁・可動防煙垂壁)
	建設省告示1436号の4の二適用
	自然排煙
	機械排煙
	延焼の恐れのある範囲

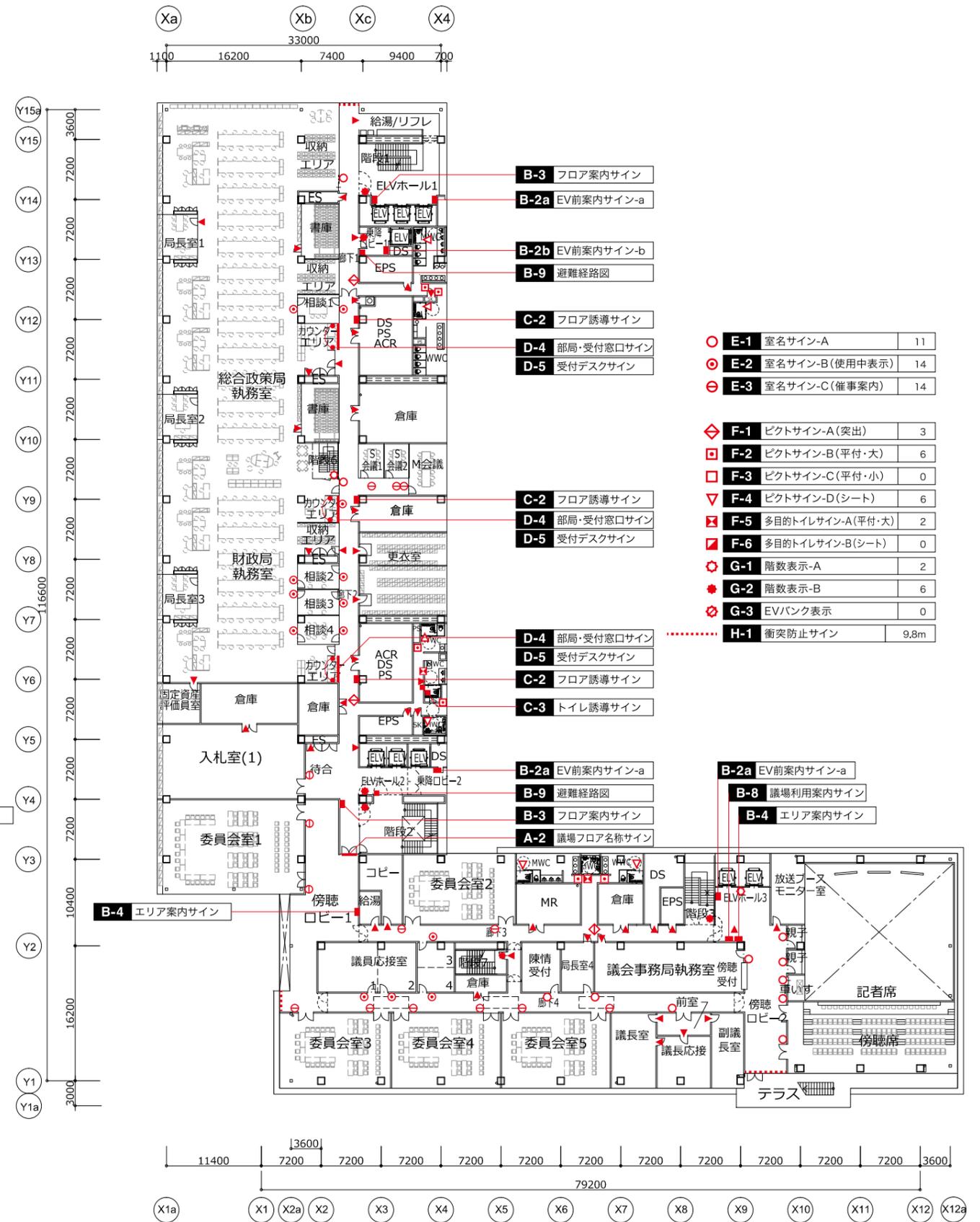
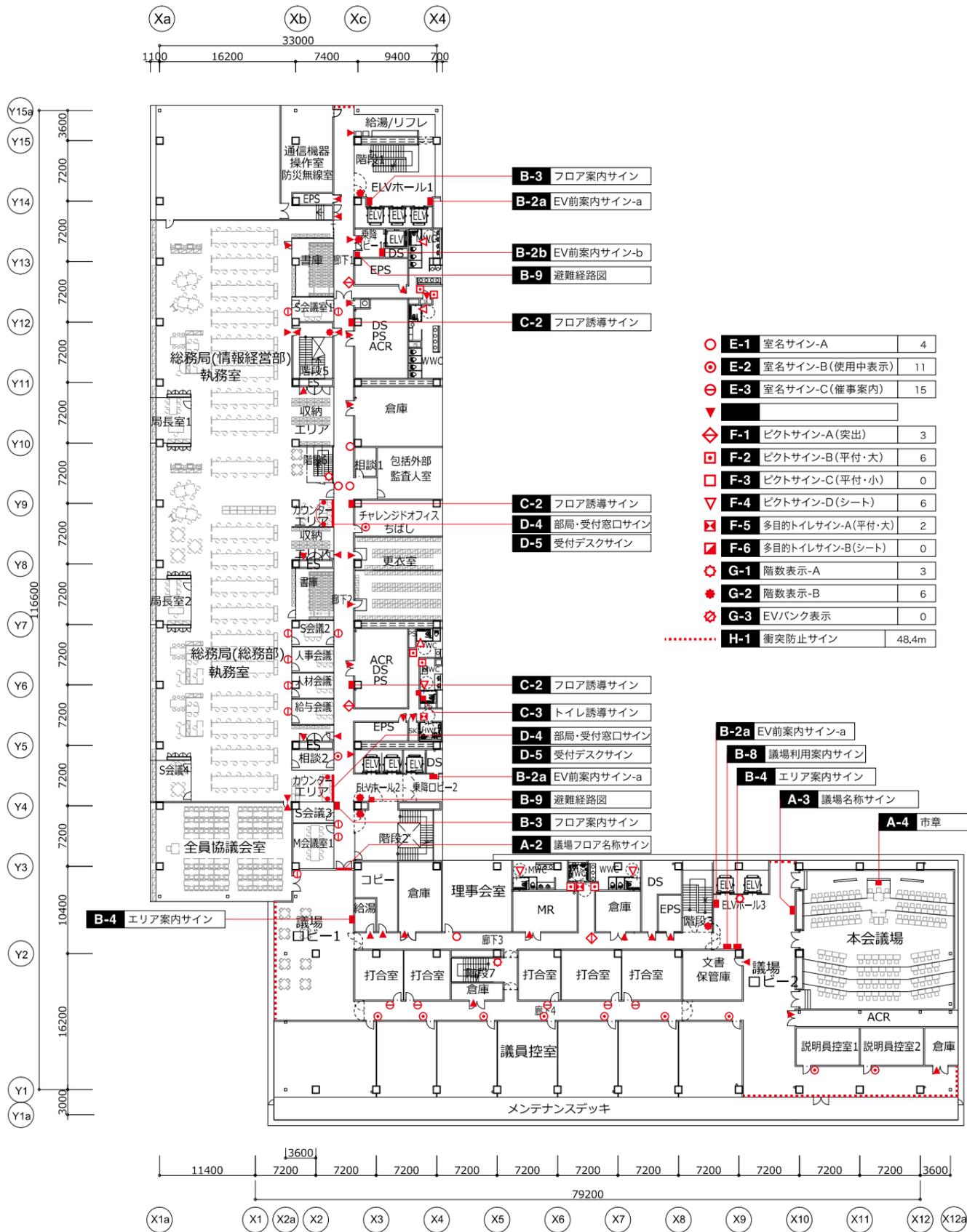
- PS・EPSは水平区画、DSは壁穴区画とする。
- 防火区画貫通部は国土交通大臣認定防火 措置工法を行う。
- 防火区画に接する外壁は巾900の区画壁、サッシ部は防火設備(耐火強化ガラス)とする。
- 延焼の恐れがある範囲のサッシは防火設備(耐火強化ガラス)とする。
- H12告示1436号二(二)、(四)の出入口は、H300の防煙垂壁+常閉式不燃扉もしくはH500の防煙垂壁+扉とする。
- 防火区画線上の自動ドアは、パニックオープンとする。
- 非常用エレベーターの扉内への扉には、ホース通過孔を設置。
- 屋外への出入口は内開きではない。避難時は内部から解錠可能(令125条の2)
- 非常用昇降機の扉開口部には令129条の13の3、第3項第9号の標識などを設置。
- 耐火クロススクリーンには脱出口を設ける。

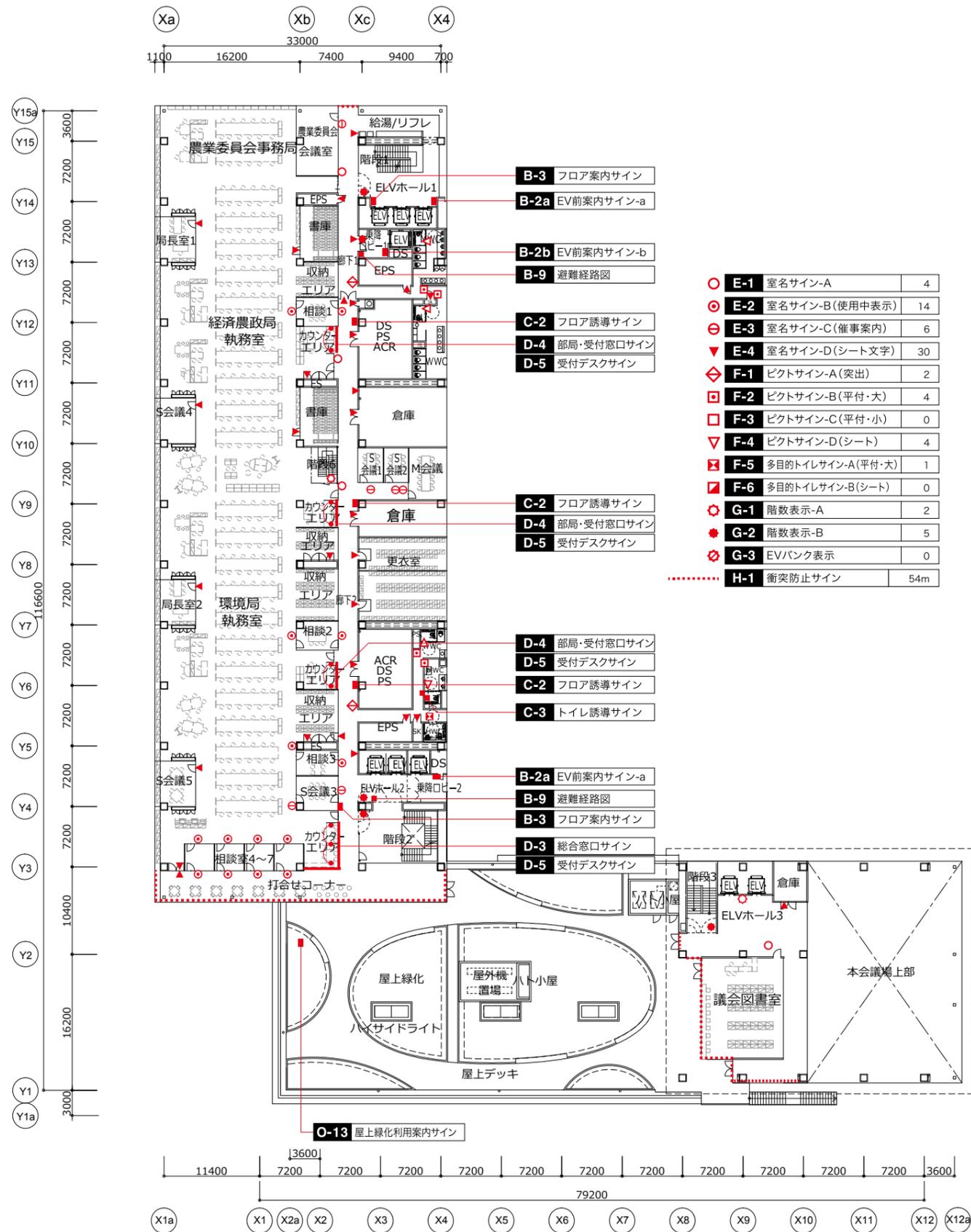




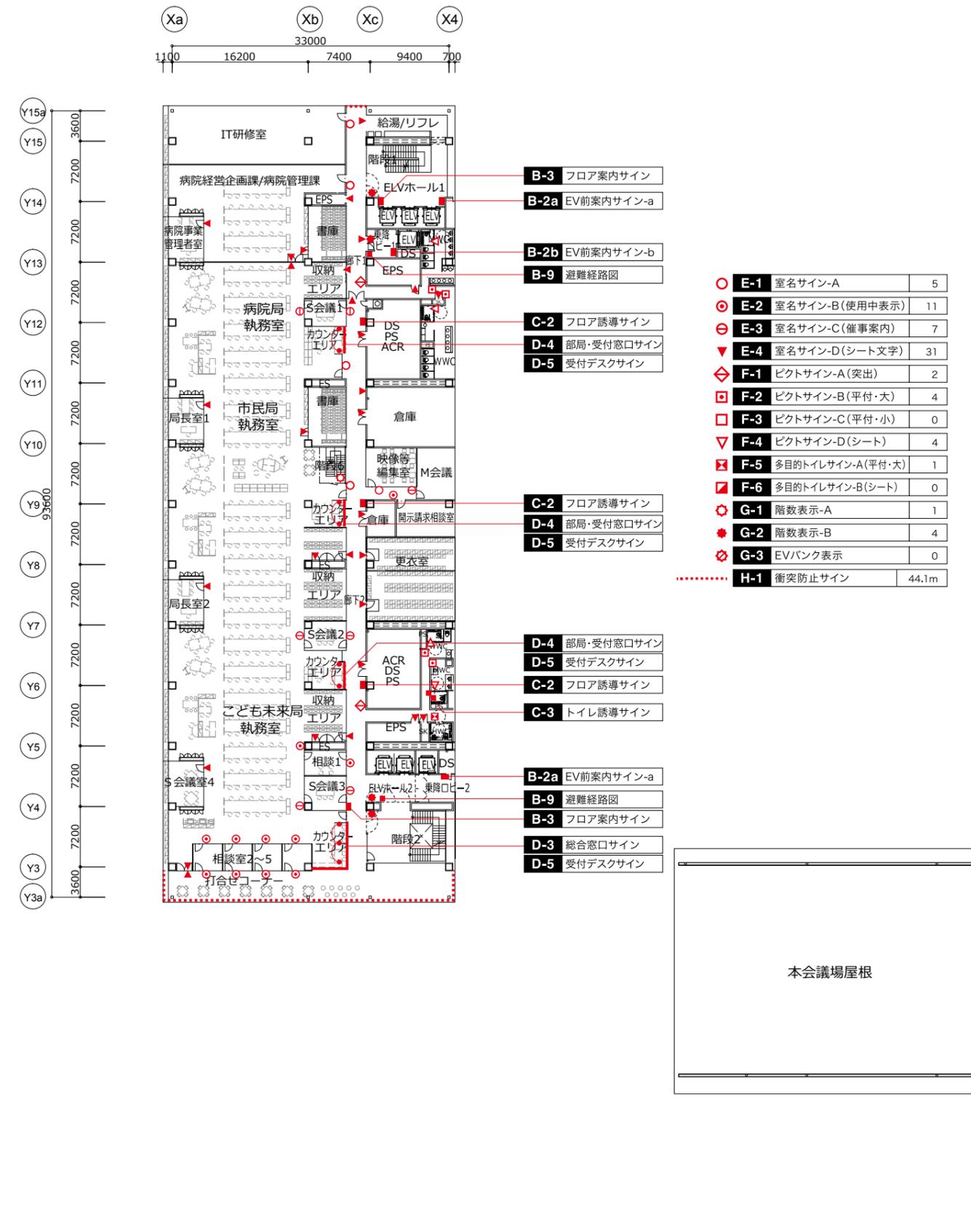








7階平面図

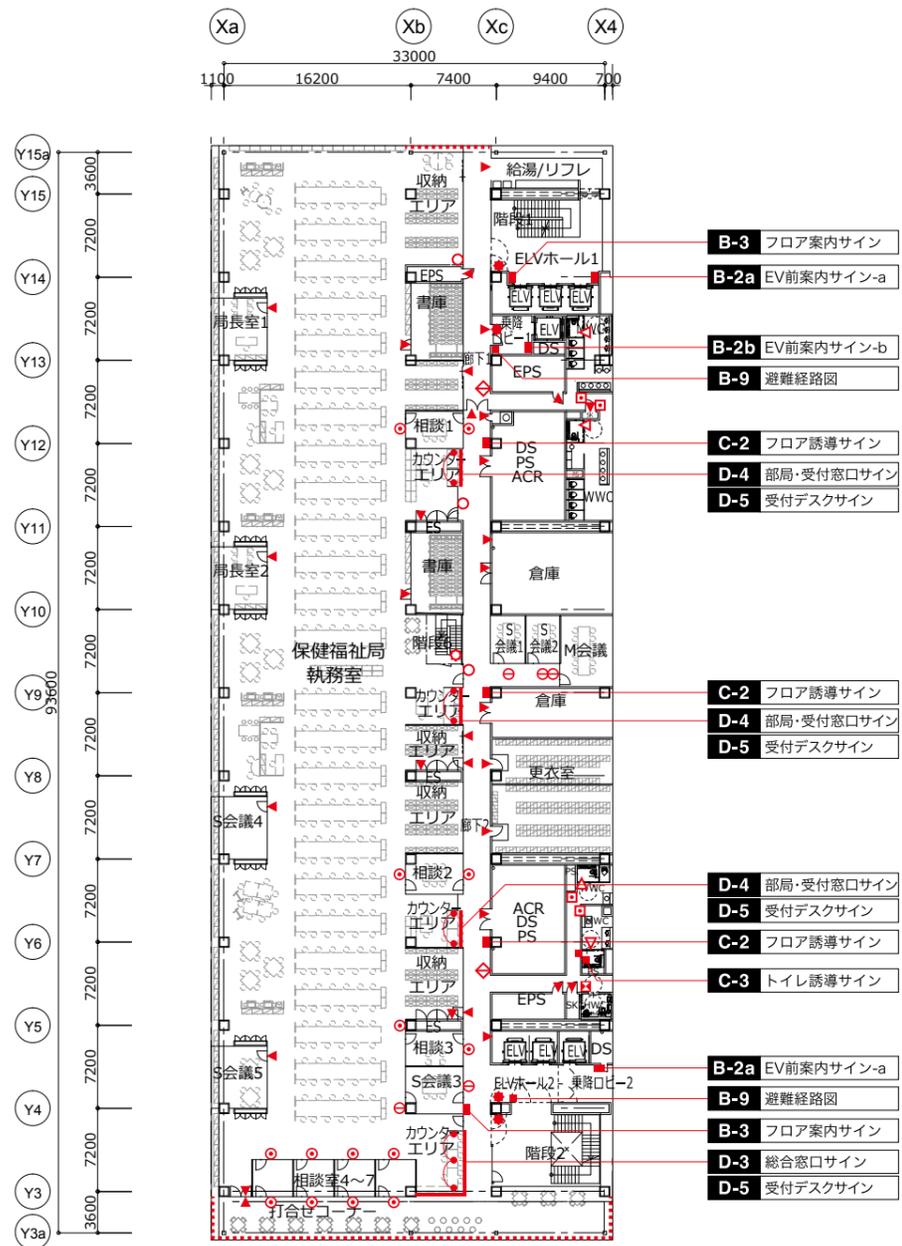


8階平面図

○	E-1	室名サイン-A	4
◎	E-2	室名サイン-B(使用中表示)	14
⊖	E-3	室名サイン-C(催事案内)	6
▼	E-4	室名サイン-D(シート文字)	30
◇	F-1	ピクトサイン-A(突出)	2
□	F-2	ピクトサイン-B(平付・大)	4
□	F-3	ピクトサイン-C(平付・小)	0
▽	F-4	ピクトサイン-D(シート)	4
☒	F-5	多目的トイレサイン-A(平付・大)	1
☒	F-6	多目的トイレサイン-B(シート)	0
⊗	G-1	階数表示-A	2
⊗	G-2	階数表示-B	5
⊗	G-3	EVバンク表示	0
.....	H-1	衝突防止サイン	54m

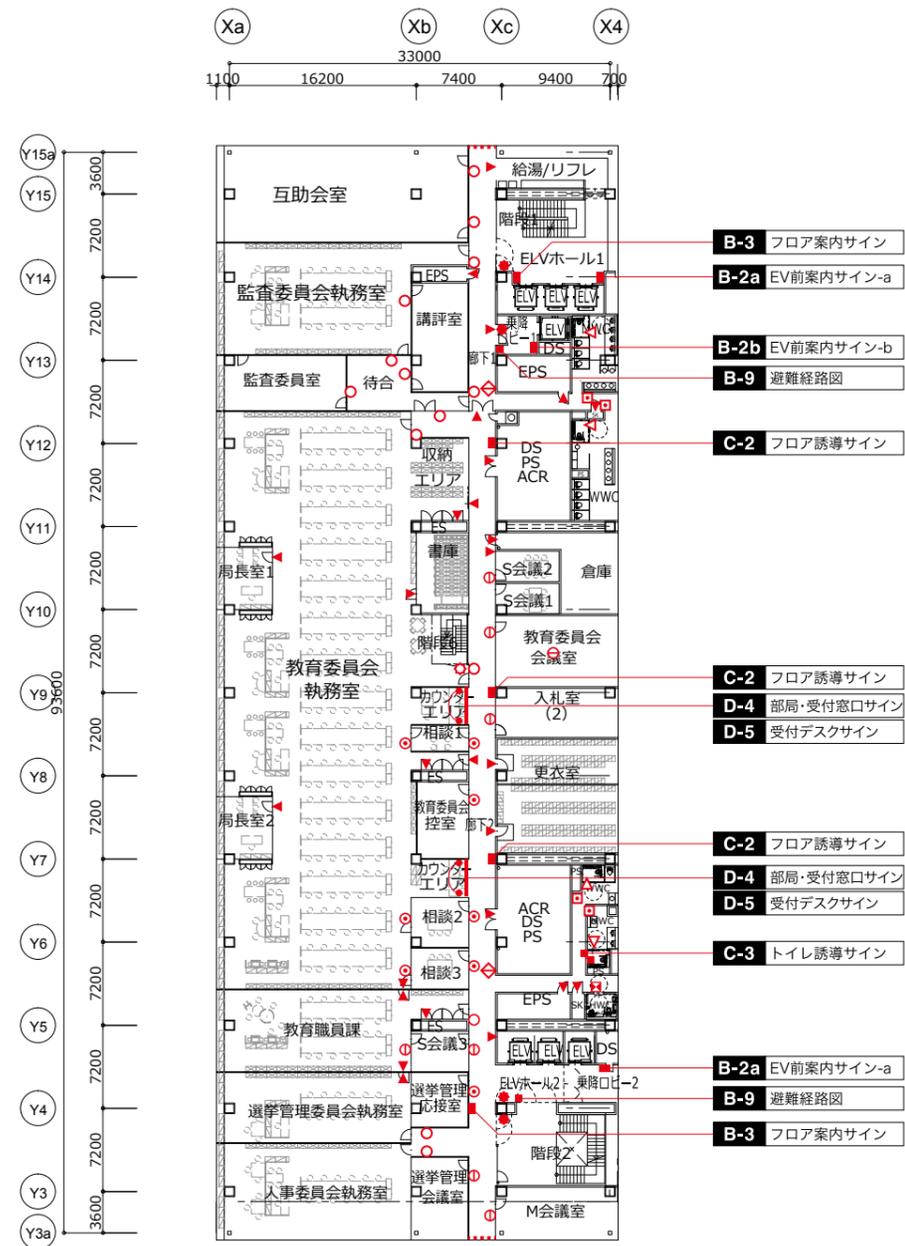
○	E-1	室名サイン-A	5
◎	E-2	室名サイン-B(使用中表示)	11
⊖	E-3	室名サイン-C(催事案内)	7
▼	E-4	室名サイン-D(シート文字)	31
◇	F-1	ピクトサイン-A(突出)	2
□	F-2	ピクトサイン-B(平付・大)	4
□	F-3	ピクトサイン-C(平付・小)	0
▽	F-4	ピクトサイン-D(シート)	4
☒	F-5	多目的トイレサイン-A(平付・大)	1
☒	F-6	多目的トイレサイン-B(シート)	0
⊗	G-1	階数表示-A	1
⊗	G-2	階数表示-B	4
⊗	G-3	EVバンク表示	0
.....	H-1	衝突防止サイン	44.1m





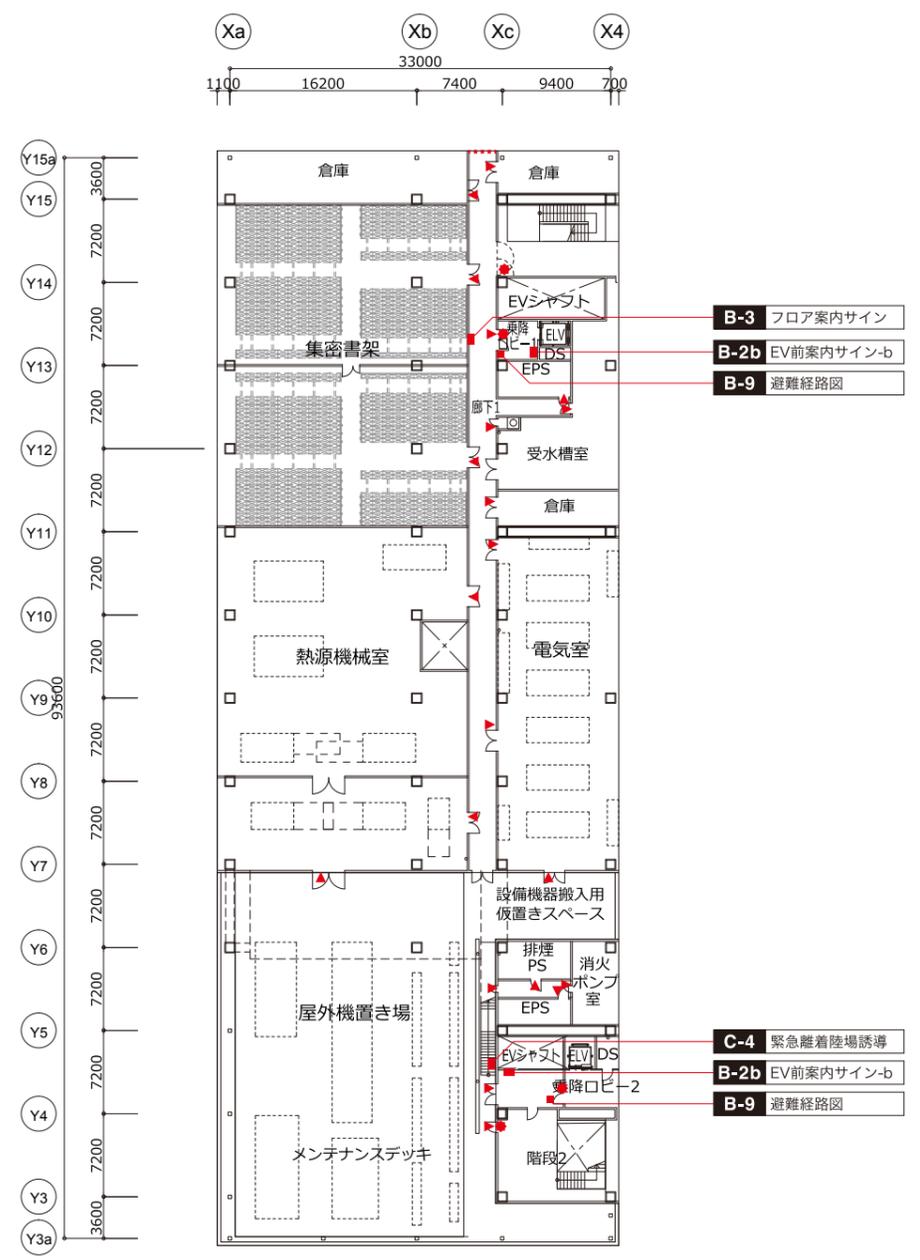
○	E-1	室名サイン-A	3
⊙	E-2	室名サイン-B(使用中表示)	14
⊖	E-3	室名サイン-C(催事案内)	5
▼	E-4	室名サイン-D(シート文字)	32
◇	F-1	ピクトサイン-A(突出)	2
□	F-2	ピクトサイン-B(平付・大)	4
□	F-3	ピクトサイン-C(平付・小)	0
▽	F-4	ピクトサイン-D(シート)	4
⊠	F-5	多目的トイレサイン-A(平付・大)	1
⊠	F-6	多目的トイレサイン-B(シート)	0
⊛	G-1	階数表示-A	1
⊛	G-2	階数表示-B	4
⊛	G-3	EVバンク表示	0
.....	H-1	衝突防止サイン	49m

9階平面図



○	E-1	室名サイン-A	14
⊙	E-2	室名サイン-B(使用中表示)	6
⊖	E-3	室名サイン-C(催事案内)	8
▼	E-4	室名サイン-D(シート文字)	28
◇	F-1	ピクトサイン-A(突出)	2
□	F-2	ピクトサイン-B(平付・大)	4
□	F-3	ピクトサイン-C(平付・小)	0
▽	F-4	ピクトサイン-D(シート)	4
⊠	F-5	多目的トイレサイン-A(平付・大)	1
⊠	F-6	多目的トイレサイン-B(シート)	0
⊛	G-1	階数表示-A	1
⊛	G-2	階数表示-B	4
⊛	G-3	EVバンク表示	0
.....	H-1	衝突防止サイン	4.8m

10階平面図

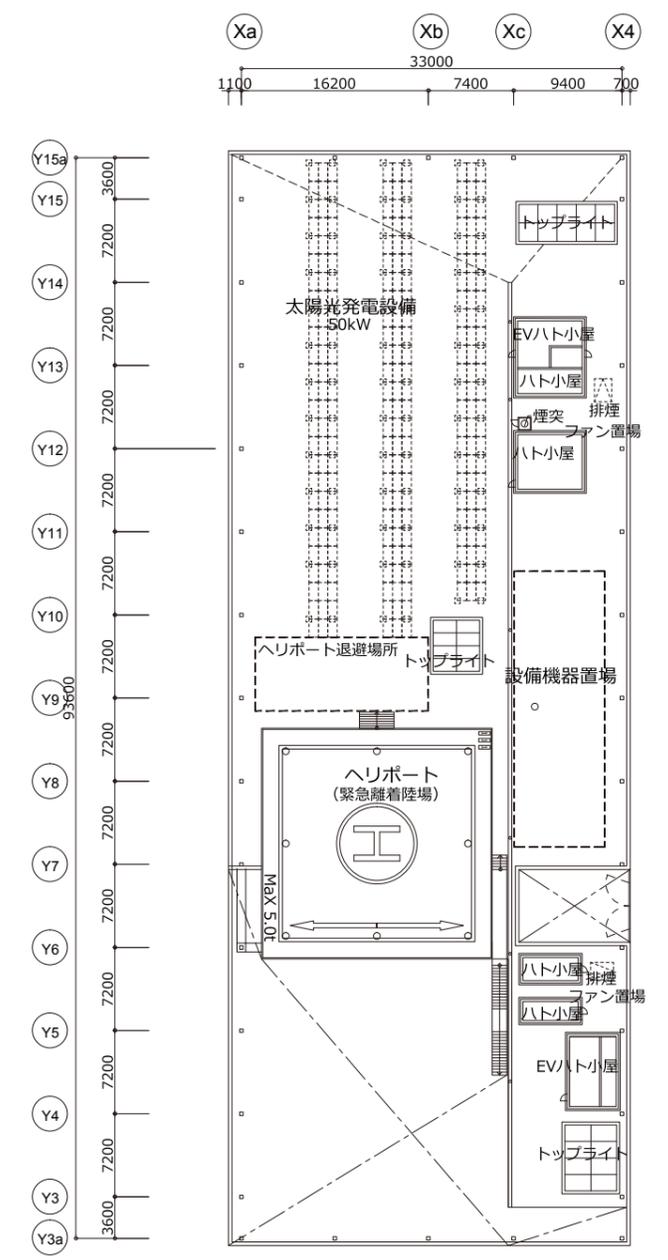


- B-3 フロア案内サイン
- B-2b EV前案内サイン-b
- B-9 避難経路図

- C-4 緊急離着陸場誘導
- B-2b EV前案内サイン-b
- B-9 避難経路図

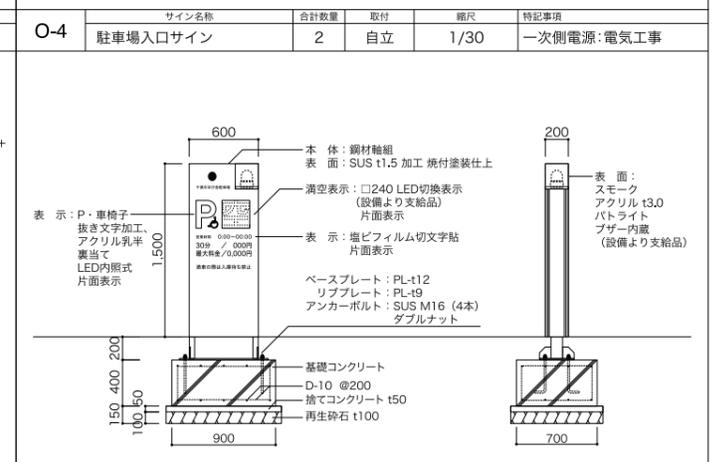
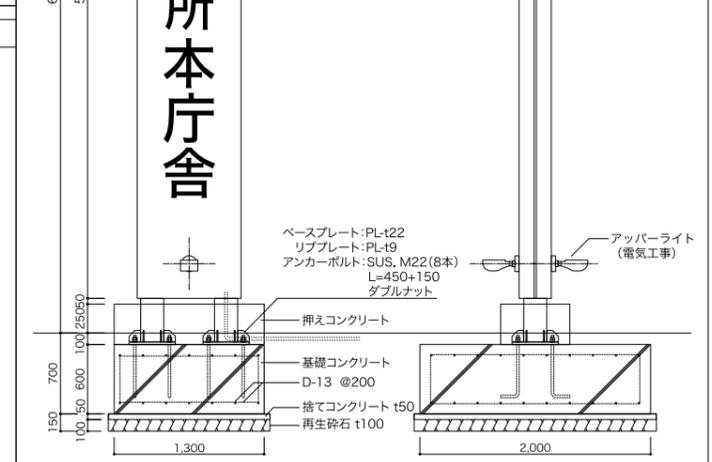
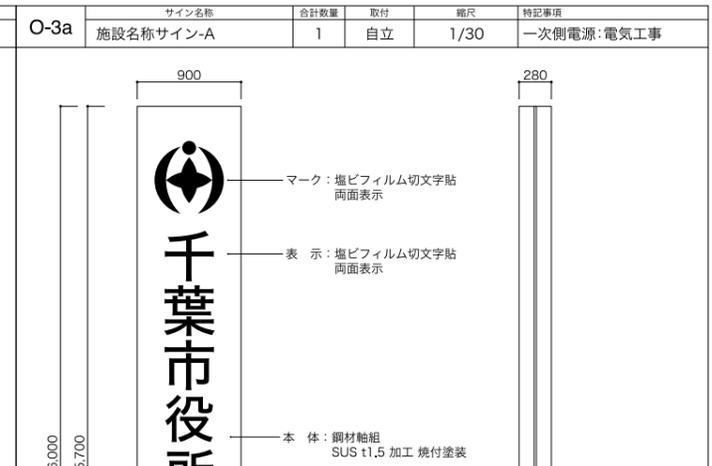
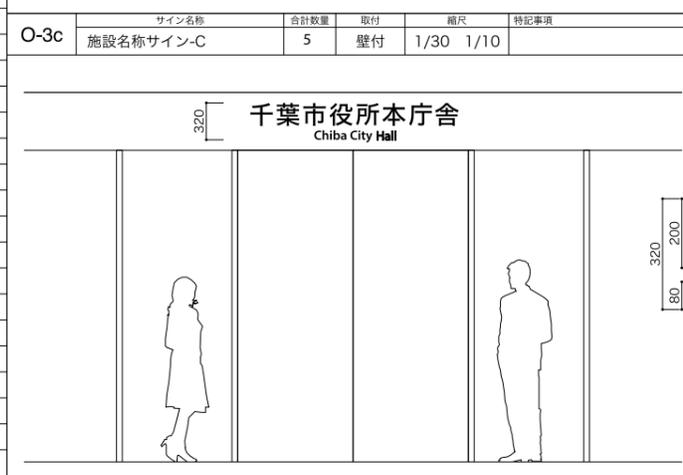
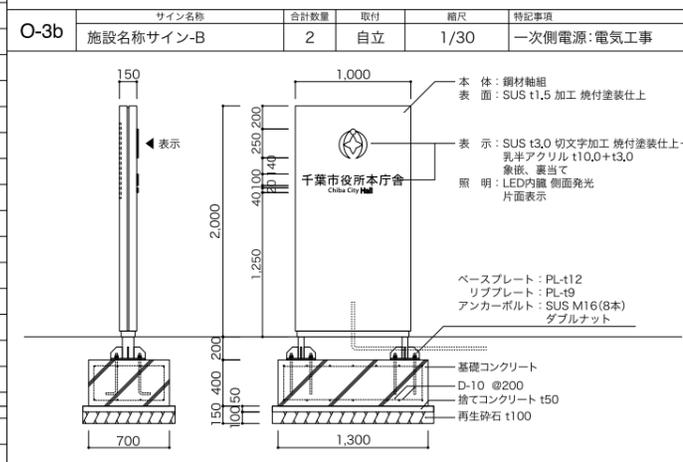
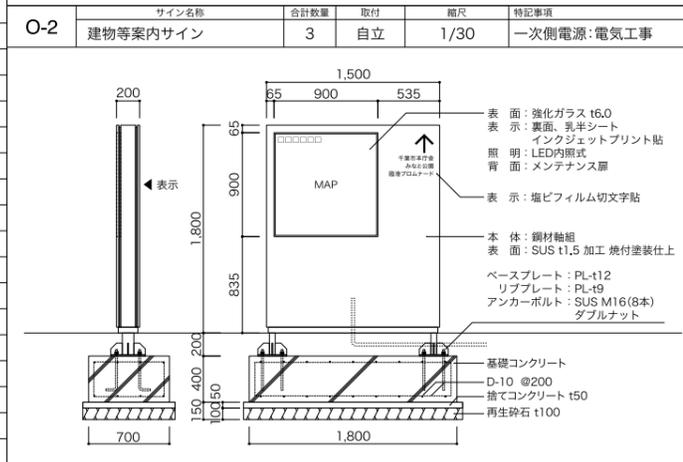
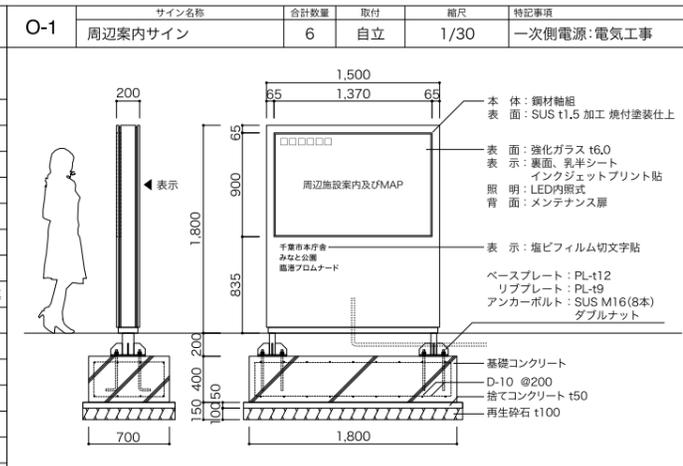
○	E-1	室名サイン-A	0
⊙	E-2	室名サイン-B(使用中表示)	0
⊖	E-3	室名サイン-C(催事案内)	0
▼	E-4	室名サイン-D(シート文字)	20
◇	F-1	ピクトサイン-A(突出)	0
▣	F-2	ピクトサイン-B(平付・大)	0
▢	F-3	ピクトサイン-C(平付・小)	0
▽	F-4	ピクトサイン-D(シート)	0
⊠	F-5	多目的トイレサイン-A(平付・大)	0
⊡	F-6	多目的トイレサイン-B(シート)	0
⊛	G-1	階数表示-A	0
⊜	G-2	階数表示-B	4
⊝	G-3	EVバンク表示	0
.....	H-1	衝突防止サイン	2.4m

11階平面図

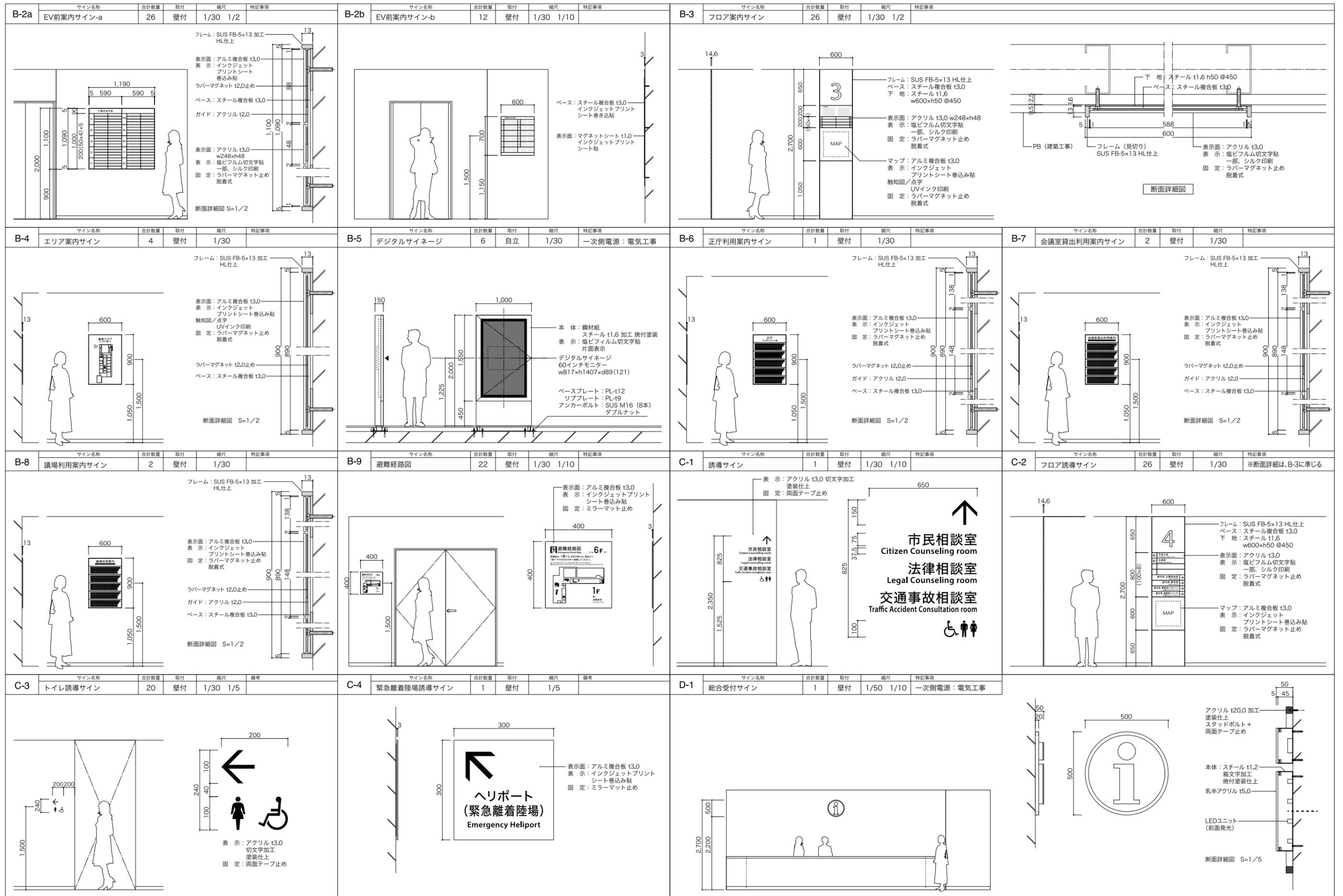


R階平面図

分類	記号	サイン名称	形式	電気	合計	数量													特記事項・備考
						外構	1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F	9F	10F	11F	RF	
外部	O-1	周辺案内サイン	自立	○	6	3		3											一次側電源:電気工事
	O-2	建物等案内サイン	自立	○	3	3													一次側電源:電気工事
	O-3a	施設名称サイン-A	自立	○	1	1													一次側電源:電気工事、H6000
	O-3b	施設名称サイン-B	自立	○	2	2													一次側電源:電気工事、H2000
	O-3c	施設名称サイン-C	壁付		5	4	1												
	O-4	駐車場入口サイン	自立	○	2	2													一次側電源:電気工事
	O-5	駐車場出口サイン	自立	○	2	2													一次側電源:電気工事
	O-6	誘導サイン	自立		2	2													公用車・一般車誘導/建物入口誘導
	O-7	車椅子専用駐車場サイン	自立		2	2													
	O-8	荷捌き駐車場サイン	自立		1	1													
	O-9	駐輪場サイン	自立		2	2													
	O-10	駐車場利用案内サイン	自立		2	2													
	O-11	外部デジタルサイネージ	自立	○	1	1													一次側電源:電気工事
	O-12	外部自立告知板	自立	○	1	1													一次側電源:電気工事、W7000
	O-13	屋上緑化利用案内サイン	自立		2		1												
	O-14	さくら広場案内サイン	自立		1	1													
名称	A-1	正庁名称サイン	壁付		1	1													
	A-2	議場フロア名称サイン	壁付		2					1	1								
	A-3	議場名称サイン	壁付		1					1									
	A-4	市章	壁付		1					1									
案内	B-1	総合案内サイン	壁付		6	4	2												庁舎利用案内を含む
	B-2a	EV前案内サイン-a	壁付		26	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2				
	B-2b	EV前案内サイン-b	壁付		12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2			
	B-3	フロア案内サイン	壁付		26	2	3	4	4	2	2	2	2	2	2	1			
	B-4	エリア案内サイン	壁付		4					2	2								
	B-5	デジタルサイネージ	自立	○	6	4	2												一次側電源:電気工事
	B-6	正庁利用案内サイン	壁付		1	1													
	B-7	会議室貸出利用案内サイン	壁付		2	2													
	B-8	議場利用案内サイン	壁付		2					1	1								
	B-9	避難経路図	壁付		22	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2			
誘導	C-1	誘導サイン	壁付		1	1													
	C-2	フロア誘導サイン	壁付		26			4	4	3	3	3	3	3	3				
	C-3	トイレ誘導サイン	壁付		20	1	2	3	2	2	2	2	2	2	2				
	C-4	緊急離着陸場誘導サイン	壁付		1										1				
受付	D-1	総合受付サイン	壁付	○	1	1													
	D-2	市民交流センター受付サイン	吊下	○	1	1													
	D-3	総合窓口サイン	吊下		3														
	D-4	部局・受付窓口サイン	吊下		33			8	9	2	3	3	3	3	2				部局・課名表示
	D-5	受付デスクサイン	置き		94			4	23	26	4	6	9	9	4				課名表示、業務内容、目的別表示
室名	E-1	室名サイン-A	壁付		61	5	3	5	8	4	10	4	5	3	14				室名表示
	E-2	室名サイン-B(使用中表示)	壁付		95	4		8	16	11	11	14	11	14	6				室名表示+使用中(在室)表示
	E-3	室名サイン-C(催事案内)	壁付		78		4	14	5	15	14	6	7	5	8				室名表示+使用中+催事案内表示
	E-4	室名サイン-D(シート文字)	扉付		416	40	42	51	49	46	47	30	31	32	28	20			バックヤード、設備室、スタッフオンリー
ビクト	F-1	ビクトサイン-A(突出)	突出		26	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2				
	F-2	ビクトサイン-B(平付・大)	壁付		48	4	4	6	6	6	6	4	4	4	4				
	F-3	ビクトサイン-C(平付・小)	壁付		6	3	3												
	F-4	ビクトサイン-D(シート)	扉付		48	6	6	4	4	6	6	4	4	4	4				
	F-5	多目的トイレサイン-A(平付・大)	壁付		15	2	2	1	2	2	2	1	1	1	1				
	F-6	多目的トイレサイン-B(シート)	扉付		4			2	2										
階数	G-1	階数表示-A	壁付		12			1	1	3	2	2	1	1	1				
	G-2	階数表示-B	扉付		51	1	5	6	6	6	6	5	4	4	4				
	G-3	EVバンク表示	壁付		4	2	2												
その他	H-1	衝突防止サイン	ガラス面		875.3m	230.5m	186.3m	127.1m	118.9m	48.4m	9.8m	54m	44.1m	49m	4.8m	2.4m			
	H-2	開館・閉館案内サイン	可動		6	4	2												未プロット
	H-3	多目的スタンドサイン	可動		20														未プロット



<p><b>O-5</b> 駐車場出口サイン</p> <p>合計数量: 2   取付: 自立   縮尺: 1/30   特記事項: 一次側電源:電気工事</p>	<p><b>O-6</b> 誘導サイン</p> <p>合計数量: 2   取付: 自立   縮尺: 1/30   特記事項:</p> <p>建物入口誘導 公用車・一般車誘導</p>	<p><b>O-7</b> 車椅子専用駐車場サイン</p> <p>合計数量: 2   取付: 自立   縮尺: 1/30   特記事項:</p>	<p><b>O-8</b> 荷捌き駐車場サイン</p> <p>合計数量: 1   取付: 自立   縮尺: 1/30   特記事項:</p>
<p><b>O-9</b> 駐輪場サイン</p> <p>合計数量: 2   取付: 自立   縮尺: 1/30   特記事項:</p>	<p><b>O-10</b> 駐車場利用案内サイン</p> <p>合計数量: 2   取付: 自立   縮尺: 1/30   特記事項:</p>	<p><b>O-11</b> 外部デジタルサイネージ</p> <p>合計数量: 1   取付: 壁付   縮尺: 1/30   特記事項: 一次側電源:電気工事</p>	<p><b>O-13</b> 屋上緑化利用案内サイン</p> <p>合計数量: 2   取付: 自立   縮尺: 1/30   特記事項:</p> <p><b>O-14</b> さくら広場案内サイン</p> <p>合計数量: 1   取付: 自立   縮尺: 1/30   特記事項:</p>
<p><b>O-12</b> 外部自立告知板</p> <p>合計数量: 1   取付: 自立   縮尺: 1/30   特記事項: 一次側電源:電気工事</p>	<p><b>A-1</b> 正庁名称サイン</p> <p>合計数量: 1   取付: 壁付   縮尺: 1/30   1/10   特記事項:</p>	<p><b>A-2</b> 議場フロア名称サイン</p> <p>合計数量: 2   取付: 壁付   縮尺: 1/30   1/10   特記事項:</p>	
<p><b>A-3</b> 議場名称サイン</p> <p>合計数量: 1   取付: 壁付   縮尺: 1/30   1/10   特記事項:</p>	<p><b>A-4</b> 市章</p> <p>合計数量: 1   取付: 壁付   縮尺: 1/10   1/5   特記事項:</p>	<p><b>B-1</b> 総合案内サイン</p> <p>合計数量: 6   取付: 壁付   縮尺: 1/30   1/2   特記事項: 全館案内+庁舎利用案内+フロアマップ(触知図・点字)</p>	



<p><b>D-2</b> 市民交流センター受付サイン</p> <p>合計数量: 1 取付: 吊下 縮尺: 1/50 1/5 特記事項: 一次側電源: 電気工事</p> <p>名称部 本 体: スチール t1.6 加工 焼付塗装仕上 表 示: 抜き文字加工 乳半アクリル t10.0+t3.0 象嵌、裏当て 照 明: LED内蔵 前面発光</p> <p>受付部 本 体: スチール t1.6 加工 焼付塗装仕上 表示面: マグネットシート t1.0 表 示: インクジェット プリントシート貼 ※貼替式</p> <p>M10 吊りボルト 一次側電源 (電気工事) LEDユニット 乳半アクリル t10.0+t3.0 象嵌、裏当て 本 体: スチール t1.6 加工 焼付塗装仕上 表示面: マグネットシート t1.0 表 示: インクジェット プリントシート貼 ※貼替式 スチール口 50x30x1.6 焼付塗装仕上 断面詳細 S=1/5</p>	<p><b>D-3</b> 総合窓口サイン</p> <p>合計数量: 3 取付: 吊下 縮尺: 1/50 1/20</p> <p>表示面: マグネットシート t1.0 表 示: インクジェットプリント シート貼 貼替式</p> <p>M10 吊りボルト カバー: スチールφ25.4x1.6 焼付塗装仕上 本 体: スチール t1.6 加工 焼付塗装仕上 表示面: マグネットシート t1.0 表 示: インクジェット プリントシート貼 ※貼替式 スチール口 50x30x1.6 焼付塗装仕上 断面詳細 S=1/5</p>										
<p><b>D-4</b> 部局・受付窓口サイン</p> <p>合計数量: 33 取付: 吊下 縮尺: 1/30 1/5</p> <p>M10 吊りボルト カバー: スチールφ25.4x1.6 焼付塗装仕上 本 体: スチール t1.6 加工 焼付塗装仕上 表示面: マグネットシート t1.0 表 示: インクジェット プリントシート貼 ※貼替式 スチール口 50x30x1.6 焼付塗装仕上 断面詳細 S=1/5</p> <table border="1"> <tr><td>D-4a w6,300(3・4階)</td><td>10 台</td></tr> <tr><td>D-4b w4,800(3・4階)</td><td>5 台</td></tr> <tr><td>D-4c w3,300(3・4階)</td><td>2 台</td></tr> <tr><td>D-4d w3,200(5-10階)</td><td>16 台</td></tr> <tr><td>合計</td><td>33 台</td></tr> </table>	D-4a w6,300(3・4階)	10 台	D-4b w4,800(3・4階)	5 台	D-4c w3,300(3・4階)	2 台	D-4d w3,200(5-10階)	16 台	合計	33 台	<p><b>D-5</b> 受付デスクサイン</p> <p>合計数量: 94 取付: 置式 縮尺: 1/5</p> <p>表示面: 透明アクリル t3.0+ アクリル t2.0+t3.0 加工 表 示: A4用紙差込み式</p> <p>用紙、押出穴 底面、フェルト貼 本 体: スチール t1.6 曲げ加工 焼付塗装仕上</p>
D-4a w6,300(3・4階)	10 台										
D-4b w4,800(3・4階)	5 台										
D-4c w3,300(3・4階)	2 台										
D-4d w3,200(5-10階)	16 台										
合計	33 台										
<p><b>E-1</b> 室名サイン-A</p> <p>合計数量: 61 取付: 壁付 縮尺: 1/5</p> <p>表示面: アクリル t3.0 加工 表 示: 塩ビフィルム切文字貼 ※マグネット脱着式 ラバーマグネット t1.5 ベース: アクリル t3.0+ スチールペーパー t0.4 室番号プレート / 表示面: アクリル t5.0 加工 表 示: 塩ビフィルム切文字貼 固 定: 両面テープ止め</p>	<p><b>E-2</b> 室名サイン-B (使用中表示)</p> <p>合計数量: 95 取付: 壁付 縮尺: 1/5 1/2 特記事項: 使用中または在室表示</p> <p>表示面: アクリル t3.0 加工 表 示: 塩ビフィルム切文字貼 ※マグネット脱着式 ラバーマグネット t1.5 ベース: アクリル t3.0+ スチールペーパー t0.4 使用中表示 (在室表示) スライド式 使用中表示 (在室表示) 透明アクリル加工 スライド式 表 示: 裏面、インクジェットプリントシート貼</p>	<p><b>E-3</b> 室名サイン-C (催事案内)</p> <p>合計数量: 78 取付: 壁付 縮尺: 1/5 1/2</p> <p>表示面: アクリル t3.0 加工 表 示: 塩ビフィルム切文字貼 ※マグネット脱着式 ラバーマグネット t1.5 ベース: アクリル t3.0+ スチールペーパー t0.4 使用中表示 (在室表示) スライド式 紙押え 紙押え: アクリル t3.0 加工 ※マグネット脱着式</p>	<p><b>E-4</b> 室名サイン-D (シート文字)</p> <p>合計数量: 416 取付: 扉付 縮尺: 1/30 1/2</p> <p>表 示: 塩ビフィルム切文字貼</p>								
<p><b>F-1</b> ビクトサイン-A (突出)</p> <p>合計数量: 26 取付: 突出 縮尺: 1/5</p> <p>ビクト: アクリル t8.0 加工 塗装仕上 文 字: アクリル t8.0 切文字加工 塗装仕上 ブラケット: St. □19x10x1.2 スリット加工 焼付塗装仕上 取付金具: サヤ管: St. □16x16x1.6 焼付塗装仕上 (建築工事)</p>	<p><b>F-2</b> ビクトサイン-B (平付・大)</p> <p>合計数量: 48 取付: 壁付 縮尺: 1/30</p> <p>表示面: アルミ複合板 t3.0 表 示: インクジェットプリント シート巻込み貼 固 定: ミラーマット止め</p>	<p><b>F-3</b> ビクトサイン-C (平付・小)</p> <p>合計数量: 6 取付: 壁付 縮尺: 1/30 1/5</p> <p>表 示: アクリル t3.0 加工 塗装仕上 固 定: 両面テープ+接着剤止め</p>	<p><b>F-4</b> ビクトサイン-D (シート)</p> <p>合計数量: 48 取付: 扉付 縮尺: 1/30 1/5</p> <p>どなたでもご利用できます。 表 示: 塩ビフィルム切文字貼</p>								

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記事項
F-5 多目的トイレサイン-A(平付・大)	15	壁付	1/30	
F-6 多目的トイレサイン-B(シート)	4	扉付	1/30	
G-1 階数表示-A	12	壁付	1/30 1/5	
G-2 階数表示-B	51	扉付	1/50 1/5	
G-3 EVバンク表示	4	壁付	1/30 1/5	
H-1 衝突防止サイン	875.3m	ガラス面	1/50 1/5	2段表示
H-2 開館・閉館案内サイン	6	可動	1/15	未プロット
H-3 多目的スタンドサイン	20	可動	1/15	未プロット

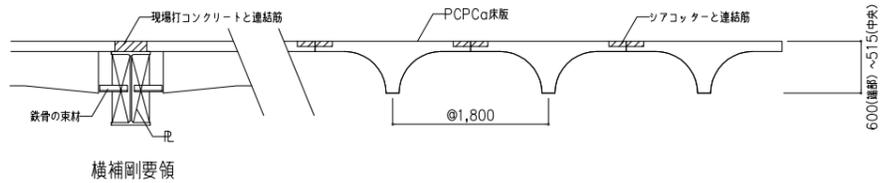
<p>表示面：アルミ複合板 t3.0 表 示：インクジェットプリント シート巻込み貼 固 定：ミラーマット止め</p>	<p>表示：塩ビフィルム切文字貼</p>	<p>表示：アクリル t5.0 切文字加工 塗装仕上 固 定：両面テープ止め</p>	<p>表示：塩ビフィルム切文字貼</p>
<p>表示：アクリル t5.0 切文字加工 塗装仕上 固 定：両面テープ止め</p>	<p>表示：塩ビフィルム切貼 大人目線、子供目線、2段表示</p>	<p>表示面：アクリル白(マット) t5.0 面板サイズ300×300 表 示：インクジェットプリント貼 (両面) または 塩ビフィルム切文字貼 (両面)</p> <p>支 柱：スチール 焼付塗装仕上</p> <p>ベース：スチール 焼付塗装仕上</p>	<p>ペーパークリップ (両面) 本体同色、焼付塗装</p> <p>本 体：スチール t4.0 加工 焼付塗装仕上</p> <p>表 面：ホワイトボードシート 全面貼 (両面)</p> <p>ベース：スチール t6.0 加工 焼付塗装仕上 ボールキャスター付き</p>



	位置	SB1	位置	SB1A	位置	SB2	位置	SB2A	位置	SB3	位置	SB3A	位置	SB4	位置	SG1
R階	全断	H-850X450	全断	H-850X400	全断	H-850X400	全断	H-850X350	全断	H-850X400	全断	H-850X350	全断		全断	H-850X300
11階	全断	H-1050X500	全断	H-1050X400	全断	同上	全断	同上	全断	H-1050X400	全断	H-1050X350	全断		全断	H-850X300
8~10階	全断	H-850X500	全断	H-850X400	Xb付,中央 Xc付	H-850X450 H-850~650X500	Xb付,中央 Xc付	H-850X350 H-850~650X400	全断	H-850X400	全断	H-850X350	全断	H-650X300(8階のみ)	全断	H-850X350
6~7階	全断	同上	全断	同上	Xb付,中央 Xc付	同上	Xb付,中央 Xc付	同上	全断	同上	全断	同上	全断	同上	全断	同上
4~5階	全断	同上	全断	同上	Xb付,中央 Xc付	同上	Xb付,中央 Xc付	同上	全断	同上	全断	同上	全断	同上	全断	同上
2~3階	全断	H-1100X500	全断	H-1100X400	Xb付,中央 Xc付		全断	H-1100X350	全断	H-1100X400	全断	H-1100X350	全断	同上	全断	H-1100X400
	位置	SG1A	位置	SG2	位置	SG2A	位置	SG4	位置	SG5	位置	SG5A				
R階	全断	H-850X300	全断	H-850X350	全断	H-850X350	全断		全断		全断					
11階	全断	同上	全断	同上	全断	同上	全断		全断		全断					
8~10階	全断	H-850X350	全断	同上	面端 中央	H-850X400 H-650X400	全断	H-1200X500(8階のみ)	全断		全断					
6~7階	全断	H-850X400	全断	H-850X400	面端 中央	H-850X450 H-650X450	全断	H-850X500	全断	H-850X350	全断	H-850X450				
4~5階	全断	同上	全断	同上	全断	同上	全断	同上	全断	Y2端 中央,他端	H-650X450 H-850X350	Y2端 中央,他端	H-650X500 H-850X450			
2~3階	全断	H-1100X400	全断	H-1100X450	全断	H-1100X450	全断	同上	全断	H-850X400	全断	H-850X450				

	位置	CSB1	位置	CSB2	位置	CSG1
3~R階	全断	H-850X450	全断	H-850X300	全断	H-850X450
2階	全断	同上	全断	同上	全断	同上
1階	全断	同上	全断	同上	全断	同上
	位置	CSG2				
3~R階	全断	H-850X500				
2階	全断	同上				
1階	全断	同上				

	C1	C1A	C2	C2A	C3	C3A	C4	C4A	C5
9~11階	鉄骨 □-800X800	□-800X800	□-800X800	BOX-800X800	□-800X800	BOX-800X800			
6~8階	鉄骨 同上	同上	同上	同上	同上	同上	□-650X650	□-650X650	□-650X650
3~5階	鉄骨 同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
1~2階	鉄骨 同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上



	B1	B2	CB1
1階	全断面 	全断面 	全断面 
鉄骨	BH-1500X400	BH-1500X550	H-900X300
上補筋	2-D25	2-D25	2-D25
下補筋	2-D25	2-D25	2-D25
スターラップ	2-D13@200	2-D13@200	2-D10@200

